
高槻市「障がい者計画」「障がい福祉計画」「障がい児福祉計画」関連

福祉に関するアンケート調査

報告書

令和8年3月

高槻市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	1
II 障がい者調査の結果	2
1. あなたやご家族について	2
2. 日中の活動や社会参加について	25
3. 仕事について	34
4. 保健・医療について	40
5. 情報や相談について	45
6. 災害など緊急時の対応について	54
7. 将来の暮らしについて	62
8. 福祉サービスなどについて	65
9. 障がい者虐待の防止・障がい者差別の解消について	76
10. 障がいのある人もない人もともに安心して暮らせる“高槻”に向けて	84
III 障がい児調査の結果	91
1. あなたやご家族について	91
2. 日中の活動や社会参加について	107
3. 療育について	118
4. 保健・医療について	123
5. 情報や相談について	126
6. 災害など緊急時の対応について	134
7. 将来の暮らしについて	140
8. 福祉サービスなどについて	142
9. 障がい者虐待の防止・障がい者差別の解消について	150
10. 障がいのある人もない人もともに安心して暮らせる“高槻”に向けて	158
IV 調査票	167
1. 障がい者調査	167
2. 障がい児調査	180

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、第3次高槻市障がい者基本計画(計画期間:令和9～14年度)並びに高槻市第8期障がい福祉計画及び第4期障がい児福祉計画(令和9～11年度)策定に向けて、アンケート調査を行い、障がい児(者)の生活上の課題・住民ニーズを明らかにすることを目的に実施しました。

2. 調査概要

調査対象：

属性	障がい者(18歳以上)	障がい児(18歳未満)
身体障がい者 (身体障がい者手帳所持者)	1,414人	1,000人
知的障がい者(療育手帳所持者)	401人	
精神障がい者 (精神障がい者保健福祉手帳所持者)	600人	
自立支援医療(精神通院医療)受給者	800人	
特定医療費(指定難病)受給者	385人	
合計	4,600人	

調査期間：令和7年12月3日～令和8年1月31日

調査方法：郵送による配布、郵送またはインターネットにより回収

配布数		回収数内訳		有効回収数	無効票	有効回収率
障がい者 (18歳以上)	3,600人	紙調査票	1,528件	2,132件	2件	59.2%
		Web回答	606件			
障がい児 (18歳未満)	1,000人	紙調査票	225件	556件	0件	55.6%
		Web回答	331件			

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n(number of case)」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。
- 表中の塗りつぶしについて、濃い網掛けに白抜き文字は最も割合が高い項目、薄い網掛けは2番目に割合が高い項目、また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。

Ⅱ 障がい者調査の結果

1. あなたやご家族について

(1) アンケート回答者

問1 このアンケートを記入されたのはどなたですか(1つだけ○)

【全体】

- アンケート回答者について、「ご本人が記入」が 67.1%で最も多く、次いで「ご本人にかわって家族の人が記入」が 19.8%、「ご本人が答えて、家族の人が記入」が 7.3%となっています。

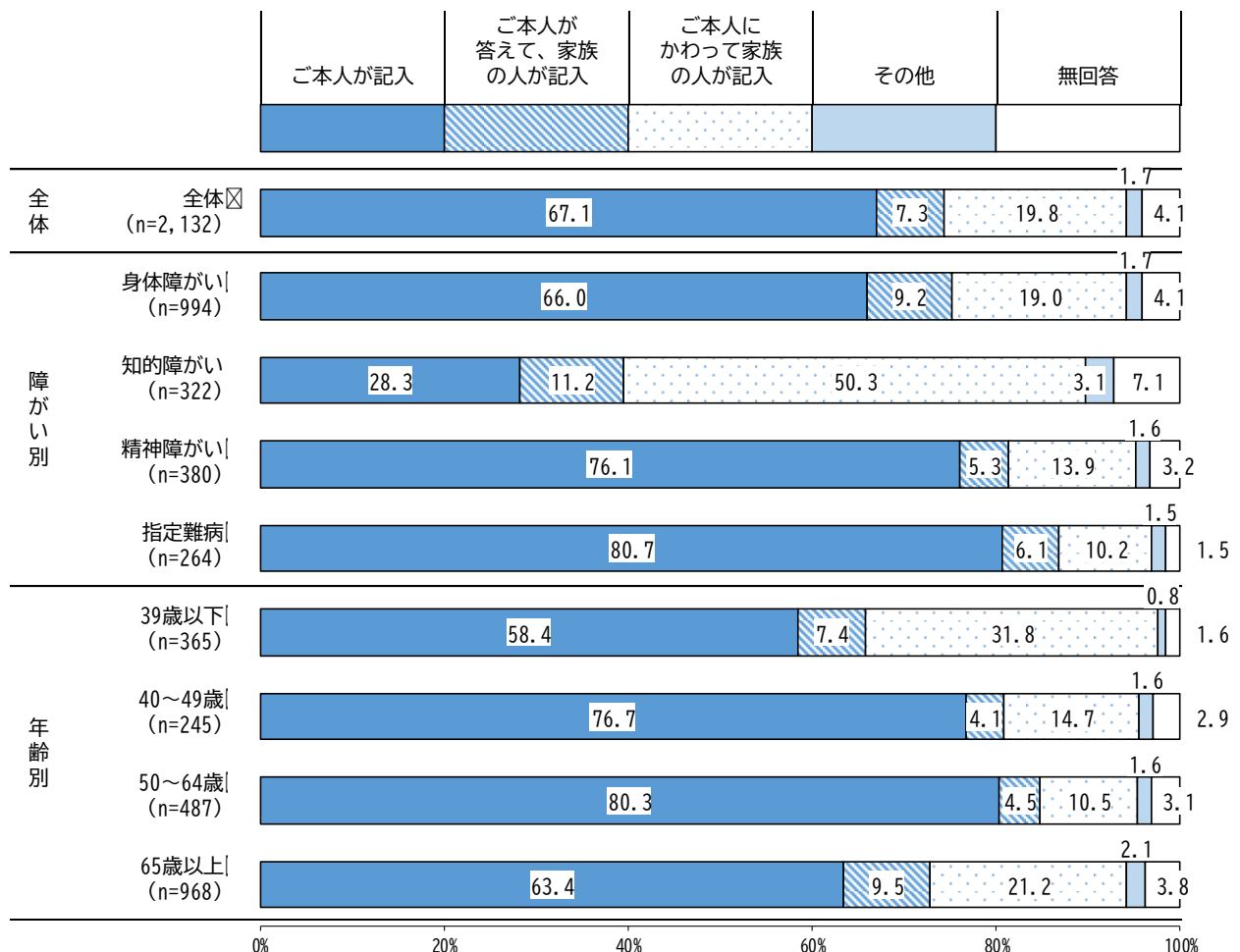
【障がい別】

- 知的障がいは「ご本人にかわって家族の人が記入」が全体より 30.5 ポイント多くなっています。指定難病は「ご本人が記入」が全体より 13.6 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「ご本人にかわって家族の人が記入」が全体より 12.0 ポイント多くなっています。50～64 歳は「ご本人が記入」が全体より 13.2 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 アンケート回答者>



(2)年齢と性別

問2 あなたの年齢と性別をお聞きます。令和7年11月1日現在の満年齢をご記入ください。

(それぞれ1つだけ○)

■ 年齢

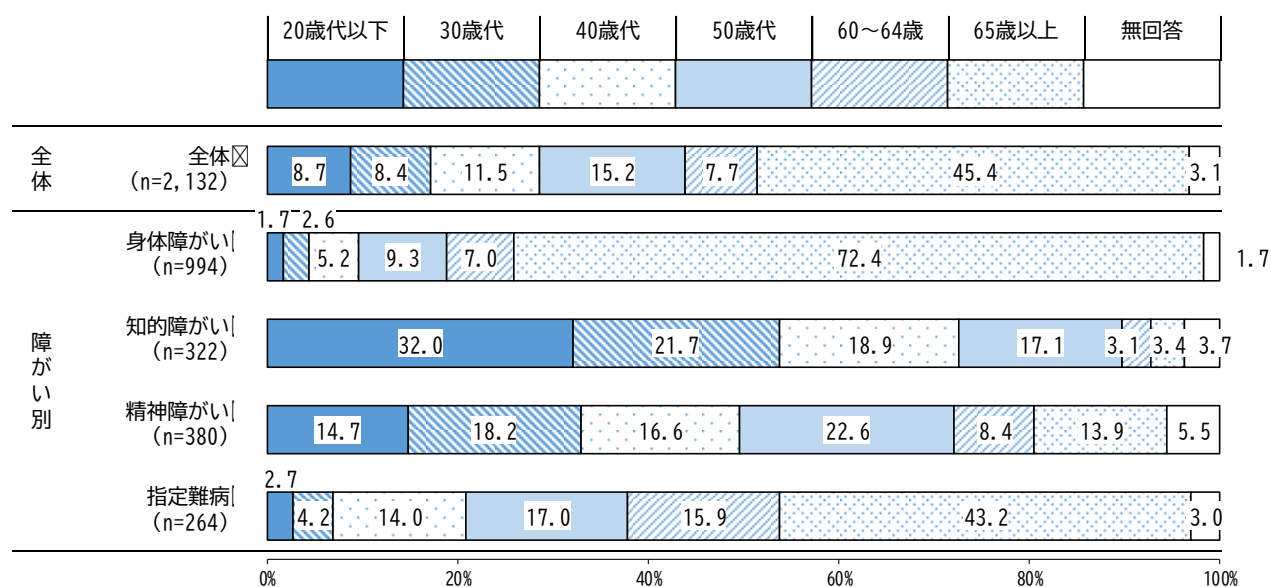
【全体】

- 年齢について、「65 歳以上」が 45.4%で最も多く、次いで「50 歳代」が 15.2%、「40 歳代」が 11.5% となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「65 歳以上」が全体より 27.0 ポイント多く、72.4%を占めています。知的障がいは「20 歳代以下」「30 歳代」が全体より 13.3～23.3 ポイント多くなっています。精神障がいは年齢層の偏りが小さくなっています。指定難病は 40 歳代及び 60～64 歳が全体より多くなっています。

<障がい別 年齢>



■ 性別

【全体】

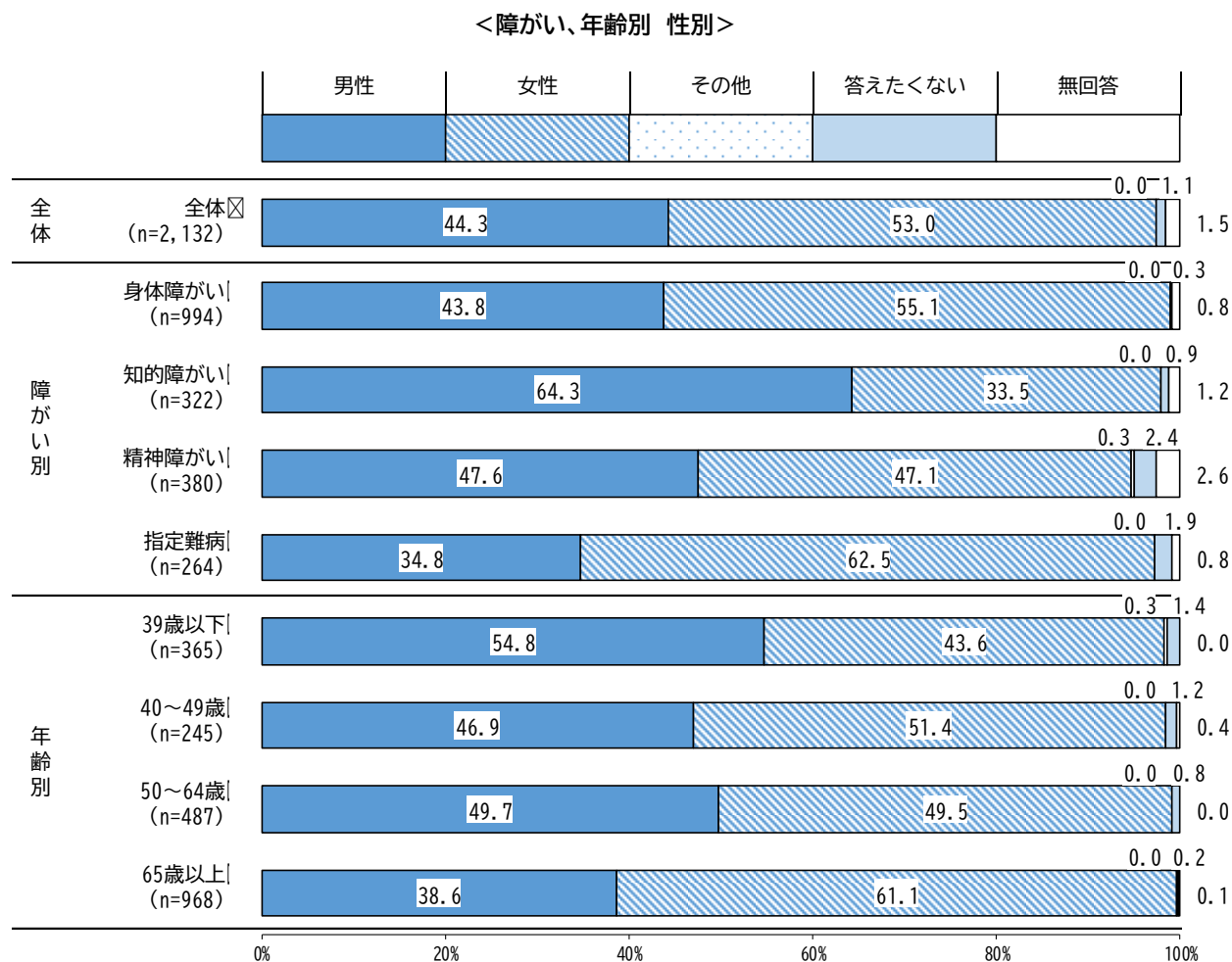
- 性別について、「女性」が53.0%で半数を超えており、「男性」が44.3%、「答えたくない」が1.1%となっています。

【障がい別】

- 知的障がいは「男性」が全体より20.0ポイント多く、指定難病は「女性」が全体より多くなっています。

【年齢別】

- 39歳以下は「男性」が全体より10.5ポイント多く、65歳以上は「女性」が多くなっています。



(3)暮らしている場所

問3 あなたは、現在どのようなところで暮らしていますか？(1つだけ○)

【全体】

- 暮らしている場所について、「家族などと一緒に暮らしている」が 70.2%で最も多く、次いで「ひとりで暮らしている」が 17.4%、「特別養護老人ホームなど高齢者のための入所施設で暮らしている」が 3.8%となっています。

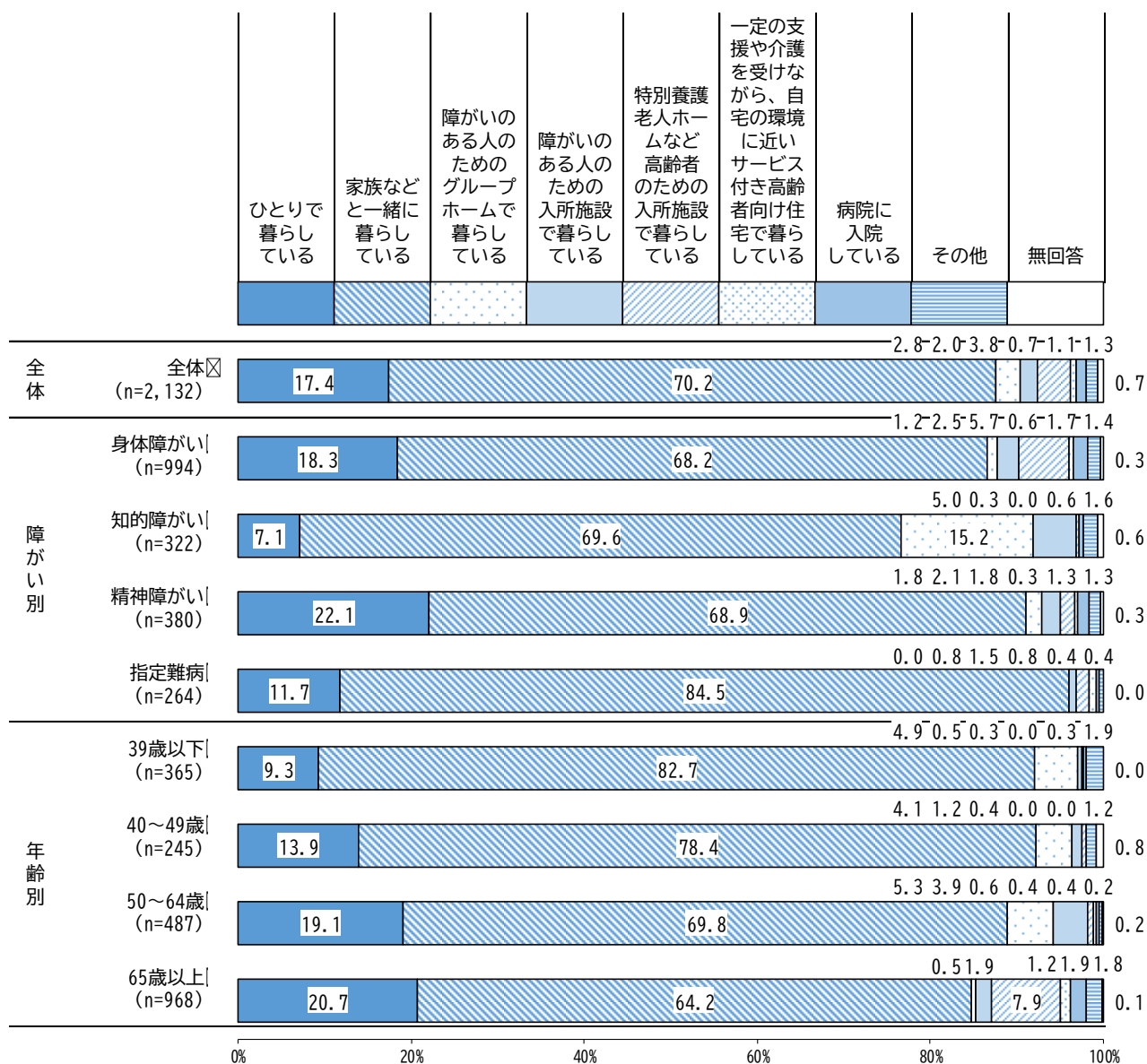
【障がい別】

- 知的障がいは「障がいのある人のためのグループホームで暮らしている」が全体より 12.4 ポイント多く、「ひとりで暮らしている」が 10.3 ポイント少なくなっています。指定難病は「家族などと一緒に暮らしている」が全体より 14.3 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 年齢が高くなるほど「ひとりで暮らしている」が多くなり、「家族などと一緒に暮らしている」は少なくなっています。39 歳以下は「家族などと一緒に暮らしている」が全体より 12.5 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 暮らしている場所>



(4)生活のための収入源

問4 あなたは生活するための収入をどのように得ていますか？(いくつでも○)

【全体】

- 生活のための収入源について、「自分の障がい年金や老齢年金など」が 47.8%で最も多く、次いで「自分で働いた給料」が 27.9%、「家族が働いたお金」が 24.1%となっています。

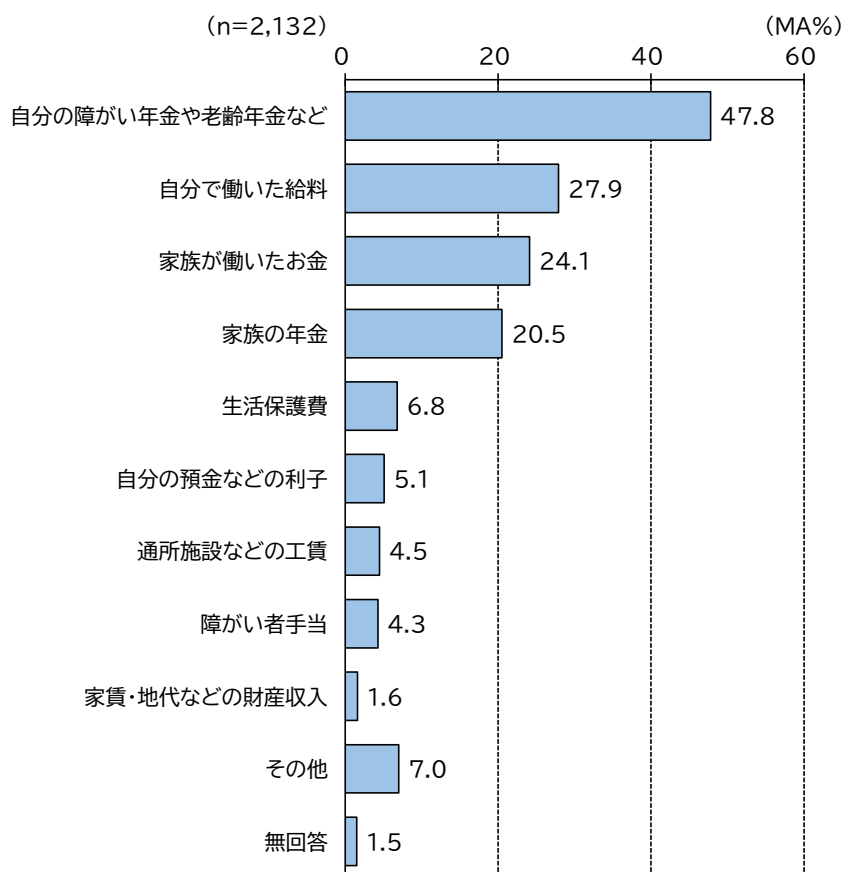
【障がい別】

- 身体障がいは「自分で働いた給料」が全体より 10.2 ポイント少なくなっています。知的障がいは「通所施設などの工賃」「自分の障がい年金や老齢年金など」「障がい者手当」「家族が働いたお金」が全体より 10.0～15.4 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「自分で働いた給料」「家族が働いたお金」が全体より 18.7～30.7 ポイント多く、「家族の年金」が 10.4 ポイント少なくなっています。40～64 歳は「自分で働いた給料」が全体より 17.5～18.6 ポイント多くなっています。65 歳以上は「自分の障がい年金や老齢年金など」が全体より 15.0 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 生活のための収入源>



単位：％

		母数 (n)	生活のための収入源											単位：%
			や 老 自 分 の 障 が い 年 金 な ど	自 分 で 働 い た 給 料	家 族 が 働 い た お 金	家 族 の 年 金	生 活 保 護 費	利 子	自 分 の 預 金 な ど の	賃 金 通 所 施 設 な ど の 工	障 が い 者 手 当	財 産 賃 ・ 地 代 な ど の 入 入	そ の 他	無 回 答
全体		2,132	47.8	27.9	24.1	20.5	6.8	5.1	4.5	4.3	1.6	7.0	1.5	
障 が い 別	身体障がい	994	57.0	▼ 17.7	15.2	22.1	5.1	5.2	1.7	4.7	2.0	9.6	1.7	
	知的障がい	322	△ 59.0	32.6	△ 34.8	19.9	5.3	1.9	△ 19.9	△ 14.3	0.3	0.9	1.2	
	精神障がい	380	48.2	32.1	31.8	14.2	16.1	6.1	8.4	5.8	1.3	3.9	1.1	
	指定難病	264	▼ 36.4	33.3	29.2	25.0	1.1	5.7	1.5	1.1	2.3	6.4	0.4	
年 齢 別	39歳以下	365	38.6	△ 46.6	△ 54.8	▼ 10.1	4.9	2.5	13.4	6.3	0.8	1.6	0.5	
	40～49歳	245	38.0	△ 46.5	26.9	23.3	6.5	4.9	8.6	7.8	1.2	2.4	0.4	
	50～64歳	487	▼ 32.0	△ 45.4	24.2	16.2	10.1	5.7	4.7	6.0	1.0	5.1	0.4	
	65歳以上	968	△ 62.8	▼ 8.4	▼ 11.4	26.1	6.0	6.0	0.1	2.1	2.5	11.5	1.4	

(5)手帳の所持状況等

問5 あなたがお持ちの手帳の種類・等級(程度)は何ですか？また、自立支援医療の受給や発達障がいの診断を受けていますか？(いくつでも○)

【全体】

- 手帳の所持状況等について、「身体障がい者手帳」が 46.6%で最も多く、次いで「自立支援医療(精神通院)の医療費助成を受けている」が 25.4%、「精神障がい者保健福祉手帳」が 17.8%となっています。

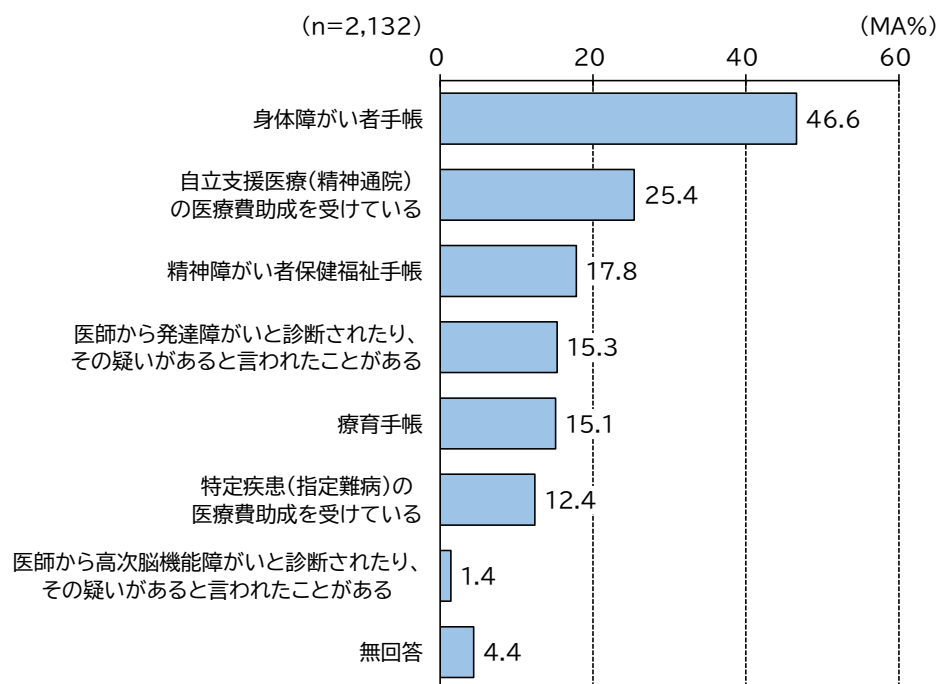
【障がい別】

- 知的障がいは「医師から発達障がいと診断されたり、その疑いがあると言われたことがある」が全体より 22.3 ポイント多くなっています。精神障がいは「自立支援医療(精神通院)の医療費助成を受けている」が全体より 30.7 ポイント多くなっています。指定難病のうち 23.9%は「特定疾患(指定難病)の医療費助成を受けている」に加えて「身体障がい者手帳」を所持しています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「療育手帳」「精神障がい者保健福祉手帳」「医師から発達障がいと診断されたり、その疑いがあると言われたことがある」「自立支援医療(精神通院)の医療費助成を受けている」が全体より 14.1～32.3 ポイント多くなっています。40～64 歳は「自立支援医療(精神通院)の医療費助成を受けている」が全体より 12.0～14.6 ポイント多くなっています。65 歳以上は「身体障がい者手帳」が全体より 27.8 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 手帳の所持状況等>



単位：％

		母数 (n)	手帳の所持状況等							
			身体障がい者手帳	自立支援医療（精神通院）の療費助成を受けている	精神障がい者保健福祉手帳	医師から発達障がいと診断されたり、その疑いがある	療育手帳	特定疾患（指定難病）の医療費助成を受けている	医師から高次脳機能障がいと診断されたり、その疑いがある	無回答
全体		2,132	46.6	25.4	17.8	15.3	15.1	12.4	1.4	4.4
障がい別	身体障がい	994	△100.0	▼ 2.9	▼ 4.9	14.0	6.1	6.3	2.1	-
	知的障がい	322	▼ 18.9	15.5	9.6	△ 37.6	△100.0	▼ 1.6	1.2	-
	精神障がい	380	▼ 12.9	△ 56.1	△100.0	21.8	8.2	▼ 2.4	2.4	-
	指定難病	264	▼ 23.9	▼ 6.1	▼ 3.4	▼ 4.5	▼ 1.9	△100.0	2.3	-
年齢別	39歳以下	365	▼ 11.8	△ 39.5	△ 34.2	△ 32.6	△ 47.4	4.9	1.1	0.3
	40～49歳	245	▼ 21.2	△ 40.0	25.7	15.1	24.9	15.1	1.2	2.9
	50～64歳	487	▼ 33.3	△ 37.4	24.2	11.1	13.3	17.9	2.1	1.4
	65歳以上	968	△ 74.4	▼ 10.5	▼ 5.5	11.2	▼ 1.1	11.8	1.1	6.6

<手帳の重複所持状況>

(件)

	所持者数	単一手帳等所持者	重複所持者						
			身体障がい者手帳	療育手帳	精神障がい者保健福祉手帳	発達障がい	高次脳機能障がい	自立支援医療	指定難病
身体障がい者手帳	994	709	285	61	49	139	21	29	63
療育手帳	322	127	195	61	31	121	4	50	5
精神障がい者保健福祉手帳	380	105	275	49	31	83	9	213	9
発達障がい	327	7	320	139	121	83	6	85	12
高次脳機能障がい	30	1	29	21	4	9	6	5	6
自立支援医療	542	257	285	29	50	213	85	5	16
指定難病	264	186	78	63	5	9	12	6	16

■ 身体障がい者手帳の総合等級

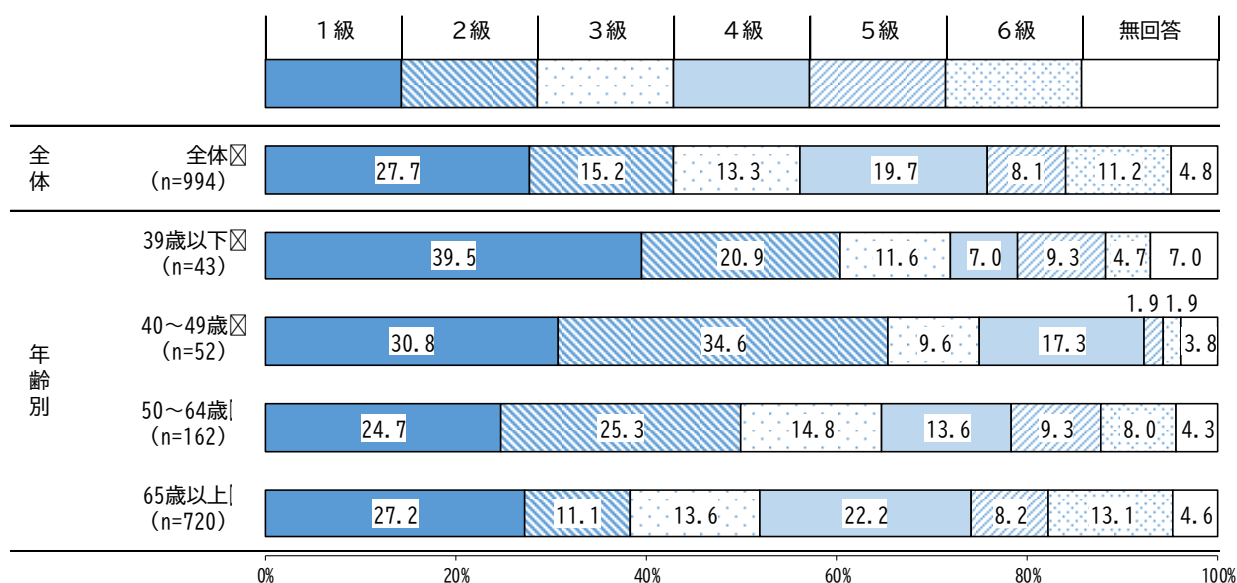
【全体】

- 身体障がい者手帳の等級について、「1級」が 27.7%で最も多く、次いで「4級」が 19.7%、「2級」が 15.2%となっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「1級」が全体より 11.8 ポイント多く、40～64 歳は「2級」が全体より 10.1～19.4 ポイント多くなっています。65 歳以上は 64 歳未満に比べて4級から6級の割合が多くなっています。

<年齢別 身体障がい者手帳の等級>



■ 療育手帳の判定

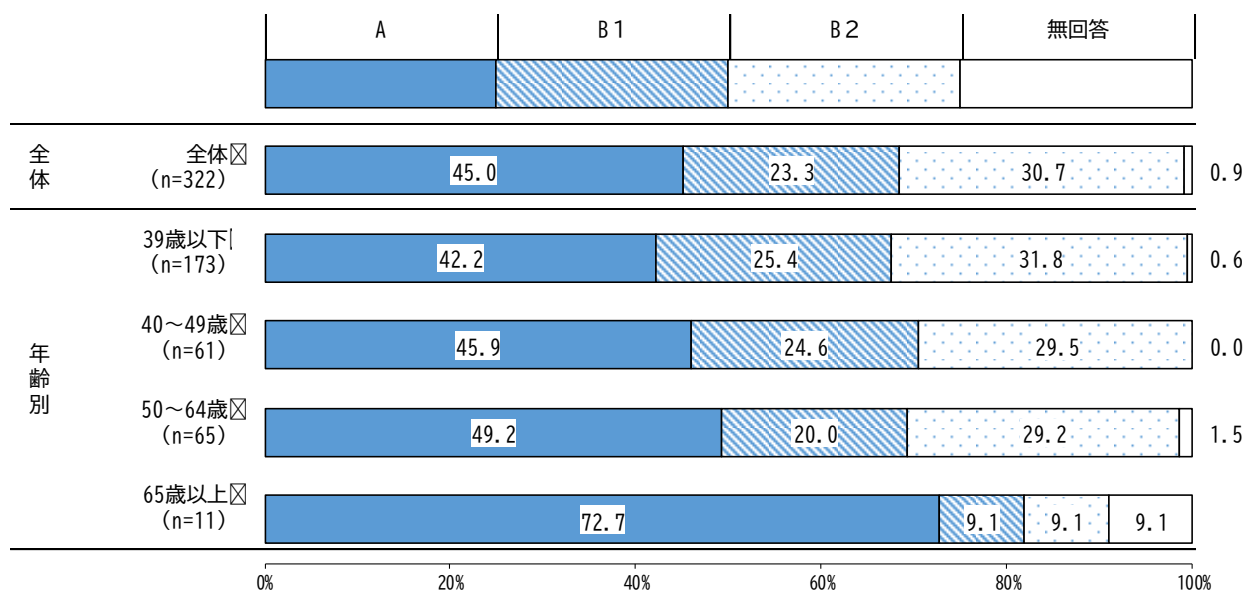
【全体】

- 判定は、「A」が 45.0%で最も多く、次いで「B2」が 30.7%、「B1」が 23.3%となっています。

【年齢別】

- 64 歳以下の判定状況に大きな違いはありませんが、65 歳以上は、「A」が 72.7%を占めています。

<年齢別 療育手帳の判定>



■ 精神障がい者保健福祉手帳の等級

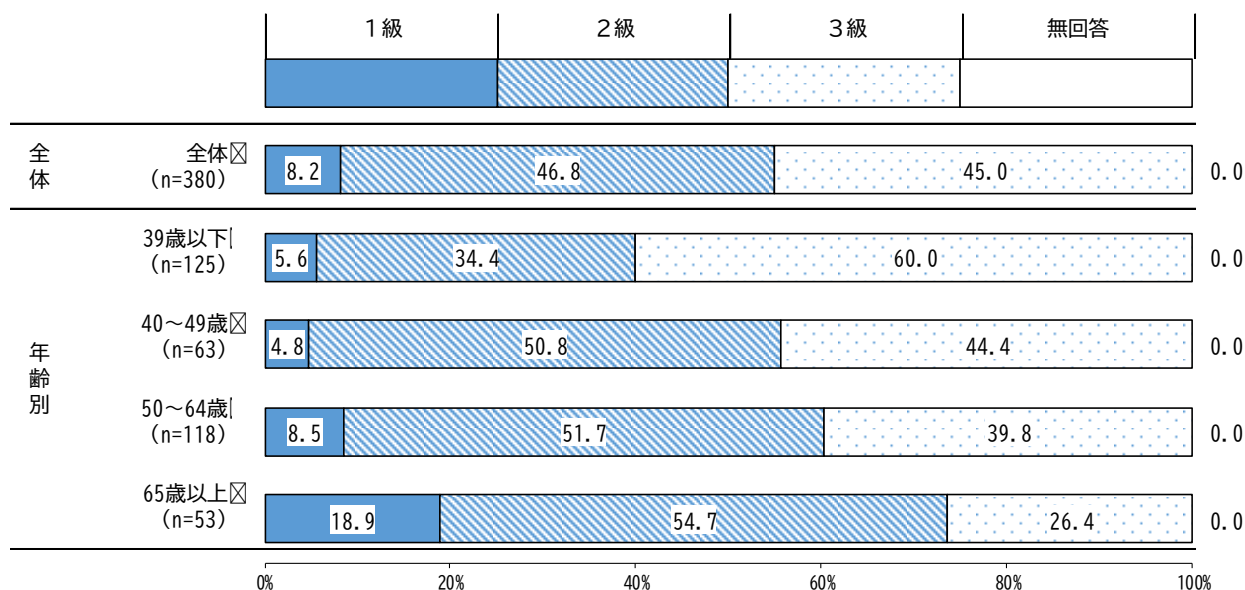
【全体】

- 精神障がい者保健福祉手帳の等級について、「2級」が46.8%で最も多く、次いで「3級」が45.0%、「1級」が8.2%となっています。

【年齢別】

- 39歳以下は「3級」が全体より15.0ポイント多く、「2級」が12.4ポイント少なくなっています。年齢が高くなるほど、1級、2級の割合が多くなる傾向となっています。

<年齢別 精神障がい者保健福祉手帳の等級>



(6)障がいの種類

問5で1を選んだ方にお聞きします。

問5-1 身体障がい者手帳をお持ちの方にお聞きします。障がいの種類は何ですか？(いくつでも○)

【全体】

- 障がいの種類について、「肢体不自由」が 41.3%で最も多く、次いで「内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓)」が 31.4%、「聴覚・平衡機能障がい」が 8.5%となっています。

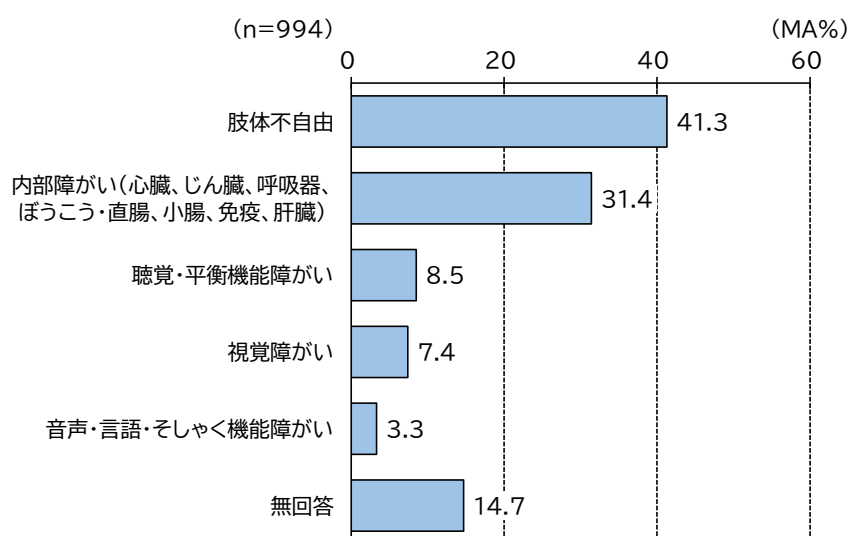
【障がい別】

- 知的障がい、指定難病は「肢体不自由」が全体より 11.2～12.7 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39歳以下は「肢体不自由」が全体より 21.5 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 障がいの種類>



単位：％

		母数 (n)	障がいの種類					
			肢体不自由	腸、臓、内部障がい（心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓）	聴覚・平衡機能障がい	視覚障がい	障がい音声・言語・そしゃく機能	無回答
全体		994	41.3	31.4	8.5	7.4	3.3	14.7
障がい別	身体障がい	994	41.3	31.4	8.5	7.4	3.3	14.7
	知的障がい	61	△ 52.5	▼ 16.4	8.2	9.8	11.5	18.0
	精神障がい	49	38.8	▼ 20.4	12.2	4.1	12.2	32.7
	指定難病	63	△ 54.0	33.3	3.2	7.9	4.8	7.9
年齢別	39歳以下	43	△ 62.8	27.9	2.3	2.3	7.0	9.3
	40～49歳	52	40.4	32.7	11.5	7.7	1.9	15.4
	50～64歳	162	45.1	24.7	10.5	9.9	5.6	14.2
	65歳以上	720	39.2	33.1	8.2	7.1	2.8	15.1

(7)「発達障がい」を初めて認識したきっかけ

問5で4を選んだ方にお聞きします。

問6「発達障がい」を初めて認識したきっかけは、次のうちどれにあてはまりますか？(1つだけ○)

【全体】

- 「発達障がい」を初めて認識したきっかけについて、「病院で医師から指摘された」が36.4%で最も多く、次いで「その他」が20.5%、「家族が気づいた」が14.7%となっています。

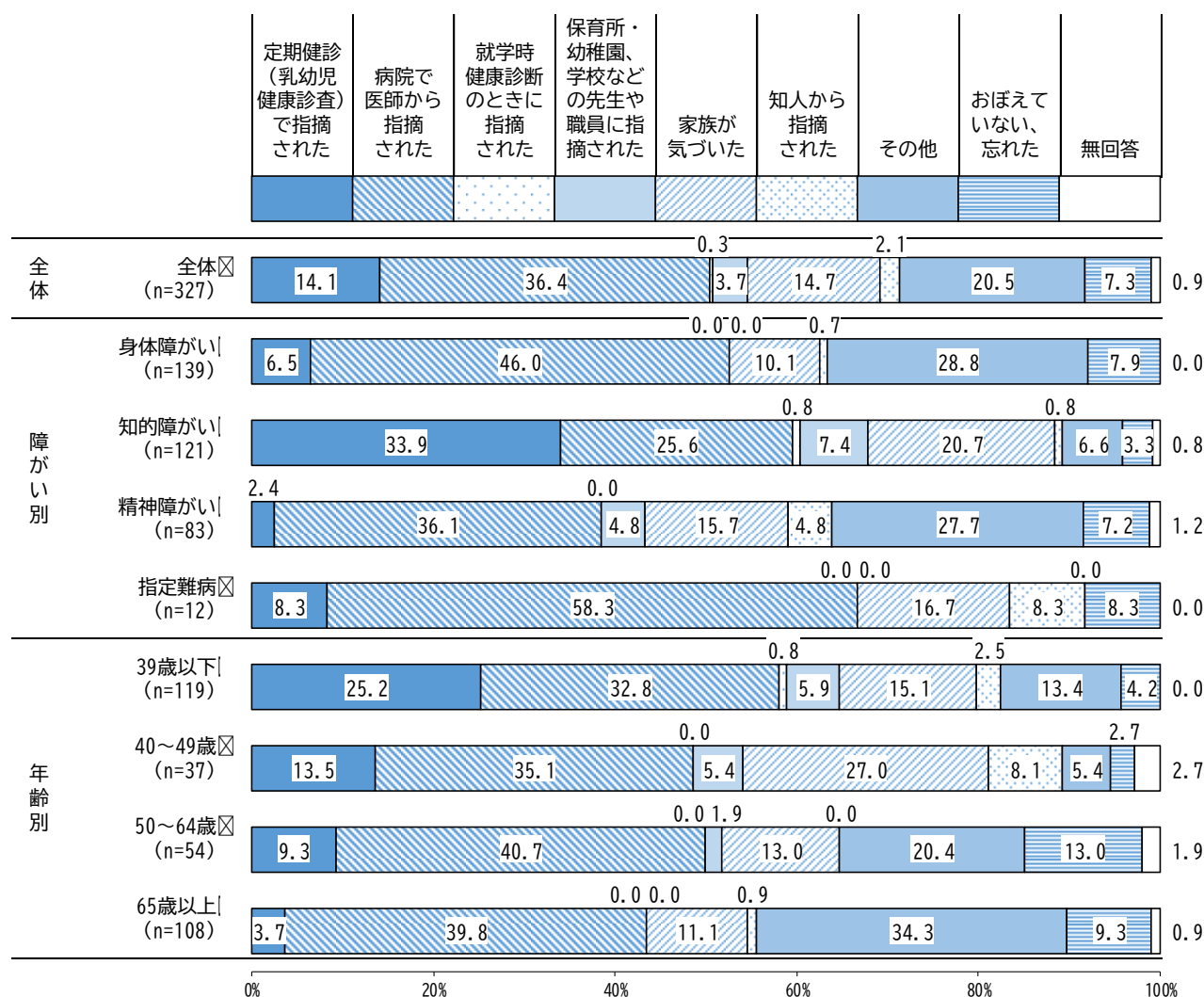
【障がい別】

- 知的障がいは「定期健診(乳幼児健康診査)で指摘された」が全体より19.8ポイント多く、「病院で医師から指摘された」「その他」が10.8～13.9ポイント少なくなっています。

【年齢別】

- 39歳以下は「定期健診(乳幼児健康診査)で指摘された」が全体より11.1ポイント多くなっています。40～49歳は「家族が気づいた」が全体より12.3ポイント多くなっています。65歳以上は「その他」が全体より13.8ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別「発達障がい」を初めて認識したきっかけ>

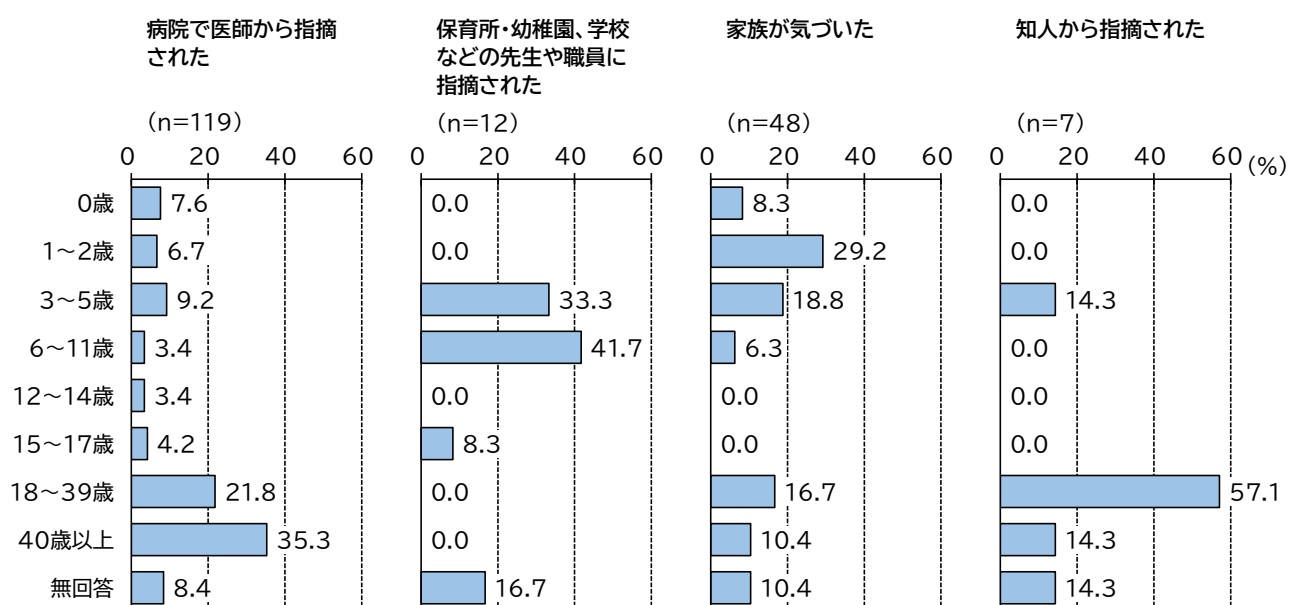


■ 指摘された、気づいたときの年齢

【全体】

- 病院で医師から指摘されたときの年齢について、「40 歳以上」が 35.3%で最も多く、次いで「18～39 歳」が 21.8%、「3～5歳」が 9.2%となっています。
- 保育所・幼稚園、学校などの先生や職員に指摘されたときの年齢について、「6～11 歳」が 41.7%で最も多く、次いで「3～5歳」が 33.3%、「15～17 歳」が 8.3%となっています。
- 家族が気づいたときの年齢について、「1～2歳」が 29.2%で最も多く、次いで「3～5歳」が 18.8%、「18～39 歳」が 16.7%となっています。
- 知人から指摘されたときの年齢について、「18～39 歳」が 57.1%で最も多く、次いで「3～5歳」「40 歳以上」が 14.3%となっています。

<指摘された、気づいたときの年齢>



(8)医療的ケアの状況

全員にお聞きします。

問7 あなたは、医療的ケアを受けていますか？(1つだけ○)

※医療的ケアとは、「たん吸引」「中心静脈栄養法(IVH)」「人工呼吸器(レスピレーター)」「気管切開の処置」「経管栄養(胃ろうなど)」などを指します。

【全体】

○ 医療的ケアの状況について、「受けている」が6.1%、「受けていない」が88.4%となっています。

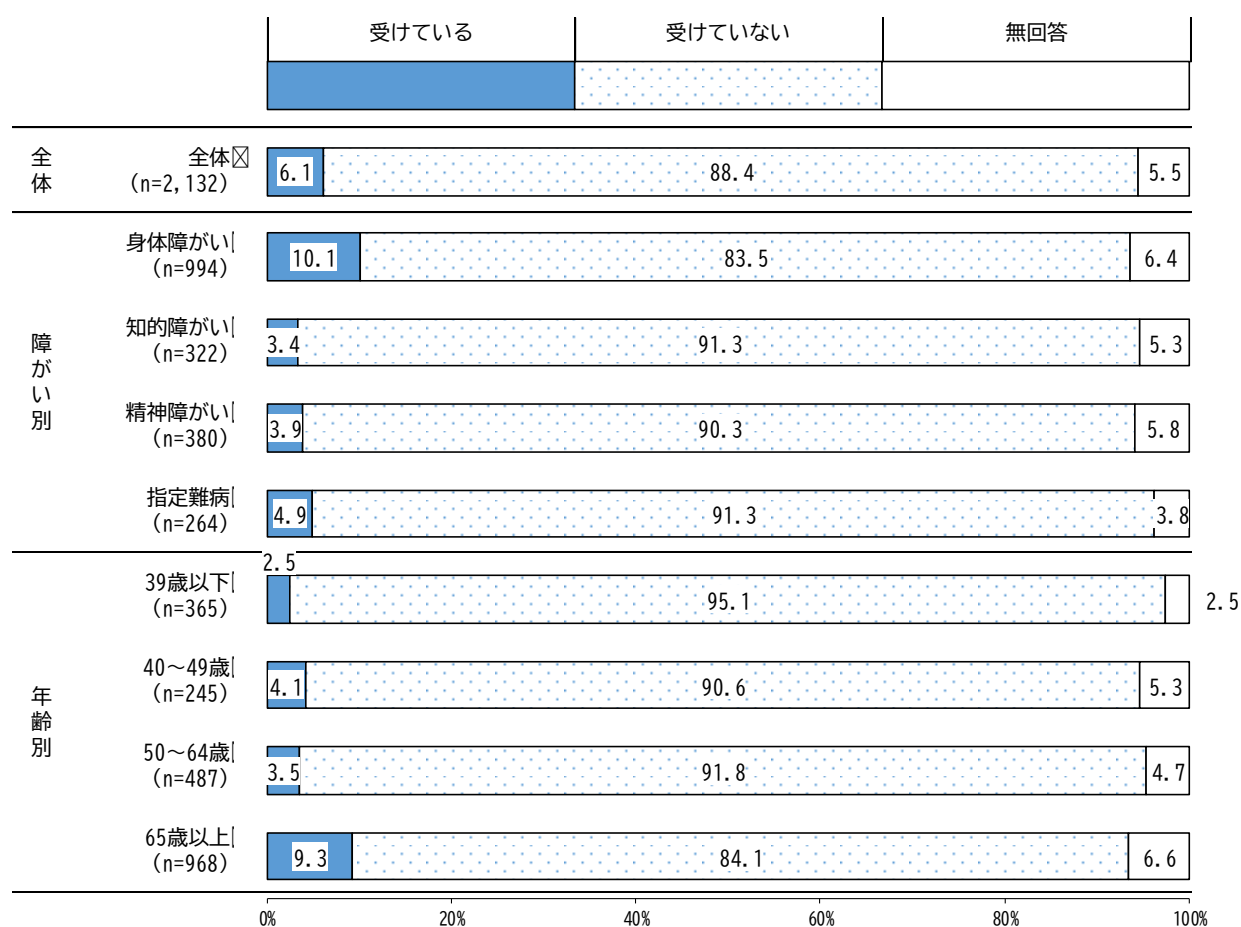
【障がい別】

○ 身体障がいは「受けている」が10.1%で、他の障がいより多くなっています。

【年齢別】

○ 65歳以上は「受けている」が9.3%で、64歳以下より多くなっています。

<障がい、年齢別 医療的ケアの状況>



【医療的ケアの内容】

内容	件数	内容	件数
人工透析	17	気管切開処置	2
たん吸引	14	中心静脈栄養法	2
胃ろう	13	ポート	2
経管栄養	11	その他	14
ストーマ	5	膀胱カテーテル、尿管ステント、摘便、DBS(パーキンソン病)、HOT療法、P-バック、ウロストーマ管理、シーパップ着用、ニップ、バク ロフェン骨髄注療法、静脈注射、吸入、耳管通気、夜間人工呼吸器	
在宅酸素療法	4		
ペースメーカー	4		
導尿	3		
尿管バルーン	3		

(9)障がい支援区分の認定

問8 あなたは、障がい支援区分の認定を受けていますか？(1つだけ○)

※障がい支援区分とは、障がいの多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すものです。

【全体】

○ 障がい支援区分の認定について、「受けている」が12.1%、「受けていない」が72.8%となっています。

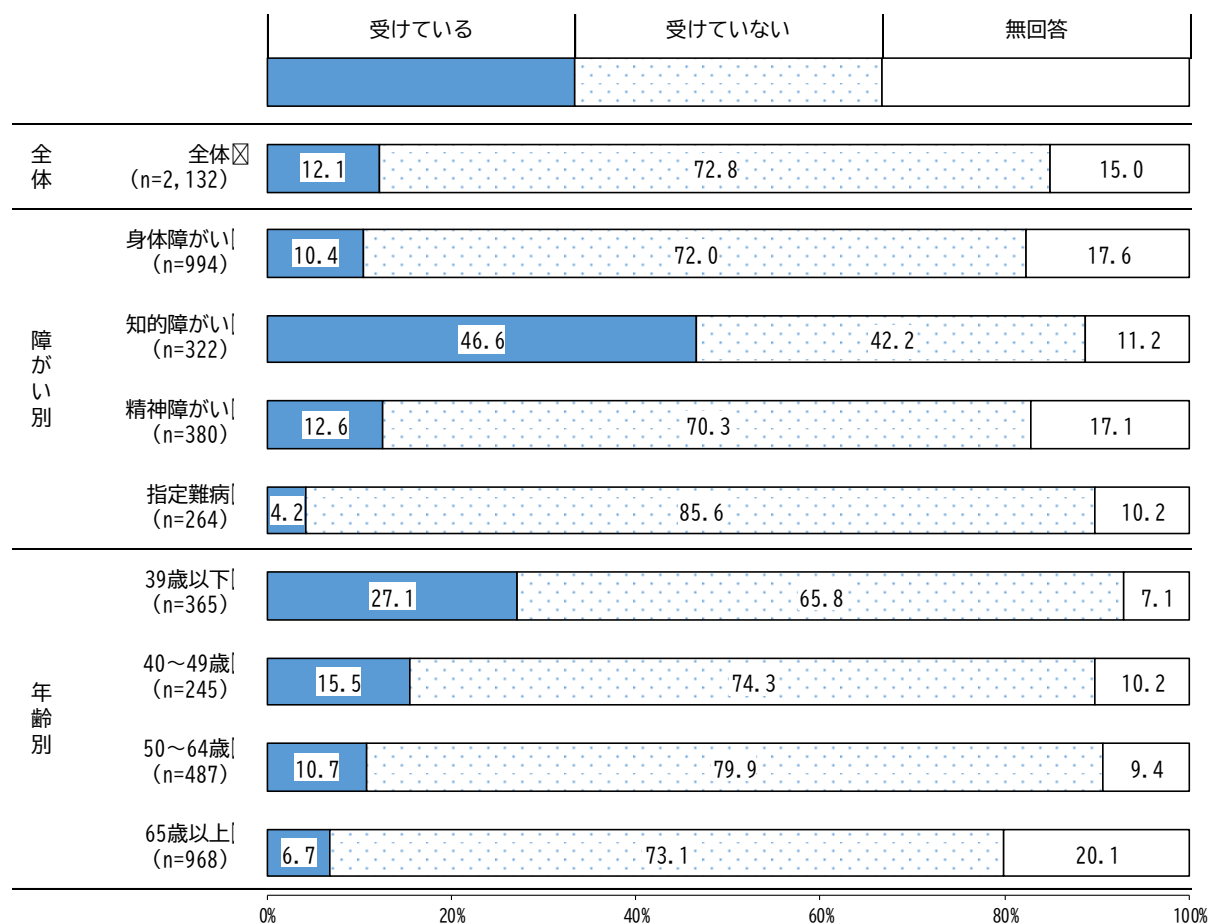
【障がい別】

○ 知的障がいは「受けている」が全体より34.5ポイント多くなっています。指定難病は「受けていない」が全体より12.8ポイント多くなっています。

【年齢別】

○ 39歳以下は「受けている」が全体より15.0ポイント多くなっています。「受けている」は年齢が低いほど多くなっています。

<障がい、年齢別 障がい支援区分の認定>



■ 受けている障がい支援区分

【全体】

- 受けている障がい支援区分について、「区分4」が 20.1%で最も多く、次いで「区分2」が 19.7%、「区分5」が 16.6%となっています。

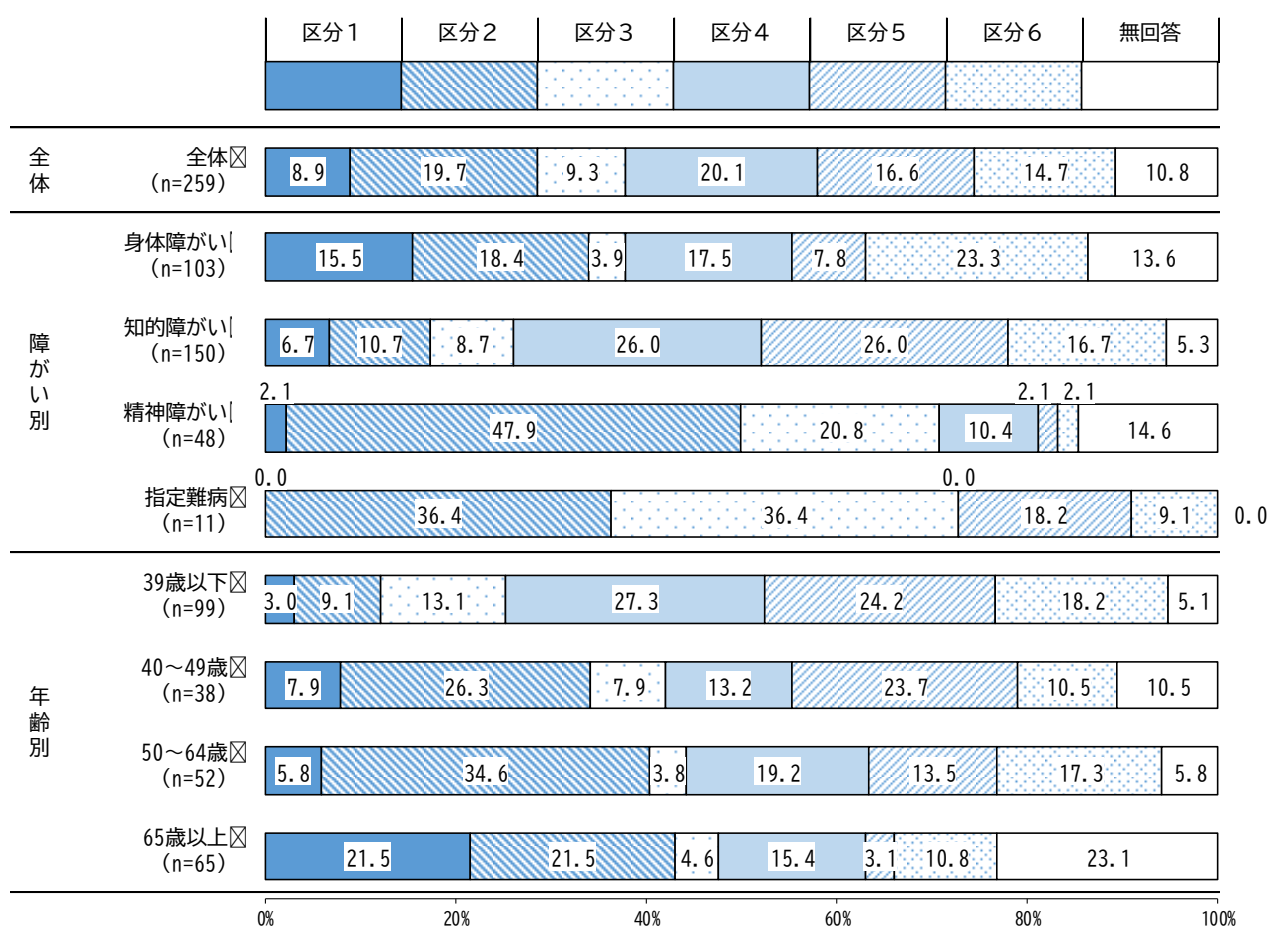
【障がい別】

- 精神障がいは「区分2」が全体より 28.2 ポイント多くなっています。知的障がいは「区分5」「区分6」を合わせて 42.7%となっています。

【年齢別】

- 50～64 歳は「区分2」が全体より 14.9 ポイント多くなっています。39 歳以下は「区分5」「区分6」を合わせて 42.4%となっています。

<障がい、年齢別 受けている障がい支援区分>



(10) 介助や支援の必要性

問9 次のような動作のうち、人の介助や支援(指示、声かけ、促しなども含む)を必要とされるものはありますか？(いくつでも○)

※補装具や自助具などを使用されている方は、それらを使用した状態の動作であてはまるものを選んでください。

【全体】

- 介助や支援の必要性について、「介助や支援は必要ない」が 42.1%で最も多く、次いで「炊事・掃除・洗濯などの家事」が 27.2%、「外出や日常の買い物」が 26.8%となっています。

【障がい別】

- 知的障がいは「食事をする」「トイレを使う」「洗顔・歯磨き・化粧・髪をとく」「服を着たり、脱いだりする」「風呂に入る」「外出や日常の買い物」「バスや電車を利用する」「自分の考えを相手に伝える」「相手が話すことを理解する」「薬を飲む」「炊事・掃除・洗濯などの家事」「お金の計算や管理をする」「文字を読んだり書いたりする」が全体より 10.9～44.1 ポイント多くなっています。指定難病は「介助や支援は必要ない」が全体より 18.5 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「自分の考えを相手に伝える」「相手が話すことを理解する」「薬を飲む」「炊事・掃除・洗濯などの家事」「お金の計算や管理をする」「文字を読んだり書いたりする」が全体より 11.7～20.8 ポイント多くなっています。50～64 歳は「介助や支援は必要ない」が全体より 12.5 ポイント多くなっています。

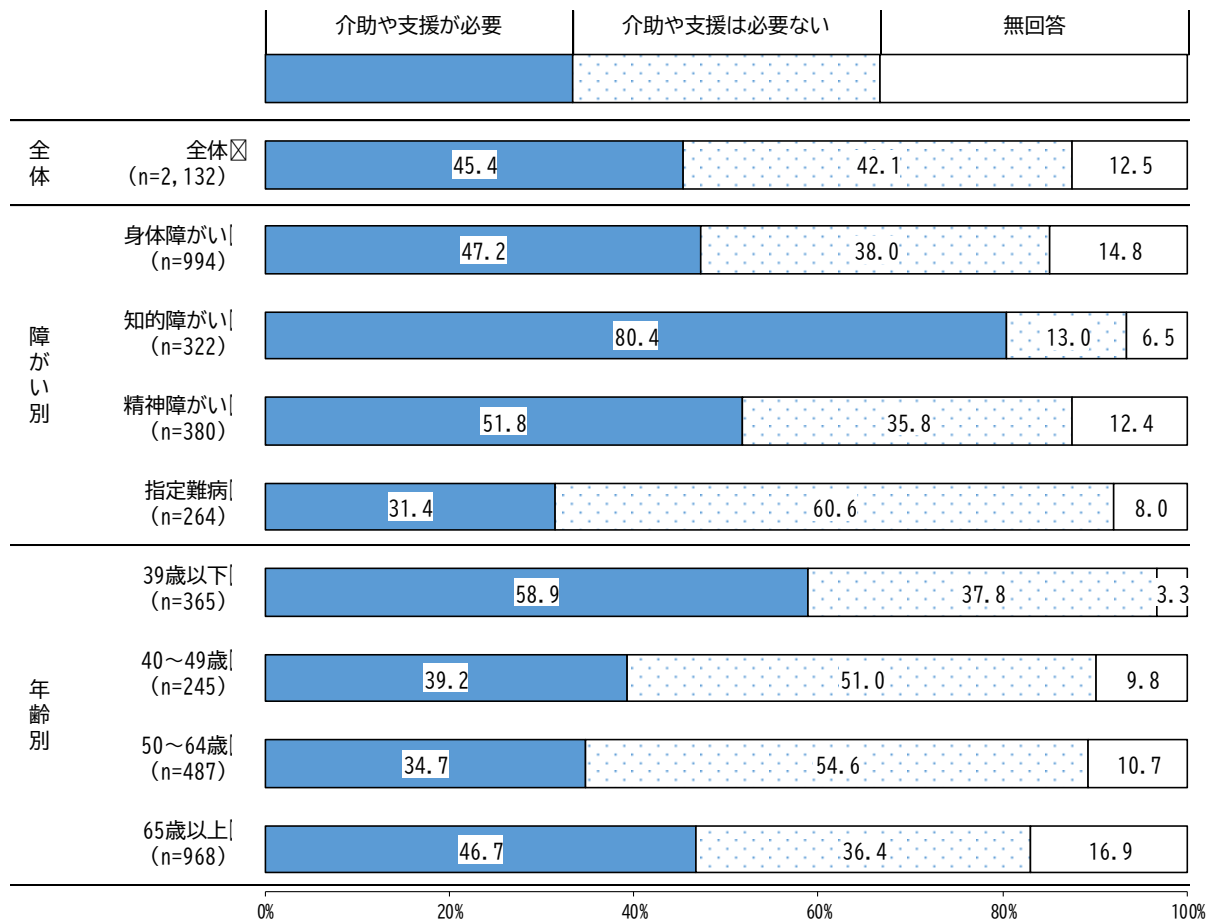
<障がい、年齢別 介助や支援の必要性>

単位：％

		母数 (n)	介助や支援の必要性								
			炊事・掃除・洗濯などの家事	外出や日常の買い	お金の計算や管理をする	バスや電車を利用する	風呂に入る	薬を飲む	文字を読んだり書いたりする	相手が話すことを理解する	自分の考えを相手に伝える
全体		2,132	27.2	26.8	22.4	22.2	20.4	17.3	14.1	13.9	13.7
障がい別	身体障がい	994	26.2	29.0	17.5	23.8	23.6	15.9	13.1	9.6	7.9
	知的障がい	322	△ 58.4	△ 51.9	△ 66.5	△ 50.3	△ 34.2	△ 42.2	△ 46.6	△ 47.8	△ 48.8
	精神障がい	380	30.0	24.2	24.7	17.4	17.6	16.3	9.2	16.1	18.7
	指定難病	264	▼ 17.0	21.2	▼ 9.1	13.3	12.1	8.3	8.3	▼ 3.8	4.2
年齢別	39歳以下	365	△ 42.2	33.2	△ 42.5	31.8	25.2	△ 29.0	△ 26.0	△ 31.8	△ 34.5
	40～49歳	245	24.9	22.9	22.0	20.4	14.3	14.3	13.9	16.3	15.1
	50～64歳	487	18.7	19.7	14.8	14.4	10.9	8.2	8.8	8.4	9.2
	65歳以上	968	26.2	29.4	18.4	23.1	25.1	18.2	11.8	9.2	7.6

単位：％

		母数 (n)	介助や支援の必要性								
			だ 服を 着たり、 脱い する	粧洗 ・顔・ 髪を とく・ 化	トイ レを 使う	食 事 を する	家 の 中 を 移 動 する	り寝 返り、 起 き あ が する	そ 他	な 介 助 や 支 援 は 必 要	無 回 答
全体		2,132	13.6	11.9	11.6	10.1	8.2	6.8	5.3	42.1	12.5
障 が い 別	身体障がい	994	17.7	12.0	14.0	11.0	11.7	9.8	6.2	38.0	14.8
	知的障がい	322	△ 24.5	△ 30.7	△ 24.8	△ 22.0	9.6	7.5	8.4	▼ 13.0	6.5
	精神障がい	380	6.6	12.4	6.1	10.0	4.2	4.2	5.5	35.8	12.4
	指定難病	264	11.7	5.7	8.3	6.4	8.7	7.6	4.9	△ 60.6	8.0
年 齢 別	39歳以下	365	15.1	20.5	13.7	14.5	4.9	4.1	7.1	37.8	3.3
	40～49歳	245	6.5	8.6	7.3	8.2	4.1	1.6	6.9	51.0	9.8
	50～64歳	487	8.6	7.6	6.8	5.7	3.5	3.9	3.9	△ 54.6	10.7
	65歳以上	968	17.9	11.5	14.5	11.3	12.9	10.5	5.2	36.4	16.9



※「介助や支援が必要」は問9で「介助や支援は必要ない」以外のいずれか1つを選択した割合

(11)主な介助・支援者

介助や支援が必要な方にお聞きます。

問10 あなたを主に介助・支援している方はどなたですか？(1つだけ○)

【全体】

- 主な介助・支援者について、「親」が 28.3%で最も多く、次いで「夫・妻・パートナーなど」が 23.2%、「ホームヘルパーや、施設・グループホームの職員」が 21.0%となっています。

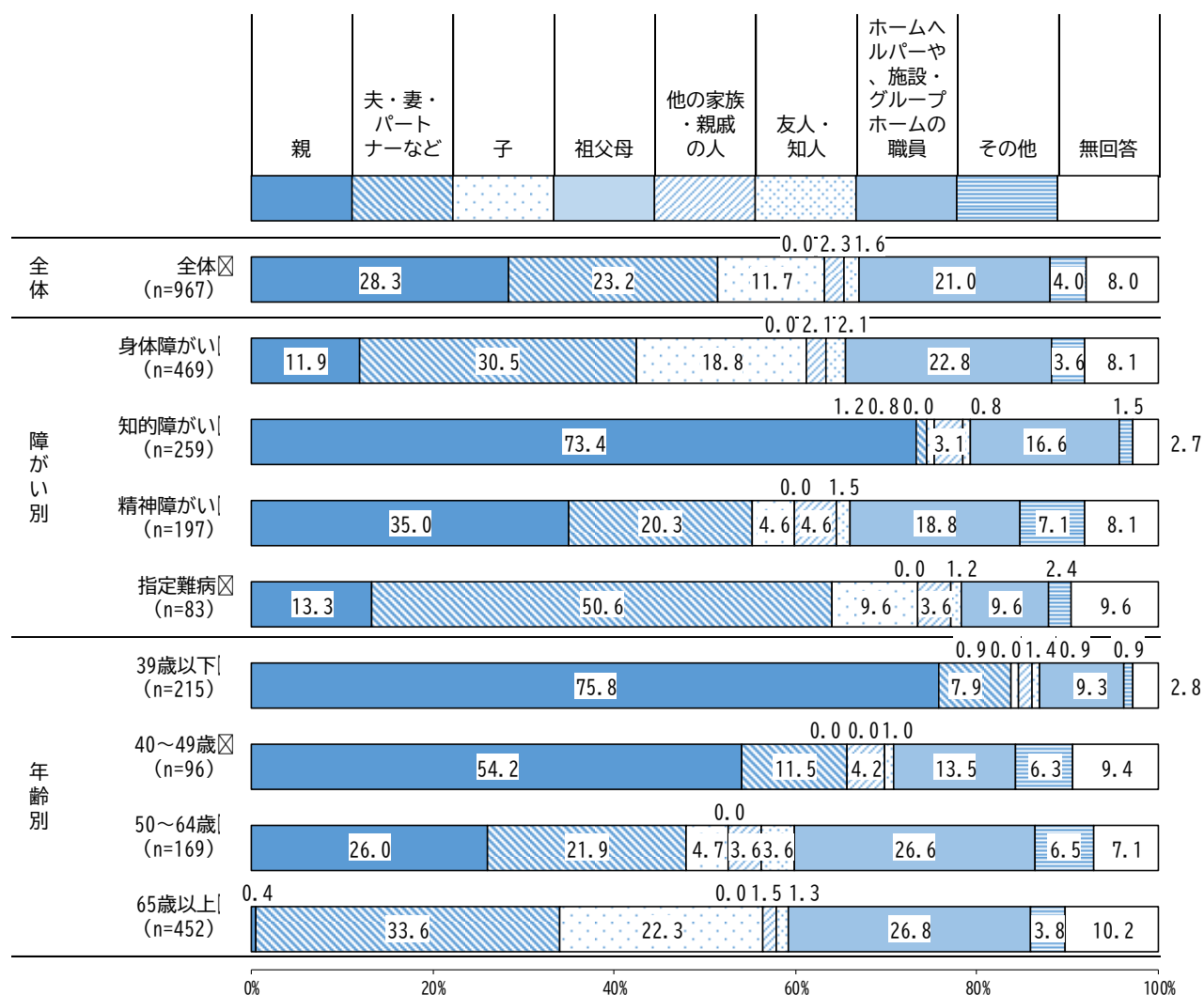
【障がい別】

- 知的障がいは「親」が全体より 45.1 ポイント多く、指定難病は「夫・妻・パートナーなど」が全体より 27.4 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「親」が全体より 47.5 ポイント多く、「ホームヘルパーや、施設・グループホームの職員」が 11.7 ポイント少なくなっています。40～49 歳は「親」が全体より 25.9 ポイント多くなっています。65 歳以上は「夫・妻・パートナーなど」「子」が全体より 10.4～10.6 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 主な介助・支援者>



(12)主な介助・支援者の年齢

問10で1～6を選んだ方にお聞きします。

問11 あなたを主に介助・支援している方の年齢は？(1つだけ○)

【全体】

- 主な介助・支援者の年齢について、「50 歳代」が 24.5%で最も多く、次いで「60 歳代」が 22.2%、「70 歳代」が 20.7%となっています。

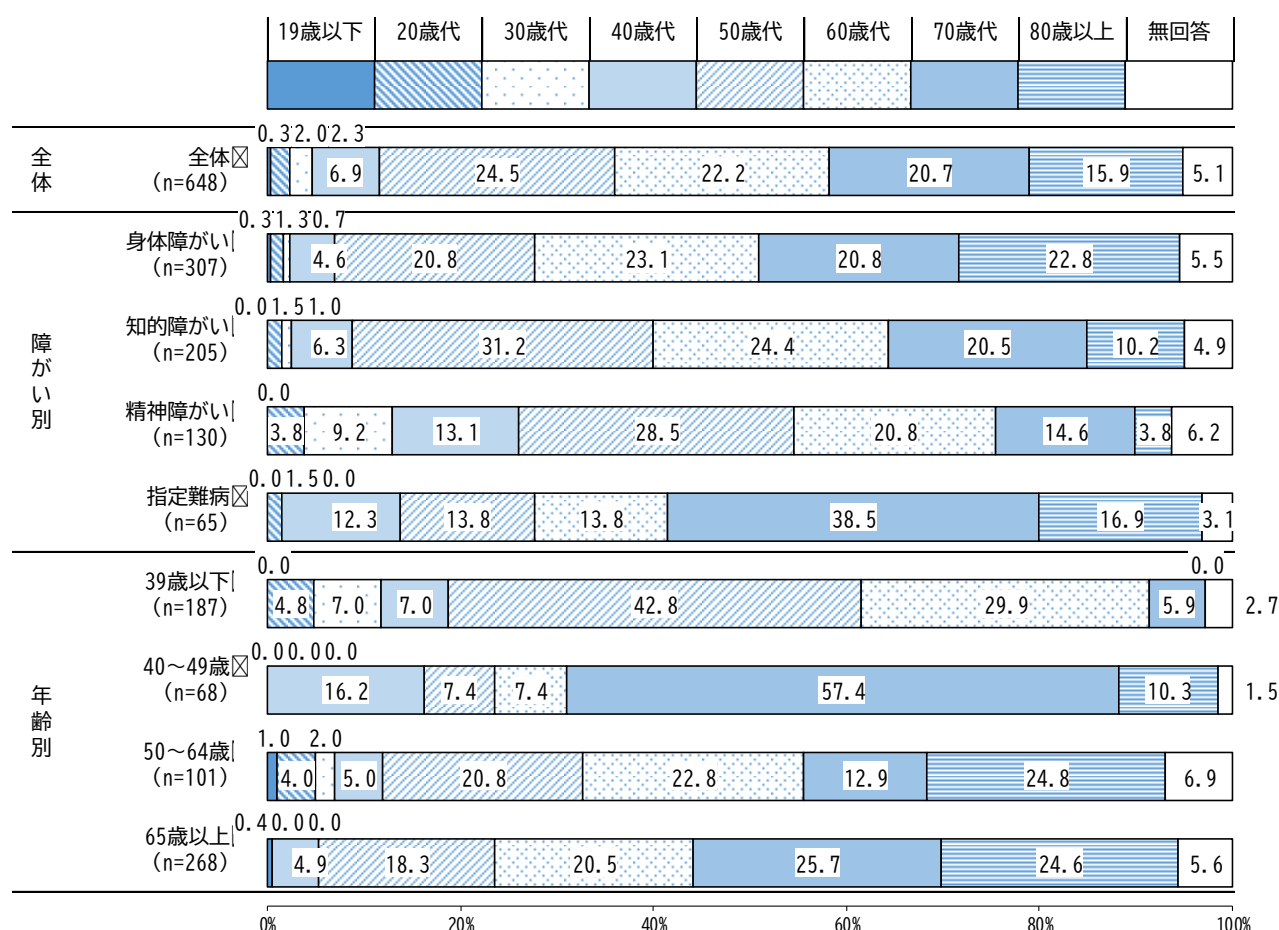
【障がい別】

- 身体障がいは「50 歳代」から「80 歳以上」がそれぞれ2割を超えています。知的障がいは「50 歳代」と「60 歳代」で 55.6%を占めています。精神障がいは、他の障がいに比べて支援者の年齢層が幅広く、指定難病は「70 歳代」「80 歳以上」で 55.4%を占めています。

【年齢別】

- 49 歳以下では、支援者の年齢層が概ね本人と同年齢以上ですが 50 歳以上では、本人より若い年齢層が増加しています。

<障がい、年齢別 主な介助・支援者の年齢>



(13)1日あたりの介助時間

問12 あなたを主に介助・支援している方が行うあなたへの介助時間は1日あたりどの程度ですか？
(1つだけ○)

【全体】

- 1日あたりの介助時間について、「1時間未満」が 27.9%で最も多く、次いで「1～3時間未満」が 25.5%、「12 時間以上」が 15.1%となっています。

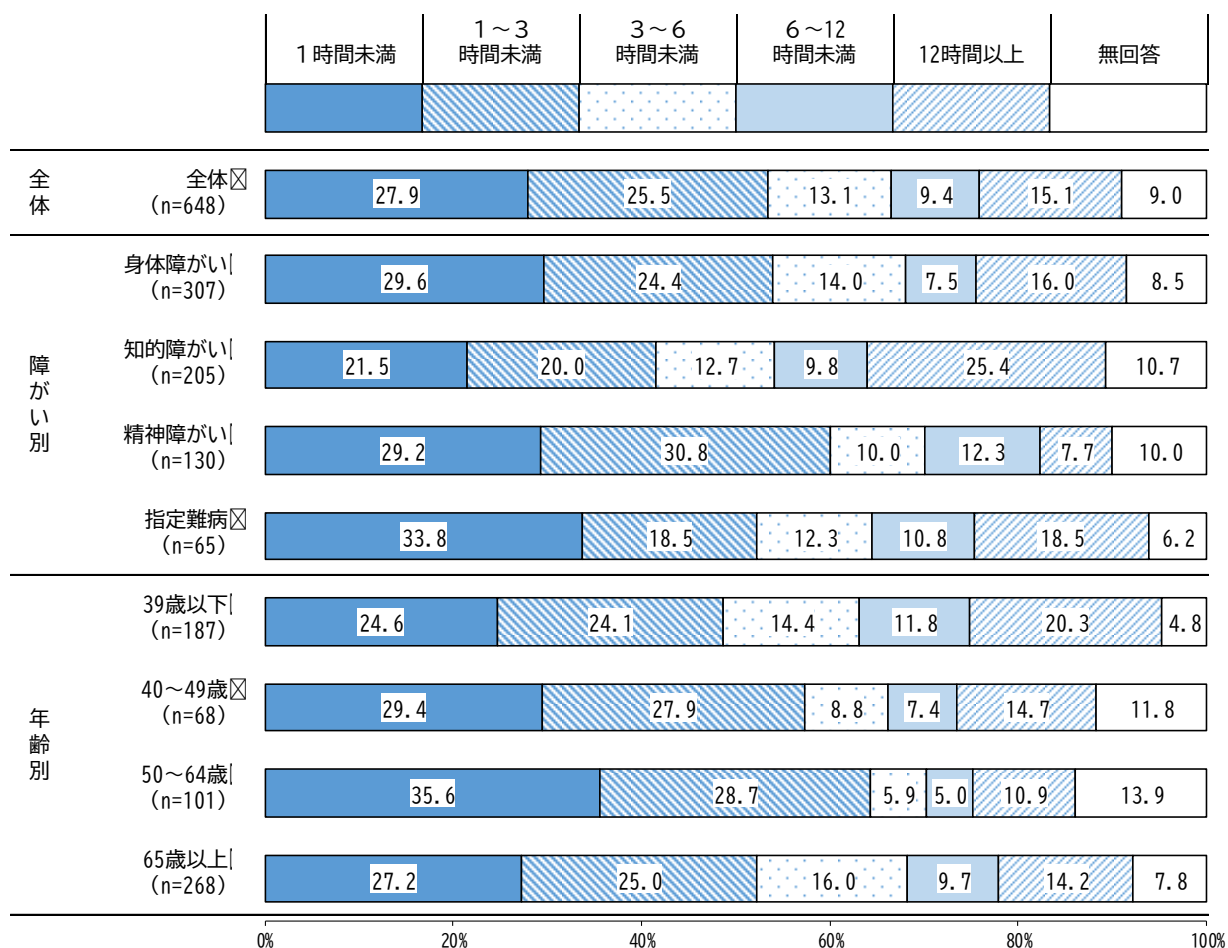
【障がい別】

- 知的障がいは「12 時間以上」が全体より 10.3 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 50～64 歳は「1時間未満」が他の年齢よりも多く、「1～3時間未満」を合わせた割合では全体より 10.9 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 1日あたりの介助時間>



(14)主な介助者が介助・支援できない時の対応

問13 あなたを主に介助・支援している方が、病気や旅行などで一時的に介助・支援できないとき、どうされていますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 主な介助者が介助・支援できない時の対応について、「他の家族が介助・支援している」が 42.4%で最も多く、次いで「誰にも頼まず自分でできる範囲でがんばっている」が 30.9%、「短期入所(ショートステイ)や日中一時支援(日帰りショート)を利用している」が 15.4%となっています。

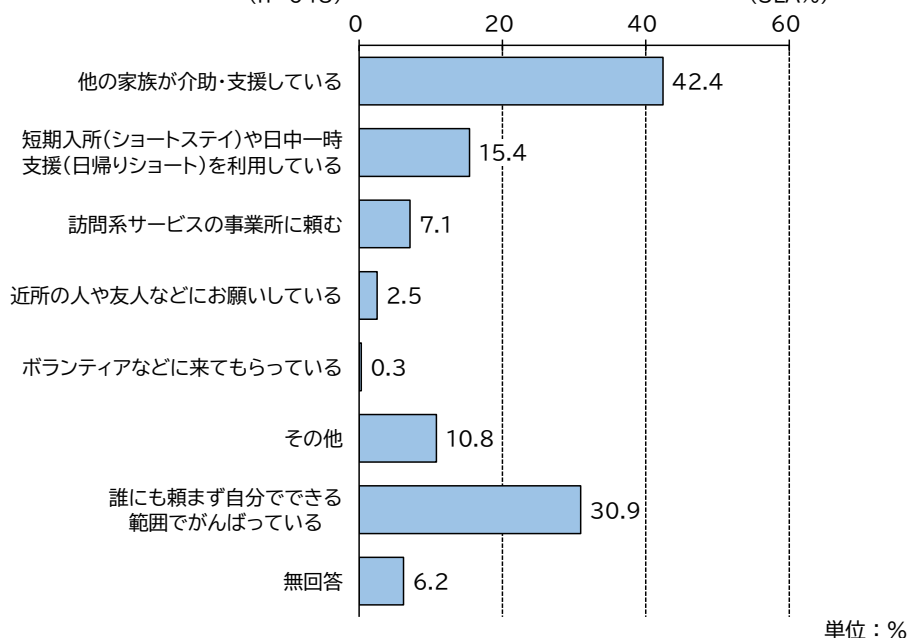
【障がい別】

- 精神障がいでは「誰にも頼まず自分でできる範囲でがんばっている」が全体より 10.6 ポイント多く、「短期入所(ショートステイ)や日中一時支援(日帰りショート)を利用している」が 12.3 ポイント少なくなっています。

【年齢別】

- 50～64 歳は「誰にも頼まず自分でできる範囲でがんばっている」が全体より 12.7 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 主な介助者が介助・支援できない時の対応>
(n=648) (3LA%)



単位：%

		主な介助者が介助・支援できない時の対応							
	母数 (n)	他の家族が介助・支援している	短期入所(ショートステイ)や日中一時支援(日帰りショート)を利用している	訪問系サービスの事業所に頼む	近所の人や友人などをお願いしている	ボランティアなどに来てもらっている	その他	誰にも頼まず自分でできる範囲でがんばっている	無回答
全体	648	42.4	15.4	7.1	2.5	0.3	10.8	30.9	6.2
障がい別	身体障がい	41.0	17.6	9.1	2.0	0.7	9.8	31.6	5.2
	知的障がい	49.8	23.9	5.9	2.9	-	14.6	▼ 16.1	9.8
	精神障がい	39.2	▼ 3.1	6.9	4.6	-	9.2	△ 41.5	3.1
	指定難病	35.4	12.3	7.7	3.1	-	15.4	38.5	3.1
年齢別	39歳以下	51.9	20.3	4.8	1.6	-	10.7	26.7	4.3
	40～49歳	35.3	8.8	5.9	5.9	-	14.7	35.3	7.4
	50～64歳	34.7	6.9	4.0	5.0	-	7.9	△ 43.6	6.9
	65歳以上	40.7	17.9	10.8	1.5	0.7	10.8	28.4	5.6

2. 日中の活動や社会参加について

(1) 平日の昼間の過ごし方

問14 あなたは、平日の昼間の時間は、どのようにして過ごしていますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 平日の昼間の過ごし方について、「自宅で過ごしている」が 57.5%で最も多く、次いで「買い物や散歩などで出かけている」が 32.1%、「仕事(一般就労)をしている」が 24.0%となっています。

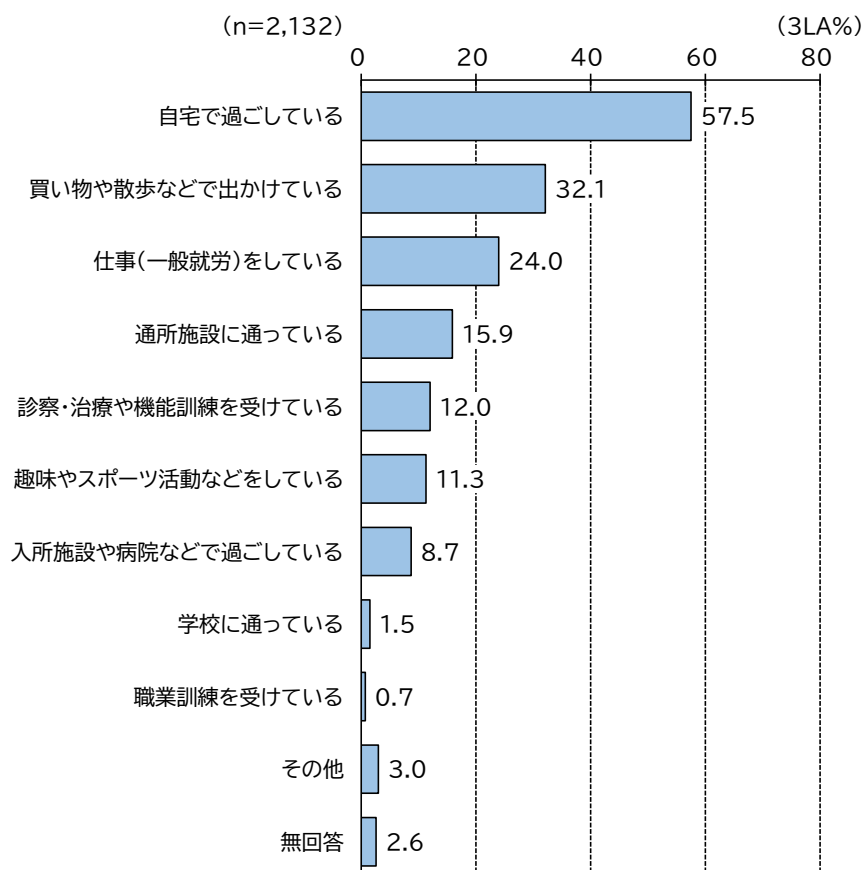
【障がい別】

- 知的障がいは「通所施設に通っている」が全体より 31.0 ポイント多く、「自宅で過ごしている」「買い物や散歩などで出かけている」が 18.4～29.5 ポイント少なくなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「仕事(一般就労)をしている」「通所施設に通っている」が全体より 14.6～16.4 ポイント多く、40～64 歳は「仕事(一般就労)をしている」が全体より 16.9～17.2 ポイント多くなっています。65 歳以上は「自宅で過ごしている」が全体より 13.2 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 平日の昼間の過ごし方>



単位：％

		平日の昼間の過ごし方										
	母数 (n)	自宅で 過ごして いる	買い物や 散歩など で出かけて いる	仕事（一 般就労） をしている	通所施設 に通って いる	診療・治 療や機能 訓練を受け ている	趣味やス ポーツ活 動などをして いる	入所施設 や病院など で過ごして いる	学校に通 っている	職業訓練 を受けて いる	その他	無回答
全体	2,132	57.5	32.1	24.0	15.9	12.0	11.3	8.7	1.5	0.7	3.0	2.6
障がい別	身体障がい	994	64.3	35.7	14.8	12.2	14.1	12.6	11.9	0.1	0.3	2.5
	知的障がい	322	▼ 28.0	▼ 13.7	25.5	△ 46.9	4.7	6.8	7.5	1.9	1.9	3.4
	精神障がい	380	59.5	27.9	24.2	19.5	15.0	8.7	5.8	2.6	1.6	1.8
	指定難病	264	66.7	39.0	33.7	9.8	15.2	11.7	4.5	0.4	-	3.4
年齢別	39歳以下	365	▼ 38.4	▼ 16.2	△ 38.6	△ 32.3	5.2	6.6	1.6	6.8	2.2	3.8
	40～49歳	245	49.8	24.5	△ 41.2	18.4	8.2	9.8	2.4	-	0.8	2.9
	50～64歳	487	50.1	29.8	△ 40.9	10.5	15.0	6.6	6.4	0.2	0.8	3.3
	65歳以上	968	△ 70.7	41.6	▼ 6.6	12.1	13.9	15.5	14.3	0.1	-	2.8

(2)外出の頻度

問15 あなたは、どのくらい外出(通勤・通所・通院を含む)していますか？(1つだけ○)

【全体】

- 外出の頻度について、「ほとんど毎日」が 46.2%で最も多く、次いで「週に2～3回」が 26.3%、「週1回程度」が 10.2%となっています。

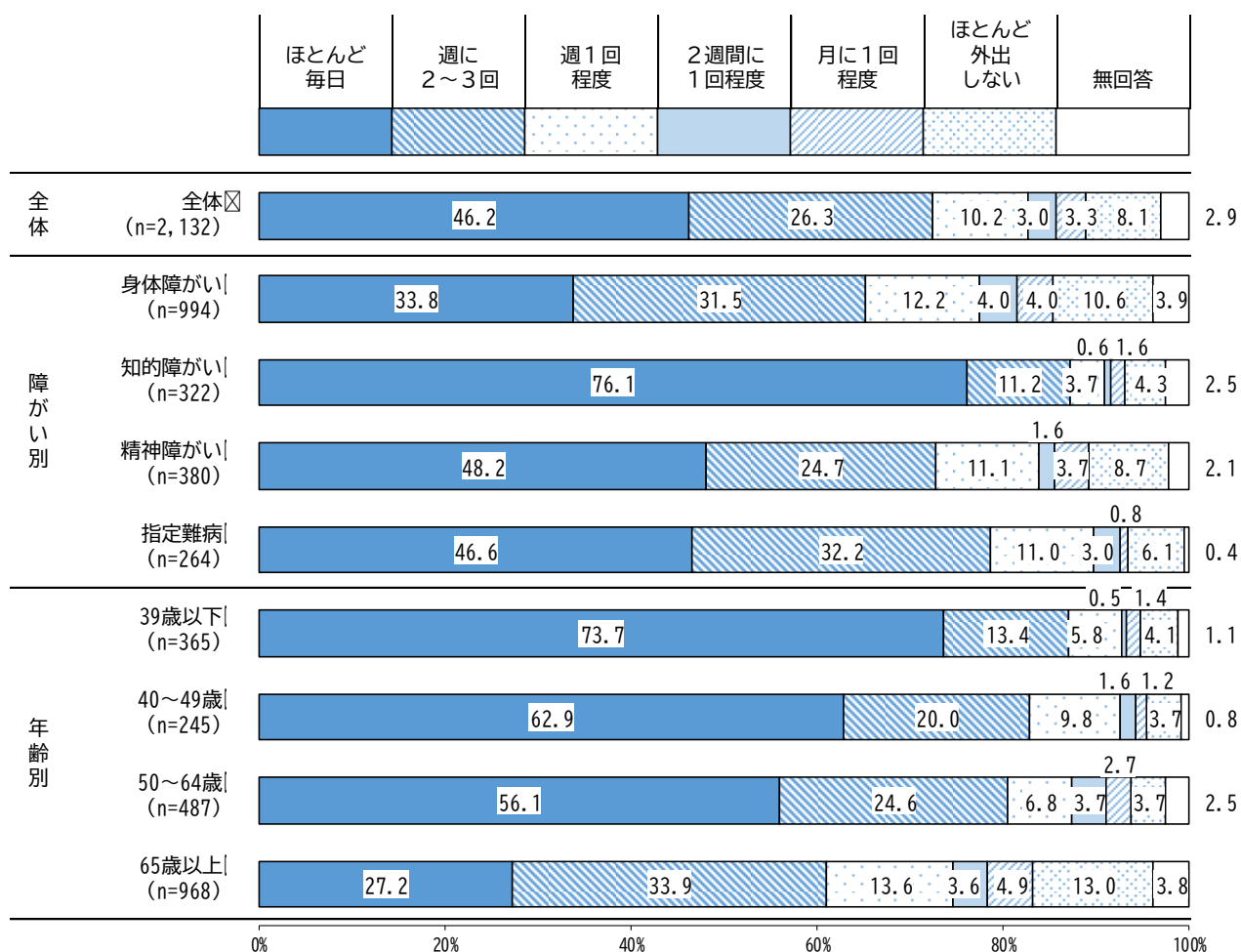
【障がい別】

- 知的障がいは「ほとんど毎日」が全体より 29.9 ポイント多く、身体障がいは「ほとんど毎日」が 12.4 ポイント少なくなっています。

【年齢別】

- 「ほとんど毎日」は、39 歳以下では全体より 27.5 ポイント、40～49 歳では 16.7 ポイントそれぞれ多くなっています。年齢が高くなるほど、外出頻度が少なくなる傾向となっています。

<障がい、年齢別 外出の頻度>



(3)外出時の付き添いの必要性

問16 あなたは、外出されるとき、付き添いの人が必要ですか？(1つだけ○)

【全体】

○ 外出時の付き添いの必要性について、「ひとりで外出できる」が 65.4%で最も多く、次いで「家族に付き添ってもらう」が 21.6%、「ガイドヘルパーに付き添ってもらう」が 5.0%となっています。

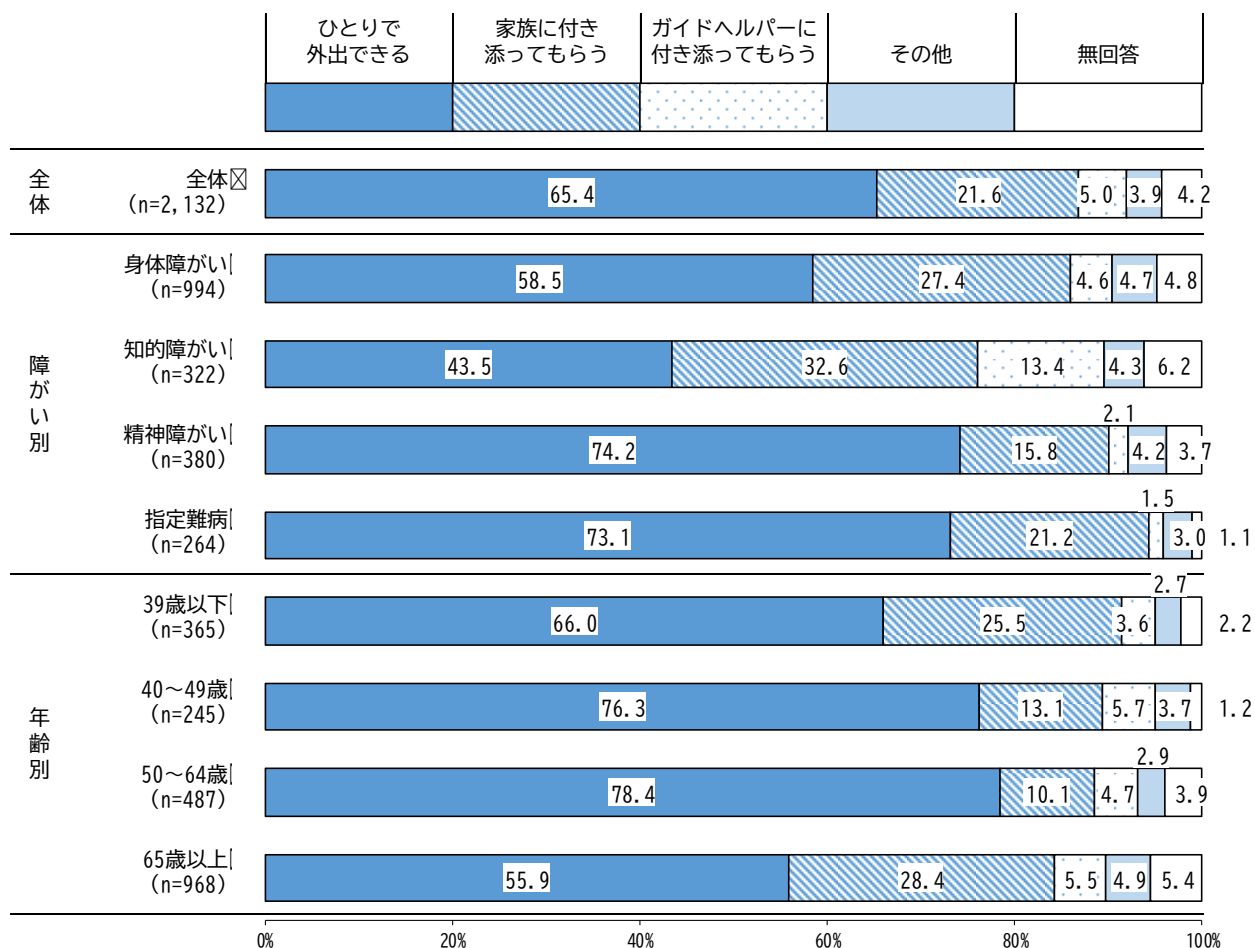
【障がい別】

○ 知的障がいは「家族に付き添ってもらう」が全体より 11.0 ポイント多く、「ひとりで外出できる」が 21.9 ポイント少なくなっています。精神障がい、指定難病は「ひとりで外出できる」がそれぞれ 7 割を超えています。

【年齢別】

○ 「ひとりで外出できる」は、40～49 歳では全体より 10.9 ポイント、50～64 歳では 13.0 ポイントそれぞれ多くなっています。

<障がい、年齢別 外出時の付き添いの必要性>



(4)休みの日の過ごし方

問14で3～5を選んだ方にお聞きます。

問17 仕事や通所施設、学校などの休みの日には、どのように過ごしていますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

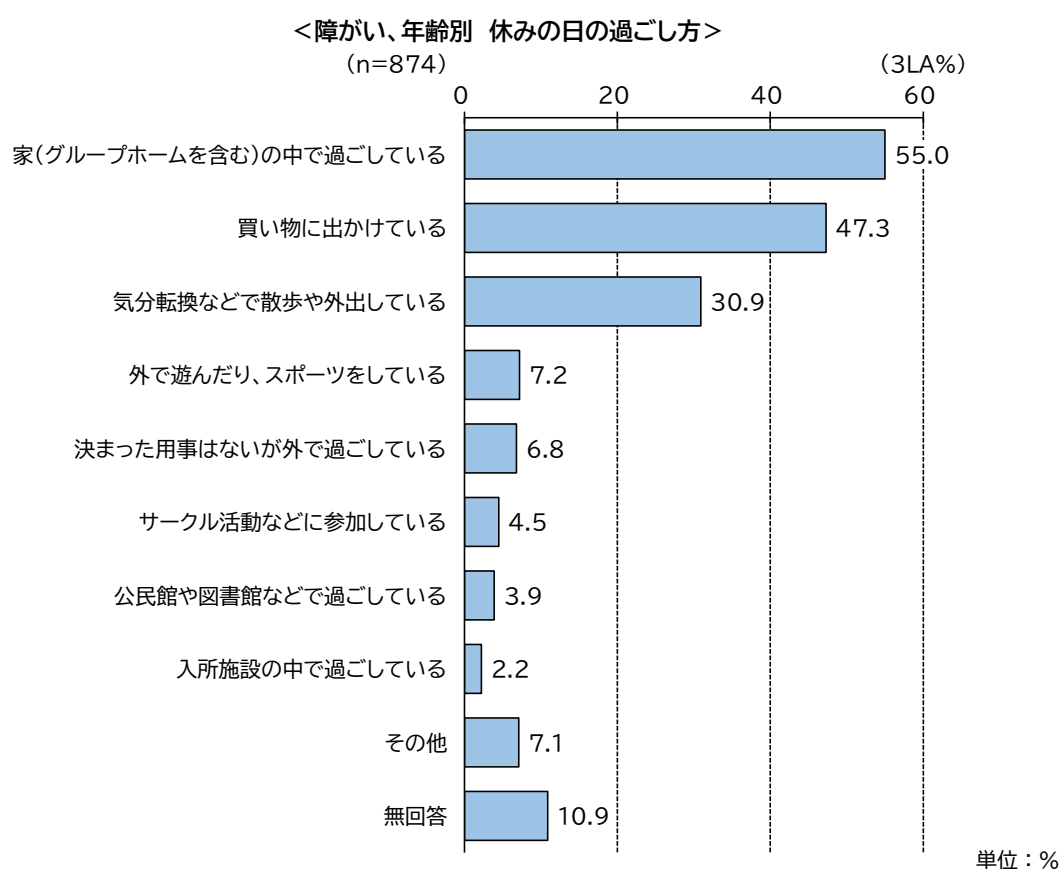
- 休みの日の過ごし方について、「家(グループホームを含む)の中で過ごしている」が 55.0%で最も多く、次いで「買い物に出かけている」が47.3%、「気分転換などで散歩や外出している」が30.9%となっています。

【障がい別】

- 知的障がい、精神障がいは「家(グループホームを含む)の中で過ごしている」が全体より 11.0～13.0 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 65歳以上は「買い物に出かけている」「気分転換などで散歩や外出している」が全体より 14.9～16.9 ポイント少なくなっています。



単位：％

		母数 (n)	休みの日の過ごし方									
			過 ご し て い る 中 で	家 (グ ル ー プ ホ ム を 含 む)	い る 買 物 に 出 か け て	歩 気 や 分 外 出 換 し な ど い で る 散	ポ 外 ー で ツ 遊 を ん だ り 、 い る ス	い が ま つ た 過 ご し は て な	に サ ー ク ル に 加 わ る 活 動 な ど	ど 公 民 館 や 図 書 館 な ど	ご 入 所 施 設 の 中 で 過	そ の 他
全体		874	55.0	47.3	30.9	7.2	6.8	4.5	3.9	2.2	7.1	10.9
障 が い 別	身体障がい	269	51.3	41.3	25.3	6.7	6.3	4.1	4.1	2.2	8.2	11.9
	知的障がい	238	△ 66.0	46.2	37.8	5.0	7.6	4.6	4.2	2.5	8.4	3.4
	精神障がい	172	△ 68.0	49.4	30.2	5.8	5.2	4.7	4.1	3.5	6.4	8.7
	指定難病	116	56.0	52.6	27.6	5.2	2.6	0.9	0.9	0.9	6.0	15.5
年 齢 別	39歳以下	278	60.4	50.0	36.7	6.8	8.3	5.4	4.0	1.1	7.9	6.8
	40～49歳	146	54.1	50.0	32.9	10.3	6.8	3.4	4.1	1.4	7.5	14.4
	50～64歳	249	49.4	55.0	35.3	6.4	8.4	2.8	4.0	1.2	5.2	11.2
	65歳以上	181	55.2	▼ 30.4	▼ 16.0	6.1	2.2	5.0	3.9	5.5	8.8	13.3

(5)地域社会への参加をしにくくしている要因

全員にお聞きします。

問18 あなたにとって、障がいのある人や難病にかかっている人の地域社会への参加をしにくくさせているのは何だと思いますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 地域社会への参加をしにくくしている要因について、「どんな行事や活動があるかわからない(情報が伝わってこない)」が 30.6%で最も多く、次いで「わからない、思いつかない」が 23.5%、「身近なところで参加できる行事や活動が少ない」が 20.0%となっています。

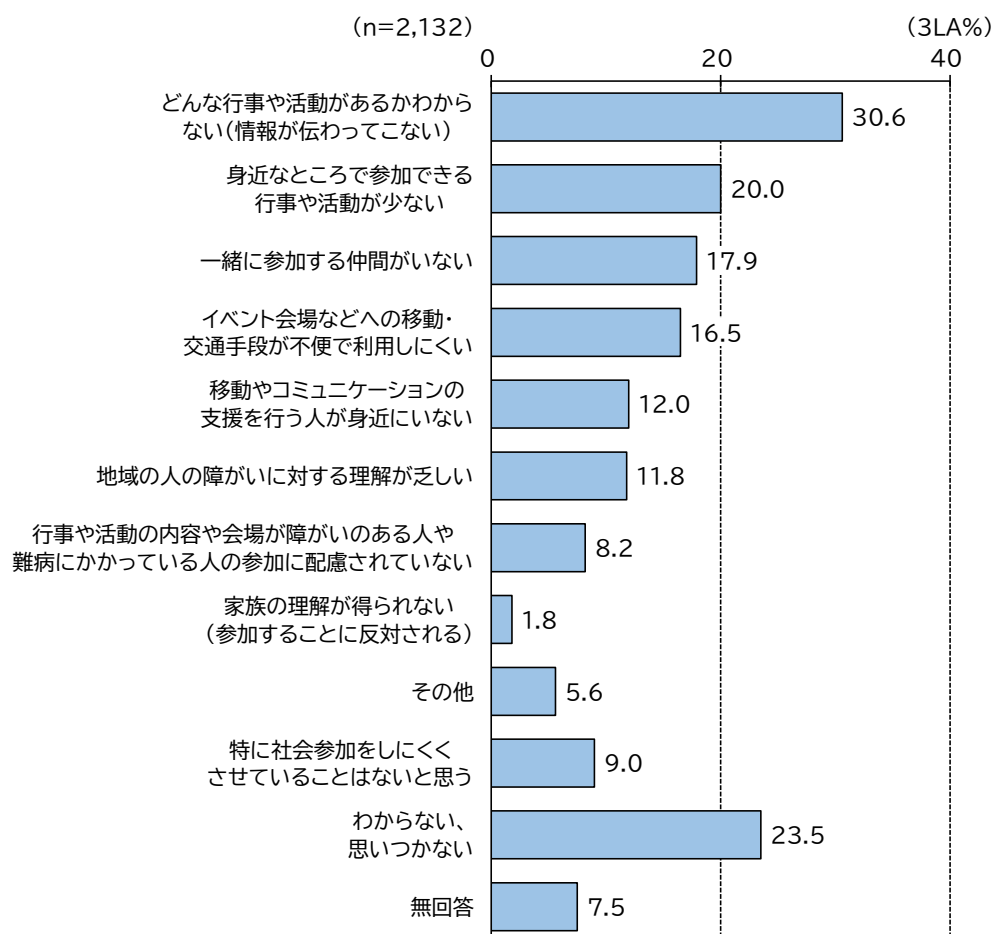
【障がい別】

- 知的障がい者は「身近なところで参加できる行事や活動が少ない」が全体より 10.7 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「身近なところで参加できる行事や活動が少ない」が他の年齢に比べて多くなっています。

<障がい、年齢別 地域社会への参加をしにくくしている要因>



単位：％

単位：%																
		母数 (n)	地域社会への参加をしにくくしている要因													
			い ら な い （ 情 報 が 伝 わ つ て こ な か ）	ど ん な 行 事 や 活 動 が あ る か わ か ら な い	身 近 な と こ ろ で 参 加 で き る 行 事 や 活 動 が 少 な い	一 緒 に 参 加 す る 仲 間 が い な い	通 手 段 が 不 便 で 利 用 し に く い	イ ベ ン ト や 会 場 な ど へ の 移 動 ・ 交 通	援 助 を 行 う 人 が 身 近 に い な い	移 動 や コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン の 支 援	地 域 の 人 の 障 が い に 対 す る 理 解 が 乏 し い	行 事 や 活 動 の 内 容 や 会 場 が 障 が い の 人 の 参 加 に 配 慮 さ れ て い な い	家 族 の 理 解 が 得 ら れ な い （ 参 加 す る こ と に 反 対 さ れ る ）	そ の 他	特 に 社 会 参 加 を し に く く さ せ て い る こ と は な い と 思 う	わ か ら な い 、 思 い つ か な い
全体		2,132	30.6	20.0	17.9	16.5	12.0	11.8	8.2	1.8	5.6	9.0	23.5	7.5		
障 が い 別	身体障がい	994	28.9	19.1	15.7	18.8	10.8	7.6	8.1	0.5	5.0	10.9	21.6	10.6		
	知的障がい	322	25.8	△ 30.7	19.6	15.8	18.6	17.4	9.9	1.9	5.0	3.7	23.0	7.8		
	精神障がい	380	37.6	21.8	23.2	14.7	12.6	20.0	8.9	4.2	6.8	4.5	22.6	3.7		
	指定難病	264	33.7	18.9	18.2	17.8	9.5	7.2	12.9	1.1	9.5	10.6	20.8	3.4		
年 齢 別	39歳以下	365	35.3	26.3	25.2	15.1	13.7	16.4	9.9	3.8	5.8	4.7	24.4	2.5		
	40～49歳	245	31.4	17.6	20.0	15.9	17.1	19.6	11.8	3.7	6.5	5.3	25.7	3.3		
	50～64歳	487	33.5	20.5	19.3	16.0	11.9	15.0	9.7	2.3	6.0	7.2	24.6	3.9		
	65歳以上	968	27.7	17.9	14.0	18.0	10.4	6.5	5.6	0.3	5.2	12.4	22.4	11.5		

(6)外出時に困っていること

問19 あなたにとって、外出時に困っていることは何ですか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 外出時に困っていることについて、「特に困っていることはない」が 30.5%で最も多く、次いで「歩道のない道などを歩いているときに、自動車や自転車などが危ないと感じる」が 24.7%、「道路や建物の段差などがあり、移動しにくい」が 20.6%となっています。

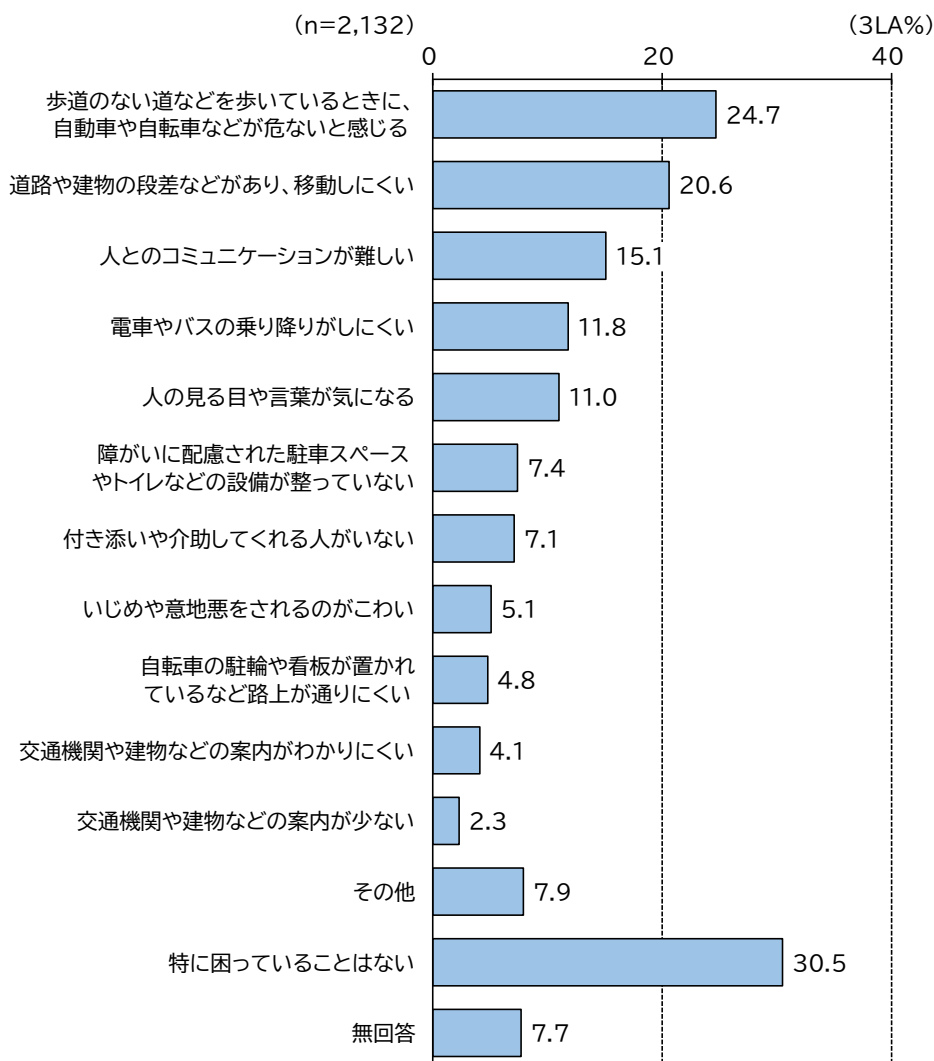
【障がい別】

- 身体障がい者は「道路や建物の段差などがあり、移動しにくい」が全体より 10.9 ポイント多くなっています。知的障がい者は「付き添いや介助してくれる人がいない」「人とのコミュニケーションが難しい」が全体より 10.0～23.4 ポイント多く、「特に困っていることはない」が 11.6 ポイント少なくなっています。精神障がい者は「人の見る目や言葉が気になる」「人とのコミュニケーションが難しい」が全体より 14.6～17.4 ポイント多くなっています。指定難病は「特に困っていることはない」が 39.0%で他の障がいに比べて多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「人の見る目や言葉が気になる」「人とのコミュニケーションが難しい」が全体より 16.4～21.3 ポイント多くなっています。50～64 歳は「特に困っていることはない」が全体より 10.0 ポイント多くなっています。65 歳以上は「道路や建物の段差などがあり、移動しにくい」が全体より 10.8 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 外出時に困っていること>



単位：％

		母数 (n)	外出時に困っていること														単位：%
			自動車の歩道のない道などを歩いているときに、自動車が危険に感じる	道路や建物の段差などがあり、移動しにくい	人とのコミュニケーションが難しい	電車やバスの乗り降りがしにくい	人の見る目や言葉が気になる	障がいなどの設備が整っていない	付き添いや介助してくれる人がいない	いじめや意地悪をされるのがこわい	自転車の駐輪や看板が置かれているなど路上が通りにくい	交通機関や建物などの案内がわかりにくい	交通機関や建物などの案内が少ない	その他	特に困っていることはない	無回答	
全体		2,132	24.7	20.6	15.1	11.8	11.0	7.4	7.1	5.1	4.8	4.1	2.3	7.9	30.5	7.7	
障がい別	身体障がい	994	31.8	△31.5	7.2	16.9	2.7	10.9	7.0	1.1	7.3	2.9	1.8	7.1	26.1	9.7	
	知的障がい	322	20.8	▼9.0	△38.5	8.7	19.3	6.8	△17.1	9.3	1.6	7.8	3.1	6.2	▼18.9	7.5	
	精神障がい	380	18.7	▼9.2	△29.7	6.6	△28.4	4.5	5.5	14.5	2.6	4.2	2.9	10.3	27.6	5.0	
	指定難病	264	27.7	22.7	▼4.2	14.0	4.2	8.7	3.4	1.9	6.4	4.9	3.0	9.5	39.0	4.9	
年齢別	39歳以下	365	17.0	▼6.6	△36.4	5.2	△27.4	6.8	9.0	11.0	0.8	6.6	4.1	7.9	26.8	3.8	
	40～49歳	245	20.4	▼10.2	23.3	4.1	19.2	5.7	6.9	9.8	3.3	3.7	1.2	6.9	37.6	4.9	
	50～64歳	487	22.2	16.2	12.7	9.2	12.3	7.6	6.0	5.7	3.9	3.7	2.1	8.6	△40.5	2.9	
	65歳以上	968	29.9	△31.4	5.4	17.0	1.8	7.9	6.9	0.7	7.2	3.4	1.9	7.9	26.7	11.3	

3. 仕事について

(1)現在の就労状況

問20 あなたは現在、働いていますか？(1つだけ○)

【全体】

- 現在の就労状況は、「働いていない(生産活動はしていない)」が 57.4%で最も多く、次いで「正社員以外(アルバイト、パート、契約社員、派遣社員、日雇いなど)」が 15.1%、「正社員」が 10.1%となっています。

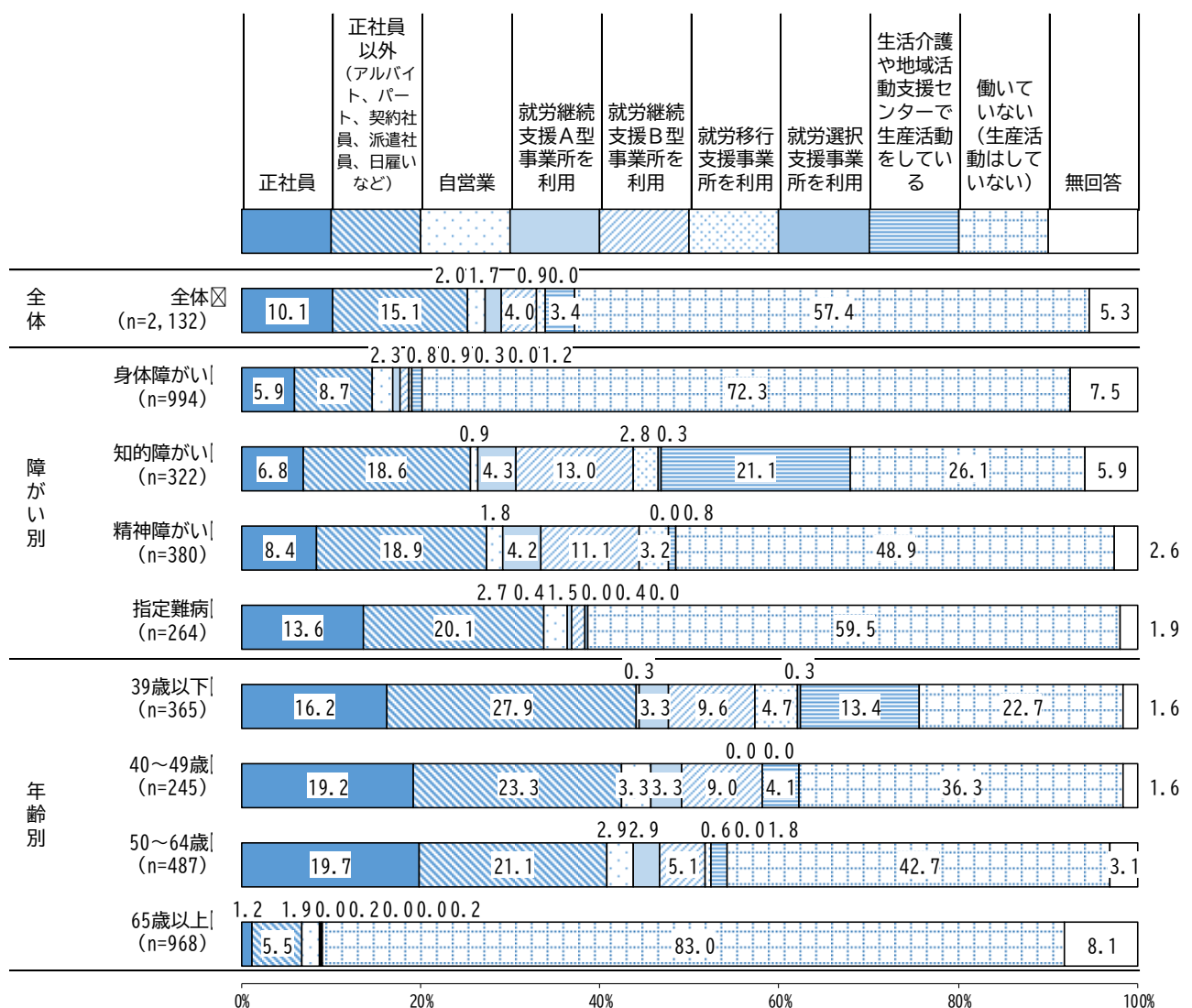
【障がい別】

- 身体障がいは「働いていない(生産活動はしていない)」が全体より 14.9 ポイント多く、知的障がいは「生活介護や地域活動支援センターで生産活動をしている」が全体より 17.7 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「正社員以外(アルバイト、パート、契約社員、派遣社員、日雇いなど)」が全体より 10.0～12.8 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 現在の就労状況>



(2)現在の仕事を見つけた方法

問20で1～3を選んだ方にお聞きます。

問21 現在の仕事はどのようにして見つけられましたか？(1つだけ○)

【全体】

- 現在の仕事を見つけた方法について、「自分や家族で探した」が36.1%で最も多く、次いで「公共職業安定所(ハローワーク)で」が11.7%、「障がいや病気になる前から働いていた」が11.4%となっています。

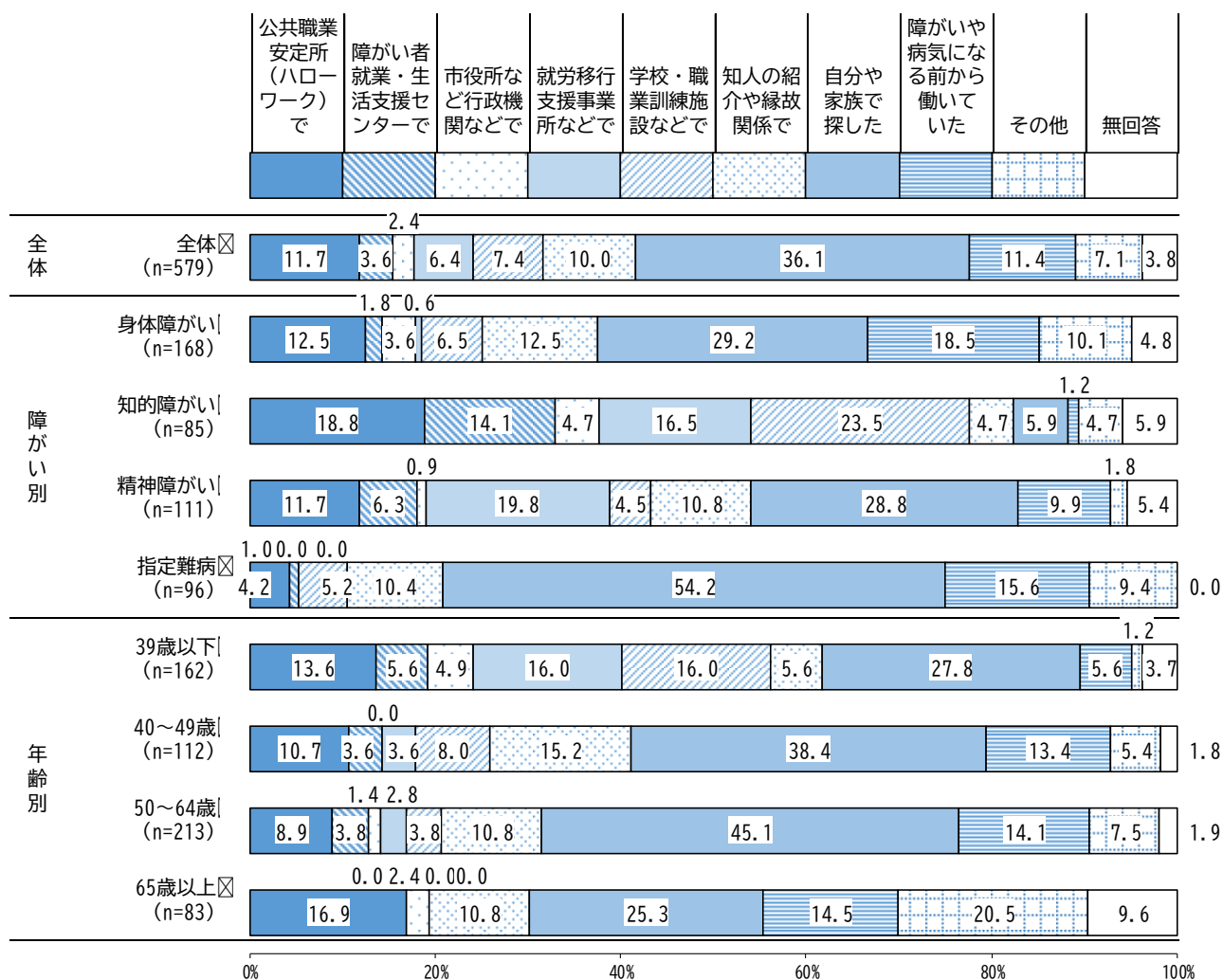
【障がい別】

- 知的障がいは「就労移行支援事業所などで」「学校・職業訓練施設などで」が全体より10.1～16.1ポイント多くなっています。精神障がいは「就労移行支援事業所などで」が全体より13.4ポイント多くなっています。指定難病は「自分や家族で探した」が全体より18.1ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 65歳以上は「その他」が全体より13.4ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 現在の仕事を見つけた方法>



(3)現在の働き方を変えたいと思うか

全員にお聞きします。

問22 あなたは、問20で答えた現在の働き方を変えたいと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- 現在の働き方を変えたいと思うかについて、「変えたいと思う」が 20.7%、「変えたいと思わない」が 53.9%となっています。

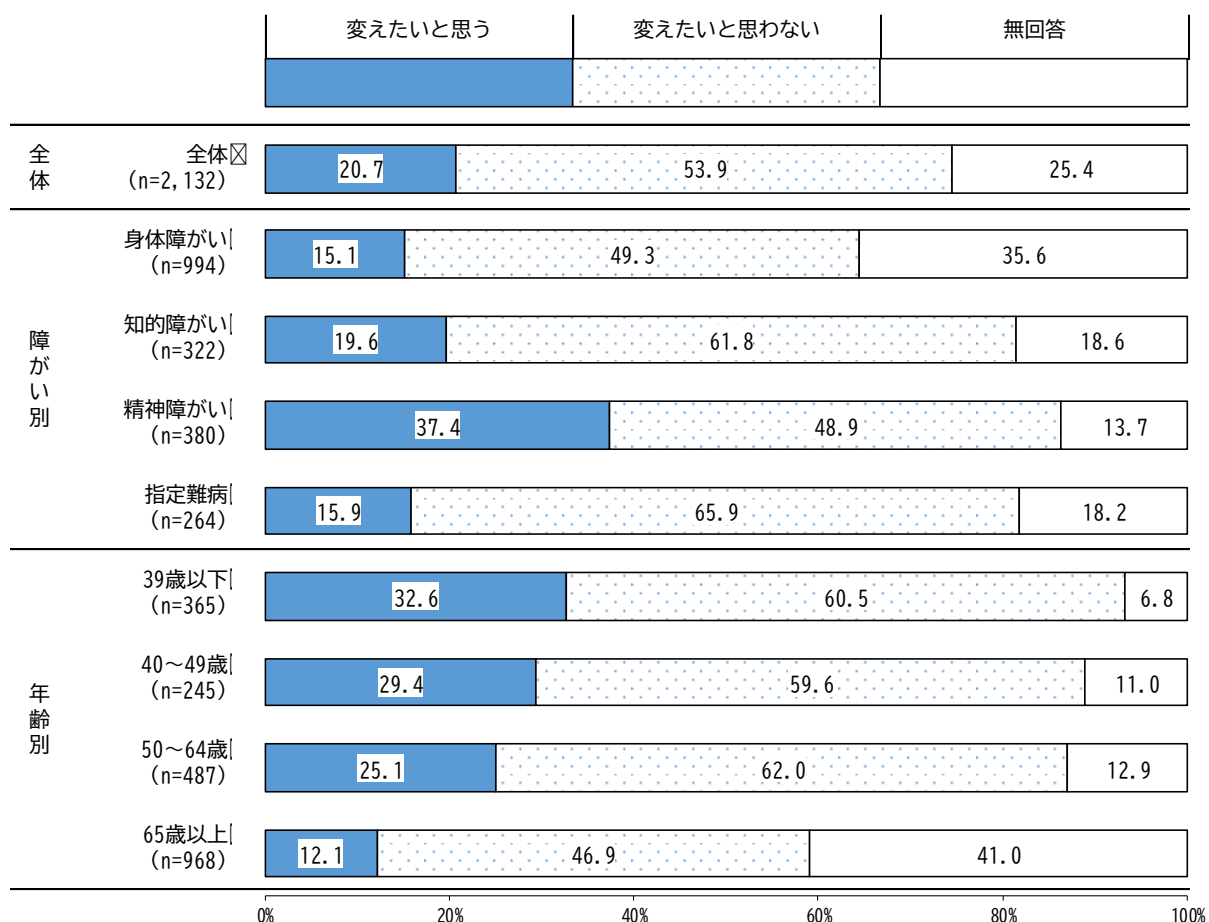
【障がい別】

- 精神障がいは「変えたいと思う」が全体より 16.7 ポイント多くなっています。指定難病は「変えたいと思わない」が全体より 12.0 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「変えたいと思う」が全体より 11.9 ポイント多くなっています。年齢が低いほど「変えたいと思う」が多くなる傾向となっています。

<障がい、年齢別 現在の働き方を変えたいと思うか>



(4)現在の働き方をどのように変えたいと思うか

問22で1を選んだ方にお聞きします。

問22-1 変えたいと思う人はどのように変えたいですか。(1つだけ○)

【全体】

- 現在の働き方をどのように変えたいと思うかについて、「働かない(生産活動はしない)」が 30.1%で最も多く、次いで「正社員」が 26.2%、「正社員以外(アルバイト、パート、契約社員、派遣社員、日雇いなど)」が 24.0%となっています。

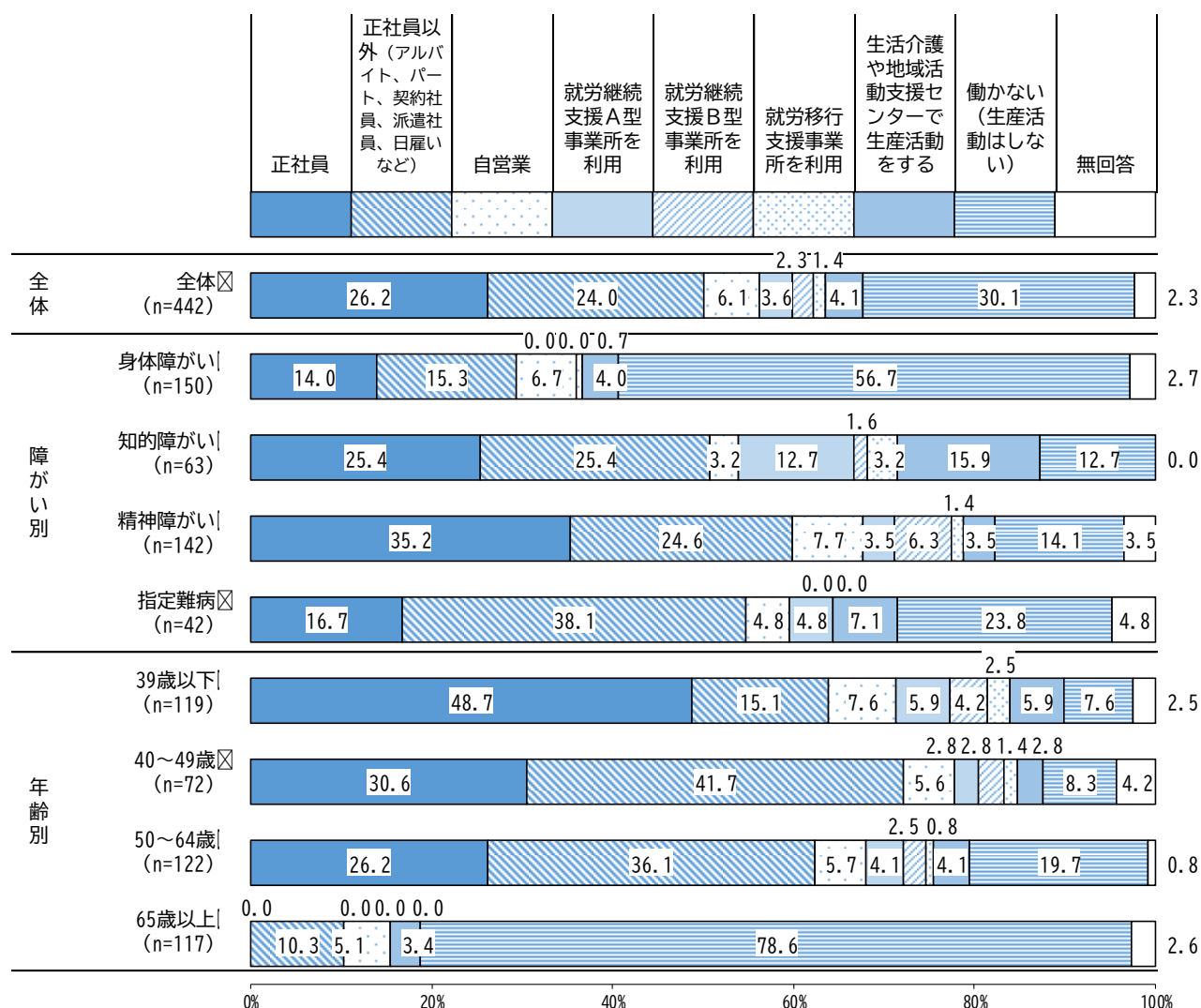
【障がい別】

- 身体障がいは「働かない(生産活動はしない)」が全体より 26.6 ポイント多く、指定難病は「正社員以外(アルバイト、パート、契約社員、派遣社員、日雇いなど)」が全体より 14.1 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39歳以下は「正社員」が全体より 22.5 ポイント多くなっています。40～64歳は「正社員以外(アルバイト、パート、契約社員、派遣社員、日雇いなど)」が全体より 12.1～17.7 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 現在の働き方をどのように変えたいと思うか>



(5)働く際の大切な条件

全員にお聞きします。

問23 働く際の条件として、大切だと思うことは何ですか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 働く際の大切な条件について、「人間関係がうまくいくこと」が 36.1%で最も多く、次いで「自分の障がいや病気にあった仕事であること」が 32.4%、「賃金が納得できること」が 28.6%となっています。

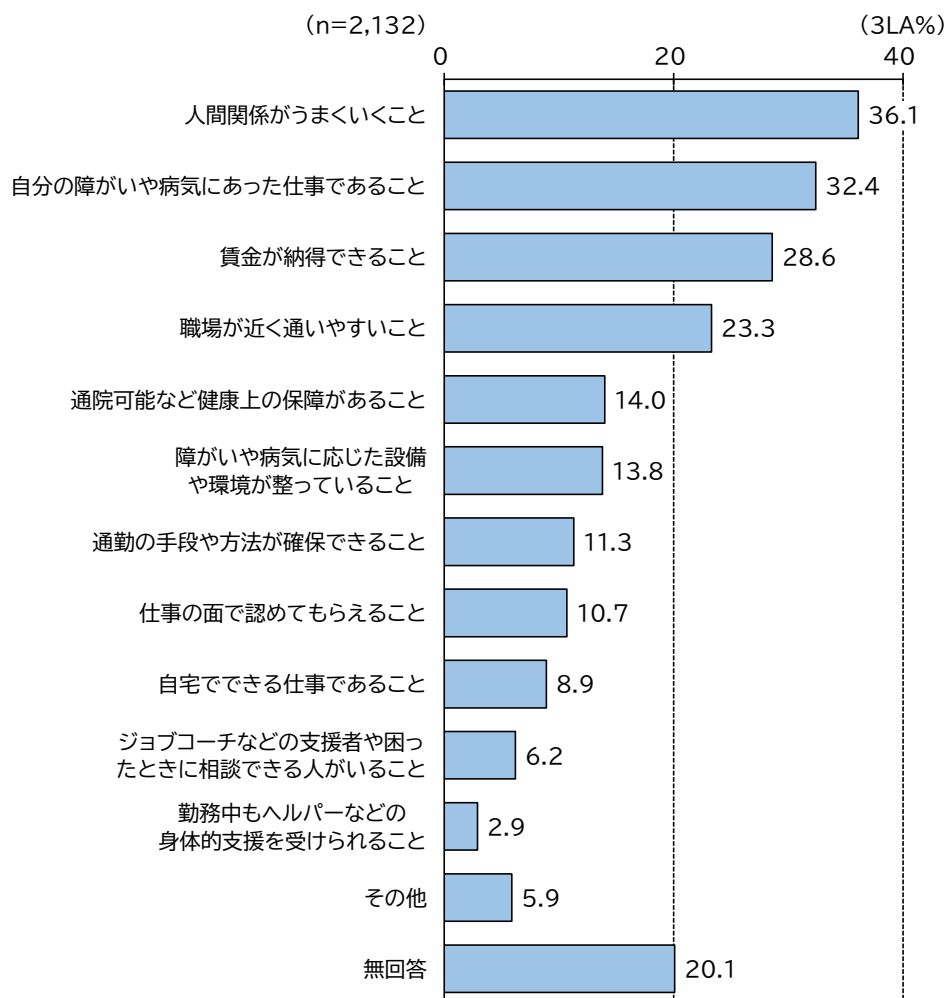
【障がい別】

- 身体障がいは「人間関係がうまくいくこと」が全体より 10.1 ポイント少なくなっています。知的障がいは「自分の障がいや病気にあった仕事であること」が全体より 13.9 ポイント多くなっています。指定難病は「通院可能など健康上の保障があること」が全体より 12.9 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 64 歳以下は「賃金が納得できること」「自分の障がいや病気にあった仕事であること」「人間関係がうまくいくこと」の 3 項目が概ね4割台で多いことが共通しています。

<障がい、年齢別 働く際の大切な条件>



単位：％

		働く際の大切な条件														
		母数 (n)	賃 金 が 納 得 で き る こ と	通 院 可 能 な ど 健 康 上 の 保 障 が あ る こ と	自 分 の 障 が い や 病 気 に あ っ た 仕 事 で あ る こ と	障 が い や 病 気 に 応 じ た 設 備 や 環 境 が 整 っ て い る こ と	自 宅 で で き る 仕 事 で あ る こ と	職 場 が 近 く 通 い や す い こ と	通 勤 の 手 段 や 方 法 が 確 保 で き る こ と	勤 務 中 も ヘルパーなどの身 体的支援を受けられること	人 が 困 っ た と き に 相 談 で き る こ と	ジョブコーチなどの支援者 がいたこと	仕 事 の 面 で 認 め て も ら え る こ と	人 間 関 係 が う ま く い く こ と	そ の 他	無 回 答
全体		2,132	28.6	14.0	32.4	13.8	8.9	23.3	11.3	2.9	6.2	10.7	36.1	5.9	20.1	
障 が い 別	身体障がい	994	19.3	12.8	30.3	13.5	8.8	17.9	10.5	3.6	3.7	6.0	▼26.0	7.6	28.3	
	知的障がい	322	25.2	6.8	△46.3	23.6	4.7	24.5	19.6	6.8	15.5	14.3	38.2	2.5	10.6	
	精神障がい	380	36.8	17.1	41.1	16.6	15.0	25.0	10.8	1.6	11.6	12.9	44.5	3.9	9.2	
	指定難病	264	28.0	△26.9	34.8	11.4	12.1	29.5	13.3	0.8	3.4	11.4	41.3	5.3	14.8	
年 齢 別	39歳以下	365	△41.6	9.0	△43.3	20.5	10.1	28.5	15.9	4.1	12.9	18.6	△46.3	2.7	3.0	
	40～49歳	245	△43.3	17.6	38.4	16.3	11.0	27.3	12.2	2.4	9.4	17.1	△49.4	3.3	5.7	
	50～64歳	487	△41.1	21.1	41.1	12.1	9.7	30.6	13.8	1.6	4.7	13.8	43.1	4.5	7.4	
	65歳以上	968	▼13.6	11.4	22.6	11.9	7.5	16.9	8.4	3.4	3.3	4.5	▼25.1	8.7	35.8	

4. 保健・医療について

(1) 病院や診療所への通院の頻度

問24 あなたは、どのくらい定期的に病院や診療所に通院されていますか？(1つだけ○)

【全体】

- 病院や診療所への通院の頻度について、「月に1回程度」が38.6%で最も多く、次いで「2～3か月に1回程度」が24.7%、「2週間に1回程度」が11.9%となっています。

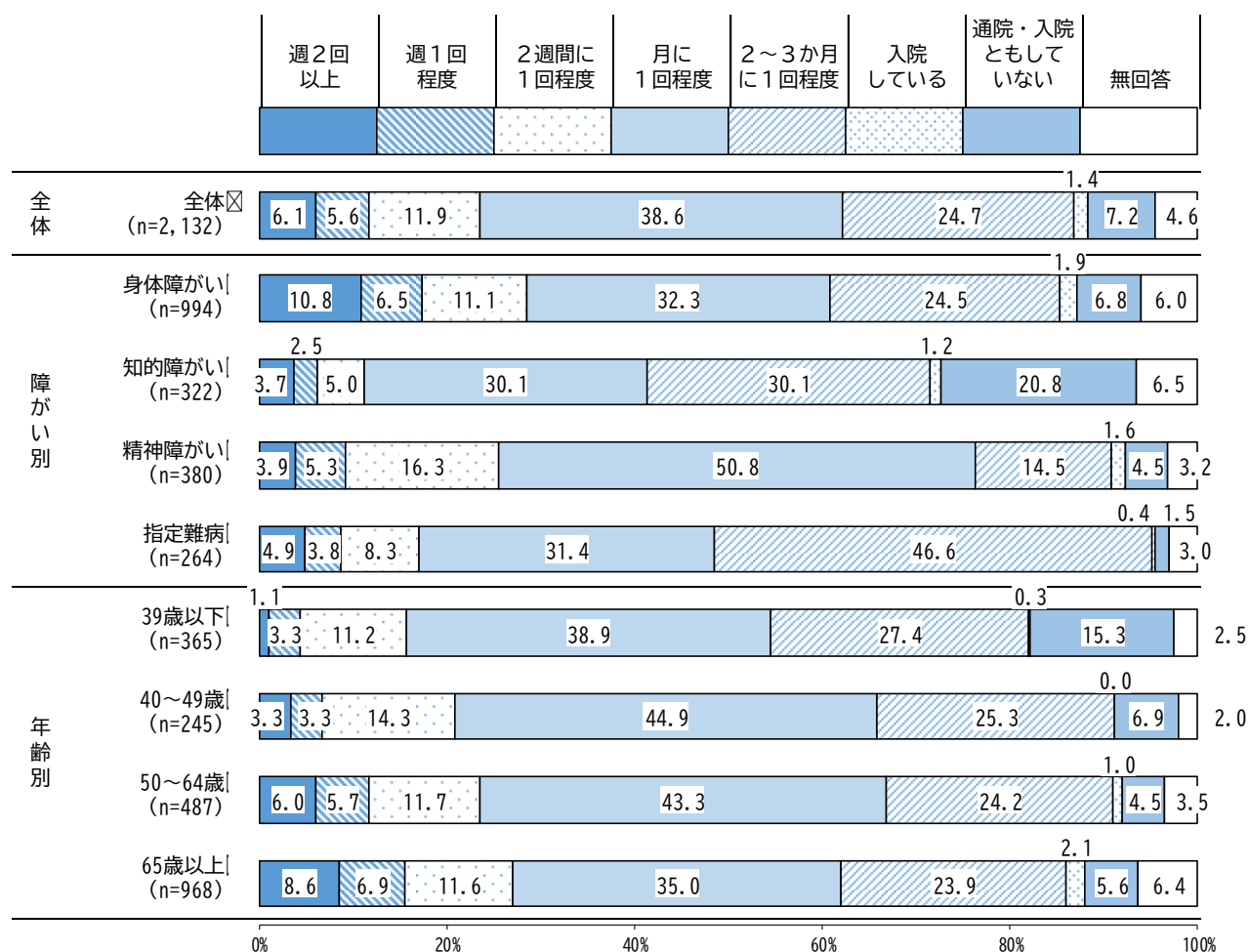
【障がい別】

- 知的障がいは「通院・入院ともしない」が全体より13.6ポイント多くなっています。精神障がいは「月に1回程度」が全体より12.2ポイント多くなっています。指定難病は「2～3か月に1回程度」が全体より21.9ポイント多くなっています。身体障がい、精神障がいは他の障がいに比べて通院頻度がやや多い傾向です。

【年齢別】

- 年齢が高くなるほど、通院頻度が多くなる傾向となっています。

<障がい、年齢別 病院や診療所への通院の頻度>



(2)利用している障がい者医療制度

問25 あなたは、障がい者医療に関する制度を利用していますか？(いくつでも○)

【全体】

- 利用している障がい者医療制度について、「利用していない」が 35.0%で最も多く、次いで「自立支援医療の精神通院医療」(30.8%)、「重度障がい者医療費助成」(14.1%)、「特定医療(指定難病)」(12.9%)となっています。

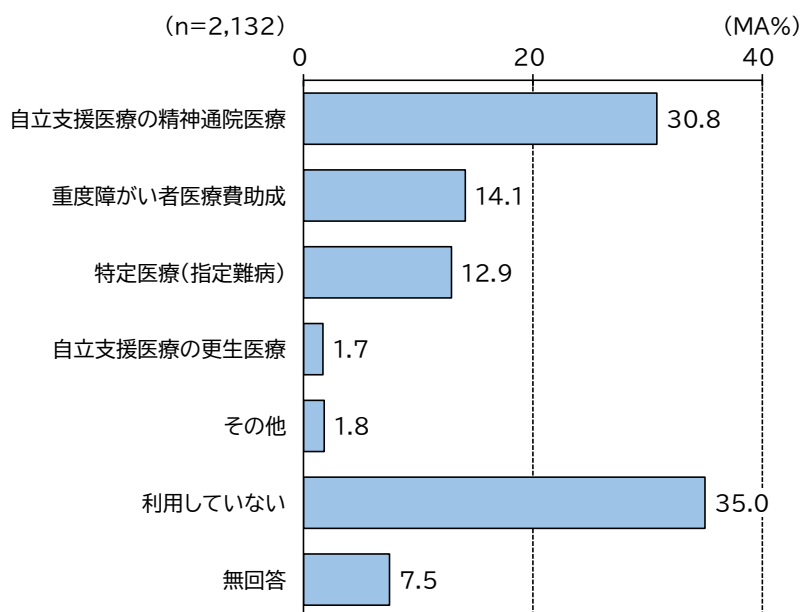
【障がい別】

- 身体障がいは「利用していない」が全体より 17.0 ポイント多くなっています。知的障がいは「重度障がい者医療費助成」が全体より 18.8 ポイント多くなっています。精神障がいは「自立支援医療の精神通院医療」が全体より 48.9 ポイント多くなっています。指定難病は「特定医療(指定難病)」が全体より 68.2 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 64 歳以下は「自立支援医療の精神通院医療」が全体より 15.2～19.9 ポイント多くなっています。65 歳以上は「利用していない」が全体より 12.7 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 利用している障がい者医療制度>



単位：%

単位：％

		母数 (n)	利用している障がい者医療制度							無回答
			自立支援医療の精神通院医療	自立支援医療の更生医療	重度障がい者医療費助成	特定医療（指定難病）	その他	利用していない		
全体		2,132	30.8	1.7	14.1	12.9	1.8	35.0	7.5	
障がい別	身体障がい	994	▼ 4.8	2.6	21.7	10.8	2.7	△ 52.0	10.2	
	知的障がい	322	22.0	0.9	△ 32.9	▼ 1.2	1.9	37.9	6.5	
	精神障がい	380	△ 79.7	1.6	5.3	3.9	1.1	▼ 10.0	4.7	
	指定難病	264	▼ 6.8	-	9.5	△ 81.1	0.4	▼ 13.3	1.9	
年齢別	39歳以下	365	△ 50.7	0.8	17.8	4.4	0.8	25.5	2.7	
	40～49歳	245	△ 47.3	2.0	18.4	13.9	0.4	▼ 21.6	2.0	
	50～64歳	487	△ 46.0	0.8	11.3	17.9	1.2	▼ 24.8	4.1	
	65歳以上	968	▼ 11.2	2.2	13.7	13.4	3.0	△ 47.7	11.7	

(3)1か月あたりの医療費の自己負担分

問26 1か月あたりの医療費の自己負担分は、平均するとどれくらいになりますか。(1つだけ○)

※公的医療費助成や、高額療養費を受けた後に必要となる自己負担分について回答してください。

※かぜ等の突発的な事由により一時的に必要な医療費は除きます。

※あなたの生活のしづらさの直接の原因となっている障がい、病気、けが等のための医療、あなたの生活のしづらさとは直接関連のない医療を両方含めた金額を回答してください。

※定期的に入院している場合は、それも含みます。

【全体】

- 1か月あたりの医療費の自己負担分について、「3千円以上1万円未満」が 33.0%で最も多く、次いで「1円以上3千円未満」が 32.6%、「1万円以上3万円未満」が 11.9%となっています。

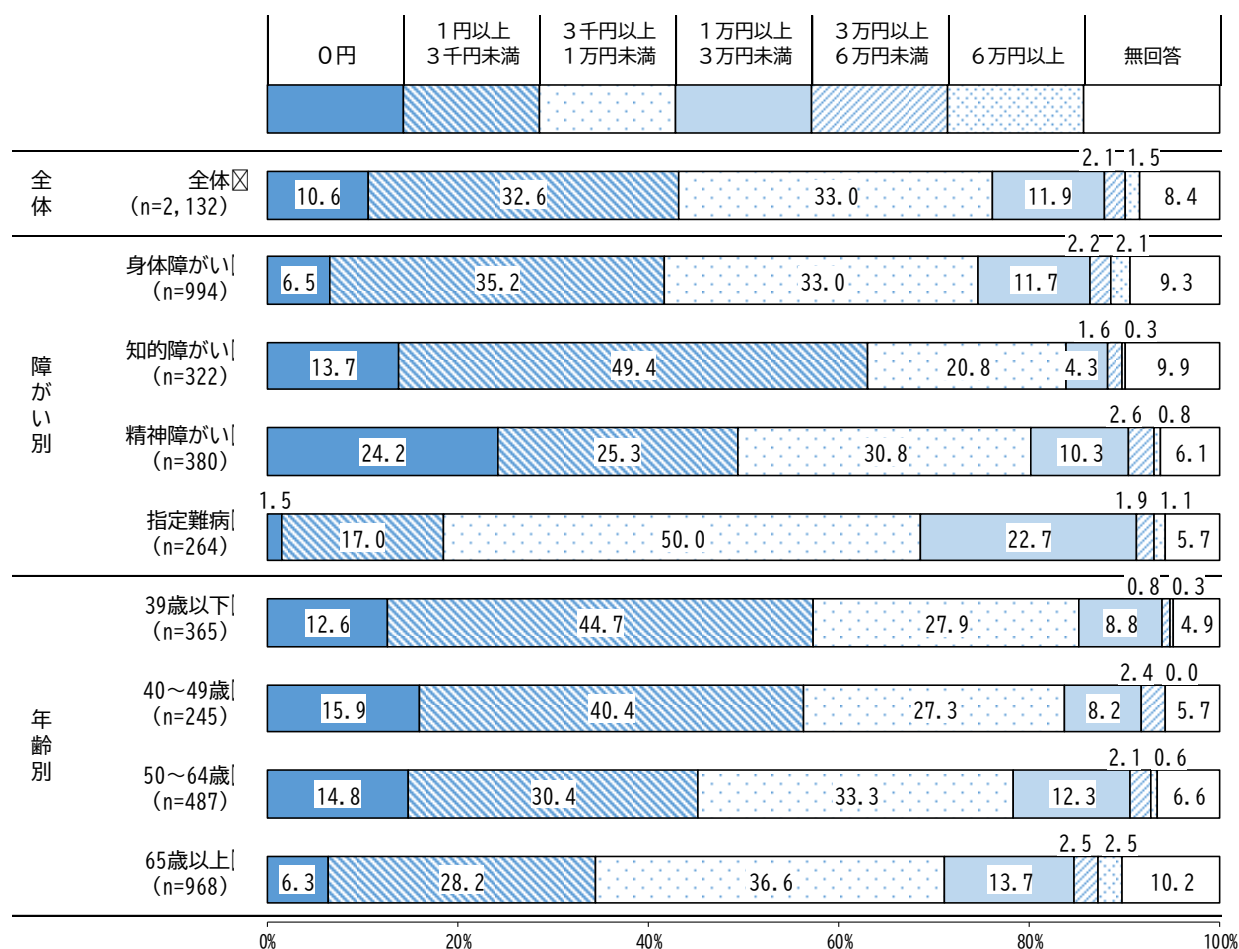
【障がい別】

- 知的障がいは「1円以上3千円未満」が全体より 16.8 ポイント多くなっています。精神障がいは「0円(生活保護の医療扶助等で自己負担が全額免除されている場合等)」が全体より 13.6 ポイント多くなっています。指定難病は「3千円以上1万円未満」「1万円以上3万円未満」が全体より 10.8～17.0 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39歳以下は「1円以上3千円未満」が全体より 12.1 ポイント多くなっています。年齢が高くなるほど、3千円以上の割合が多くなっています。

<障がい、年齢別 1か月あたりの医療費の自己負担分>



(4)保健・医療面の不安、困っていること

問27 あなたは、保健・医療面で不安に思っていること、困っていることは何ですか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 保健・医療面の不安、困っていることについて、「障がいが重くなったり病状が進むこと」が37.3%で最も多く、次いで「お金がかかる」が25.7%、「特に不安や困っていることはない」が20.1%となっています。

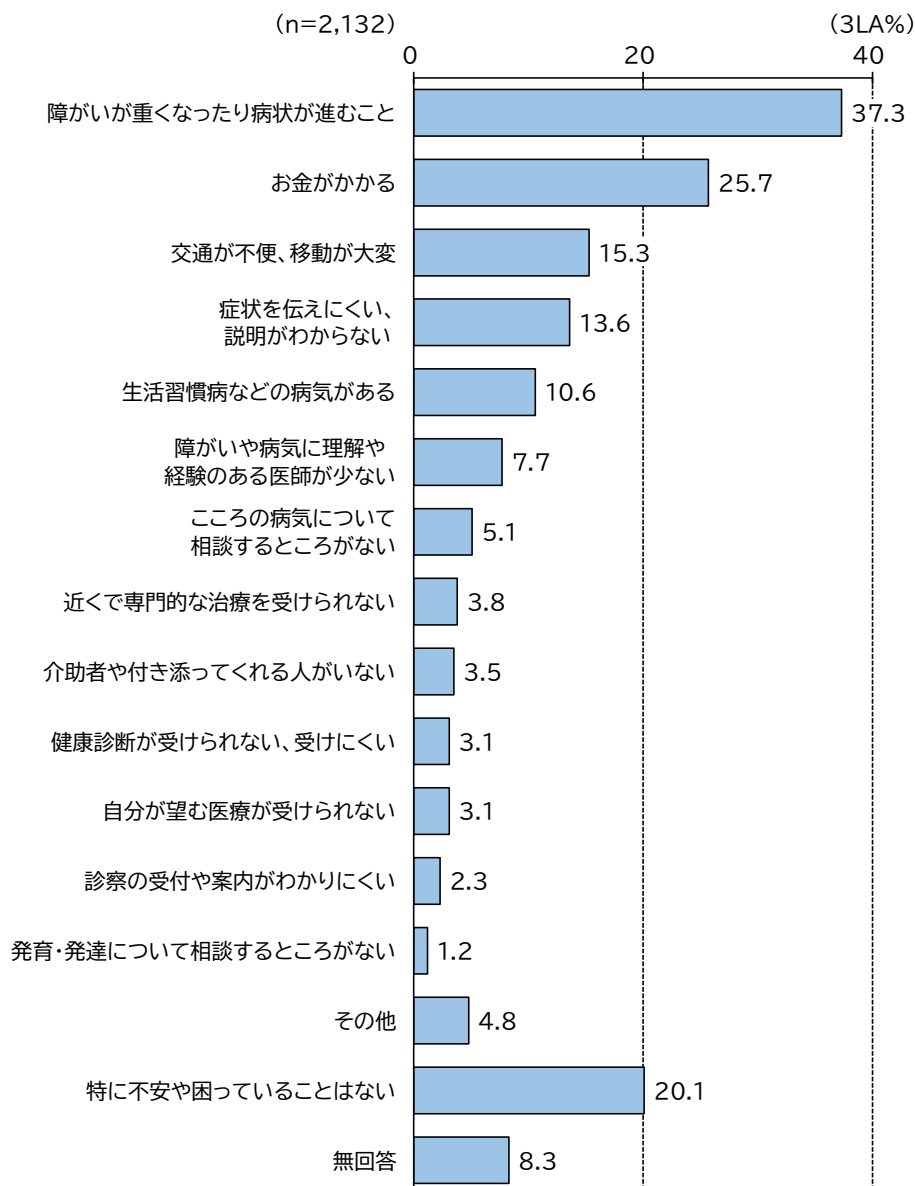
【障がい別】

- 知的障がいは「障がいや病気に理解や経験のある医師が少ない」「症状を伝えにくい、説明がわからない」が全体より10.9～20.3ポイント多くなっています。指定難病は「障がいが重くなったり病状が進むこと」「お金がかかる」が全体より10.3～28.2ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39歳以下は「症状を伝えにくい、説明がわからない」が全体より13.8ポイント多く、「障がいが重くなったり病状が進むこと」が12.4ポイント少なくなっています。50～64歳は「障がいが重くなったり病状が進むこと」が他の年齢に比べて多くなっています。

<障がい、年齢別 保健・医療面の不安、困っていること>



単位：％

		母数 (n)	保健・医療面の不安、困っていること							
			とた障 りが 病い 状が 重く なつ	お 金 が か か る	が交 通 が 不 便、 移 動	ない、 説明 が わ か ら な い	症 状 を 伝 え な い	病 生 活 が あ る	師 解 障 が あ る	ろ い こ ろ の 病 気 に こ つ
全体		2,132	37.3	25.7	15.3	13.6	10.6	7.7	5.1	3.8
障 が い 別	身体障がい	994	39.9	21.0	19.0	7.2	9.6	6.5	2.2	3.3
	知的障がい	322	▼ 23.3	▼ 13.7	12.4	△ 33.9	8.4	△ 18.6	3.7	5.3
	精神障がい	380	35.3	32.4	14.2	23.2	11.8	10.8	9.7	4.2
	指定難病	264	△ 65.5	△ 36.0	20.1	9.1	10.6	6.1	2.3	5.7
年 齢 別	39歳以下	365	▼ 24.9	29.0	11.2	△ 27.4	7.1	15.6	6.0	6.6
	40～49歳	245	38.0	27.3	11.0	18.8	11.8	8.6	11.4	6.5
	50～64歳	487	45.8	31.4	11.1	13.3	14.6	8.0	6.8	1.6
	65歳以上	968	37.3	21.0	20.4	7.1	9.9	4.4	2.4	3.1

単位：％

単位：％

		母数 (n)	保健・医療面の不安、困っていること							
			いて介 助者 や 人 付 が き 添 な つ	いれ な い 健 診 断 受 け に く ら	受自 け分 が 望 む い 医 療 が	が診 察の 受 付 く や 案 内	がて 発 育・ 発 達 に こ ろ い	そ の 他	い る こ と は な い 困 っ て	無 回 答
全体		2,132	3.5	3.1	3.1	2.3	1.2	4.8	20.1	8.3
障 が い 別	身体障がい	994	4.0	2.0	3.1	2.2	0.2	4.2	21.2	10.7
	知的障がい	322	5.9	6.8	1.9	4.7	3.4	5.0	21.7	8.4
	精神障がい	380	3.2	6.3	5.3	1.3	2.1	6.1	15.3	6.3
	指定難病	264	1.1	0.8	3.4	2.3	0.8	3.8	12.5	2.3
年 齢 別	39歳以下	365	2.7	7.9	3.0	3.6	2.7	4.4	21.1	4.4
	40～49歳	245	3.7	2.9	2.0	2.4	3.3	6.5	19.6	4.5
	50～64歳	487	4.1	2.9	3.5	2.1	1.4	6.0	17.7	4.3
	65歳以上	968	3.6	1.7	3.0	1.9	-	3.9	22.0	11.9

5. 情報や相談について

(1) パソコンやスマートフォンの活用

問28 あなたは、パソコンやスマートフォンなどで情報を集められますか？(1つだけ○)

【全体】

- パソコンやスマホの活用について、「パソコンやスマホなどを使い、インターネットや SNS で情報を集められる」が 50.2%で最も多く、次いで「いずれも使えない」が 31.2%、「今は使えないが、今後使えるようになりたいと考えている」が 5.7%となっています。

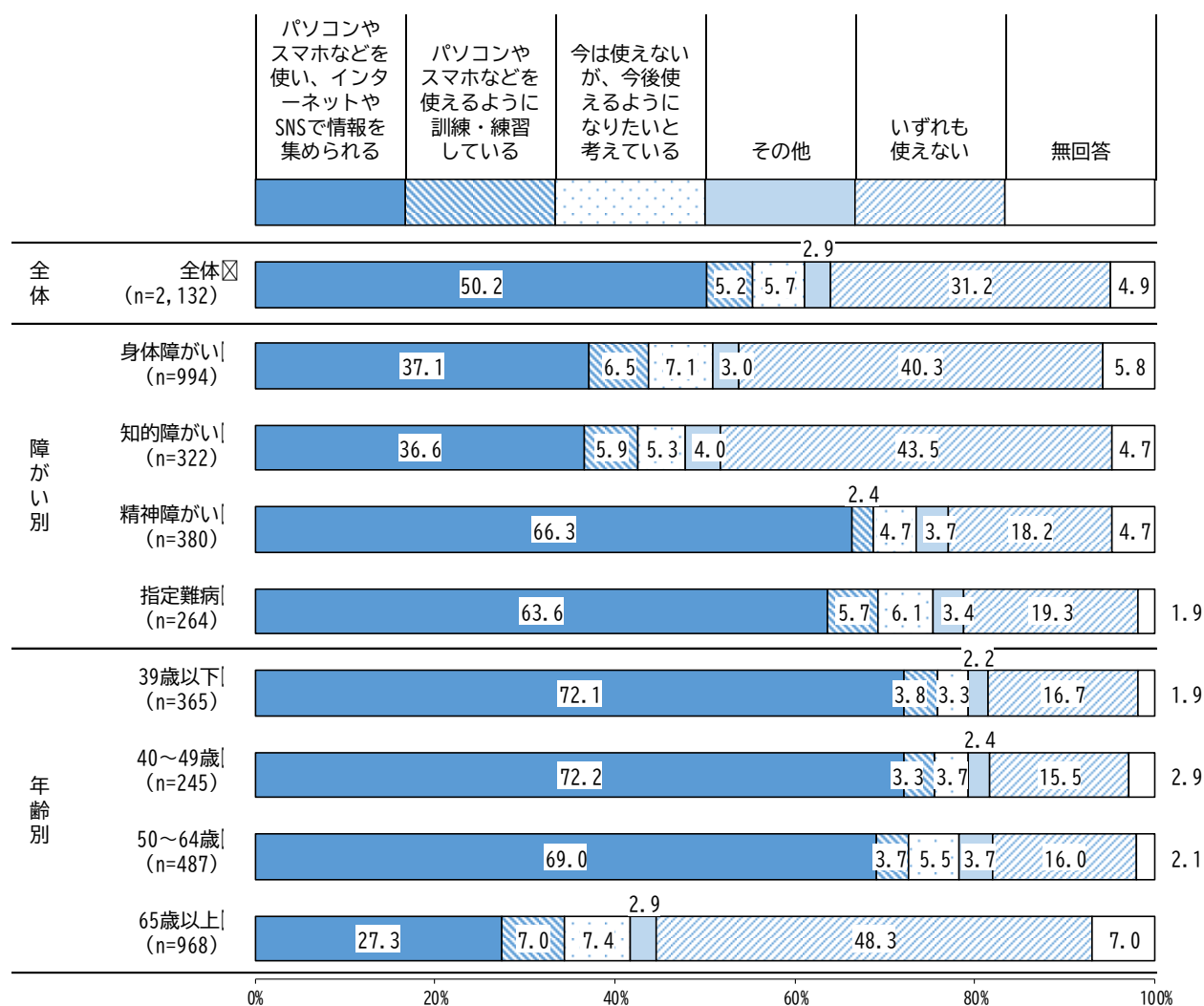
【障がい別】

- 知的障がいは「いずれも使えない」が全体より 12.3 ポイント多くなっています。精神障がい、指定難病は「パソコンやスマホなどを使い、インターネットや SNS で情報を集められる」が全体より 13.4～16.1 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 64 歳以下は「パソコンやスマホなどを使い、インターネットや SNS で情報を集められる」が全体より 18.8～22.0 ポイント多くなっています。65 歳以上は「いずれも使えない」が全体より 17.1 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 パソコンやスマホの活用>



(2)保健・福祉サービスの情報の入手先

問29 あなたや、あなたのご家庭では、保健・福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか？(主なものを3つまでに○)

【全体】

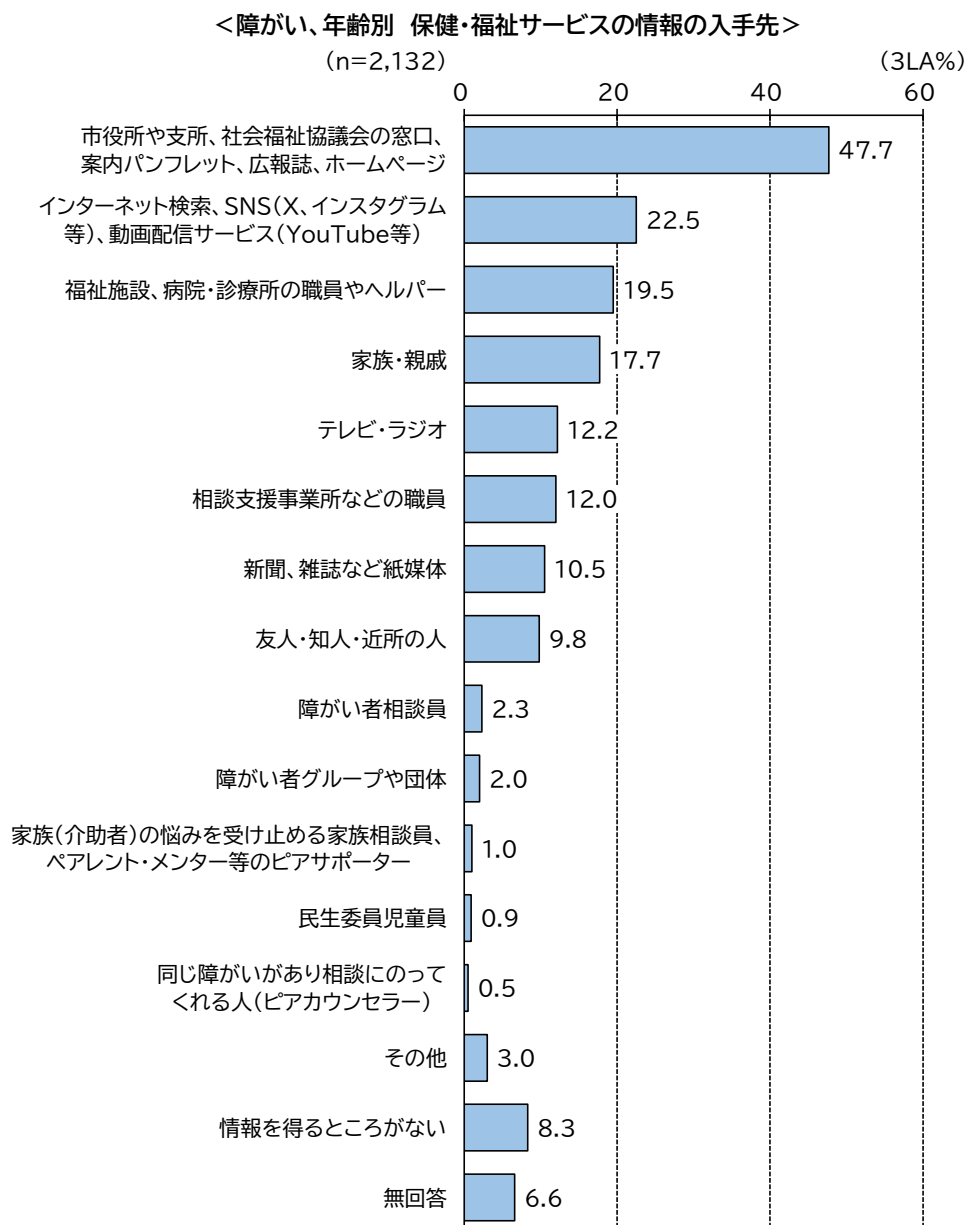
- 保健・福祉サービスの情報の入手先について、「市役所や支所、社会福祉協議会の窓口、案内パンフレット、広報誌、ホームページ」が 47.7%で最も多く、次いで「インターネット検索、SNS(X、Instagram等)、動画配信サービス(YouTube 等)」が 22.5%、「福祉施設、病院・診療所の職員やヘルパー」が 19.5%となっています。

【障がい別】

- 知的障がいは「相談支援事業所などの職員」が全体より 18.1 ポイント多く、「インターネット検索、SNS(X、Instagram等)、動画配信サービス(YouTube 等)」が 10.7 ポイント少なくなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「相談支援事業所などの職員」が全体より 11.3 ポイント多くなっています。



単位：％

		母数 (n)	保健・福祉サービスの情報の入手先							
			ホームページ	市役所や支所、社会福祉協議会の窓口、案内パンフレット、広報誌、	インターネット検索、SNS（X、Instagram等）、動画配信サービス（YouTube等）	福祉施設、病院・診療所の職員やヘルパー	家族・親戚	テレビ・ラジオ	相談支援事業所などの職員	新聞、雑誌など紙媒体
全体		2,132	47.7	22.5	19.5	17.7	12.2	12.0	10.5	9.8
障がい別	身体障がい	994	46.8	18.0	18.2	17.8	16.7	10.2	14.4	10.8
	知的障がい	322	50.3	▼ 11.8	22.4	20.5	5.0	△ 30.1	4.7	11.5
	精神障がい	380	45.8	26.6	22.9	15.8	8.7	15.8	5.3	6.1
	指定難病	264	54.2	26.1	22.0	19.3	12.5	7.6	11.4	10.6
年齢別	39歳以下	365	46.0	30.4	21.9	20.5	2.5	△ 23.3	3.0	11.0
	40～49歳	245	50.2	31.4	20.8	20.0	9.8	11.8	8.2	6.5
	50～64歳	487	56.7	30.0	17.2	12.7	10.1	9.2	8.2	8.6
	65歳以上	968	43.9	13.5	19.4	18.8	17.5	9.1	15.0	11.0

単位：％

		母数 母数□ (n)	保健・福祉サービスの情報の入手先							
			障がい者相談員	障がい者グループや団体	家族（介助者）の悩みを受けるピアサポーター	民生委員児童員	同じ障がいがあり相談にのってくれる人（ピアカウンセラー）	その他	情報を得るところがない	無回答
全体		2,132	2.3	2.0	1.0	0.9	0.5	3.0	8.3	6.6
障がい別	身体障がい	994	1.9	1.4	1.2	1.3	0.6	3.2	7.2	8.0
	知的障がい	322	6.8	8.4	1.9	-	1.2	1.9	6.8	4.7
	精神障がい	380	4.7	2.1	1.1	-	0.3	3.7	12.1	4.5
	指定難病	264	0.4	1.1	1.1	1.1	-	2.7	8.7	3.8
年齢別	39歳以下	365	5.5	2.7	1.1	-	0.8	3.0	8.8	1.6
	40～49歳	245	2.4	2.9	1.2	-	0.8	2.4	8.2	3.3
	50～64歳	487	2.9	3.5	0.4	-	-	2.1	9.0	4.1
	65歳以上	968	0.9	0.6	1.2	1.9	0.6	3.6	7.9	9.7

(3) 困ったことや相談したい時の相談先

問30 あなたや、あなたのご家庭では、困ったことや相談したいことがあるときに、誰(どこ)に相談しますか？(主なものを3つまでに○)

【全体】

○ 困ったことや相談したい時の相談先について、「家族、パートナー」が 64.9%で最も多く、次いで「病院・診療所の医師や看護師」が 27.3%、「友人・知人・近所の人」が 19.5%となっています。

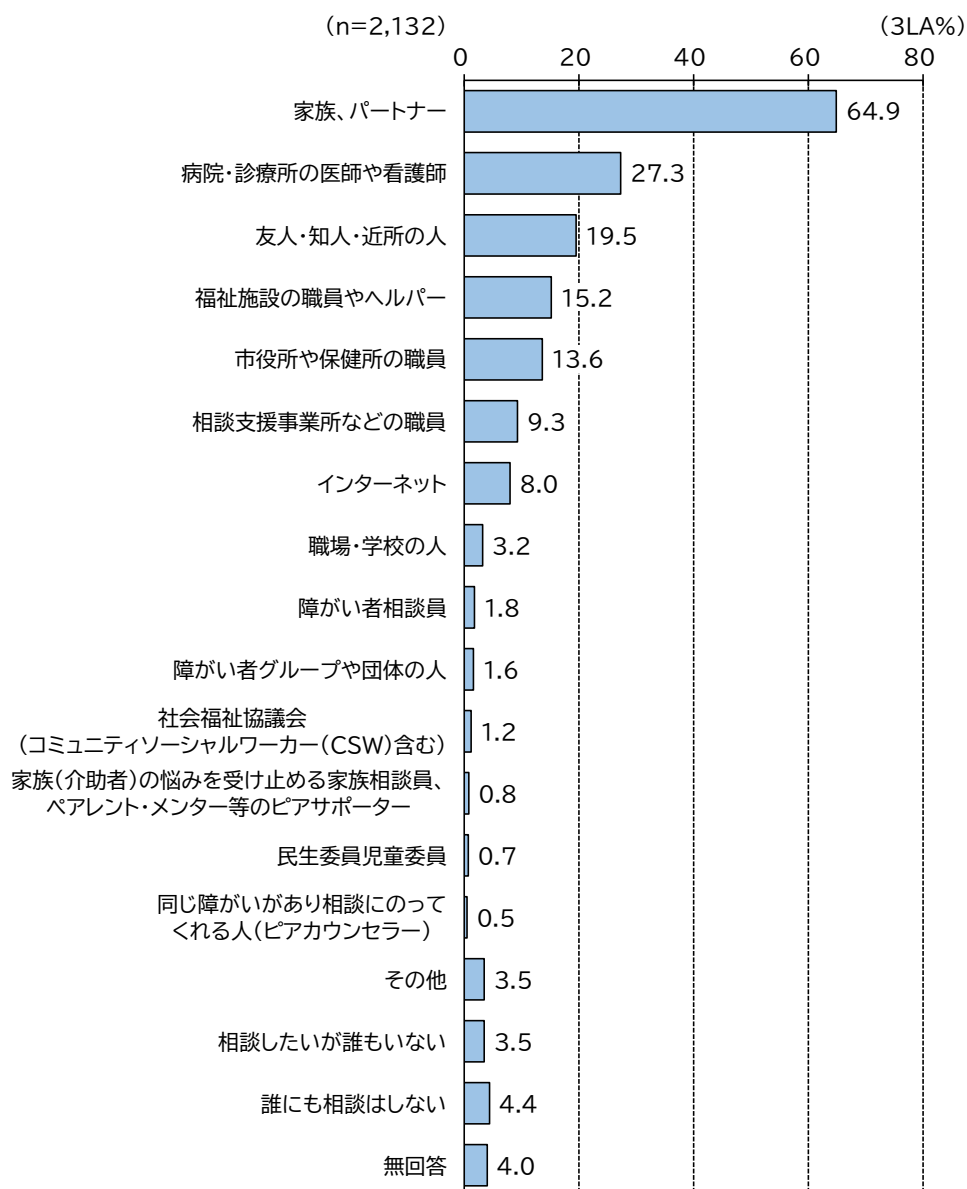
【障がい別】

○ 知的障がいは「相談支援事業所などの職員」「福祉施設の職員やヘルパー」が全体より 15.5～16.5 ポイント多くなっています。指定難病は「家族、パートナー」「病院・診療所の医師や看護師」が全体より 11.2～13.6 ポイント多くなっています。

【年齢別】

○ 39 歳以下は「相談支援事業所などの職員」が全体より 10.4 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 困ったことや相談したい時の相談先>



単位：％

単位：％

		母数 ☒ (n)	困ったことや相談したい時の相談先								
			家族、 パートナー	病院・診療所の医師や看護師	友人・知人・近所の人	福祉施設の職員やヘルパー	市役所や保健所の職員	相談支援事業所などの職員	インターネット	職場・学校の人	障がい者相談員
	全体	2,132	64.9	27.3	19.5	15.2	13.6	9.3	8.0	3.2	1.8
障がい別	身体障がい	994	64.4	25.1	20.8	15.6	15.6	6.5	7.2	1.4	1.5
	知的障がい	322	61.8	▼ 12.1	14.6	△ 31.7	14.0	△ 24.8	4.3	7.1	4.3
	精神障がい	380	58.4	36.1	15.0	12.4	13.9	12.9	6.3	4.5	3.7
	指定難病	264	△ 76.1	△ 40.9	21.6	8.3	15.5	5.3	12.1	1.9	-
年齢別	39歳以下	365	73.2	24.4	20.3	17.8	8.8	△ 19.7	7.1	9.0	3.8
	40～49歳	245	69.8	28.6	20.4	13.5	15.1	9.4	11.8	5.3	1.2
	50～64歳	487	62.6	29.8	20.1	10.9	15.2	7.6	12.7	3.9	2.7
	65歳以上	968	62.8	26.9	18.9	17.1	13.7	6.4	5.4	0.3	0.7

単位：％

		母数 (n)	困ったことや相談したい時の相談先								単位：%
			障がい者グループや団体の人	社会福祉協議会（コミュニティソーシャルワーカー（CSW）含む）	家族相談員、ペアレント・メンター等のピアサポーター	家族（介助者）の悩みを受け止める	民生委員児童委員	同じ障がいがあり相談にのってくれる人（ピアカウンセラー）	その他	相談したいが誰もいない	誰にも相談はしない
全体		2,132	1.6	1.2	0.8	0.7	0.5	3.5	3.5	4.4	4.0
障がい別	身体障がい	994	1.5	1.1	1.1	1.3	0.6	3.7	2.5	4.6	4.6
	知的障がい	322	5.9	0.3	0.6	0.3	1.2	2.5	3.7	2.2	3.4
	精神障がい	380	0.8	2.9	0.5	0.3	0.3	4.7	5.5	5.3	3.9
	指定難病	264	1.1	0.4	0.4	0.8	-	4.5	1.5	1.9	3.0
年齢別	39歳以下	365	1.9	0.5	0.3	-	0.5	2.7	4.1	3.6	1.1
	40～49歳	245	3.7	1.2	0.8	-	0.4	3.3	4.5	4.5	2.4
	50～64歳	487	2.3	1.0	0.4	0.4	1.0	2.7	6.2	4.1	2.5
	65歳以上	968	0.7	1.4	1.0	1.1	0.3	4.2	1.7	5.0	5.4

(4)相談支援体制に希望すること

問31 あなたや、あなたのご家庭では、相談支援体制について、希望することは何ですか？

(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 相談支援体制に希望することについて、「特にない」が 30.9%で最も多く、次いで「福祉の専門職を配置した相談窓口の充実」が 24.4%、「医療・福祉・保健・教育・住宅など、各分野が連携した総合的で一貫した相談支援体制」が 19.6%となっています。

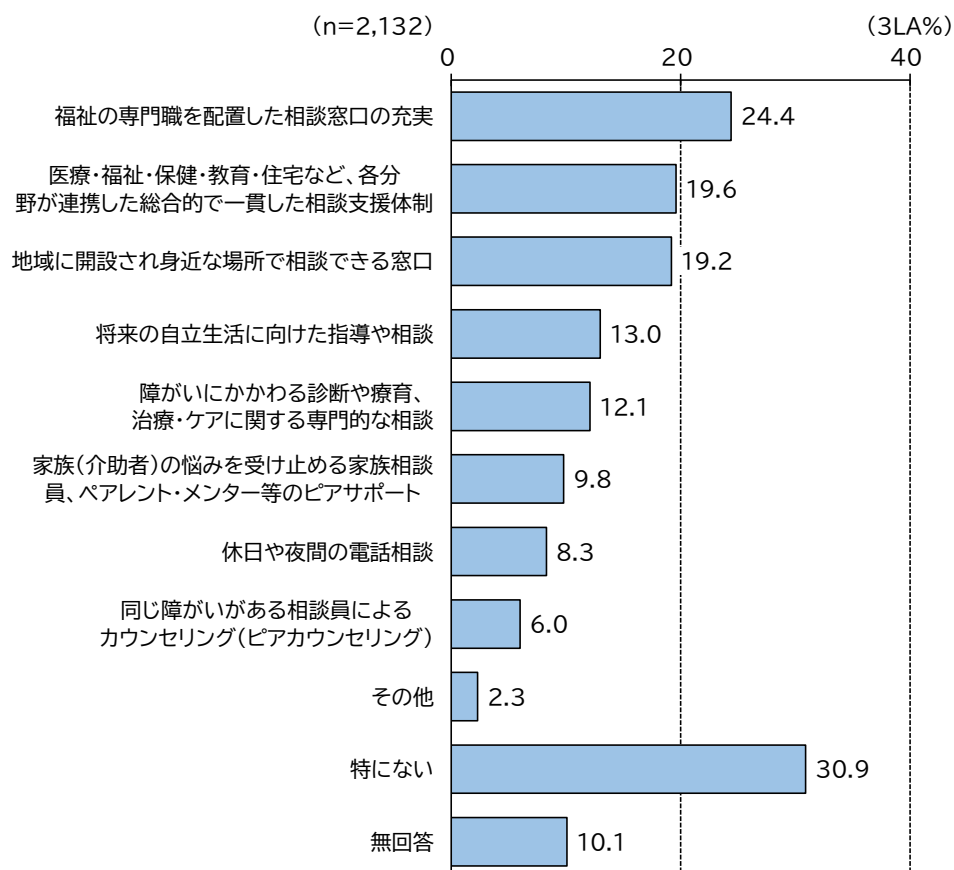
【障がい別】

- 知的障がいは「福祉の専門職を配置した相談窓口の充実」「将来の自立生活に向けた指導や相談」が全体より 10.7～21.8 ポイント多いほか、他の障がいに比べて相談支援体制について希望する内容が多い傾向です。

【年齢別】

- 39 歳以下は「将来の自立生活に向けた指導や相談」が全体より 20.7 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 相談支援体制に希望すること>



単位：％

単位：%

		母数 (n)	相談支援体制に希望すること										
			口福 社の 充実	福 社の 専門 職を 配置 した 相談 窓	医 療・ 福祉・ 保健・ 教育・ 住宅 など、 各分野 が連携 した総 合的 で一貫 した相 談支援 体制	地 域に開 設され 身近な 場所で 相 談 できる 窓口	相 談 将来の 自立生 活に向 けた指 導や	治 療・ケ アに関 する専 門的相 談	障 がい にかか る診断 や療育 、メン ター等 のピア サポー ト	家 族（介 助者） の悩み を受け 止める 家族相 談員、 ピアサ ポート	休 日や夜 間の電 話相談	同 じ障 がい がある 相談員 による カウンセ リング （ピア カウンセ セ	そ の 他
全体		2,132	24.4	19.6	19.2	13.0	12.1	9.8	8.3	6.0	2.3	30.9	10.1
障 が い 別	身体障がい	994	23.5	17.2	18.8	5.2	11.5	8.4	7.7	5.8	2.4	32.9	12.9
	知的障がい	322	△ 35.1	28.6	20.8	△ 34.8	20.5	15.8	5.9	5.6	1.9	▼ 15.2	7.1
	精神障がい	380	26.1	21.8	21.1	21.8	14.7	11.1	10.3	9.2	2.6	26.6	6.3
	指定難病	264	22.0	21.6	24.2	8.0	12.1	8.0	11.4	4.5	3.0	33.3	8.7
年 齢 別	39歳以下	365	24.9	24.9	17.8	△ 33.7	17.8	13.7	7.7	7.1	1.4	27.9	2.7
	40～49歳	245	26.1	24.5	18.0	20.8	13.1	8.6	11.4	9.4	2.0	29.4	5.3
	50～64歳	487	27.9	22.2	19.7	14.0	14.4	9.4	9.7	7.0	3.3	30.0	5.7
	65歳以上	968	21.4	15.3	19.7	▼ 2.7	8.6	8.7	7.1	4.2	2.1	34.3	15.2

(5)高槻市自立支援協議会の認知度

問32 あなたや、あなたのご家庭では、「高槻市自立支援協議会」を知っていますか？(1つだけ○)

※高槻市自立支援協議会は、障がい者やその家族、事業者、医療機関、市役所などの関係機関が、協力して地域の課題に取り組むために、相互の連絡を図る会議です。

【全体】

○ 高槻市自立支援協議会の認知度について、「知らない」が 71.2%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 21.5%、「知っている」が 4.4%となっています。「知っている」「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」を合わせた“認知度”は 25.9%となっています。

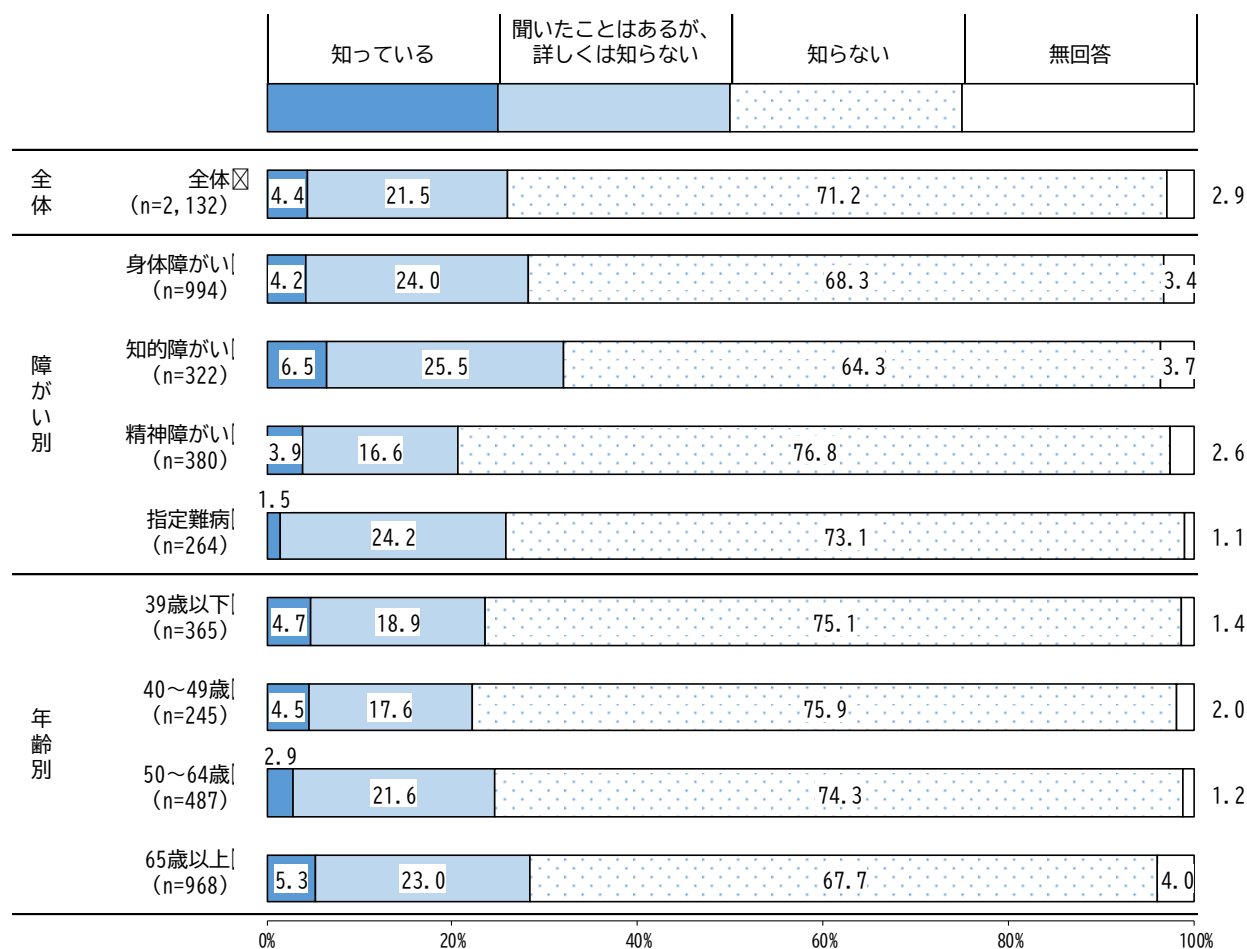
【障がい別】

○ 知的障がいは他の障がいに比べて“認知度”がやや高い傾向となっています。

【年齢別】

○ 65 歳以上は他の年齢に比べて“認知度”がやや高い傾向となっています。

<障がい、年齢別 高槻市自立支援協議会の認知度>



(6)成年後見制度の認知度

問33 あなたや、あなたのご家庭では、「成年後見制度」を知っていますか？(1つだけ○)

※成年後見制度は、判断能力が十分でない人の財産や権利を、不当な契約等から守るために、周りの人が後見人となって判断を補うための制度です。

【全体】

- 成年後見制度の認知度について、「知っているが、利用はしていない」が 36.2%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 30.1%、「知らない」が 28.0%となっています。「利用している」「知っているが、利用はしていない」「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」を合わせた“認知度”は 68.0%となっています。

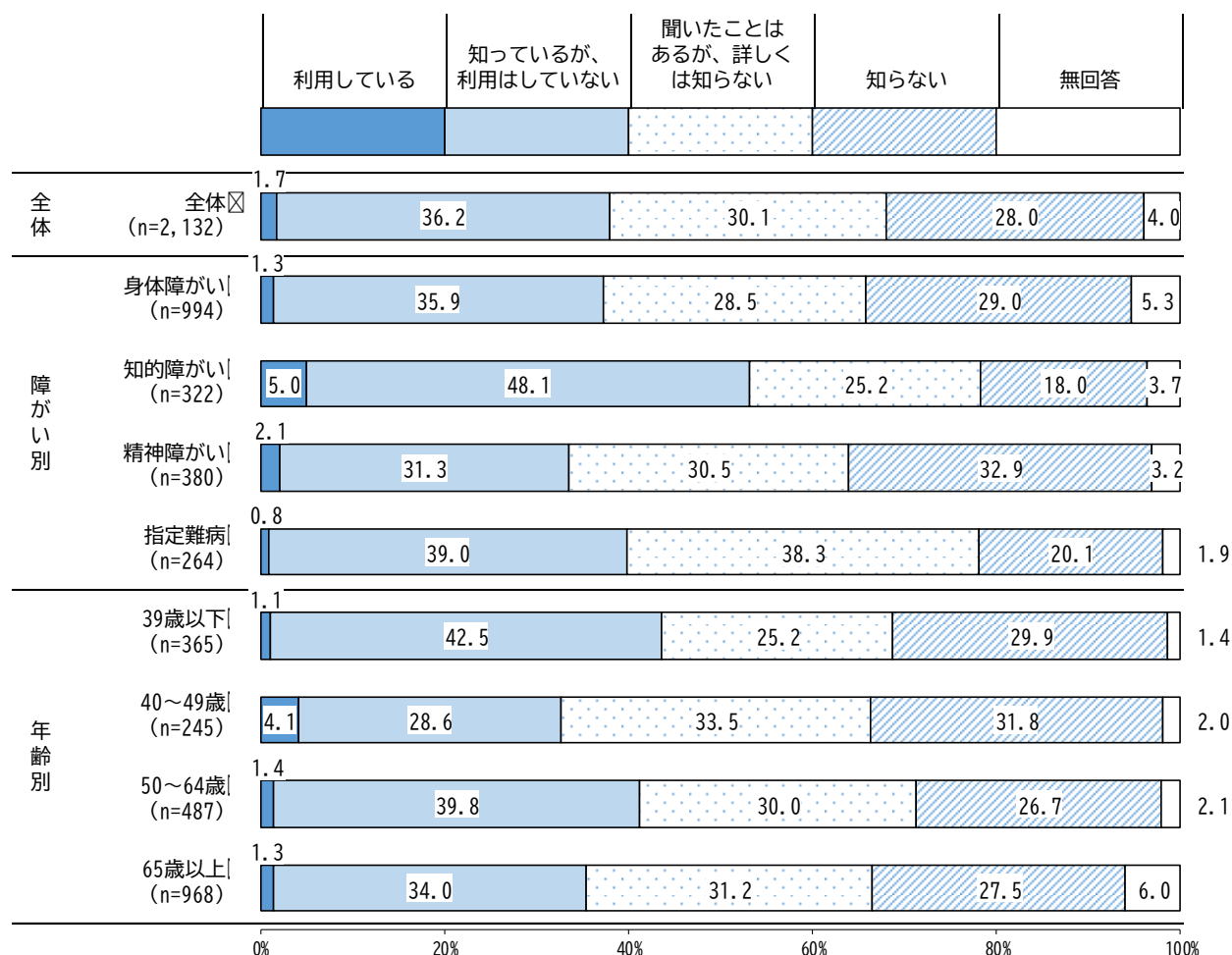
【障がい別】

- 知的障がいは「知っているが、利用はしていない」が全体より 11.9 ポイント多くなっています。知的障がいと指定難病は他の障がいに比べて“認知度”が高くなっています。

【年齢別】

- 39歳以下と 50～64歳は他の年齢に比べて“認知度”がやや高い傾向となっています。

<障がい、年齢別 成年後見制度の認知度>



6. 災害など緊急時の対応について

(1)地震時の最寄りの避難所の認知度

問34 あなたは、災害時の最寄りの避難所を知っていますか？(1つだけ○)

【全体】

- 地震時の最寄りの避難所の認知度について、「知っている」が 69.6%、「知らない」が 26.2%となっています。

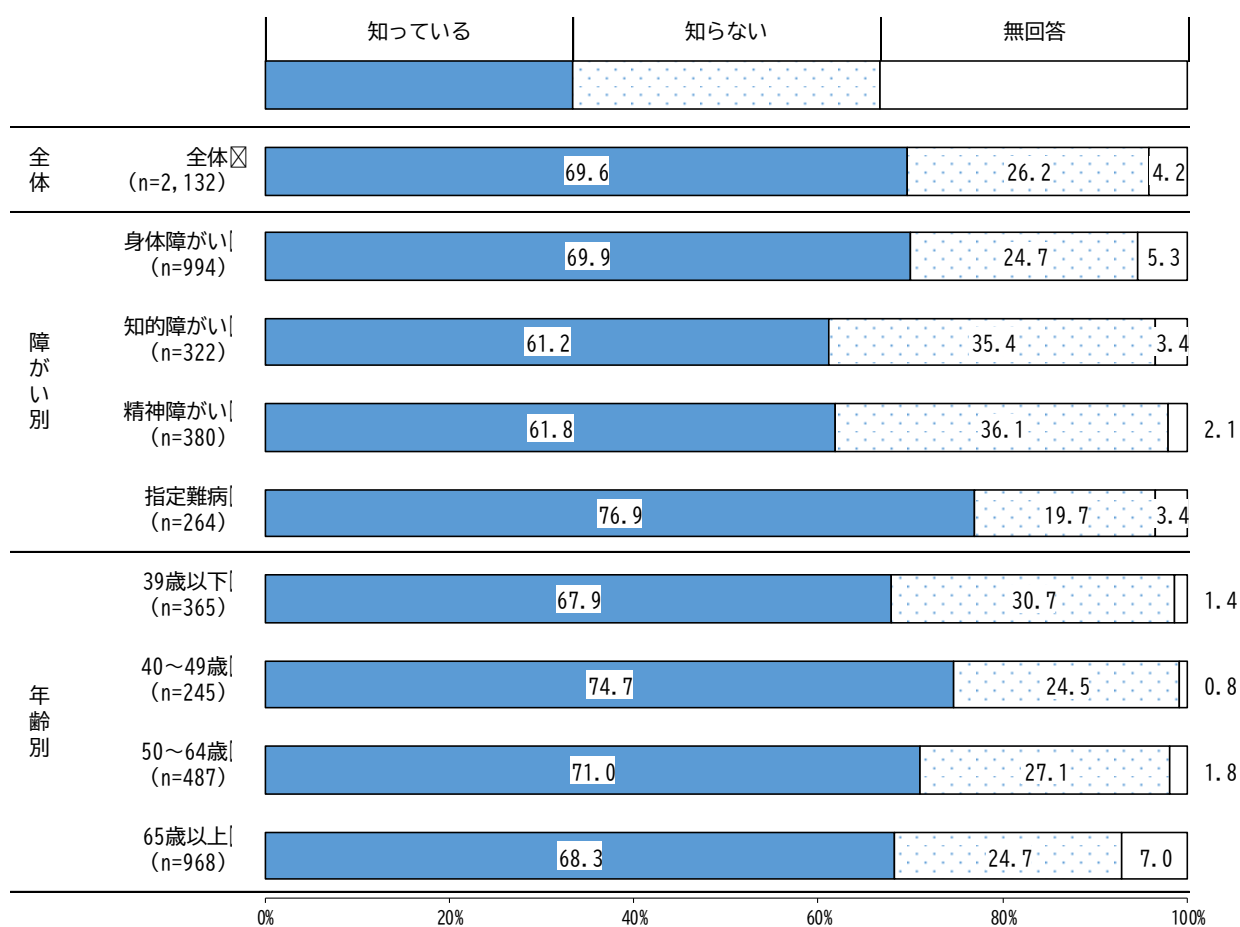
【障がい別】

- 知的障がいと精神障がいは、認知度がやや低い傾向となっています。

【年齢別】

- 40～64 歳は認知度が7割を超えて、やや高くなっています。

<障がい、年齢別 地震時の最寄りの避難所の認知度>



(2)災害時などに頼りにできる人

問35 地震などの災害が発生して、あなた自身で避難できないときなどに、手助けをしてくれる人や頼りにできる人がいますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

○ 災害時などに頼りにできる人について、「同居している人」が56.9%で最も多く、次いで「同居していない家族・親戚」が22.2%、「近所の人や自治会の人」が11.1%となっています。

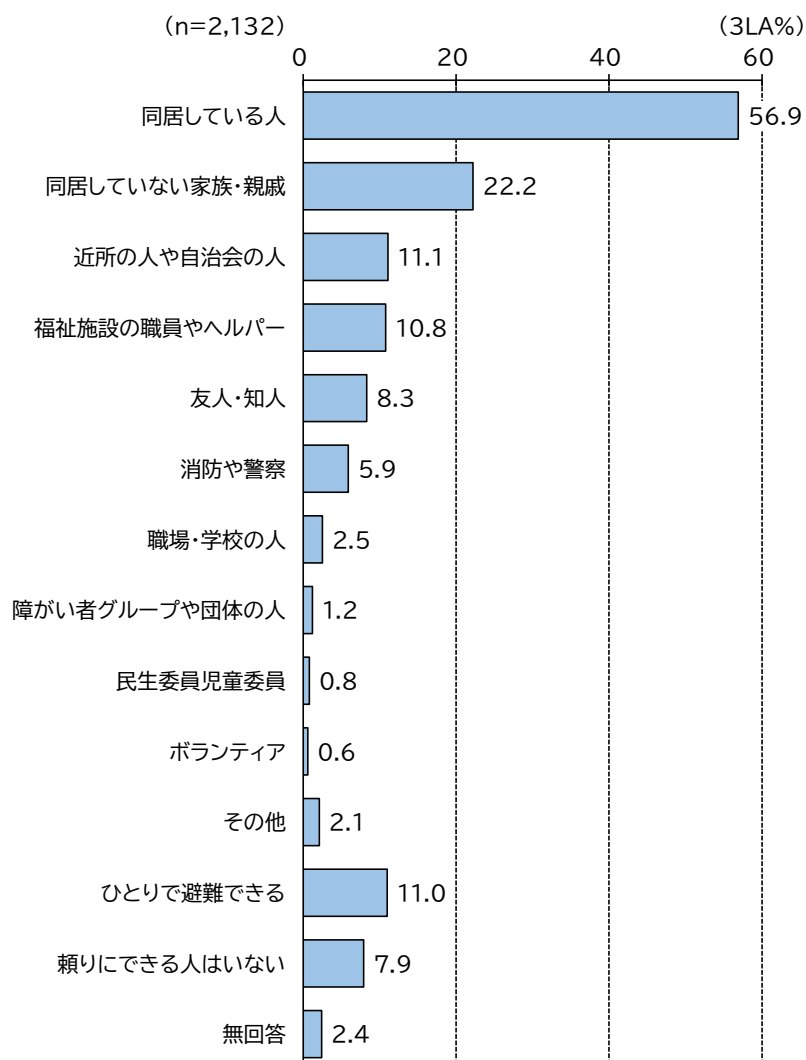
【障がい別】

○ 知的障がいは「福祉施設の職員やヘルパー」が全体より12.2ポイント多くなっています。指定難病は「同居している人」が全体より11.7ポイント多くなっています。

【年齢別】

○ 39歳以下は「同居している人」が全体より12.4ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 災害時などに頼りにできる人>



単位：％

		母数 (n)	災害時などに頼りにできる人					
			同居 している人	族同 居して いない家	の近 所の人 や自治会	ヘル プ施設 の職員 や	友人・ 知人	消防 や警察
全体		2,132	56.9	22.2	11.1	10.8	8.3	5.9
障 が い 別	身体障がい	994	54.6	22.9	15.5	11.5	8.8	6.6
	知的障がい	322	65.2	18.6	6.5	△ 23.0	6.2	5.3
	精神障がい	380	51.8	17.9	5.0	8.9	8.9	5.5
	指定難病	264	△ 68.6	30.7	14.8	4.2	9.1	6.4
年 齢 別	39歳以下	365	△ 69.3	18.1	4.4	10.4	6.8	2.7
	40～49歳	245	56.7	21.2	7.8	5.7	8.2	6.1
	50～64歳	487	50.7	19.9	6.8	10.5	9.4	6.0
	65歳以上	968	55.0	25.2	16.8	12.9	8.5	6.7

単位：％

		母数 (n)	災害時などに頼りにできる人					
			や障 団が 体の い者 グル ープ	民生 委員 児童 委員	ボ ラン ティ ア	そ の 他	るひ と り で 避 難 で き	頼 り に で き る 人 は
全体		2,132	1.2	0.8	0.6	2.1	11.0	7.9
障 が い 別	身体障がい	994	0.8	1.3	0.9	2.9	9.1	6.8
	知的障がい	322	5.9	-	0.3	1.9	4.0	7.1
	精神障がい	380	1.6	0.5	0.5	2.6	13.9	13.7
	指定難病	264	0.4	0.4	0.4	1.5	10.2	5.3
年 齢 別	39歳以下	365	1.9	-	-	0.8	13.2	5.8
	40～49歳	245	2.4	-	0.4	2.0	18.0	9.0
	50～64歳	487	1.8	0.4	0.8	1.8	15.8	12.5
	65歳以上	968	0.3	1.4	0.6	2.7	6.3	5.9

(3)避難所への避難をためらうことについて

問36 障がい理由として避難所への避難にためらいを感じますか？(1つだけ○)

【全体】

- 避難所への避難をためらうことについて、「多少感じる」が 27.6%で最も多く、次いで「あまり感じない」が 23.4%、「とても感じる」が 22.1%となっています。「とても感じる」「多少感じる」を合わせた“感じる”は 49.7%となっています。「あまり感じない」「まったく感じない」を合わせた“感じない”は 42.3%となっています。

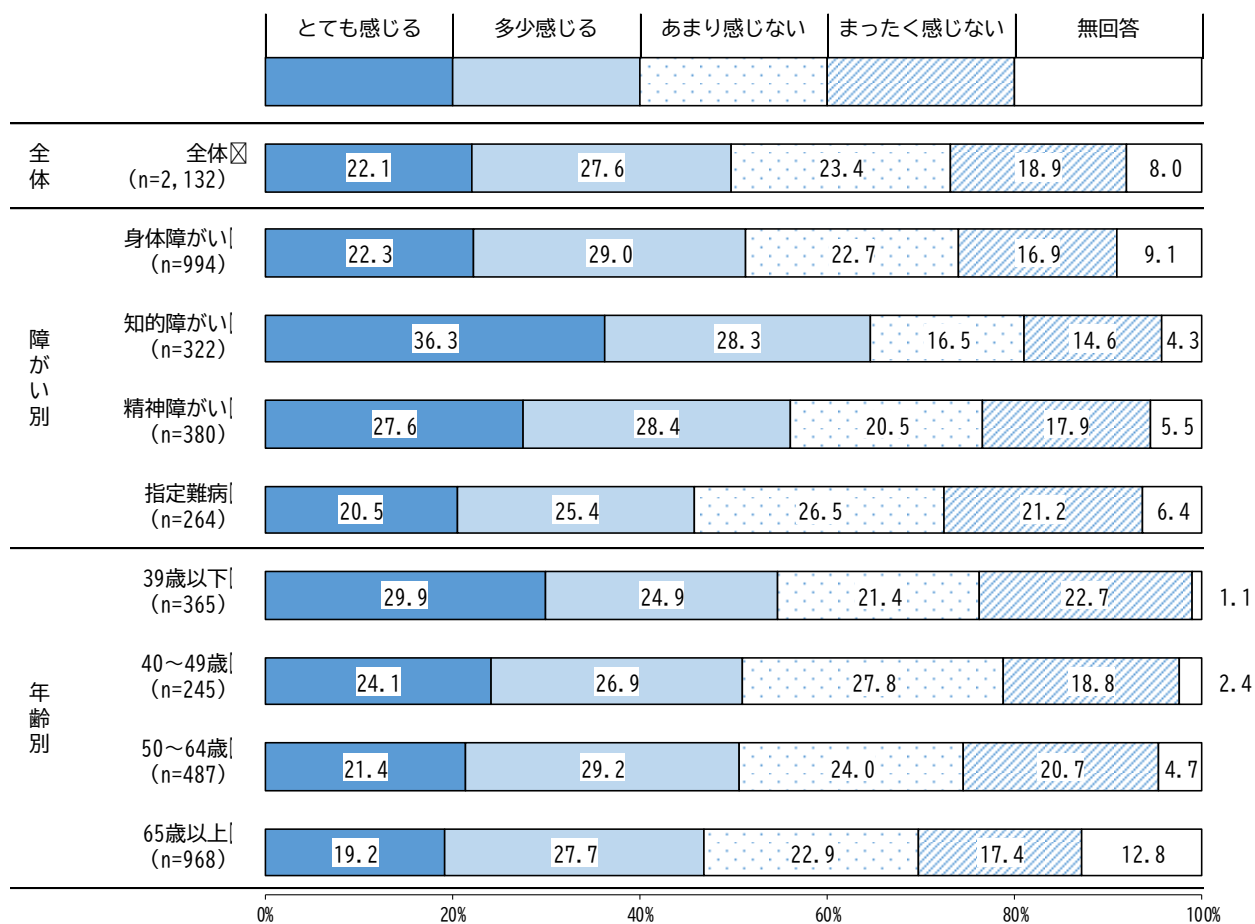
【障がい別】

- 知的障がいは「とても感じる」が全体より 14.2 ポイント多く、“感じる”は 64.6%となっています。

【年齢別】

- 年齢が低くなるほど、“感じる”が多くなっています。

<障がい、年齢別 避難所への避難をためらうことについて>



(4)避難所への避難にためらいを感じる理由

問36で1または2を選んだ方にお聞きします。

問37 ためらいを感じる理由は何ですか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 避難所への避難にためらいを感じる理由について、「迷惑をかけると思ってしまうから」が 34.4%で最も多く、次いで「服用している薬が手に入らないから」が 28.6%、「必要な配慮が得られないから」が 27.8%となっています。

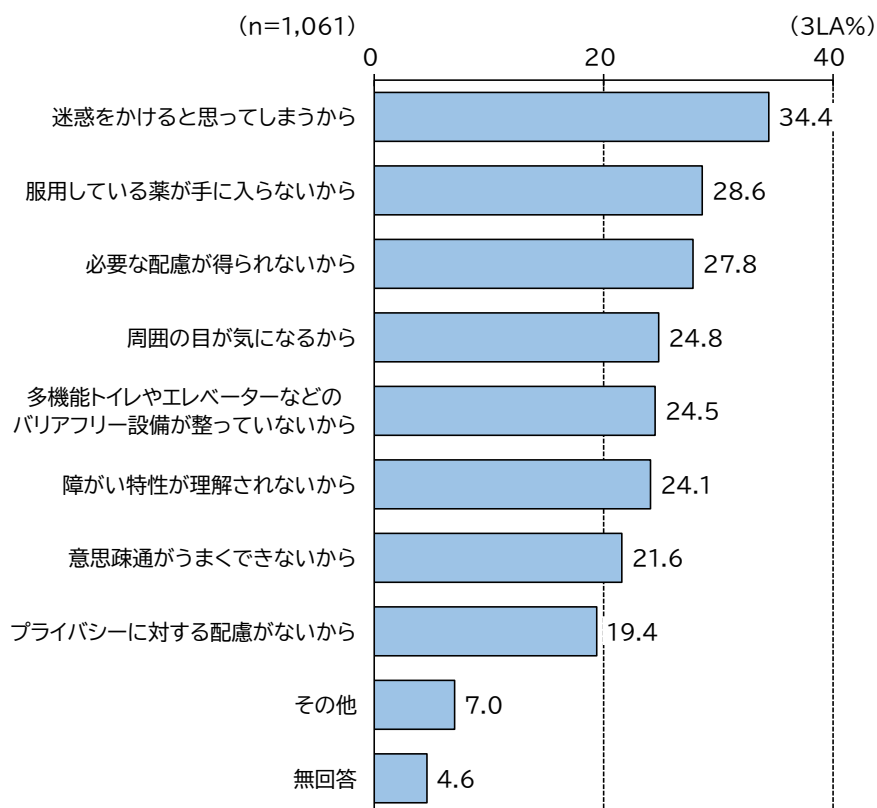
【障がい別】

- 身体障がいは「多機能トイレやエレベーターなどのバリアフリー設備が整っていないから」が全体より 15.3 ポイント多くなっています。知的障がいは「意思疎通がうまくできないから」「障がい特性が理解されないから」が全体より 25.4～25.5 ポイント多くなっています。精神障がいは「服用している薬が手に入らないから」「障がい特性が理解されないから」が全体より 10.2～14.6 ポイント多くなっています。指定難病は「服用している薬が手に入らないから」が全体より 12.7 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「意思疎通がうまくできないから」「周囲の目が気になるから」「障がい特性が理解されないから」が全体より 11.7～16.4 ポイント多くなっています。40～49 歳は「障がい特性が理解されないから」が全体より 18.3 ポイント多くなっています。65 歳以上は「多機能トイレやエレベーターなどのバリアフリー設備が整っていないから」が全体より 12.7 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 避難所への避難にためらいを感じる理由>



単位：％

単位：％

		避難所への避難にためらいを感じる理由										
		母数 (n)	迷惑を かけると 思ってし ま	服用して いる薬が 手に入ら ないから	必要な 配慮が得 られないか	周囲の目 が気になる から	多機能ト イレやエレ ベーターな どのバリア フリー設 備が整っ ていないか ら	障がい特 性が理解 されない	意思疎通 がうまく できない	プライバ シーに対 する配慮	その他	無回答
全体		1,061	34.4	28.6	27.8	24.8	24.5	24.1	21.6	19.4	7.0	4.6
障がい別	身体障がい	510	36.9	21.4	30.0	15.7	▲ 39.8	▼ 13.3	17.1	15.3	6.7	6.5
	知的障がい	208	36.5	▼ 10.1	32.7	32.7	▼ 12.0	▲ 49.5	▲ 47.1	15.4	3.4	3.8
	精神障がい	213	28.2	▲ 43.2	25.4	34.7	▼ 10.8	▲ 34.3	25.8	24.9	7.5	3.3
	指定難病	121	30.6	▲ 41.3	33.1	18.2	28.9	20.7	▼ 8.3	22.3	12.4	2.5
年齢別	39歳以下	200	36.0	24.5	28.0	▲ 36.5	▼ 13.0	▲ 40.5	▲ 36.0	22.0	4.0	2.0
	40～49歳	125	24.8	36.8	29.6	32.0	▼ 12.8	▲ 42.4	22.4	17.6	9.6	2.4
	50～64歳	246	27.6	38.2	30.5	28.5	17.9	25.2	16.7	21.5	8.1	5.3
	65歳以上	454	39.9	23.3	25.6	15.4	▲ 37.2	▼ 10.8	17.4	17.4	6.8	5.9

(5)災害時に困ること

全員にお聞きします。

問38 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか？(いくつでも○)

【全体】

- 災害時に困ることについて、「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」が53.9%で最も多く、次いで「投薬や治療が受けられない」が51.5%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が31.4%となっています。

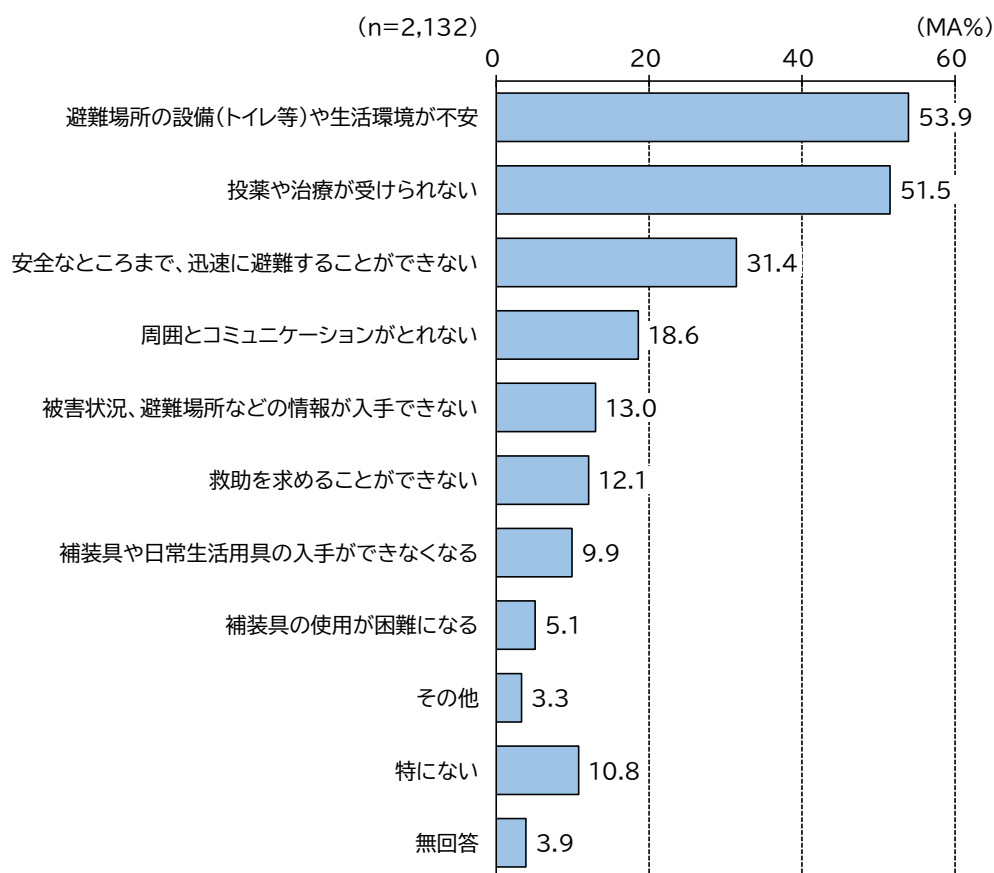
【障がい別】

- 身体障がいは「安全なところまで、迅速に避難することができない」が全体より12.3ポイント多くなっています。知的障がいは「救助を求めることができない」「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」「周囲とコミュニケーションがとれない」が全体より10.6～33.0ポイント多くなっています。精神障がいは「周囲とコミュニケーションがとれない」が全体より10.1ポイント多くなっています。指定難病は「投薬や治療が受けられない」が全体より19.0ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39歳以下は「周囲とコミュニケーションがとれない」が全体より19.2ポイント多くなっています。65歳以上は「安全なところまで、迅速に避難することができない」が全体より11.9ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 災害時に困ること>



单位：%

災害時に困ること														単位: %					
		母数 (n)	活 環 境 が 不 安	避 難 場 所 の 設 備 (ト イ レ 等) や 生	投 薬 や 治 療 が 受 け ら れ な い	で、 迅 速 に 避 難 す る こ と が で き な い	安 全 な と ころ ま で、 迅 速 に 避 難 す る こ と が で き な い	周 圍 と コ ミ ュ ニ ケー ション が と れ な い	手 で し な い 情 報 が 難 入 り	所 な ど の 情 報 が 難 入 り	被 害 状 況、 避 難 場 所 な ど の 情 報 が 難 入 り	救 助 を 求 め る こ と が で き な い	用 具 の 入 手 が で き な い	補 装 具 や 日 常 生 活 に 困 る	難 に な る	補 装 具 の 使 用 が 困 る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体			2,132	53.9	51.5	31.4	18.6	13.0	12.1	9.9	5.1	3.3	10.8	3.9					
障 が い 別	身体障がい	994	56.0	46.7	△ 43.7	12.2	12.5	11.0	14.6	8.6	3.0	10.2	4.7						
	知的障がい	322	53.4	▼ 29.8	37.6	△ 51.6	△ 23.6	△ 29.5	5.9	2.2	3.1	12.4	4.0						
	精神障がい	380	52.4	61.1	▼ 19.5	△ 28.7	17.9	16.6	7.1	2.6	5.3	7.9	3.4						
	指定難病	264	60.6	△ 70.5	32.2	▼ 6.4	10.2	8.3	9.8	3.8	3.8	8.0	0.4						
年 齢 別	39歳以下	365	50.7	43.0	▼ 21.4	△ 37.8	16.7	21.9	5.2	1.9	2.7	15.9	1.6						
	40～49歳	245	49.4	57.6	▼ 20.0	26.1	15.5	11.0	6.5	2.4	4.1	8.6	2.9						
	50～64歳	487	53.4	58.9	22.2	17.9	8.4	11.5	9.2	4.7	4.1	9.7	1.8						
	65歳以上	968	56.2	49.3	△ 43.3	10.0	12.5	8.9	12.9	7.2	2.9	10.5	5.9						

7. 将来の暮らしについて

(1) 希望する10年後の生活

問39 あなたは、今から10年後は、どのような生活を望まれますか？(1つだけ○)

【全体】

○ 希望する10年後の生活について、「家族などと一緒に暮らす」が43.8%で最も多く、次いで「わからない」が17.0%、「ひとりで暮らす」が14.8%となっています。

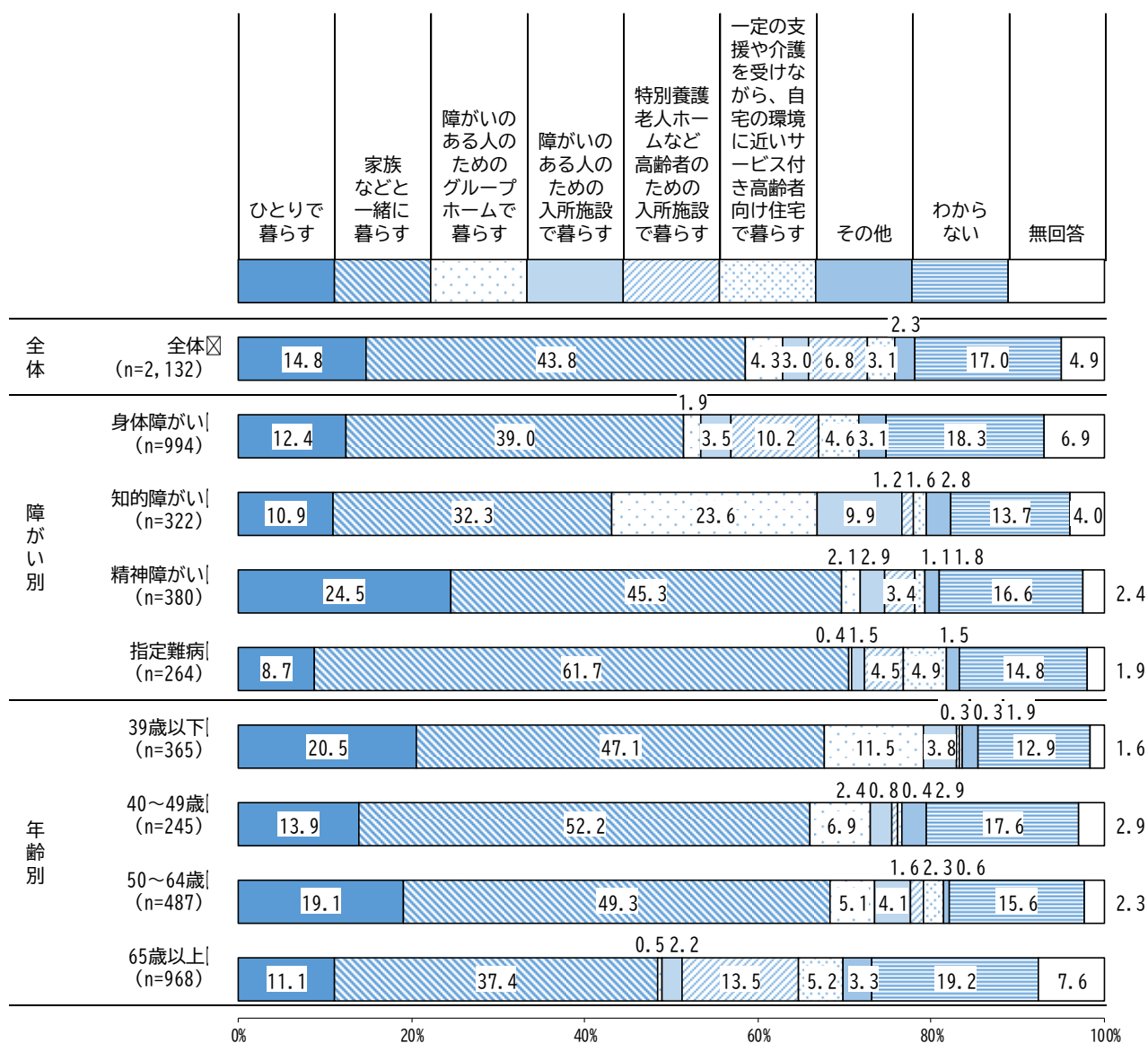
【障がい別】

○ 知的障がいは「障がいのある人のためのグループホームで暮らす」が全体より19.3ポイント多くなっています。指定難病は「家族などと一緒に暮らす」が全体より17.9ポイント多くなっています。

【年齢別】

○ 65歳以上は「家族などと一緒に暮らす」が他の年齢に比べて少ない一方、「特別養護老人ホームなど高齢者のための入所施設で暮らす」が多くなっています。

<障がい、年齢別 希望する10年後の生活>



(2)将来の不安

問40 あなたは将来のことでどのような不安を感じますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 将来の不安について、「一緒に暮らす人の高齢化や亡くなったときなどのこと」が 50.9%で最も多く、次いで「健康や体力のこと」が 44.0%、「収入などの経済的なこと」が 42.0%となっています。

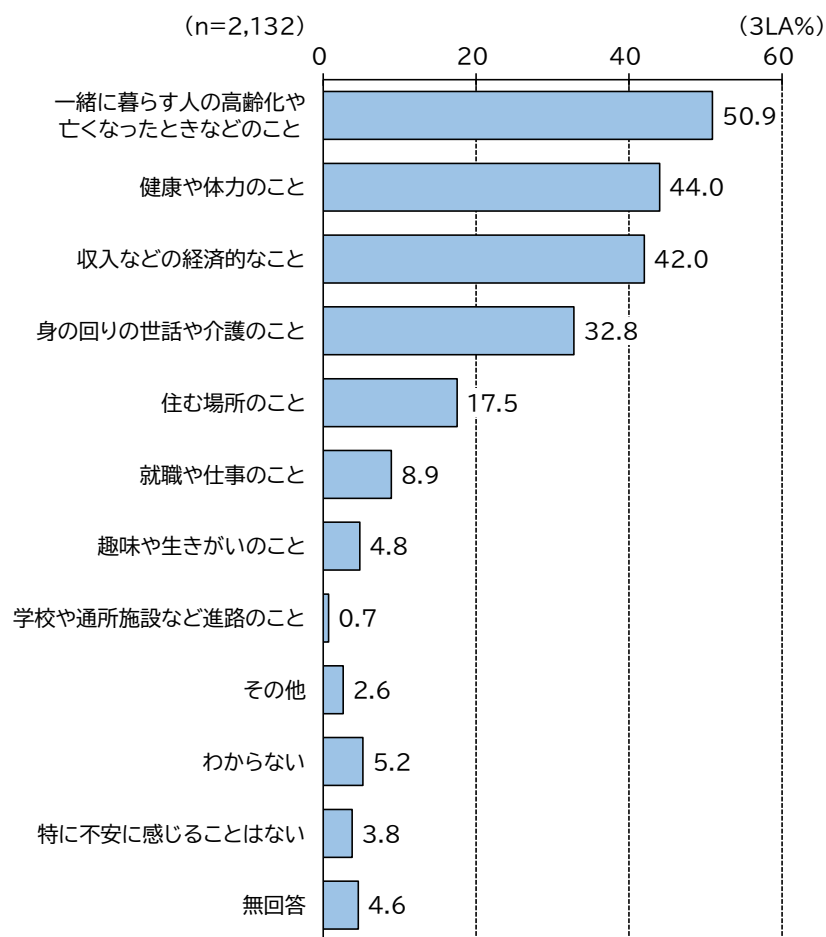
【障がい別】

- 知的障がいは「一緒に暮らす人の高齢化や亡くなったときなどのこと」が全体より 15.6 ポイント多くなっています。精神障がいは「収入などの経済的なこと」「就職や仕事のこと」が全体より 11.6～18.0 ポイント多くなっています。指定難病は「健康や体力のこと」が全体より 14.3 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「就職や仕事のこと」が全体より 14.4 ポイント多く、40～64 歳は「収入などの経済的なこと」が全体より 13.2～16.4 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 将来の不安>



単位：％

		母数 母数× (n)	将来の不安											
			亡く なっ た と き な ど の 高 齢 化 や	健 康 や 体 力 の こ と	収 入 な ど の 経 済 的 な こ と	と 身 の 回 り の 世 話 や 介 護 の こ と	住 む 場 所 の こ と	就 職 や 仕 事 の こ と	趣 味 や 生 き が い の こ と	こ 学 校 や 通 所 施 設 な ど 進 路 の こ と	そ の 他	わ か ら な い	い 特 に 不 安 に 感 じ る こ と は な い	無 回 答
全体		2,132	50.9	44.0	42.0	32.8	17.5	8.9	4.8	0.7	2.6	5.2	3.8	4.6
障 が い 別	身体障がい	994	48.8	45.6	32.4	37.4	14.7	3.4	3.6	0.6	2.1	6.0	4.2	5.8
	知的障がい	322	△66.5	▼28.0	34.2	38.2	26.4	12.4	3.1	1.9	1.2	7.5	1.9	4.3
	精神障がい	380	50.3	37.6	△60.0	23.9	22.9	△20.5	6.8	0.5	3.7	3.4	2.4	5.3
	指定難病	264	57.6	△58.3	48.1	37.9	12.1	5.7	2.3	0.4	2.3	2.7	3.4	1.1
年 齢 別	39歳以下	365	58.9	▼28.5	50.4	26.0	26.0	△23.3	6.3	1.4	3.0	4.9	3.6	2.2
	40～49歳	245	59.6	42.0	△58.4	24.5	21.6	18.0	6.5	0.8	2.9	3.3	2.4	2.4
	50～64歳	487	53.2	48.3	△55.2	26.9	19.1	10.3	5.7	0.2	1.6	3.9	3.3	3.1
	65歳以上	968	44.5	48.0	▼27.9	40.6	13.2	0.4	3.2	0.4	3.0	6.5	4.6	6.4

8. 福祉サービスなどについて

(1) 障がい福祉サービスの利用状況

問41 障がい福祉サービス等についておたずねします。(それぞれ、あてはまるものすべてに○)

■ ①現在利用しているサービス

【全体】

- 現在利用しているサービスについて、「この中にはない」が 19.6%で最も多く、次いで「訪問看護サービス」が 10.8%、「補装具や日常生活用具」が 9.1%となっています。

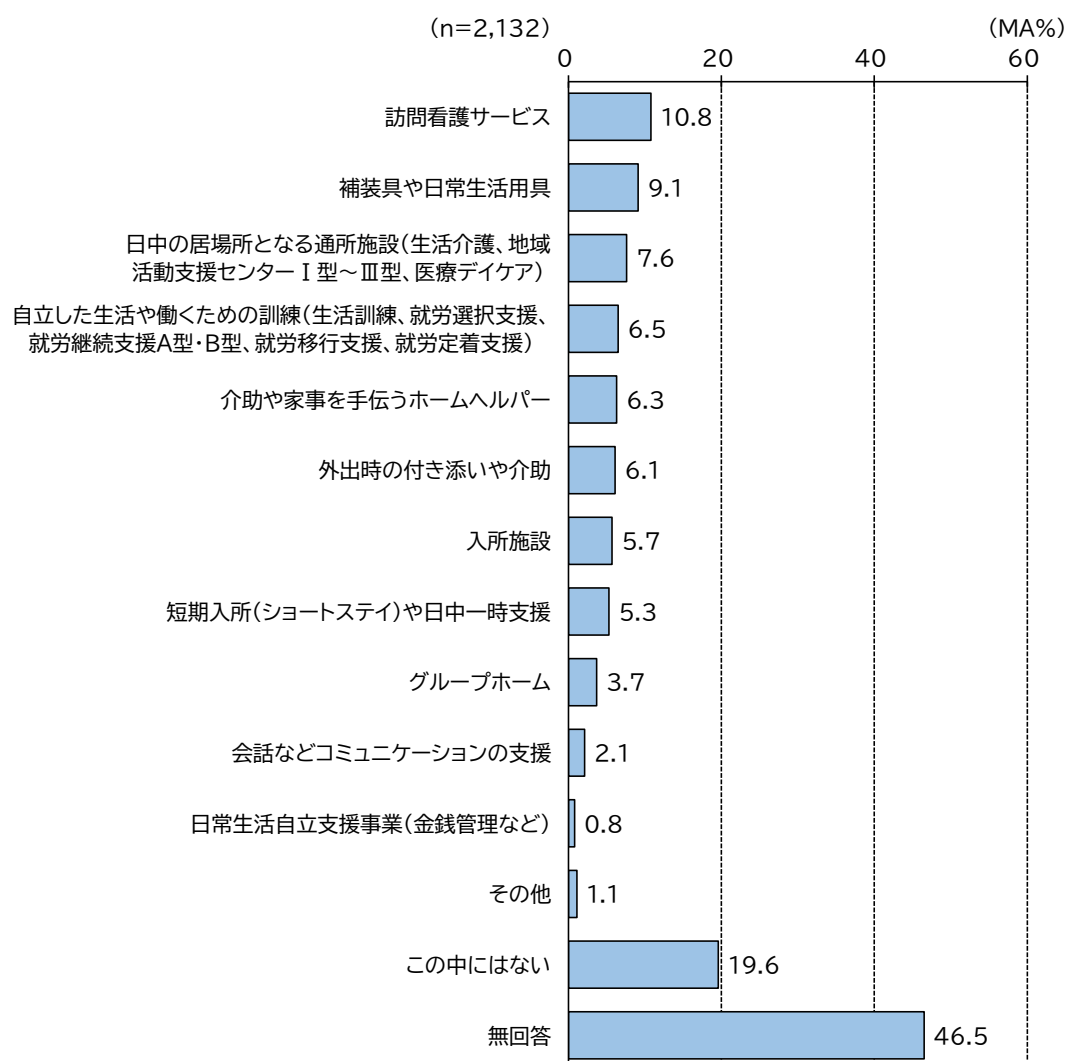
【障がい別】

- 知的障がいは「外出時の付き添いや介助」「短期入所(ショートステイ)や日中一時支援」「自立した生活や働くための訓練(生活訓練、就労選択支援、就労継続支援A型・B型、就労移行支援、就労定着支援)」「日中の居場所となる通所施設(生活介護、地域活動支援センターⅠ型～Ⅲ型、医療デイケア)」「グループホーム」が全体より 11.5～16.6 ポイント多く、精神障がいは「自立した生活や働くための訓練(生活訓練、就労選択支援、就労継続支援A型・B型、就労移行支援、就労定着支援)」が全体より 13.0 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39歳以下は「自立した生活や働くための訓練(生活訓練、就労選択支援、就労継続支援A型・B型、就労移行支援、就労定着支援)」が全体より 12.1 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 現在利用しているサービス>



単位：％

		母数 (n)	現在利用しているサービス												この中 にはない	無 回 答
			訪問 看護 サー ビス	補 装 具 や 日 常 生 活 用 具	日 中 の 居 場 所 と な る 通 所 施 設	自 立 し た 生 活 や 働 く た め の 訓 練	介 助 や 家 事 を 手 伝 う ホ ー ム ヘル パー	外 出 時 の 付 き 添 い や 介 助	入 所 施 設	短 期 入 所 （ シ ョ ー ト ス ） や 日 中 一 時 支 援	グ ル ー プ ホ ー ム	会 話 な ど コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン の 支 援	日 常 生 活 自 立 支 援 事 業 （ 金 銭 管 理 な ど ）	そ の 他		
全体		2,132	10.8	9.1	7.6	6.5	6.3	6.1	5.7	5.3	3.7	2.1	0.8	1.1	19.6	46.5
障 が い 別	身体障がい	994	11.3	16.2	6.6	1.9	7.3	4.9	7.5	4.9	1.7	2.0	0.3	1.3	11.4	54.0
	知的障がい	322	9.6	5.3	△23.6	△18.0	5.6	△22.7	4.7	△18.3	△17.4	5.6	1.6	0.9	▼9.0	32.6
	精神障がい	380	15.8	3.4	7.1	△19.5	9.5	3.2	3.4	1.3	1.8	1.1	1.1	0.8	25.8	33.9
	指定難病	264	14.0	9.1	3.8	2.7	6.1	1.9	3.0	4.5	-	1.1	-	1.5	25.8	51.5
	39歳以下	365	8.2	4.4	15.6	△18.6	4.7	12.9	0.5	12.6	5.8	1.9	1.4	0.3	△32.3	25.5
年 齢 別	40～49歳	245	12.2	3.3	7.3	9.0	4.5	6.5	1.2	2.4	4.9	2.4	0.8	0.4	△31.0	37.6
	50～64歳	487	9.9	6.0	4.7	8.8	4.5	4.1	4.1	1.8	5.5	2.7	1.0	0.2	29.2	43.1
	65歳以上	968	12.0	14.2	6.3	0.3	8.4	4.4	9.6	5.4	1.4	1.9	0.3	1.9	▼7.5	57.3

■ ②今後利用したいサービス

【全体】

- 今後利用したいサービスについて、「介助や家事を手伝うホームヘルパー」が17.9%で最も多く、次いで「外出時の付き添いや介助」が16.3%、「訪問看護サービス」が12.2%となっています。

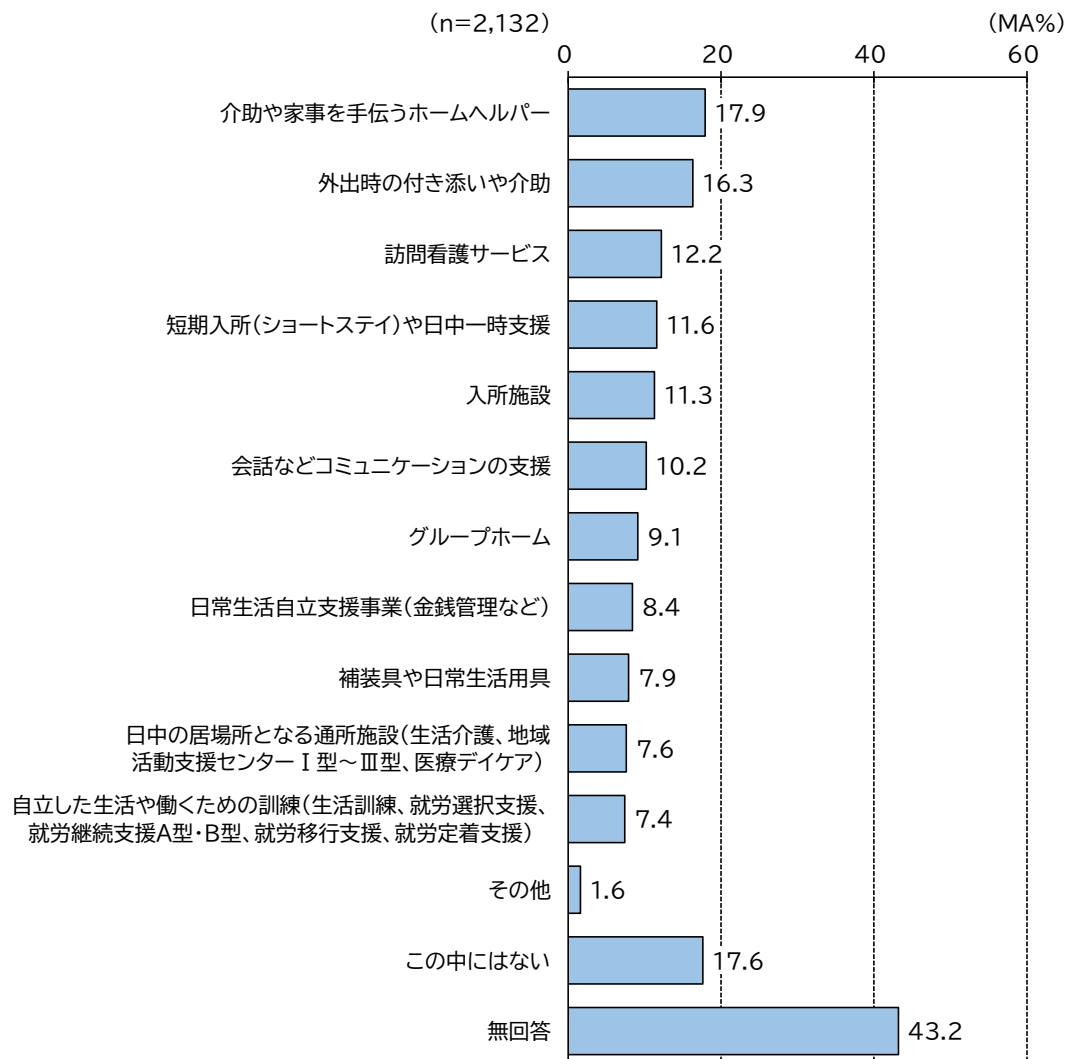
【障がい別】

- 知的障がいは「グループホーム」「日常生活自立支援事業(金銭管理など)」が全体より11.8～15.1ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 65歳以上は「介助や家事を手伝うホームヘルパー」「入所施設」が他の年齢に比べてやや多くなっています。

<障がい、年齢別 今後利用したいサービス>



単位：％

		母数 (n)	今後利用したいサービス													単位：%
			ホームヘルパー 介助や家事を手伝う	外出時の付き添いや介 助	訪問看護サービス	短期入所（ショートス テイ）や日中一時支 援	入所施設	会話などコミュニケー ションの支援	グループホーム	日常生活自立支援事業 （金銭管理など）	補装具や日常生活用具	日中の居場所となる通 所施設	自立した生活や働いた ための訓練	その他	この中 には ない	無 回 答
全体		2,132	17.9	16.3	12.2	11.6	11.3	10.2	9.1	8.4	7.9	7.6	7.4	1.6	17.6	43.2
障 が い 別	身体障がい	994	20.8	19.7	15.2	13.7	14.8	9.9	7.5	7.6	10.5	8.4	6.5	2.0	9.8	48.1
	知的障がい	322	17.1	19.9	8.4	15.5	13.0	15.2	△24.2	△20.2	7.1	7.5	8.4	1.6	10.2	36.6
	精神障がい	380	15.0	13.7	11.3	10.0	7.1	13.7	7.6	11.1	6.1	8.2	12.6	1.1	23.7	37.9
	指定難病	264	19.3	18.6	12.5	11.7	10.6	7.6	6.1	2.3	8.0	8.7	5.3	0.8	22.7	42.8
年 齢 別	39歳以下	365	14.2	14.8	7.1	11.5	8.2	11.5	17.0	14.2	4.9	6.3	11.5	0.8	△30.7	26.0
	40～49歳	245	13.1	10.2	8.6	7.3	5.7	10.6	8.2	11.4	5.3	4.9	9.0	2.0	△30.2	35.9
	50～64歳	487	16.0	14.6	11.7	8.4	7.8	9.0	8.0	8.2	9.4	7.6	8.6	2.3	24.4	40.2
	65歳以上	968	21.4	19.1	15.2	13.9	15.7	10.0	7.0	5.6	8.7	8.7	4.9	1.7	▼6.6	52.7

■ ③不満に思ったことがあるサービス

【全体】

- 不満に思ったことがあるサービスについて、「この中にはない」が 24.1%で最も多く、次いで「自立した生活や働くための訓練(生活訓練、就労選択支援、就労継続支援A型・B型、就労移行支援、就労定着支援)」が 4.6%、「外出時の付き添いや介助」が 3.8%となっています。

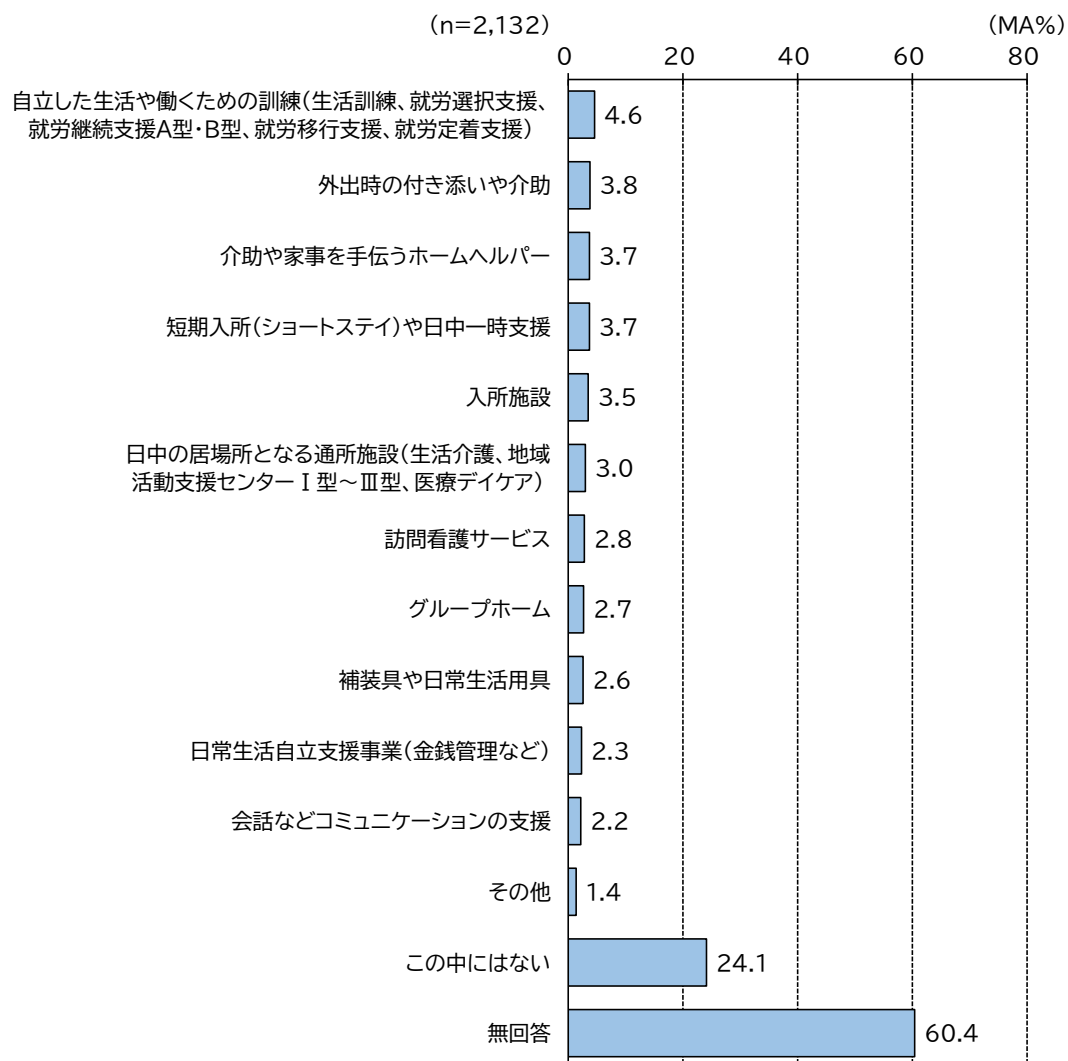
【障がい別】

- 知的障がいは「外出時の付き添いや介助」「短期入所(ショートステイ)や日中一時支援」が他の障がいに比べてやや多く、精神障がいは「自立した生活や働くための訓練」がやや多くなっています。

【年齢別】

- 年齢による違いはほとんどみられません。

<障がい、年齢別 不満に思ったことがあるサービス>



単位：％

		母数 (n)	不満に思ったことがあるサービス													
			介助や家事を手伝う ホームヘルパー	外出時の付き添いや 介助	会話などコミュニケーションの支援	補装具や日常生活用具	訪問看護サービス	短期入所（ショートステイ）や日中一時支援	自立した生活や働くための訓練	日中の居場所となる通所施設	グループホーム	入所施設	日常生活自立支援事業（金銭管理など）	その他	この中にはない	無回答
全体		2,132	3.7	3.8	2.2	2.6	2.8	3.7	4.6	3.0	2.7	3.5	2.3	1.4	24.1	60.4
障がい別	身体障がい	994	4.4	3.8	2.0	3.4	3.1	3.8	2.1	2.7	2.1	4.4	2.6	1.6	15.5	70.0
	知的障がい	322	5.3	11.2	4.0	4.3	2.8	10.2	9.3	6.5	7.8	4.7	3.4	1.6	18.3	51.9
	精神障がい	380	5.3	2.6	2.6	1.6	4.2	3.4	12.4	4.5	3.4	3.7	2.4	1.8	30.5	46.8
	指定難病	264	1.9	1.5	1.1	0.8	2.7	1.9	3.8	2.3	1.5	3.0	2.7	1.1	26.9	64.0
年齢別	39歳以下	365	3.6	5.5	1.9	3.0	2.5	6.6	8.5	4.4	2.7	2.5	1.9	1.4	△40.0	37.8
	40～49歳	245	2.9	4.1	1.2	0.4	2.4	2.4	6.5	2.0	3.7	1.2	1.2	0.4	△37.6	46.9
	50～64歳	487	3.7	3.3	3.9	3.3	4.1	2.7	7.0	3.7	4.9	4.9	3.5	2.1	31.6	53.2
	65歳以上	968	4.0	3.2	1.8	2.5	2.2	3.4	1.1	2.2	1.3	3.8	2.1	1.3	▼11.6	75.4

(2)不満に思った内容

問42 利用して不満に思ったことがあるサービスについておたずねします。不満に思った内容を下の選択肢から選んで数字を記入してください。(それぞれに、主なもの3つまで数字を記入)

該当するサービスの欄それぞれに、不満に思った内容を下の表から選んで、番号をお書きください。

【それぞれのサービスで最も不満に思う内容】

- ①介助や家事を手伝うホームヘルパー：利用回数・時間などに制限がある
- ②外出時の付き添いや介助：利用したい日・時間に利用できない
- ③会話などコミュニケーションの支援：利用したい日・時間に利用できない
- ④補装具や日常生活用具：サービス内容が障がい特性にあっていない、利用料が高い
- ⑤訪問看護サービス：利用回数・時間などに制限がある
- ⑥短期入所(ショートステイ)や日中一時支援：利用したい日・時間に利用できない
- ⑦自立した生活や働くための訓練：事業所などの担当者の対応がよくない
- ⑧日中の居場所となる通所施設：利用回数・時間などに制限がある
- ⑨グループホーム：利用料が高い
- ⑩入所施設：利用料が高い
- ⑪日常生活自立支援事業(金銭管理など)：サービス内容が障がい特性にあっていない、事業所などの担当者の対応がよくない、本人や家族の意向を尊重してもらえない、サービス内容に関する情報が少ない、相談や手続きに時間がかかる

<不満に思った内容>

単位：人、%

	母数 (n)	不満に思った内容									
		にサ ービ ス内 容が 障が い特 性	利用 でき ない ところ でサ ービ スを	で利 用し たい 日・ 時間 に利 用	が利 用回 数・ 時間 など に制 限	利用 料が 高い	い急 な変 更に 応じ ても らえ ない	事業 所が 契約 して くれ ない	が事 業所 など の担 当者 の対 応	か事 業所 など の担 当者 がよ く	験事 業所 の担 当者 の知 識や 経
①介助や家事を手伝うホームヘルパー	79 100.0	8 10.1	2 2.5	16 20.3	17 21.5	9 11.4	1 1.3	2 2.5	5 6.3	- -	4 5.1
②外出時の付き添いや介助	81 100.0	5 6.2	9 11.1	25 30.9	21 25.9	9 11.1	5 6.2	1 1.2	8 9.9	2 2.5	5 6.2
③会話などコミュニケーションの支援	47 100.0	5 10.6	5 10.6	8 17.0	6 12.8	5 10.6	2 4.3	2 4.3	2 4.3	2 4.3	5 10.6
④補装具や日常生活用具	55 100.0	8 14.5	1 1.8	- -	5 9.1	8 14.5	2 3.6	1 1.8	- -	1 1.8	- -
⑤訪問看護サービス	59 100.0	5 8.5	2 3.4	7 11.9	11 18.6	10 16.9	4 6.8	- -	6 10.2	8 13.6	1 1.7
⑥短期入所(ショートステイ)や 日中一時支援	79 100.0	8 10.1	3 3.8	22 27.8	16 20.3	13 16.5	9 11.4	3 3.8	4 5.1	3 3.8	7 8.9
⑦自立した生活や働くための訓練	98 100.0	8 8.2	10 10.2	6 6.1	7 7.1	9 9.2	1 1.0	1 1.0	15 15.3	9 9.2	12 12.2
⑧日中の居場所となる通所施設	64 100.0	6 9.4	3 4.7	9 14.1	10 15.6	7 10.9	1 1.6	1 1.6	7 10.9	7 10.9	6 9.4
⑨グループホーム	57 100.0	5 8.8	6 10.5	4 7.0	1 1.8	9 15.8	- -	- -	4 7.0	8 14.0	5 8.8
⑩入所施設	74 100.0	6 8.1	7 9.5	4 5.4	4 5.4	19 25.7	2 2.7	1 1.4	3 4.1	4 5.4	8 10.8
⑪日常生活自立支援事業 (金銭管理など)	48 100.0	4 8.3	3 6.3	2 4.2	1 2.1	2 4.2	3 6.3	2 4.2	4 8.3	2 4.2	1 2.1
⑫その他	30 100.0	3 10.0	1 3.3	1 3.3	1 3.3	6 20.0	- -	- -	3 10.0	- -	1 3.3

単位：人、％

	母数 (n)	不満に思った内容								
		て本人や家族の意向を尊重しない	プライバシーなどの配慮に欠けている	建物や設備が障がい者に配慮されていない	他の利用者との相性を配慮していない	がサービス内容に関する情報が少ない	相談や手続きに時間がかかる	障がい支援区分の認定に疑問がある	その他	無回答
①介助や家事を手伝うホームヘルパー	79 100.0	6 7.6	5 6.3	- -	1 1.3	4 5.1	3 3.8	1 1.3	9 11.4	13 16.5
②外出時の付き添いや介助	81 100.0	1 1.2	- -	2 2.5	1 1.2	4 4.9	1 1.2	1 1.2	2 2.5	16 19.8
③会話などコミュニケーションの支援	47 100.0	5 10.6	1 2.1	- -	2 4.3	5 10.6	2 4.3	1 2.1	2 4.3	13 27.7
④補装具や日常生活用具	55 100.0	- -	3 5.5	- -	- -	6 10.9	7 12.7	- -	7 12.7	17 30.9
⑤訪問看護サービス	59 100.0	5 8.5	6 10.2	- -	- -	2 3.4	- -	- -	8 13.6	9 15.3
⑥短期入所（ショートステイ）や日中一時支援	79 100.0	1 1.3	- -	1 1.3	4 5.1	3 3.8	3 3.8	- -	5 6.3	13 16.5
⑦自立した生活や働くための訓練	98 100.0	9 9.2	3 3.1	3 3.1	14 14.3	6 6.1	6 6.1	- -	9 9.2	25 25.5
⑧日中の居場所となる通所施設	64 100.0	2 3.1	- -	4 6.3	9 14.1	3 4.7	2 3.1	2 3.1	7 10.9	13 20.3
⑨グループホーム	57 100.0	2 3.5	3 5.3	2 3.5	4 7.0	1 1.8	4 7.0	3 5.3	1 1.8	18 31.6
⑩入所施設	74 100.0	3 4.1	5 6.8	2 2.7	4 5.4	2 2.7	6 8.1	1 1.4	3 4.1	15 20.3
⑪日常生活自立支援事業（金銭管理など）	48 100.0	4 8.3	3 6.3	- -	1 2.1	4 8.3	4 8.3	- -	2 4.2	22 45.8
⑫その他	30 100.0	- -	1 3.3	- -	2 6.7	- -	5 16.7	2 6.7	4 13.3	11 36.7

(3)介護保険の認定状況

問43 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか？(1つだけ○)

【全体】

○ 介護保険の認定状況について、「認定を受けている」が 28.6%、「認定は受けていない」が 62.2%となっています。

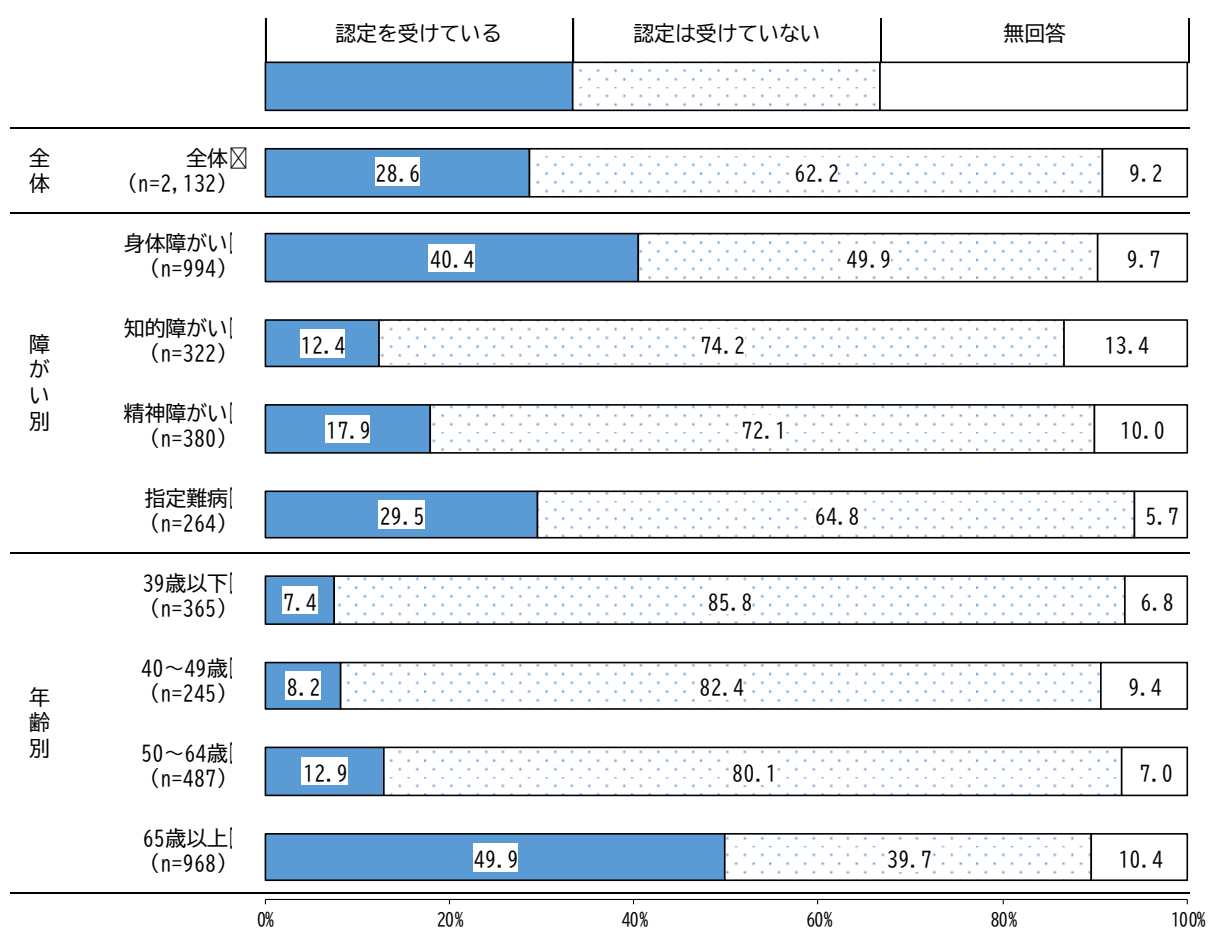
【障がい別】

○ 身体障がいは「認定を受けている」が全体より 11.8 ポイント多くなっています。知的障がいは「認定は受けていない」が全体より 12.0 ポイント多くなっています。

【年齢別】

○ 65 歳以上は「認定を受けている」が約5割で全体より 21.3 ポイント多くなっています。

<障がい、年齢別 介護保険の認定状況>



■ 介護保険の認定結果

【全体】

- 介護保険の認定結果について、「要支援1」が16.3%で最も多く、次いで「要支援2」が15.8%、「非該当（自立）」が15.6%となっています。

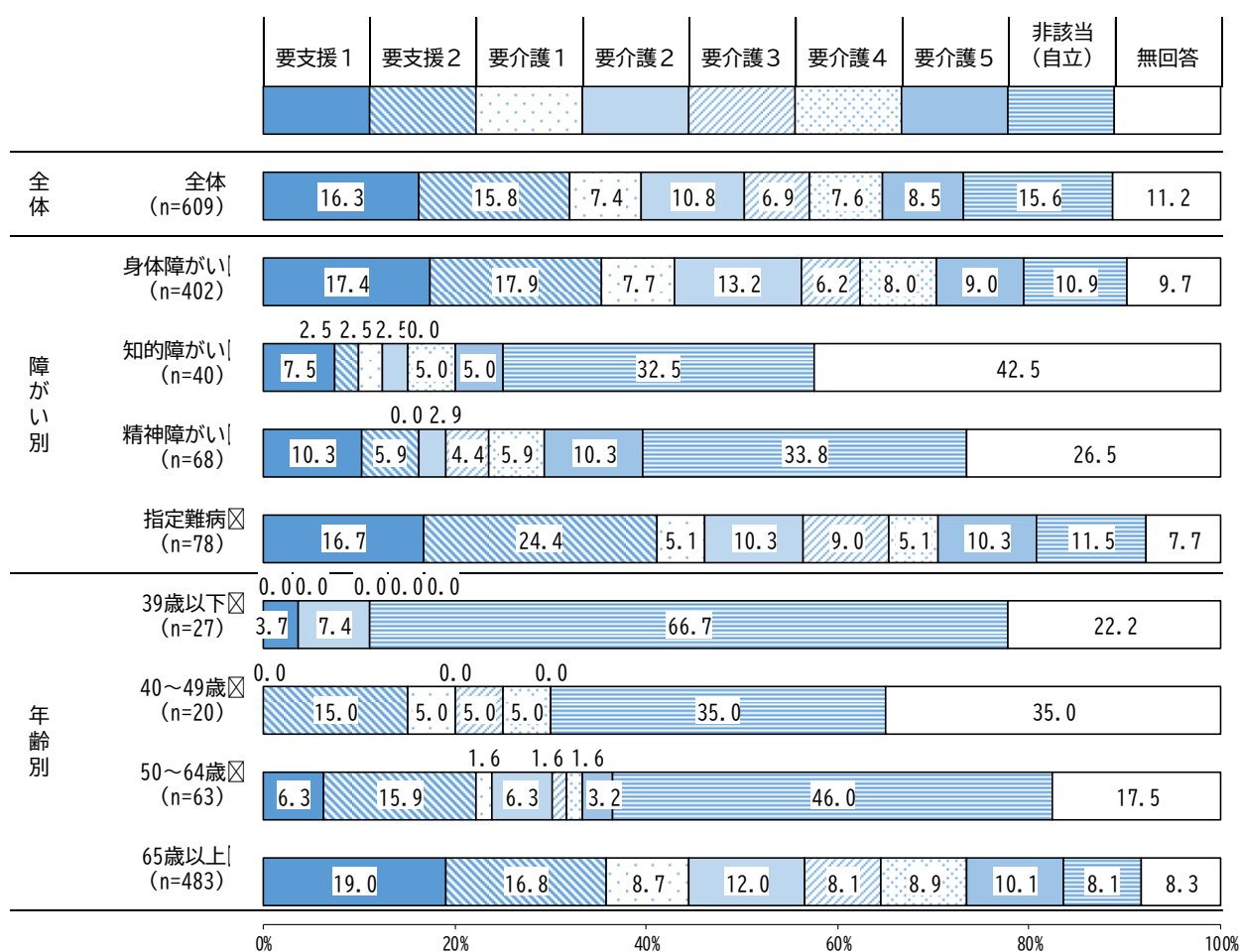
【障がい別】

- 精神障がいは「非該当（自立）」が全体より18.2ポイント多くなっています。身体障がいと指定難病の要介護度分布の状況は大きく変わりません。

【年齢別】

- 39歳以下は「非該当（自立）」が全体より51.1ポイント多くなっています。50～64歳は「非該当（自立）」が全体より30.4ポイント多く、「要支援1」が10.0ポイント少なくなっています。

<障がい、年齢別 介護保険の認定結果>



(4)介護保険のサービスの利用状況

問43で1を選んだ方にお聞きします。

問44 介護保険のサービスを利用していますか？(1つだけ○)

【全体】

○ 介護保険のサービスの利用状況について、「利用している」が53.0%、「利用していない」が23.8%となっています。

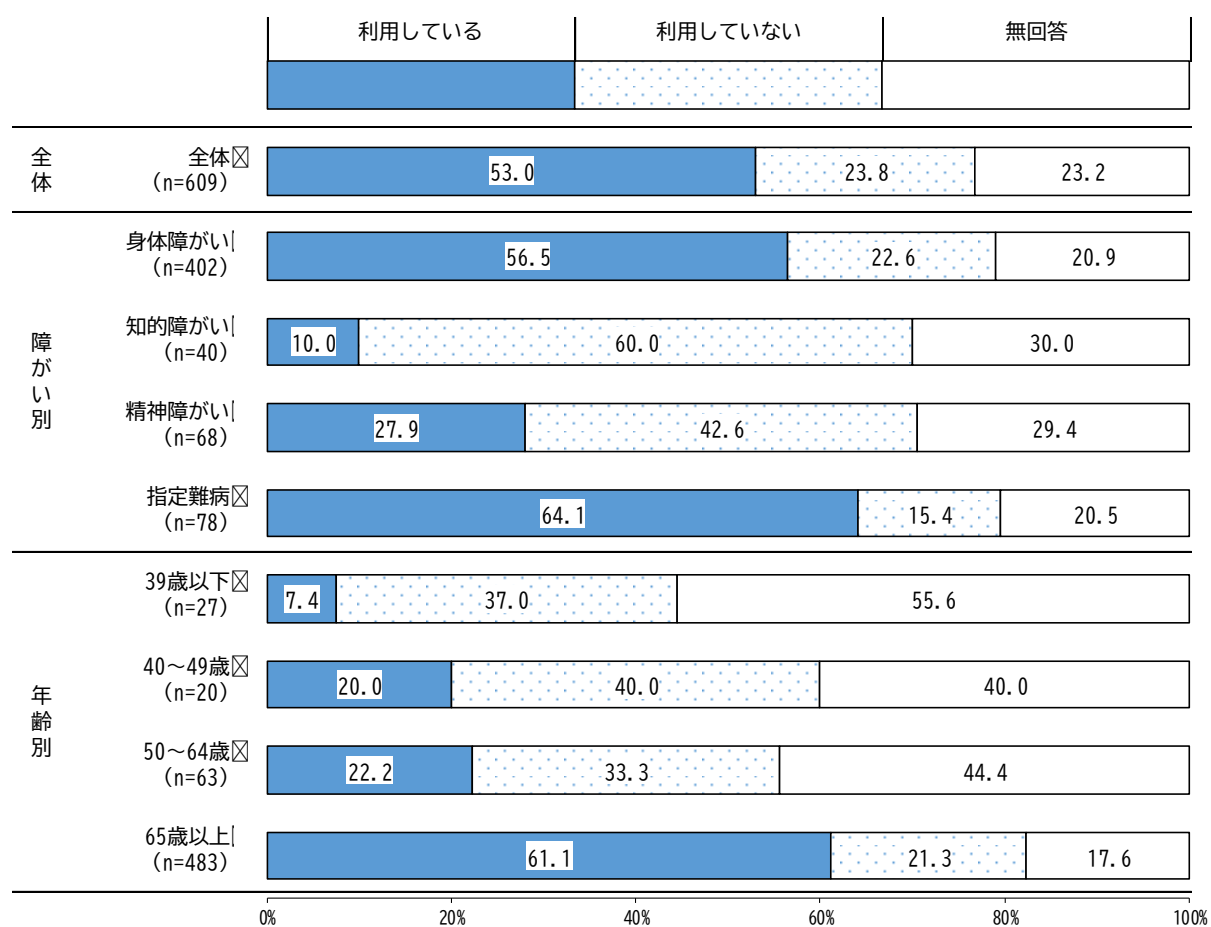
【障がい別】

○ 指定難病は「利用している」が全体より11.1ポイント多くなっています。

【年齢別】

○ 40～64歳では約2割が「利用している」状況となっています。

<障がい、年齢別 介護保険のサービスの利用状況>



9. 障がい者虐待の防止・障がい者差別の解消について

(1)「障害者虐待防止法」の認知度

問45 あなたやあなたのご家族は、「障害者虐待防止法」を知っていますか？(1つだけ○)

【全体】

- 「障害者虐待防止法」の認知度について、「知らない」が 40.3%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 35.6%、「知っている」が 17.8%となっています。「知っている」「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」を合わせた“認知度”は 53.4%となっています。

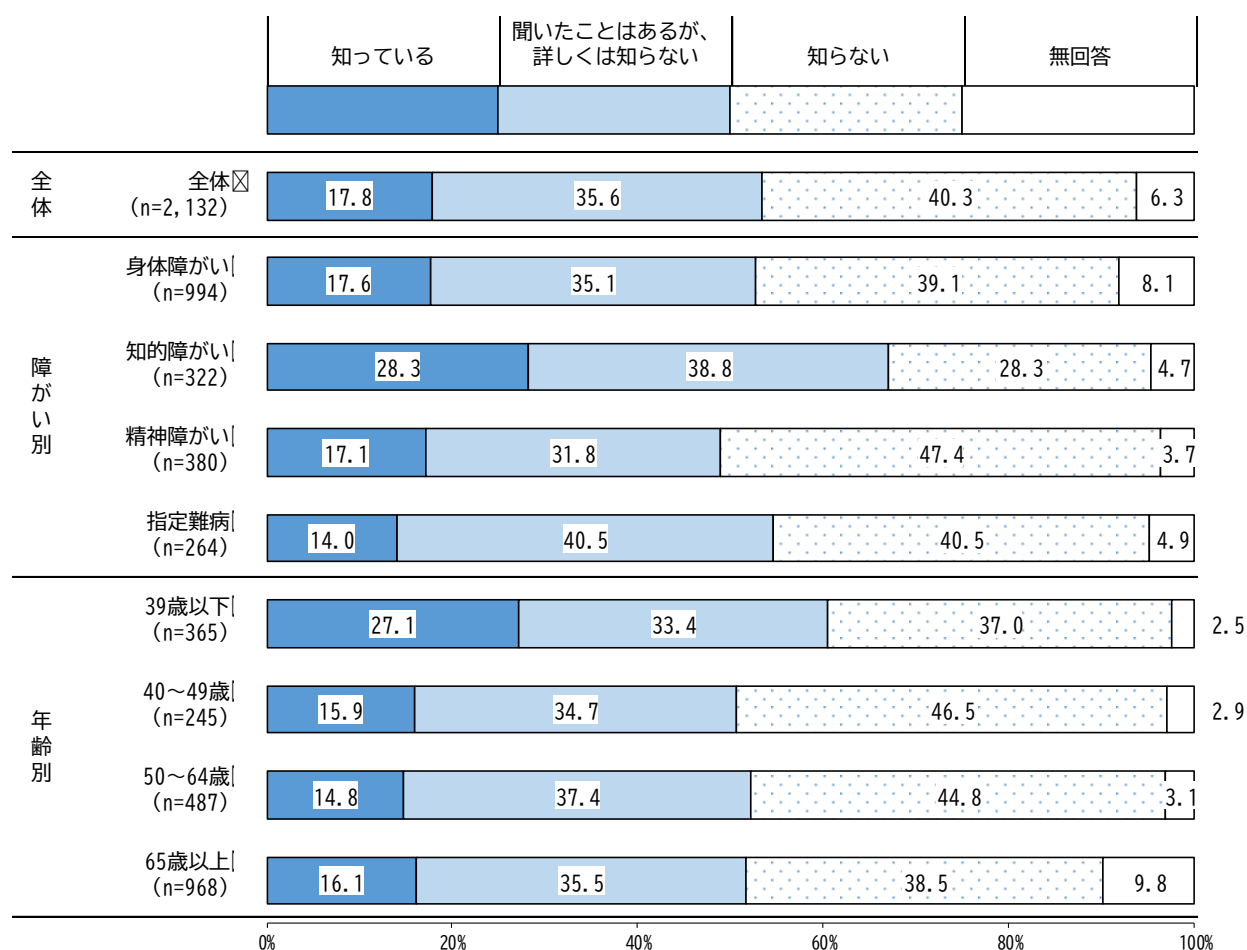
【障がい別】

- 知的障がいは「知っている」が全体より 10.5 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39歳以下は、その他の年齢に比べて“認知度”が高くなっています。

<障がい、年齢別「障害者虐待防止法」の認知度>



(2)障がい者虐待防止センターの認知度

問46 あなたやあなたのご家族は、障がい者虐待の相談や通報先として、障がい者虐待防止センターが市役所にあるのを知っていますか？(1つだけ○)

【全体】

○ 障がい者虐待防止センターの認知度について、「知っている」が 14.0%、「知らない」が 79.5%となっています。

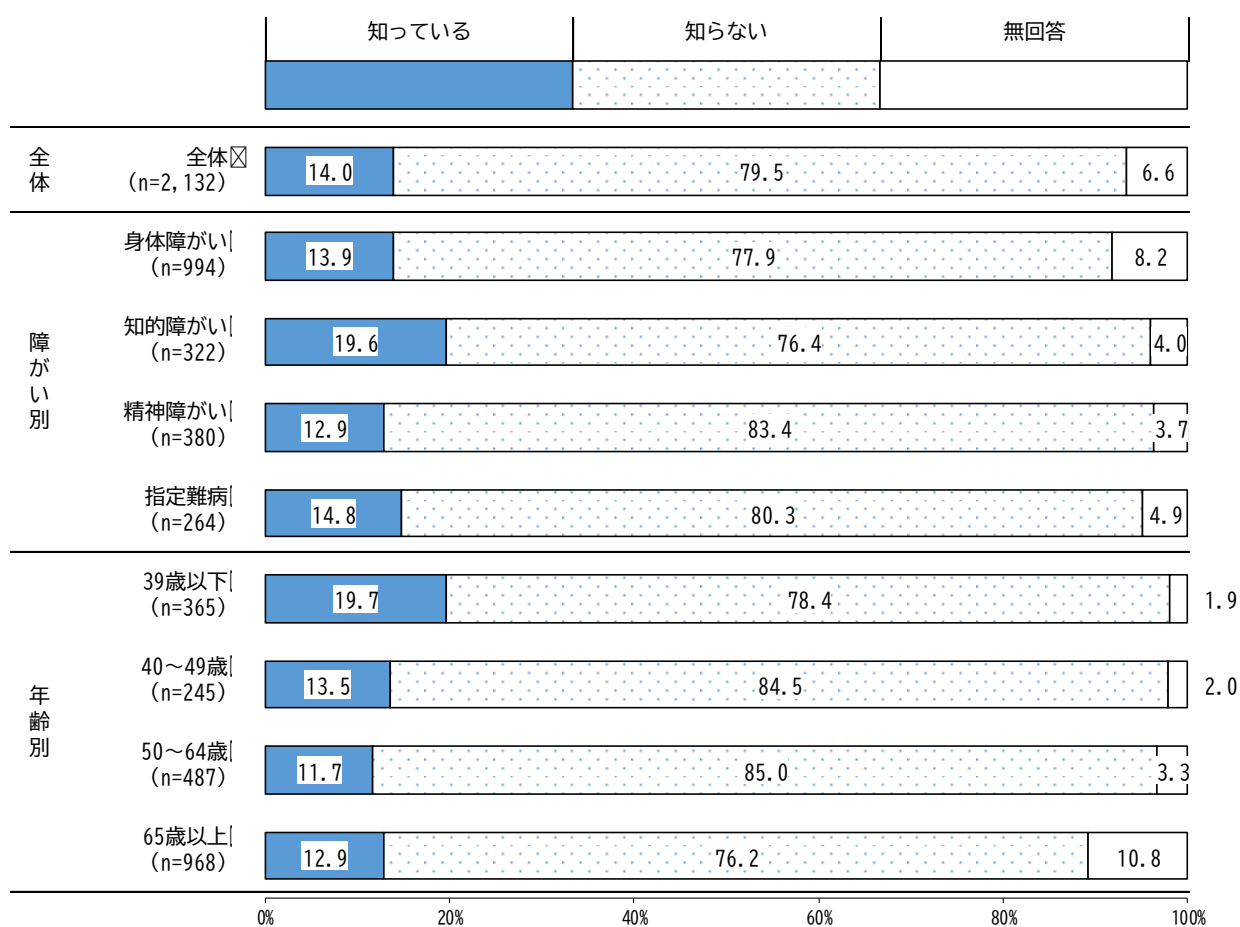
【障がい別】

○ 知的障がいは「知っている」が他の障がいに比べて多くなっています。

【年齢別】

○ 39歳以下は「知っている」がその他の年齢に比べて多くなっています。

<障がい、年齢別 障がい者虐待防止センターの認知度>



(3)障がい者基幹相談支援センターの認知度

問47 あなたやあなたのご家族は、障がい者の地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障がい者基幹相談支援センターが市役所にあるのを知っていますか？(1つだけ○)

【全体】

- 障がい者基幹相談支援センターの認知度について、「知っている」が 13.5%、「知らない」が 80.0%となっています。

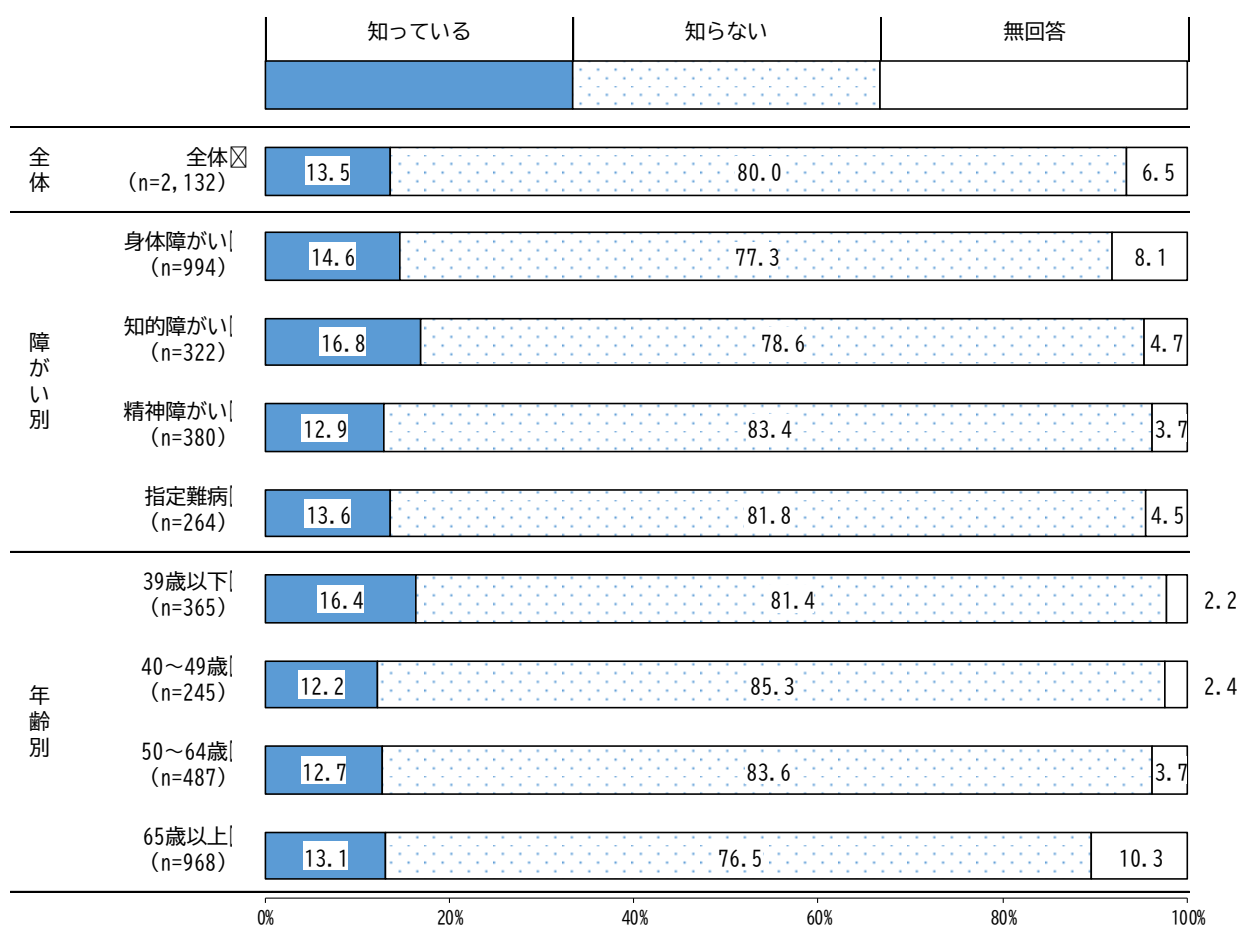
【障がい別】

- 知的障がい者は「知っている」がやや多いですが、大きな違いはありません。

【年齢別】

- 39歳以下は「知っている」がやや多いですが、大きな違いはありません。

<障がい、年齢別 障がい者基幹相談支援センターの認知度>



(4)「障害者差別解消法」の認知度

問48 あなたやあなたのご家族は、「障害者差別解消法」を知っていますか？(1つだけ○)

※障害者差別解消法は、「不当な差別的取り扱い(障がいがあることで障がいのない人たちとは違う扱いをすること)」と「合理的配慮(それぞれの障がいにあった必要な工夫)をしないこと」を差別として定めた法律です。

【全体】

○ 「障害者差別解消法」の認知度について、「知らない」が 60.3%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 22.7%、「知っている」が 9.9%となっています。「知っている」「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」を合わせた“認知度”は 32.6%となっています。

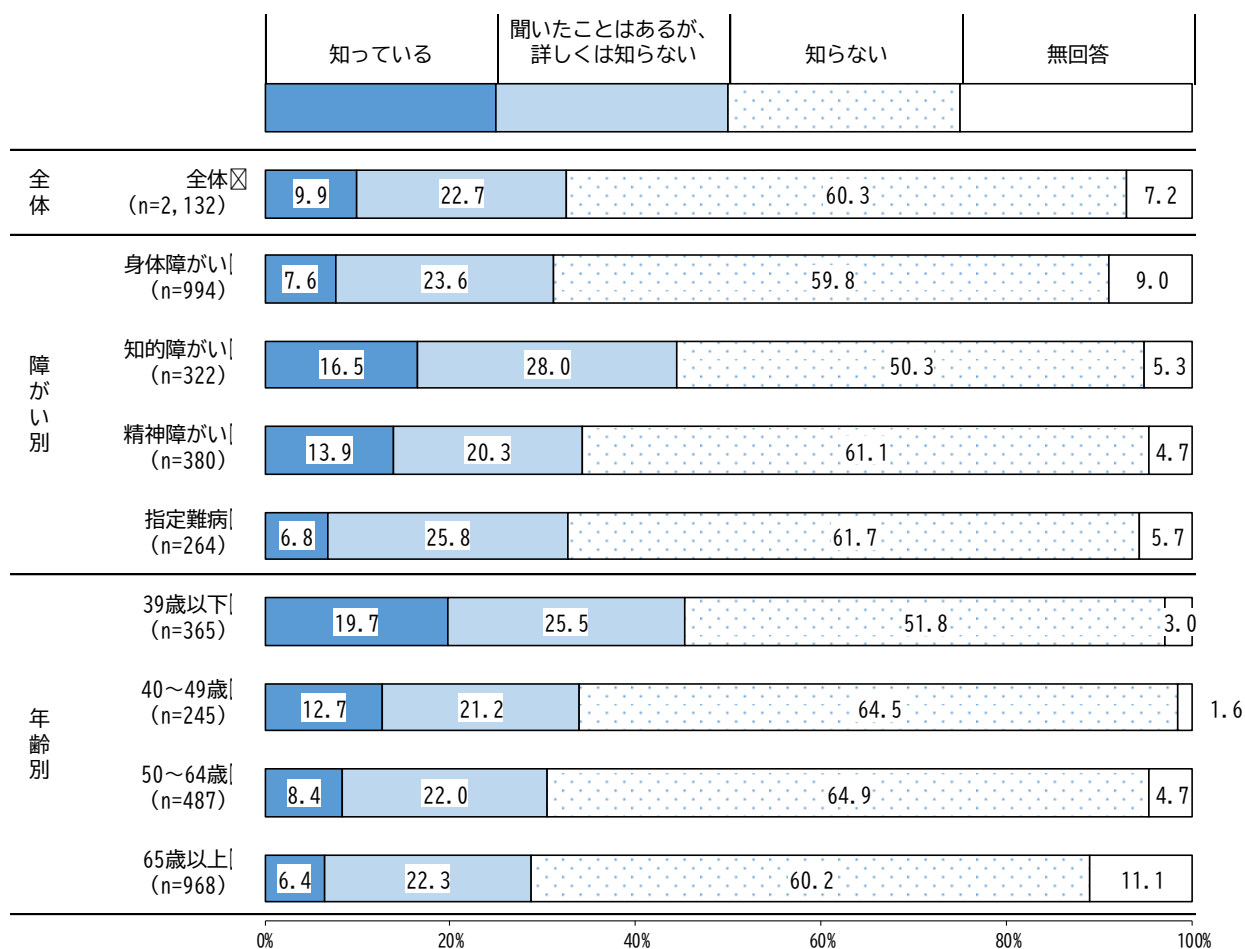
【障がい別】

○ 知的障がいは「知らない」が全体より 10.0 ポイント少なくなっています。

【年齢別】

○ 年齢が低いほど“認知度”が高い傾向となっています。

<障がい、年齢別「障害者差別解消法」の認知度>



(5)差別などを受けた経験

問49 あなたは、ここ3年以内に、障がいや病気があることで差別を受けたことや、偏見や疎外感などを
感じたことがありますか？(1つだけ○)

【全体】

- 差別などを受けた経験について、「ない」が59.1%で最も多く、次いで「わからない」が19.1%、「ある」が13.7%となっています。

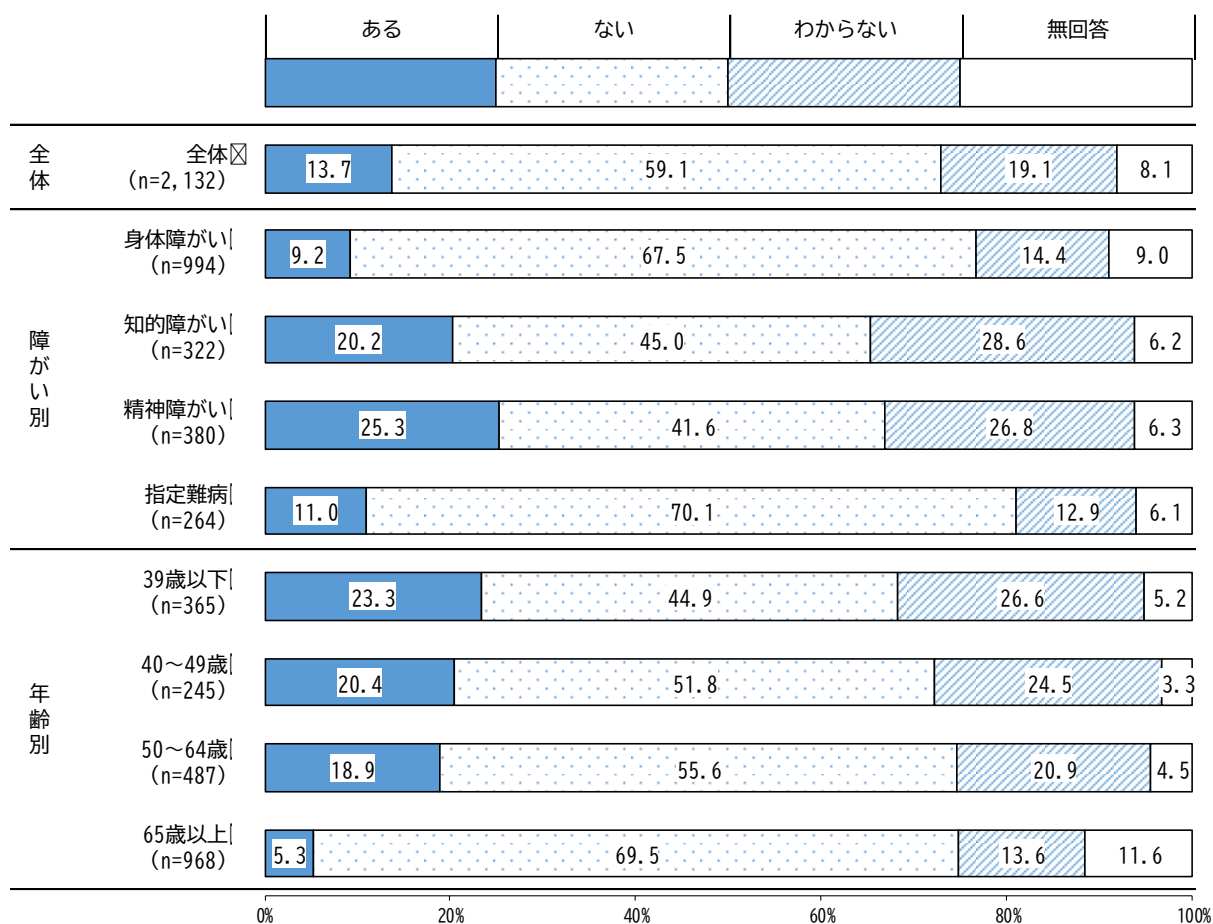
【障がい別】

- 精神障がいは「ある」が全体より11.6ポイント多くなっています。指定難病は「ない」が全体より11.0ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 65歳以上は「ない」が全体より10.4ポイント多くなっています。年齢が低いほど「ある」が多くなる傾向となっています。

<障がい、年齢別 差別などを受けた経験>



(6)差別を受けたり、偏見や疎外感などを感じた時

問49で1を選んだ方にお聞きします。

問50 どのようなときに差別や偏見、疎外感などを感じたことがありますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 差別を受けたり、偏見や疎外感などを感じた時について、「職場生活」が 27.1%で最も多く、次いで「まちかどでの人の視線」が 26.7%、「近所付き合い」が 22.9%となっています。

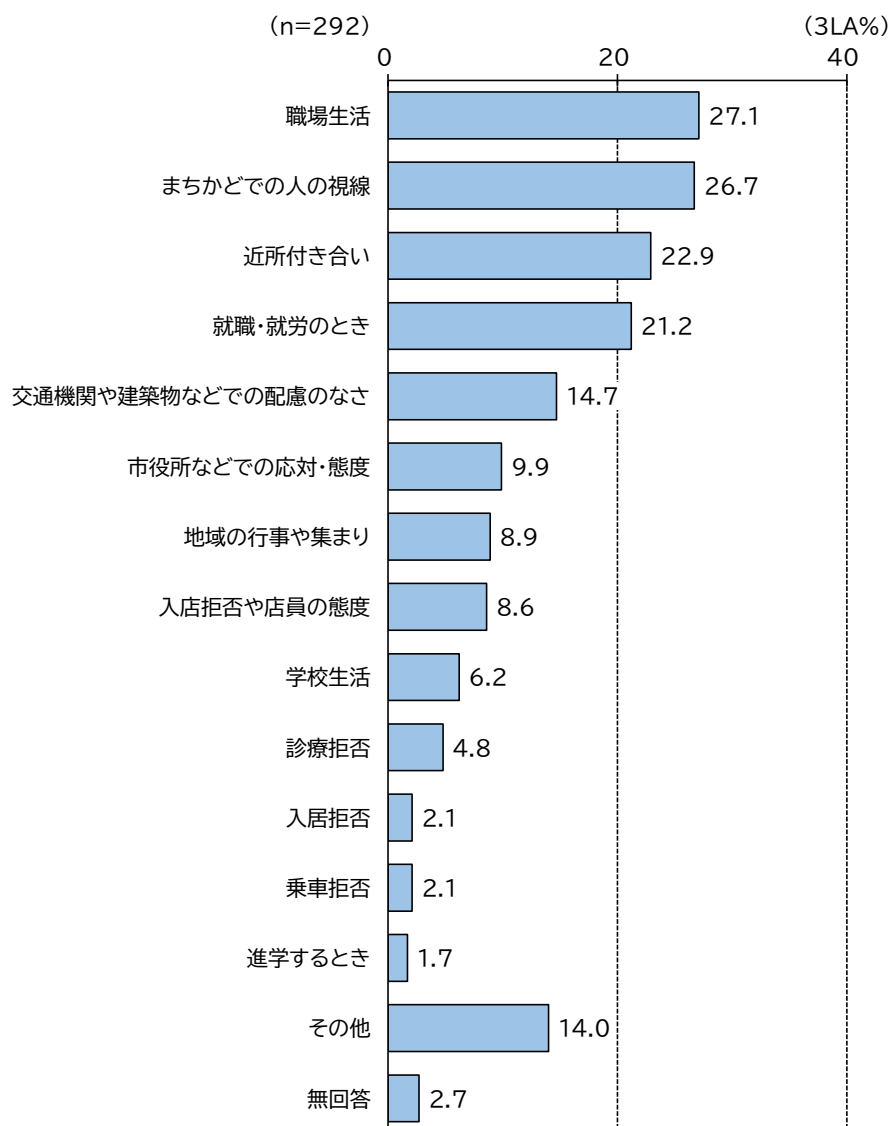
【障がい別】

- 身体障がいは「交通機関や建築物などでの配慮のなさ」が全体より 18.3 ポイント多くなっています。知的障がいは「まちかどでの人の視線」が全体より 27.1 ポイント多くなっています。指定難病は「就職・就労のとき」が全体より 23.6 ポイント多くなっています。

【年齢別】

- 39 歳以下は「就職・就労のとき」が全体より 10.6 ポイント多くなっています。「職場生活」は、64 歳以下はどの年齢も 30%を超えています。

<障がい、年齢別 差別を受けたり、偏見や疎外感などを感じた時>



単位：％

単位：%

		母数 (n)	差別を受けたり、偏見や疎外感などを感じた時							
			職場生活	視線 まちかどでの人の	近所付き合い	就職・就労のとき	さなどでの配慮のな	交通機関や建築物	対市役所などの応	り地域の行事や集ま
全体		292	27.1	26.7	22.9	21.2	14.7	9.9	8.9	8.6
障がい別	身体障がい	91	17.6	25.3	19.8	▼ 9.9	△ 33.0	13.2	7.7	14.3
	知的障がい	65	21.5	△ 53.8	30.8	15.4	12.3	9.2	12.3	10.8
	精神障がい	96	22.9	18.8	22.9	27.1	10.4	10.4	7.3	6.3
	指定難病	29	24.1	27.6	24.1	△ 44.8	13.8	10.3	-	6.9
年齢別	39歳以下	85	30.6	35.3	15.3	△ 31.8	12.9	9.4	9.4	4.7
	40～49歳	50	30.0	30.0	28.0	24.0	8.0	12.0	12.0	12.0
	50～64歳	92	34.8	20.7	22.8	22.8	16.3	6.5	1.1	6.5
	65歳以上	51	▼ 3.9	21.6	29.4	▼ 2.0	△ 25.5	11.8	17.6	15.7

単位：％

単位：％

		母数 □ (n)	差別を受けたり、偏見や疎外感などを感じた時						
			学校生活	診療拒否	入居拒否	乗車拒否	進学するとき	その他	無回答
全体		292	6.2	4.8	2.1	2.1	1.7	14.0	2.7
障がい別	身体障がい	91	3.3	5.5	1.1	4.4	-	9.9	3.3
	知的障がい	65	12.3	6.2	-	3.1	6.2	9.2	1.5
	精神障がい	96	6.3	3.1	5.2	-	-	19.8	3.1
	指定難病	29	3.4	3.4	-	-	-	6.9	-
年齢別	39歳以下	85	10.6	2.4	2.4	1.2	4.7	14.1	1.2
	40～49歳	50	4.0	4.0	4.0	-	-	18.0	2.0
	50～64歳	92	3.3	6.5	1.1	3.3	-	10.9	5.4
	65歳以上	51	2.0	5.9	2.0	3.9	-	15.7	2.0

(7)市民の障がい者理解の深まり状況

全員にお聞きします。

問52 あなたやあなたのご家族は、市民の障がい者理解は、ここ5年で深まったと思いますか？

(1つだけ○)

【全体】

○ 市民の障がい者理解の深まり状況について、「ある程度深まったと思う」が 32.9%で最も多く、次いで「あまり深まったとは思わない」が32.0%、「深まったとは思わない」が20.4%となっています。「かなり深まったと思う」「ある程度深まったと思う」を合わせた“深まったと思う”は 37.6%となっています。「あまり深まったとは思わない」「深まったとは思わない」を合わせた“深まったとは思わない”は 52.4%となっています。

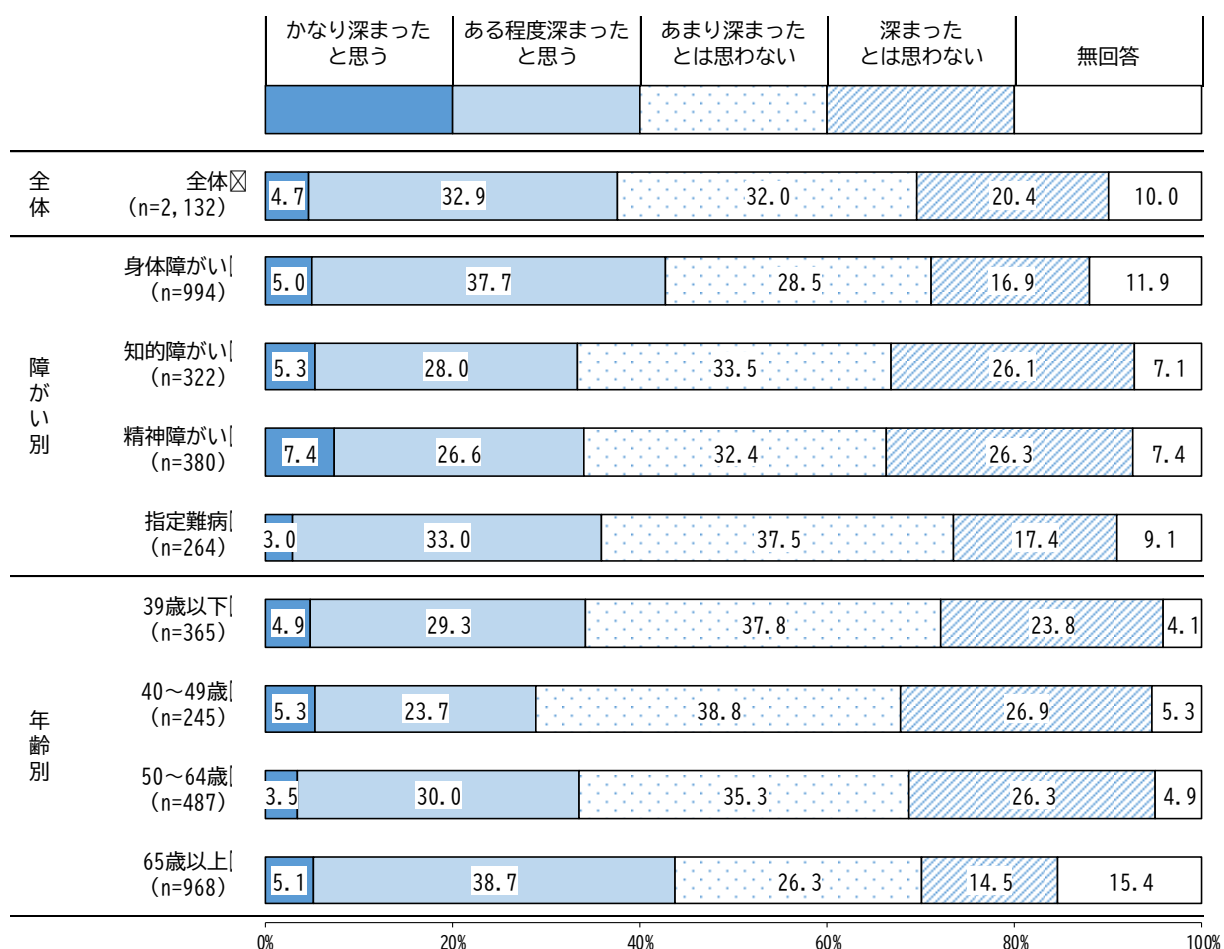
【障がい別】

○ 身体障がいは、“深まったと思う”が他の障がいに比べてやや多くなっています。

【年齢別】

○ 65 歳以上は、“深まったと思う”が他の年齢に比べてやや多くなっています。

<障がい、年齢別 市民の障がい者理解の深まり状況>



10. 障がいのある人もない人もともに安心して暮らせる“高槻”に向けて

(1)行政などが充実させるべき施策

問53 障がいのある人が安心して自立した生活を送れるようにするために、高槻市などの行政が充実させるべき施策は何だと思いますか？（最も必要だと思われるものから順に5つまで選んで下の回答欄に番号を記入）

【全体】

- 行政などが充実させるべき施策の最も必要から5番目までの合計について、「年金・手当・医療費の助成を手厚くする」が39.1%で最も多く、次いで「制度やサービスの情報をわかりやすく伝える」が29.1%、「身近に相談できる場所や人を増やす」が28.0%となっています。

【障がい別】

- 知的障がいは「グループホームなど、地域で暮らせる住まいを増やす」が全体より21.4ポイント多く、「道路や建物などのバリアフリーを進める」が10.1ポイント少なくなっています。精神障がいは「年金・手当・医療費の助成を手厚くする」「障がいのある人の就職や働くための支援を増やす」が全体より10.6～11.9ポイント多くなっています。指定難病は「難病の人などへの相談・生活支援を強化する」が全体より25.1ポイント多くなっています。

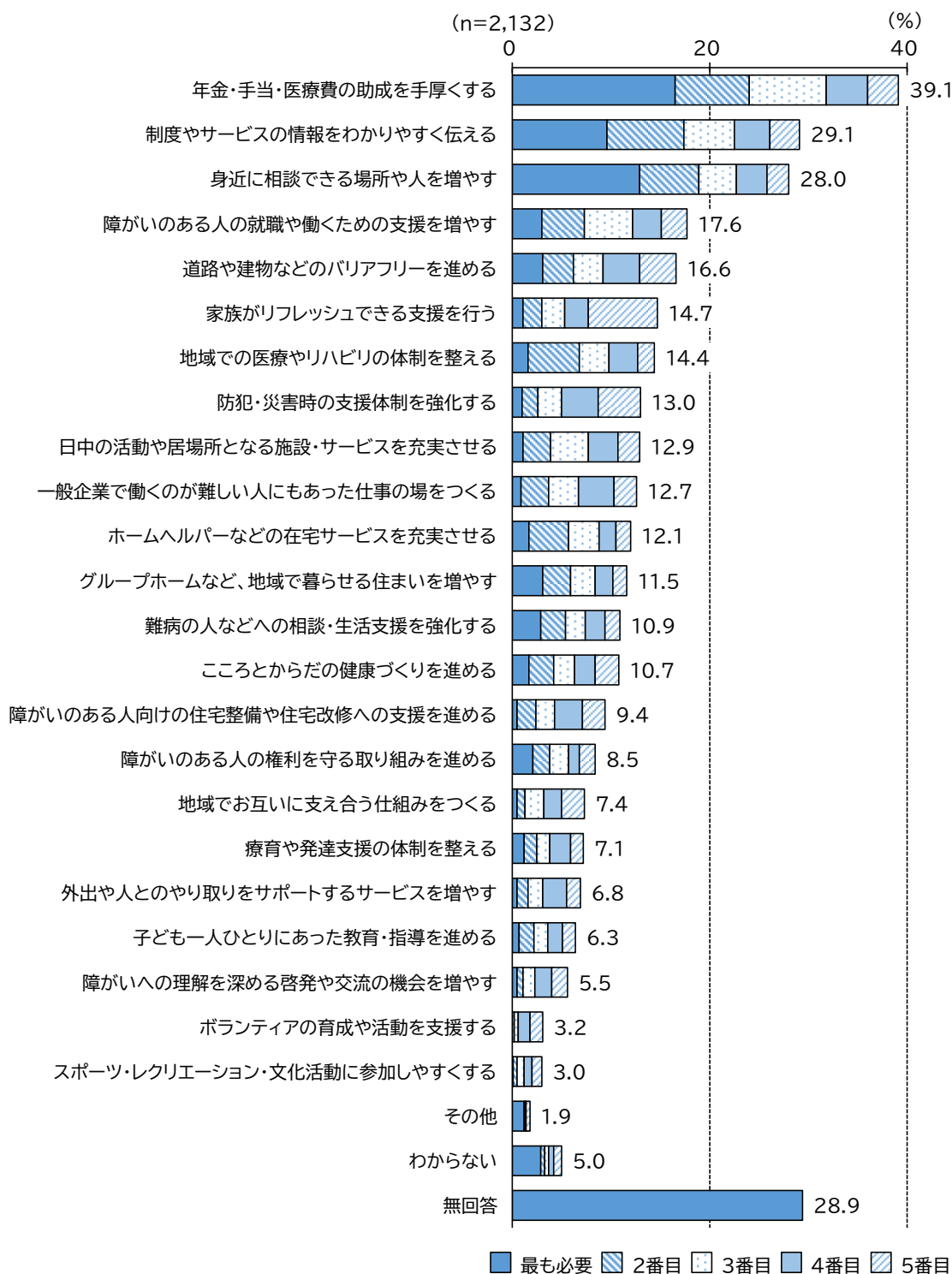
【年齢別】

- 39歳以下は「グループホームなど、地域で暮らせる住まいを増やす」「障がいのある人の就職や働くための支援を増やす」が全体より10.4～14.7ポイント多くなっています。40～49歳は「一般企業で働くのが難しい人にもあった仕事をつくる」が全体より13.8ポイント多くなっています。

＜障がい、年齢別 行政などが充実させるべき施策＞

(件)

	回答数	最も必要	2番目	3番目	4番目	5番目
年金・手当・医療費の助成を手厚くする	833	352	159	167	89	66
制度やサービスの情報をわかりやすく伝える	620	205	167	108	76	64
身近に相談できる場所や人を増やす	598	276	127	82	67	46
障がいのある人の就職や働くための支援を増やす	376	63	92	105	61	55
道路や建物などのバリアフリーを進める	354	66	66	65	79	78
家族がリフレッシュできる支援を行う	314	24	41	48	51	150
地域での医療やリハビリの体制を整える	306	35	110	63	61	37
防犯・災害時の支援体制を強化する	278	22	35	52	78	91
日中の活動や居場所となる施設・サービスを充実させる	274	24	59	80	65	46
一般企業で働くのが難しい人にもあった仕事の場をつくる	271	20	60	64	77	50
ホームヘルパーなどの在宅サービスを充実させる	257	37	85	66	37	32
グループホームなど、地域で暮らせる住まいを増やす	246	66	59	53	39	29
難病の人などへの相談・生活支援を強化する	232	61	53	42	43	33
こころとからだの健康づくりを進める	229	36	54	44	44	51
障がいのある人向けの住宅整備や住宅改修への支援を進める	200	11	40	40	60	49
障がいのある人の権利を守る取り組みを進める	181	45	37	41	24	34
地域でお互いに支え合う仕組みをつくる	158	11	18	40	39	50
療育や発達支援の体制を整える	152	26	27	28	44	27
外出や人とのやり取りをサポートするサービスを増やす	145	10	23	31	52	29
子ども一人ひとりにあった教育・指導を進める	134	14	32	30	31	27
障がいへの理解を深める啓発や交流の機会を増やす	117	10	12	25	36	34
ボランティアの育成や活動を支援する	68	1	4	9	26	28
スポーツ・レクリエーション・文化活動に参加しやすくする	64	2	9	15	16	22
その他	40	26	3	-	2	9
わからない	106	62	8	9	11	16
無回答	617					
全体	2,132					



単位：％

		母数 (n)	行政などが充実させるべき施策													
	手厚くする年金・手当・医療費の助成を		制度やサービスの情報をわかりやすく伝える	身近に相談できる場所や人を増やす	障がいのある人の就職や働くための支援を増やす	道路や建物などのバリアフリーを進める	家族がリフレクシユできる支援を行う	地域での医療やリハビリの体制を整える	防犯・災害時の支援体制を強化する	日中の活動や居場所となる施設・サービスを充実させる	一般企業で働くのが難しい人にもあった仕事の場をつくる	ホームヘルパーなどの在宅サービスを充実させる	グループホームなど、地域で暮らせる住まいを増やす	難病の人などへの相談・生活支援を強化する		
全体		2,132	39.1	29.1	28.0	17.6	16.6	14.7	14.4	13.0	12.9	12.7	12.1	11.5	10.9	
障がい別	身体障がい	994	35.7	27.0	24.3	12.4	22.9	12.1	16.5	14.3	11.1	7.9	14.4	9.0	8.8	
	知的障がい	322	34.8	25.8	31.4	23.9	▼ 6.5	15.2	6.8	10.6	22.4	18.0	11.5	△32.9	1.6	
	精神障がい	380	△49.7	27.1	30.5	△29.5	7.9	13.7	7.9	10.8	11.6	20.8	10.3	6.8	8.9	
	指定難病	264	47.0	32.2	23.5	16.7	24.2	18.6	21.6	18.6	11.4	14.8	13.3	7.2	△36.0	
年齢別	39歳以下	365	45.2	36.7	34.2	△32.3	10.1	21.4	8.8	11.5	19.7	22.2	7.4	△21.9	7.4	
	40～49歳	245	42.9	30.2	32.2	27.3	12.7	12.2	8.2	13.1	13.5	△26.5	14.3	12.7	11.0	
	50～64歳	487	46.8	32.9	32.6	21.4	16.0	14.8	15.4	13.6	10.9	15.2	12.5	10.1	17.2	
	65歳以上	968	32.0	24.3	22.9	8.2	20.7	13.0	18.1	12.9	11.7	4.4	13.4	8.2	9.4	

単位：％

単位：%															
		母数 (n)	行政などが充実させるべき施策												
			をこころとからだの健康づくりを進める	障害者の住まいの改修への支援を進める	障がいのある人の権利を守る	地域でお互いに支え合う仕組みをつくる	療育や発達支援の体制を整える	外出や人とのやり取りをサポートするサービスの増やす	子ども一人ひとりにあつた教育・指導を進める	障がいへの理解を深める啓発や交流の機会を増やす	ボランティアの育成や活動を支援する	スポーツ・レクリエーション・文化活動に参加しやすくする	その他	わからない	無回答
全体		2,132	10.7	9.4	8.5	7.4	7.1	6.8	6.3	5.5	3.2	3.0	1.9	5.0	28.9
障がい別	身体障がい	994	7.1	11.5	6.1	7.7	3.7	7.2	5.2	5.0	3.5	2.4	1.5	4.4	35.1
	知的障がい	322	6.8	9.6	9.3	8.7	10.6	11.2	3.4	6.5	3.1	3.1	1.9	3.1	28.6
	精神障がい	380	17.1	8.7	15.8	4.5	7.4	5.8	5.5	10.5	1.1	3.2	1.8	6.8	23.2
	指定難病	264	6.4	11.0	4.9	7.2	8.7	7.6	7.2	4.5	5.3	4.9	2.7	3.4	18.9
年齢別	39歳以下	365	13.4	8.8	15.1	6.3	14.8	7.9	7.7	5.2	2.5	3.6	3.0	6.0	15.9
	40～49歳	245	13.9	6.9	8.6	8.6	9.0	7.3	11.0	9.8	3.3	3.3	1.6	6.5	21.6
	50～64歳	487	12.7	11.7	11.1	6.6	7.4	8.6	5.7	6.0	2.1	2.9	2.7	6.4	20.3
	65歳以上	968	8.0	9.1	4.5	8.1	3.6	5.6	4.9	4.4	4.2	2.8	0.8	3.7	39.5

(2)自由意見

問54 さいごに、今後の障がい福祉施策の推進に向けて、高槻市や大阪府、国などへのご意見・ご要望、日ごろお困りになっていることなどを自由にお書きください。

自由記述の回答者数は、589人です。記入内容を分類した結果は以下の通りです。

分類		件数
1. 将来や親亡き後の不安 (90 件)	将来・親亡き後の不安	26 件
	親亡き後の生活場所・支援体制	24 件
	障がいが進行する不安	16 件
	家族の負担と孤立	12 件
	権利擁護・後見制度	4 件
	その他	8 件
2. 経済的支援・年金 (120 件)	医療費・サービス費用の軽減	39 件
	手当・年金の増額、障害年金が低い	34 件
	日常生活コストの補助	11 件
	収入がない	4 件
	その他	32 件
3. 移動・交通インフラ (55 件)	公共交通機関（バス・鉄道）、乗客マナー	20 件
	タクシー利用支援、予約困難解消	13 件
	割引制度・利便性	6 件
	交通安全	6 件
	その他	10 件
4. バリアフリー・道路整備 (44 件)	道路・歩道の修繕、段差解消	19 件
	公共施設、公共交通、商業施設の設備、多目的トイレの拡充、障がい者用駐車スペース	16 件
	視覚障害者用設備、障害物（自転車等）	4 件
	その他	5 件
5. 就労支援・雇用 (47 件)	雇用機会の拡大と環境改善、職業訓練	19 件
	賃金・工賃の向上、自立可能な給与の確保	8 件
	福祉職員の待遇確保	7 件
	職場における障がいの理解	5 件
	定着支援・相談	3 件
	就労相談	2 件
	その他	3 件
6. 施設・サービス (131 件)	施設・サービス拡充	46 件
	相談支援体制	17 件
	ヘルパー・訪問サービス、利用時間	15 件
	日中活動・ショートステイ	9 件
	福祉人材不足	9 件
	その他	35 件
7. 行政対応・情報発信 (130 件)	窓口対応・手続き、申請書類の簡素化・デジタル化、たらい回しの防止	36 件
	情報の周知・広報	26 件
	相談窓口	12 件
	制度への不満	8 件
	行政の姿勢、市民の声の反映、専門性の向上	4 件
	その他	44 件
8. 社会的理解・偏見 (59 件)	社会的理解・偏見	12 件
	学校や地域での障がい理解教育、差別禁止の周知	11 件
	見えない障がいへの理解	6 件
	地域の繋がり、近隣住民との交流	2 件
	その他	28 件
9. 医療・リハビリ・災害 (37 件)	専門医療・リハビリ、医療の充実	10 件
	災害対策	7 件
	情報の発信	3 件
	精神・心のケア、精神科の待ち時間解消、家族のメンタルヘルス支援	2 件
	利用の相談	1 件
	その他	14 件
10. その他 (112 件)	市政・社会への一般要望	31 件
	アンケートに関する意見	25 件
	特になし	25 件
	その他	31 件

【自由記述からみる現状と課題】

1. 将来や親亡き後の不安

【主な意見】

- 「親亡き後、この子を誰が、どこで、どう支えるのか」という極めて切実な不安を親も子も抱えています。入所施設の不足、成年後見制度の利用ハードルの高さや費用面の負担も具体的に指摘されています。

【課題】

- 「親が元気なうちに」次の生活基盤として施設やグループホームを確定させたいという要望が強いですが、現状は希望する施設が見つからず、老障介護への不安が増大している状態と考えられます。施設入所だけでなく、サービスの利用や人的ネットワークなど、それぞれの家庭に応じた対応を考えていく必要があります。

2. 経済的支援・年金

【主な意見】

- 障害年金だけでは生活できないという訴えや、物価高騰による生活困窮が目立ちます。また、障がいゆえに必要な補装具などの費用や医療費の自己負担軽減、診断書作成費用の補助を求める声が多くなっています。

【課題】

- 所得制限により支援からもれる世帯の不満も大きく、物価高に応じた手当の増額や、実費負担への助成が期待されています。

3. 移動・交通インフラ

【主な意見】

- 市営バスは、障がい者や高齢者等にとって重要な移動手段となっており、バス路線の減便・廃止が生活、特に通院に大きく影響しています。無料バスを使えることが移動手段にかかる安心感につながっており、その分タクシーの割高感が大きいようです。タクシー券の交付枚数増加やJR・阪急各駅へのホームドア設置を求める安全面の要望、電車・バスにおける優先座席の利用マナーを指摘する声も挙げられています。

【課題】

- 移動手段の確保は、社会参加を保障する基礎的手段の他、通院を含む日常的な移動に不可欠であることから、公共交通の維持と個別輸送（タクシー等）の柔軟な運用が求められています。

4. バリアフリー・道路整備

【主な意見】

- 道路の凹凸や傾斜、狭い歩道が車椅子や視覚障がい者にとって危険であるとの指摘があり、点字ブロック上の放置自転車や、障がい者用駐車スペースの不正利用への不満も目立ちます。歩行困難な人は、歩道を走る自転車にも危険を感じています。

【課題】

- ハード面の整備に加え、交通ルールの周知やマナー啓発などのソフト面の対策が、当事者の「安心して外出できる権利」を守る鍵となります。

5. 就労支援・雇用

【主な意見】

- 作業所の工賃が低すぎて自立できない現状への不満、一般就労における障がいへの理解不足や、精神障がい者が体調に合わせて働くことが可能となる短時間・テレワーク等の柔軟な就労環境の不足が指摘

されています。

【課題】

- 働く意欲を削がないための工賃向上策と、企業側へのさらなる啓発、就職後の長期的な定着支援が重要視されています。また、障がい者雇用率制度の周知と遵守に向けた働きかけも必要となります。

6. 施設・サービス拡充

【主な意見】

- ヘルパーの慢性的不足により、希望する時間にサービスが受けられない実態やショートステイの予約困難、日中の活動場所の不足への改善要望があります。

【課題】

- 制度としてのサービスがあっても、現場の人手不足で機能していないケースが多く、人材確保と受け入れ体制の強化が望まれています。

7. 行政対応・情報発信

【主な意見】

- 自分が利用できるサービスについての情報が得られていない人が散見されているうえに、手続きの複雑さや頻度の多さの改善を求める声が多くなっています。

【課題】

- 障がいの特性に応じた分かりやすい情報提供(点字、拡大文字、IT 活用)と、ワンストップで手続きが完結する窓口対応や制度を横断した対応が求められています。

8. 社会的理解・偏見

【主な意見】

- 様々な場面での差別や偏見のほか、見た目で分かりにくい障がい(内部障がい、発達、精神)への理解が十分でないことや学校教育で障がい理解の促進を求める声もあがっています。

【課題】

- 内部障がいを持つ人への配慮を促すヘルプマークのさらなる周知と、「しつけ」や「努力不足」と誤解されがちな特性についての理解など、広く市民への啓発が不可欠です。

9. 医療・リハビリ・災害

【主な意見】

- 専門医(特に歯科や精神科)の予約が取りにくい、成人後のリハビリ機会が制限されることへの不安、災害時の避難行動に対する不安も見られます。

【課題】

- リハビリに関する相談への対応や、災害時の避難行動において障がいによって課題が異なることへの対応などが求められています。

10. その他

【主な意見】

- アンケートについては、項目数や設問の難しさの指摘とともに、当事者が意見を伝える手段として評価する声あげられています。また、現場の支援者への感謝や、市の福祉行政を評価する声も聞かれています。

【課題】

- 市民が行政に期待していることを認識して、より良い対応に努めるとともに、支援の現場へ市民からの感謝の声を届けることも大切です。

Ⅲ 障がい児調査の結果

1. あなたやご家族について

(1) アンケート回答者

問1 このアンケートを記入されたのはどなたですか(1つだけ○)

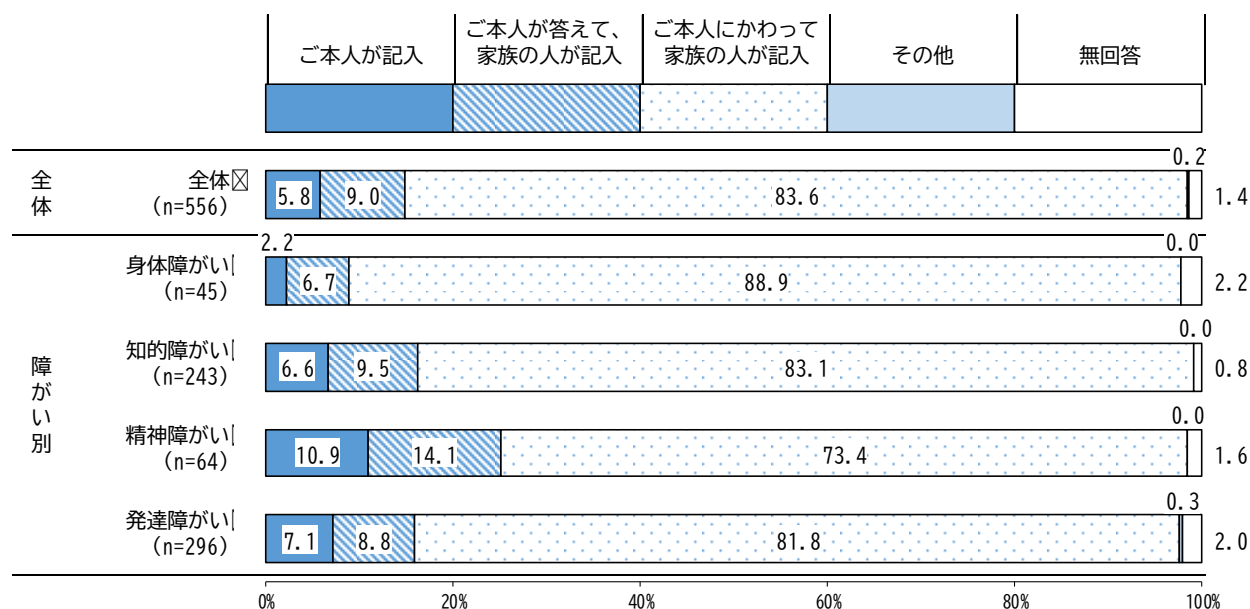
【全体】

- アンケート回答者について、「ご本人にかわって家族の人が記入」が 83.6%で最も多く、次いで「ご本人が答えて、家族の人が記入」が 9.0%、「ご本人が記入」が 5.8%となっています。

【障がい別】

- 精神障がいでは「ご本人が記入」と「ご本人が答えて、家族の人が記入」が合わせて 25.0%で他の障がいに比べて多くなっていますが、身体障がいでは「ご本人にかわって家族の人が記入」が 88.9%を占めています。

<障がい別 アンケート回答者>



(2)回答者の年齢と性別

問2 あなたの年齢と性別をお聞きます。令和7年11月1日現在の満年齢をご記入ください。

(それぞれ1つだけ○)

■ 年齢

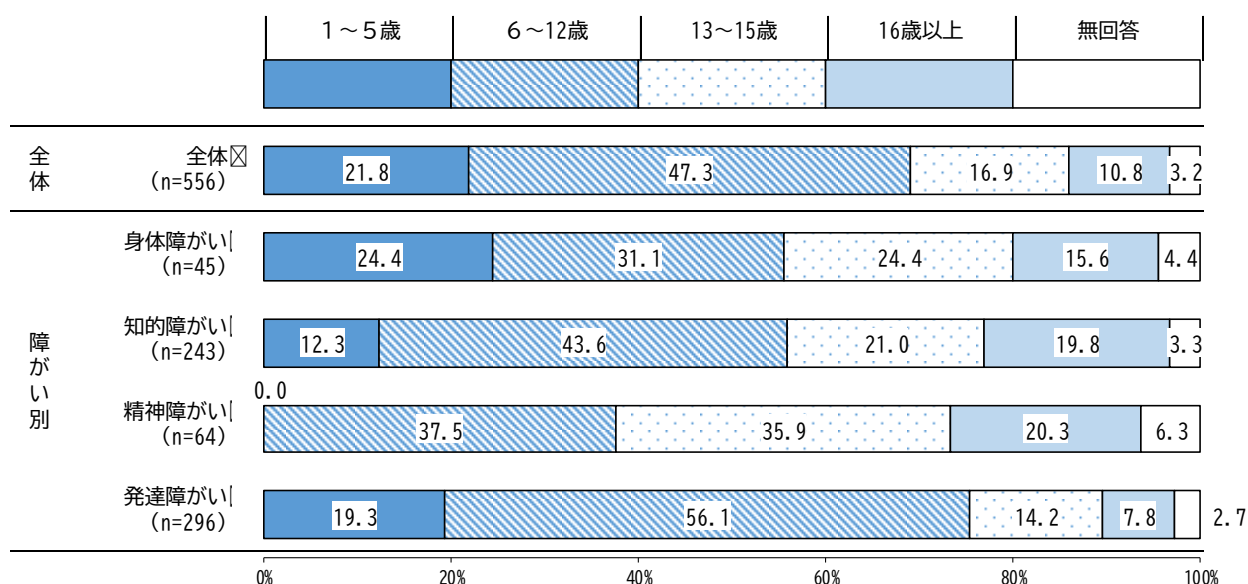
【全体】

- 回答者の年齢について、「6～12 歳」が 47.3%で最も多く、次いで「1～5歳」が 21.8%、「13～15 歳」が 16.9%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「6～12 歳」が全体より 16.2 ポイント少なく、「1～5歳」が他の障がいに比べて多くなっています。精神障がいは「13～15 歳」が全体より 19.0 ポイント多くなっています。発達障がいは「6～12 歳」が 56.1%で半数を超え、「1～5歳」と合わせて 75.4%を占めています。

<障がい別 年齢>



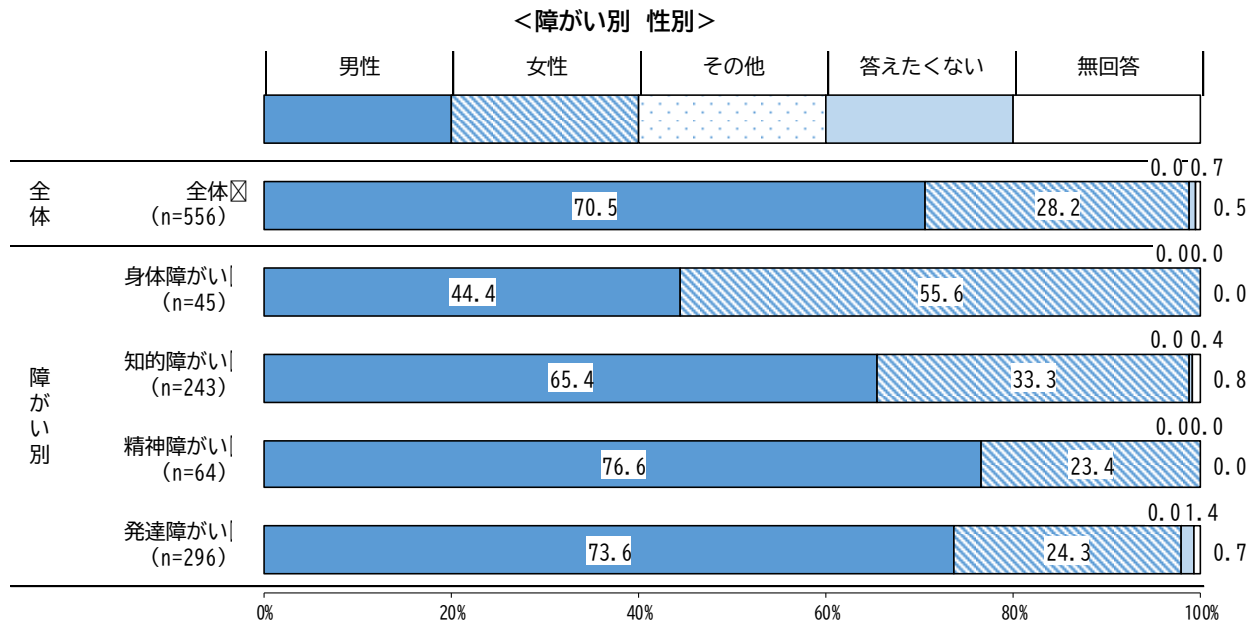
■ 性別

【全体】

○ 性別について、「男性」が70.5%、「女性」が28.2%、「答えたくない」が0.7%となっています。

【障がい別】

○ 精神障がいは「男性」が76.6%に上っています。



(3)暮らしている場所

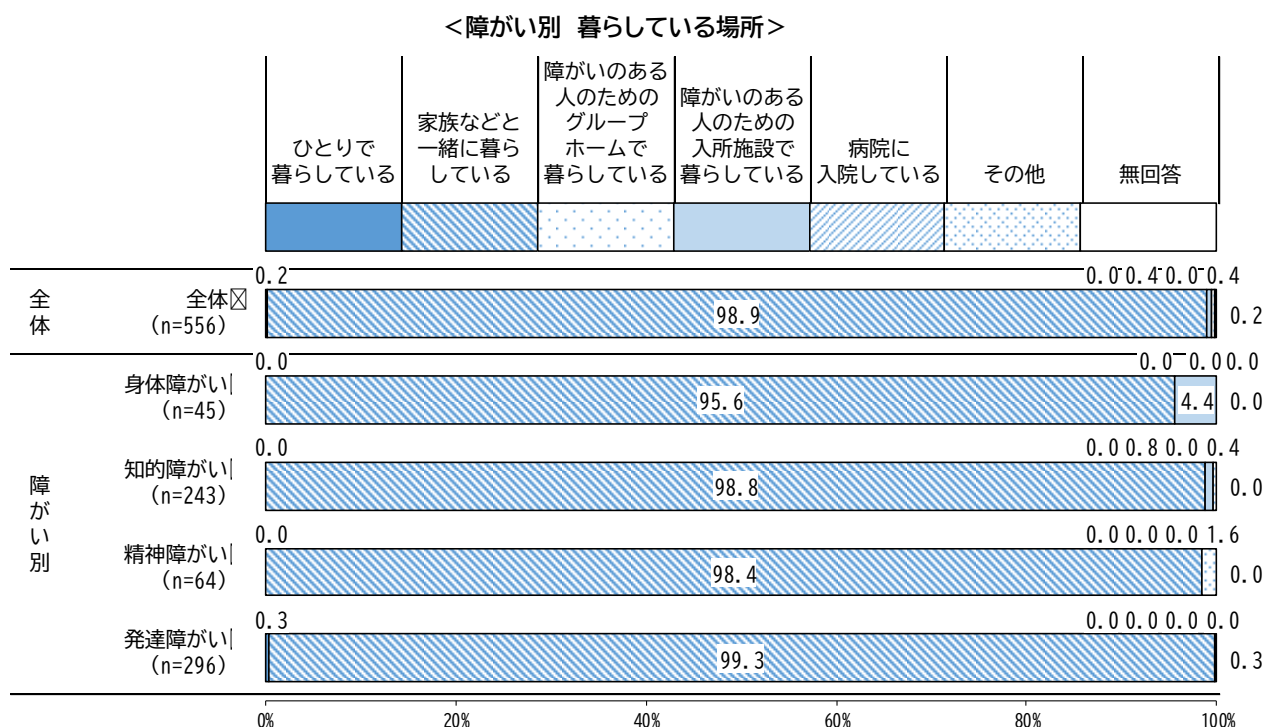
問3 あなたは、現在どのようなところで暮らしていますか？(1つだけ○)

【全体】

○ 暮らしている場所について、「家族などと一緒に暮らしている」が98.9%で大半を占めています。

【障がい別】

○ 身体障がいは「障がいのある人のための入所施設で暮らしている」がやや多くなっています。



(4)手帳等の所持状況

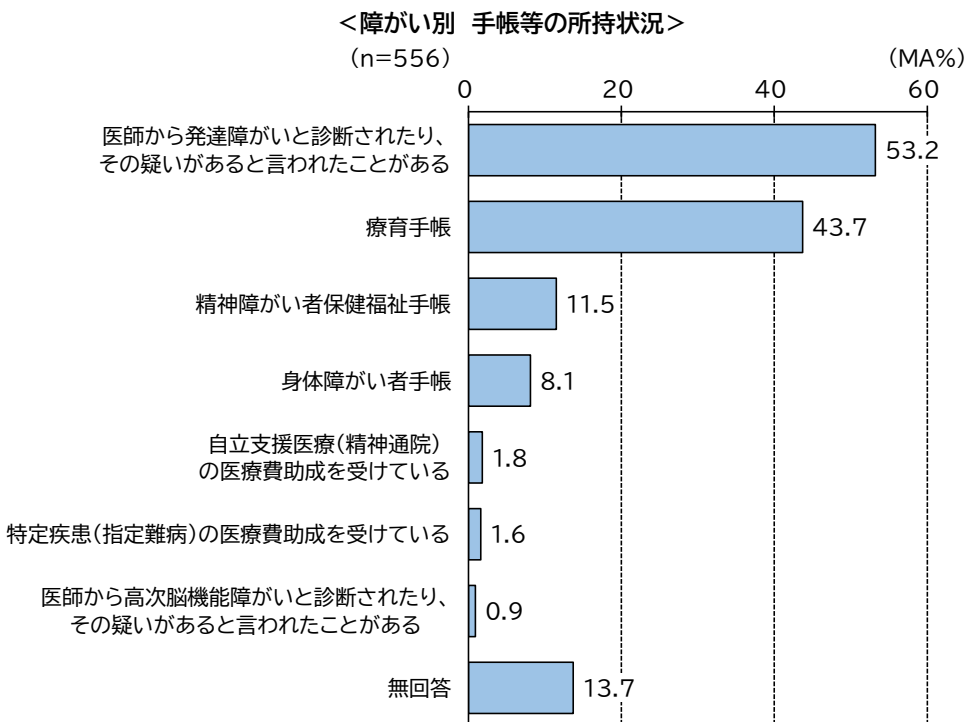
問4 あなたがお持ちの手帳の種類・等級(程度)は何ですか？また、自立支援医療の受給や発達障がいの診断などを受けていますか？(いくつでも○)

【全体】

○ 手帳等の所持状況について、「医師から発達障がいと診断されたり、その疑いがあると言われたことがある」が 53.2%で最も多く、次いで「療育手帳」が 43.7%、「精神障がい者保健福祉手帳」が 11.5%となっています。

【障がい別】

○ 身体障がいは「療育手帳」の重複所持が 64.4%となっています。知的障がいと精神障がいは「医師から発達障がいと診断されたり、その疑いがあると言われたことがある」と重複している人がそれぞれ 42.8%、56.3%となっています。発達障がいは「療育手帳」の重複が 35.1%となっています。



単位：％

		手帳等の所持状況							
	母数 (n)	医師から発達障がいと診断されたり、その疑いがある	療育手帳	精神障がい者保健福祉手帳	身体障がい者手帳	自立支援医療(精神通院)の医療費助成を受けている	特定疾患(指定難病)の医療費助成を受けている	医師から高次脳機能障がいと診断されたり、その疑いがある	無回答
全体	556	53.2	43.7	11.5	8.1	1.8	1.6	0.9	13.7
障がい別									
身体障がい	45	▼ 15.6	△ 64.4	2.2	△ 100.0	-	8.9	-	-
知的障がい	243	▼ 42.8	△ 100.0	5.3	11.9	0.8	2.1	0.4	-
精神障がい	64	56.3	▼ 20.3	△ 100.0	1.6	△ 14.1	1.6	-	-
発達障がい	296	△ 100.0	35.1	12.2	2.4	1.7	0.3	0.3	-

<手帳の重複所持状況>

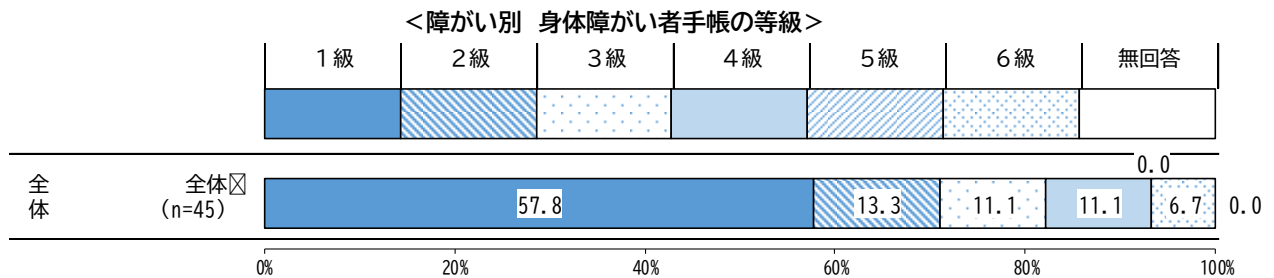
(件)

	所持者数	単一手帳等所持者	重複所持者						
			身体障がい者手帳	療育手帳	精神障がい者保健福祉手帳	発達障がい	高次脳機能障がい	自立支援医療	指定難病
身体障がい者手帳	45	14	31	29	1	7	-	-	4
療育手帳	243	111	132	29	13	104	1	2	5
精神障がい者保健福祉手帳	64	19	45	1	13	36	-	9	1
発達障がい	296	164	132	7	104	36	1	5	1
高次脳機能障がい	5	3	2	-	1	-	1	-	1
自立支援医療	10	1	9	-	2	9	5	-	-
指定難病	9	1	8	4	5	1	1	-	-

■ 身体障がい者手帳の総合等級

【全体】

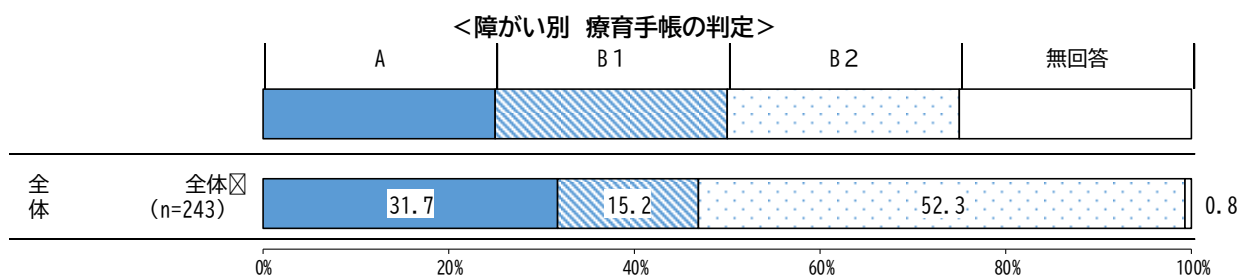
○ 「1級」が57.8%で最も多く、次いで「2級」が13.3%、「3級」「4級」が11.1%となっています。



■ 療育手帳の判定

【全体】

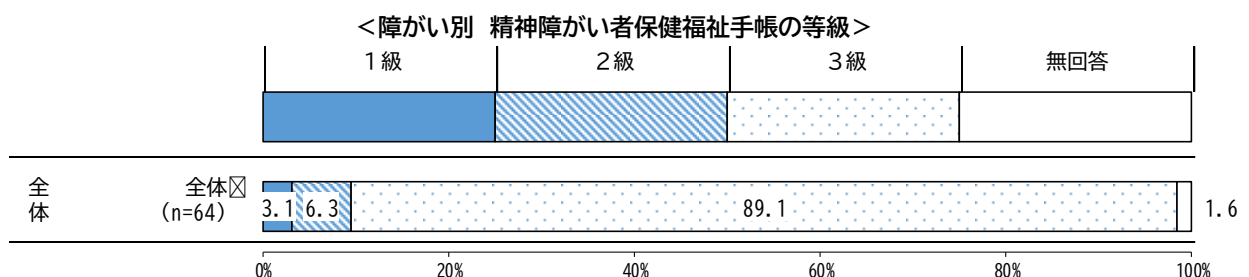
○ 「B2」が52.3%で最も多く、次いで「A」が31.7%、「B1」が15.2%となっています。



■ 精神障がい者保健福祉手帳の等級

【全体】

○ 「3級」が89.1%で最も多く、次いで「2級」が6.3%、「1級」が3.1%となっています。



(5)障がいの種類

問4-1 問4で1を選んだ身体障がい者手帳をお持ちの方にお聞きします。

障がいの種類は何ですか？(いくつでも○)

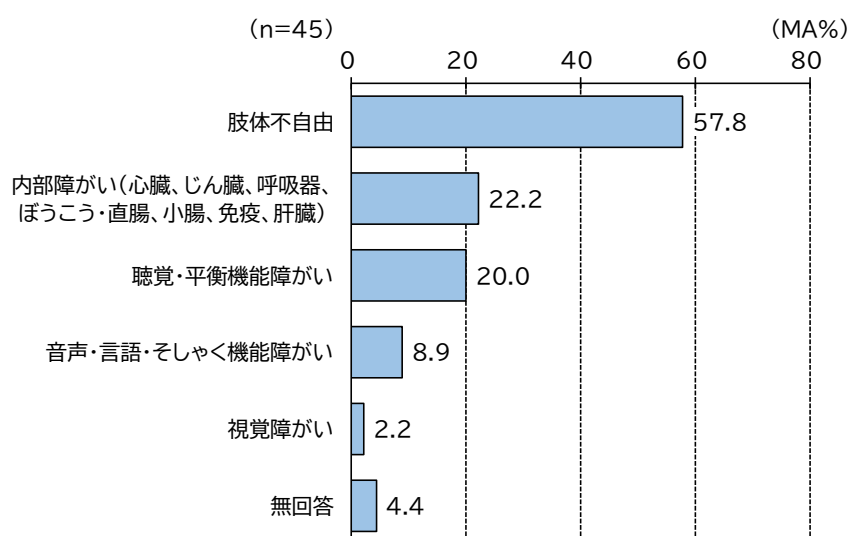
【全体】

- 障がいの種類について、「肢体不自由」が 57.8%で最も多く、次いで「内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓)」が 22.2%、「聴覚・平衡機能障がい」が 20.0%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいと知的障がい重複している人のうち「肢体不自由」が 86.2%に上ります。

<障がい別 障がいの種類>



単位：%

		母数☒ (n)	障がいの種類					
			肢体不自由	腸、小腸、臓、呼吸器、免疫、肝臓	内部障がい（心臓、じん臓、ぼうこう・直	聴覚・平衡機能障がい	障がい・音声・言語・そしやく機能	視覚障がい
全体		45	57.8	22.2	20.0	8.9	2.2	4.4
障がい別	身体障がい	45	57.8	22.2	20.0	8.9	2.2	4.4
	知的障がい	29	△ 86.2	▼ 10.3	13.8	6.9	-	3.4
	精神障がい	1	-	-	-	-	-	100.0
	発達障がい	7	57.1	14.3	△ 42.9	-	-	14.3

(6)発達障がい初めて認識したきっかけ

問4で4を選んだ方にお聞きします。

問5「発達障がい」を初めて認識したきっかけは、次のうちどれにあてはまりますか？(1つだけ○)

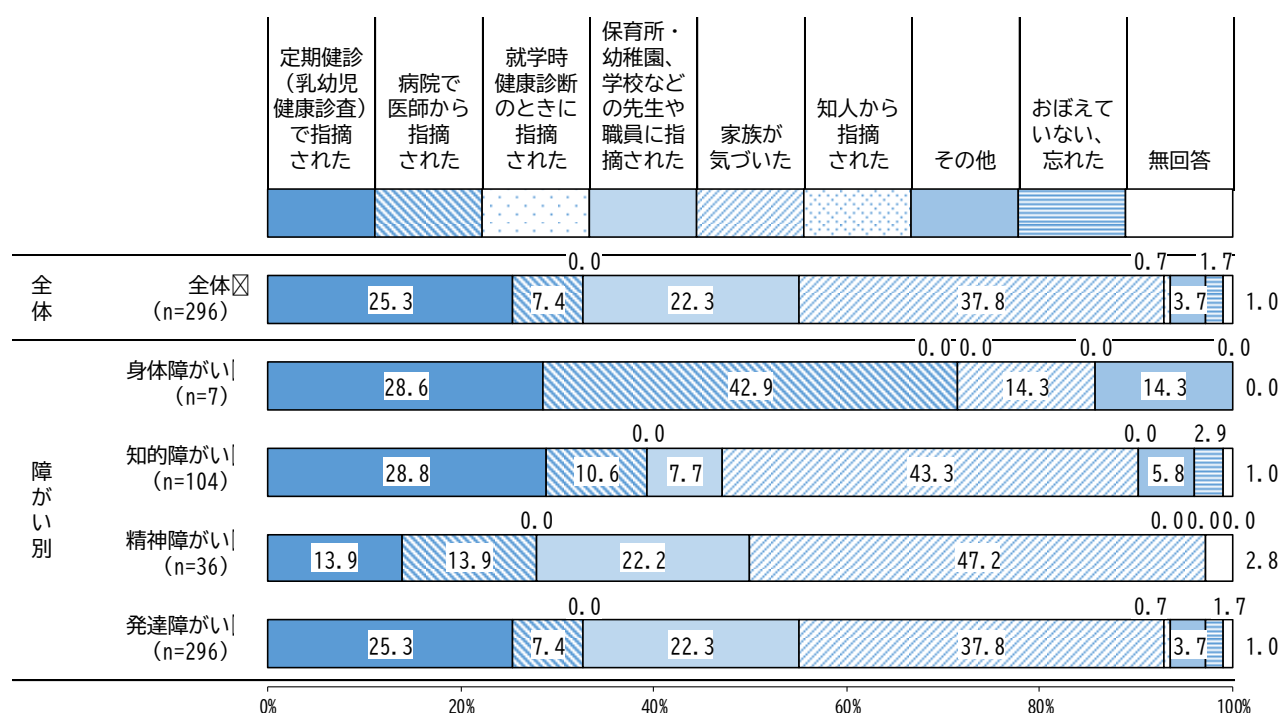
【全体】

- 発達障がいを初めて認識したきっかけについて、「家族が気づいた」が 37.8%で最も多く、次いで「定期健診(乳幼児健康診査)で指摘された」が 25.3%、「保育所・幼稚園、学校などの先生や職員に指摘された」が 22.3%となっています。

【障がい別】

- 知的障がいは「保育所・幼稚園、学校などの先生や職員に指摘された」が全体より 14.6 ポイント少なくなっています。

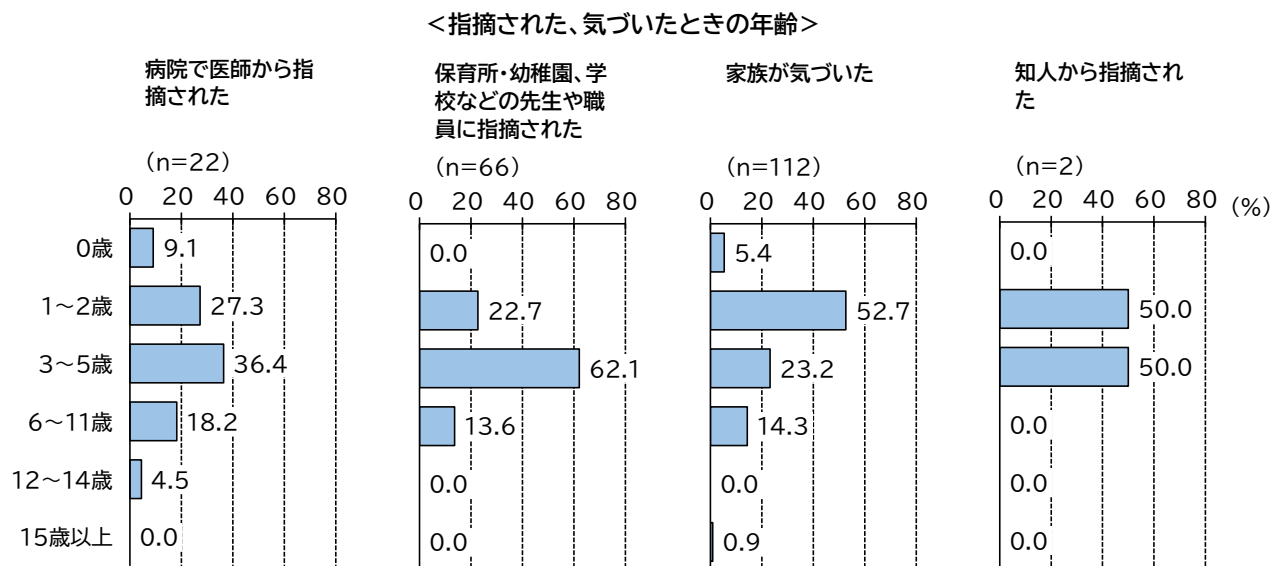
<障がい別 発達障がいを初めて認識したきっかけ>



■ 指摘された、気づいたときの年齢

【全体】

- 病院で医師から指摘された、保育所・幼稚園、学校などの先生や職員に指摘された年齢では、「3～5歳」多く、家族が気づいた年齢では「1～2歳」が52.7%で半数を超えています。



(7)医療的ケアの状況

全員にお聞きします。

問6 あなたは、医療的ケアを受けていますか？(1つだけ○)

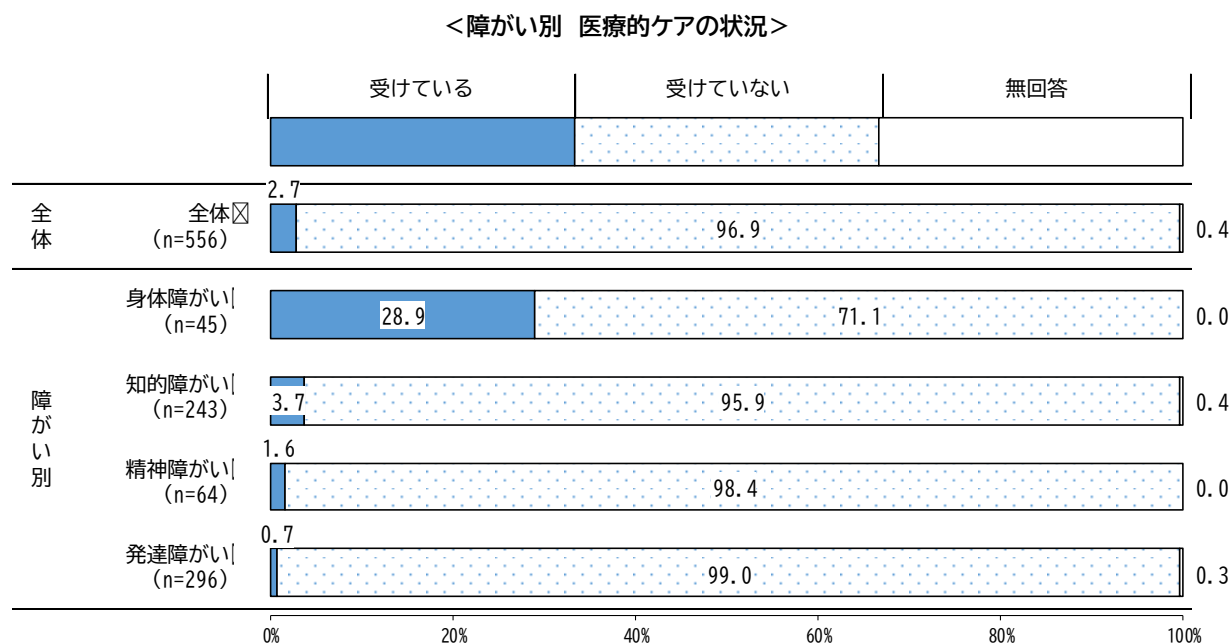
※医療的ケアとは、「たん吸引」「中心静脈栄養法(IVH)」「人工呼吸器(レスピレーター)」「気管切開の処置」「経管栄養(胃ろうなど)」などを指します。

【全体】

○ 医療的ケアの状況について、「受けている」が2.7%、「受けていない」が96.9%となっています。

【障がい別】

○ 身体障がいは「受けている」が28.9%に上ります。



【医療的ケアの内容】

内容	件数
胃ろう	6
たん吸引	4
気管切開処置	4
酸素吸入	3
導尿	2
その他	6
気管内吸引、口鼻腔内吸引、経管栄養、鎖肛処置、水頭症のシャント手術、ネブライザー	

(8)障がい支援区分の認定

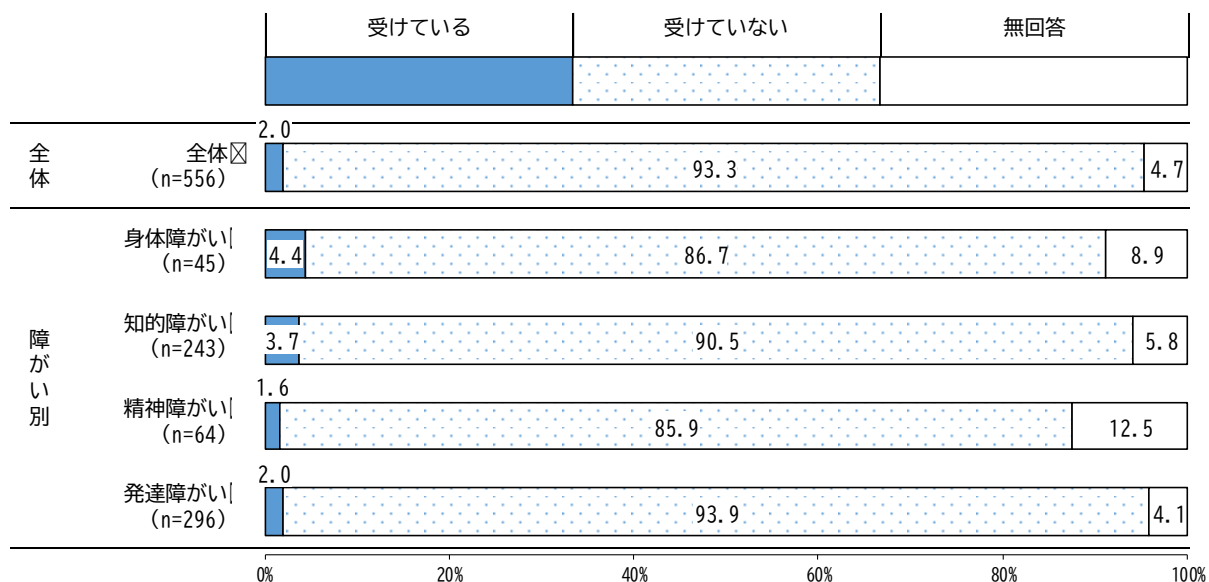
問7 あなたは、障がい支援区分の認定を受けていますか？(1つだけ○)

※障がい支援区分とは、障がいの多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すものです。

【全体】

○ 障がい支援区分の認定について、「受けている」が2.0%、「受けていない」が93.3%となっています。

<障がい別 障がい支援区分の認定>

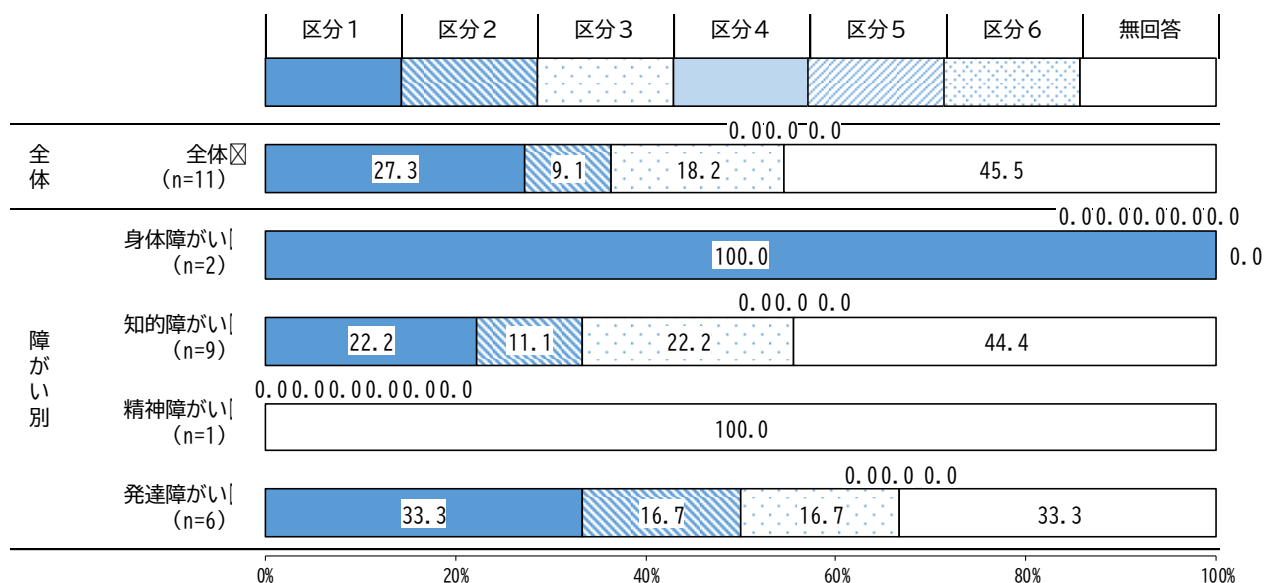


■ 受けている障がい支援区分

【全体】

○ 受けている障がい支援区分について、「区分1」が27.3%で最も多く、次いで「区分3」が18.2%、「区分2」が9.1%となっています。

<障がい別 受けている障がい支援区分>



(9) 介助や支援の必要性

問8 次のような動作のうち、人の介助や支援(指示、声かけ、促しなども含む)を必要とされるものはありますか？(いくつでも○)

※補装具や自助具などを使用されている方は、それらを使用した状態の動作であてはまるものを選んでください。

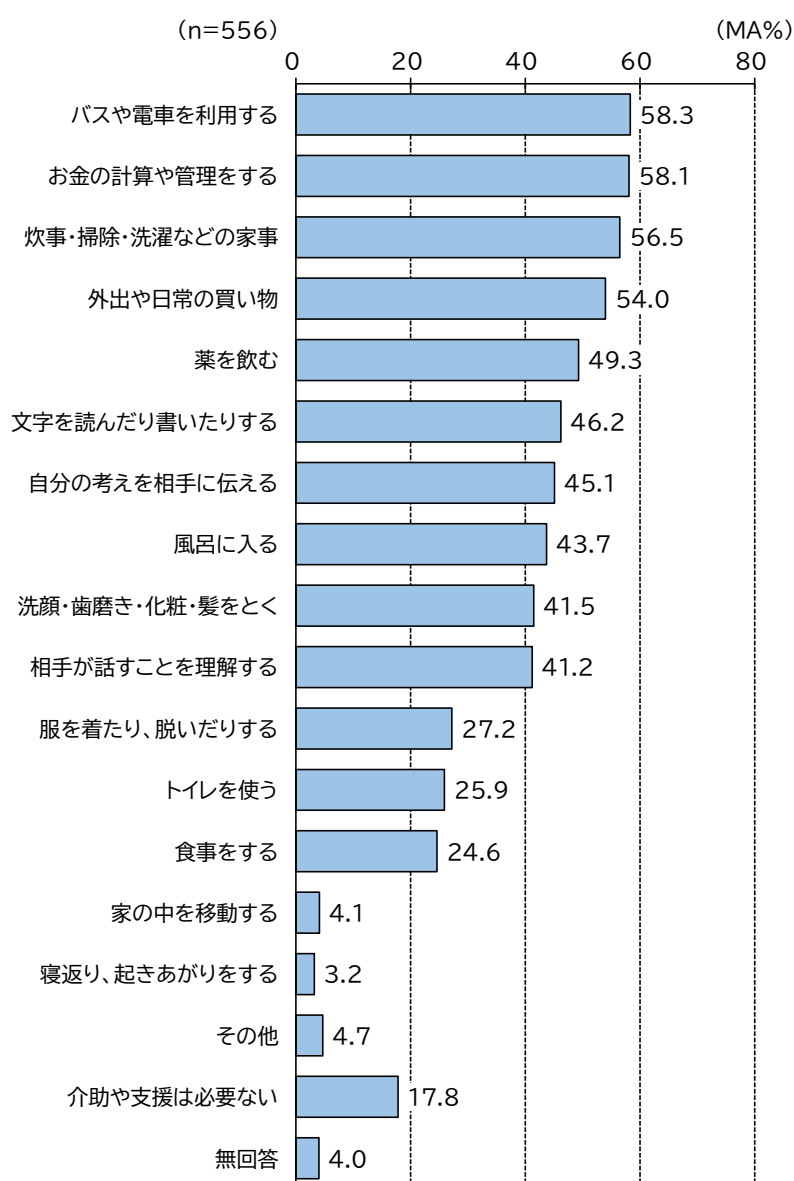
【全体】

- 介助や支援の必要性について、「バスや電車を利用する」が 58.3%で最も多く、次いで「お金の計算や管理をする」が 58.1%、「炊事・掃除・洗濯などの家事」が 56.5%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいと知的障がいは全般的に支援の必要性が高く、身体障がいでは身体的な支援が、知的障がいはコミュニケーションの支援の必要性が高い傾向となっています。

<障がい別 介助や支援の必要性>



単位：％

		単位：%									
		母数 (n)	介助や支援の必要性								
			バスや電車を利用する	お金の計算や管理をする	炊事・掃除・洗濯などの家事	外出や日常の買い物	薬を飲む	文字を読んだり書いたりする	自分の考えを相手に伝える	風呂に入る	洗顔・歯磨き・化粧・髪を洗う
	全体	556	58.3	58.1	56.5	54.0	49.3	46.2	45.1	43.7	41.5
障がい別	身体障がい	45	△ 75.6	△ 68.9	△ 71.1	△ 68.9	△ 68.9	△ 64.4	△ 57.8	△ 68.9	△ 64.4
	知的障がい	243	△ 72.0	△ 74.5	△ 71.6	△ 70.0	△ 62.6	△ 58.8	△ 61.3	△ 55.6	△ 55.6
	精神障がい	64	48.4	53.1	57.8	▼ 42.2	48.4	▼ 21.9	35.9	▼ 31.3	▼ 31.3
	発達障がい	296	58.4	56.8	56.8	54.4	50.0	42.9	44.6	43.6	40.5

単位：％

単位：%

		母数 (n)	介助や支援の必要性								
			相手が話すことを理解する	服を着たり、脱いだりする	トイレを使う	食事をする	家の中を移動する	寝返り、起きあがりをする	その他	介助や支援は必要ない	無回答
全体		556	41.2	27.2	25.9	24.6	4.1	3.2	4.7	17.8	4.0
障がい別	身体障がい	45	48.9	△ 60.0	△ 64.4	△ 55.6	△ 35.6	△ 33.3	6.7	15.6	-
	知的障がい	243	△ 58.0	37.0	△ 38.7	△ 35.4	8.6	7.0	5.8	10.3	1.6
	精神障がい	64	▼ 20.3	▼ 12.5	▼ 4.7	15.6	-	-	6.3	18.8	1.6
	発達障がい	296	41.2	25.3	24.0	25.3	1.4	1.4	4.7	16.9	4.1

(10)主な介助・支援者

介助や支援が必要な方にお聞きします。

問9 あなたを主に介助・支援している方はどなたですか？(1つだけ○)

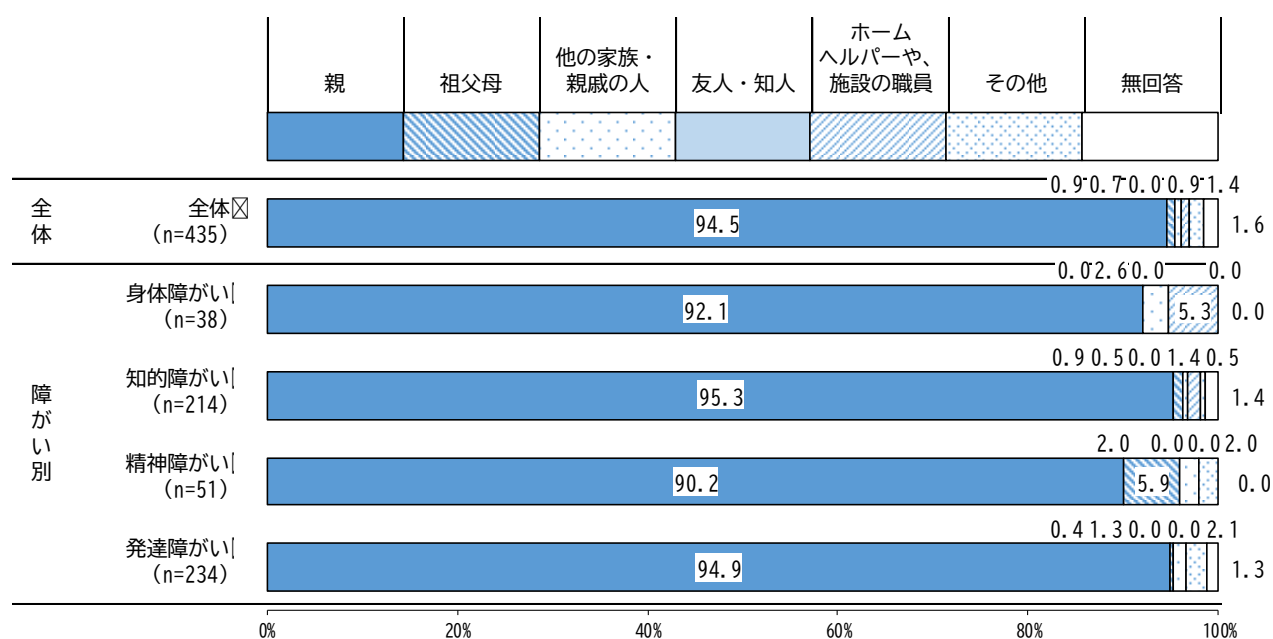
【全体】

- 主な介助・支援者について、「親」が 94.5%で最も多く、次いで「その他」が 1.4%、「祖父母」「ホームヘルパーや、施設の職員」が 0.9%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「ホームヘルパーや、施設の職員」が、精神障がいは「祖父母」がやや多くなっています。

<障がい別 主な介助・支援者>



(11)主な介助・支援者の年齢

問9で1～4を選んだ方にお聞きます。

問10 あなたを主に介助・支援している方の年齢は？(1つだけ○)

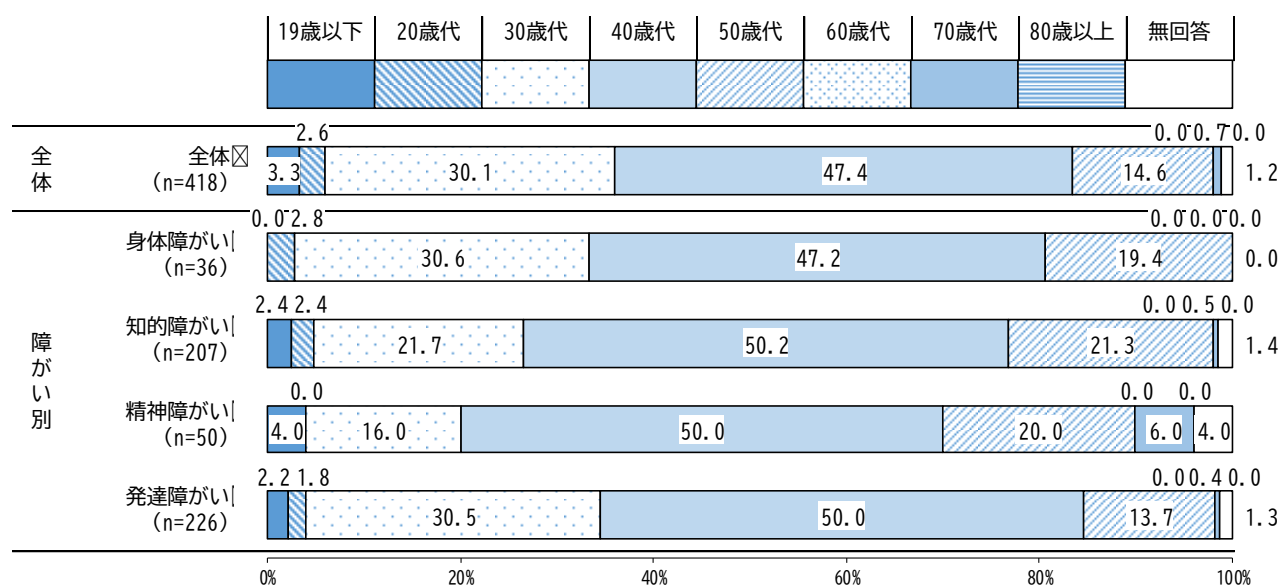
【全体】

- 主な介助・支援者の年齢について、「40 歳代」が 47.4%で最も多く、次いで「30 歳代」が 30.1%、「50 歳代」が 14.6%となっています。

【障がい別】

- 精神障がいは「30 歳代」が全体より 14.1 ポイント少ない一方で 70 歳代がやや多くなっています。

<障がい別 主な介助・支援者の年齢>



(12)1日あたりの介助時間

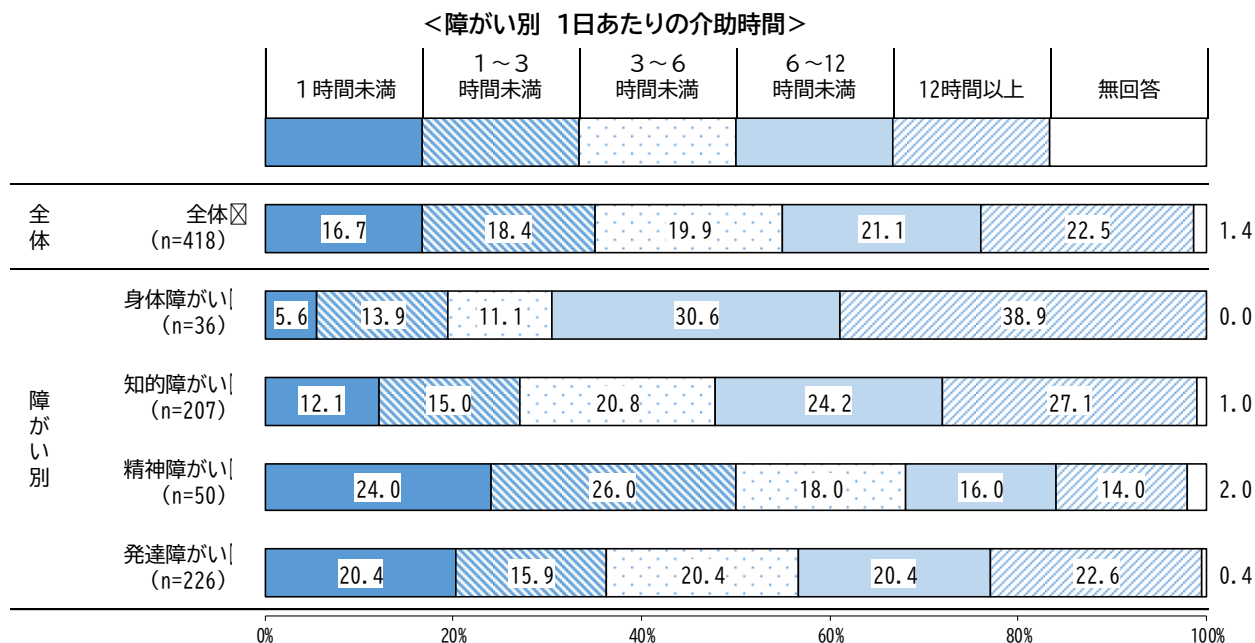
問11 あなたを主に介助・支援している方が行うあなたへの介助時間は1日あたりどの程度ですか？
(1つだけ○)

【全体】

- 1日あたりの介助時間について、「12 時間以上」が 22.5%で最も多く、次いで「6～12 時間未満」が 21.1%、「3～6時間未満」が 19.9%となっています。

【障がい別】

- 身体障がい、知的障がい、発達障がい、精神障がいの順に介助時間が長い傾向となっています。



(13)主な介助者が介助・支援できない時の対応

問12 あなたを主に介助・支援している方が、病気や旅行などで一時的に介助・支援できないとき、どうされていますか？(主なもの3つまでに○)

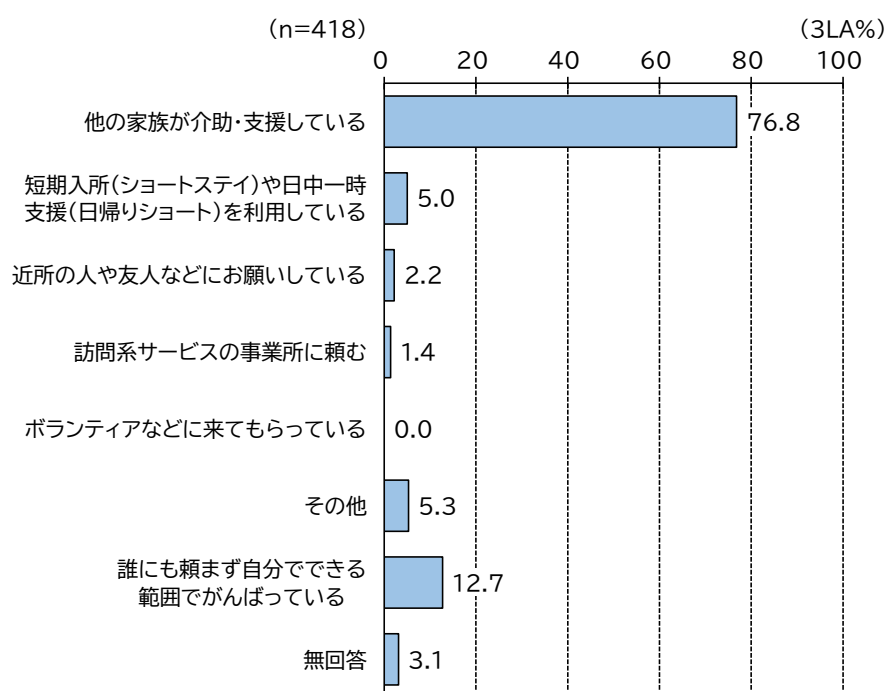
【全体】

- 主な介助者が介助・支援できない時の対応について、「他の家族が介助・支援している」が 76.8%で最も多く、次いで「誰にも頼まず自分でできる範囲でがんばっている」が 12.7%、「その他」が 5.3%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「短期入所(ショートステイ)や日中一時支援(日帰りショート)を利用している」が全体に比べて 20.0%多くなっています。

<障がい別 主な介助者が介助・支援できない時の対応>



単位：％

		主な介助者が介助・支援できない時の対応							
	母数 (n)	他の家族が介助・支援している	短期入所(ショートステイ)や日中一時支援(日帰りショート)を利用している	近所の人や友人などをお願いしている	訪問系サービスの事業所に頼む	ボランティアなどに来てもらっている	その他	誰にも頼まず自分でできる範囲	無回答
全体	418	76.8	5.0	2.2	1.4	-	5.3	12.7	3.1
障がい別									
身体障がい	36	▼ 66.7	△ 25.0	2.8	5.6	-	8.3	8.3	2.8
知的障がい	207	80.7	9.2	1.0	2.4	-	5.8	10.6	0.5
精神障がい	50	68.0	2.0	4.0	-	-	6.0	20.0	2.0
発達障がい	226	77.4	6.2	2.7	0.9	-	4.9	13.3	1.8

2. 日中の活動や社会参加について

(1) 平日の昼間の過ごし方

問13 あなたは、平日の昼間の時間(学校や通園施設などの放課後は含みません)は、どのようにして過ごしていますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 平日の昼間の過ごし方について、「地域の小学校・中学校に通っている」が 39.6%で最も多く、次いで「自宅で過ごしている」が 28.8%、「児童発達支援の施設などへ通っている」が 23.4%となっています。

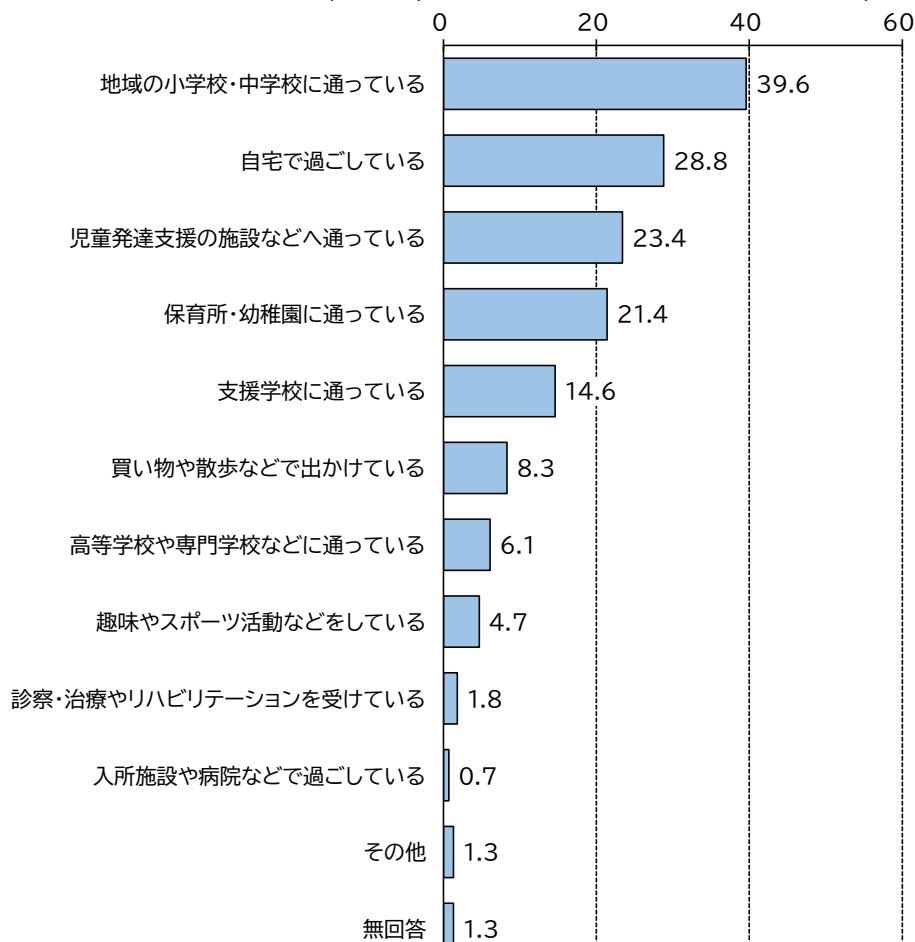
【障がい別】

- 身体障がいと知的障がいは「支援学校に通っている」が最も多く、それぞれ 30%を超えています。

<障がい別 平日の昼間の過ごし方>

(n=556)

(3LA%)



単位: %

		平日の昼間の過ごし方												
		母数 (n)	地域の 小学校・中 学校に通 っている	自宅 で過 して いる	児童 発達 支援の 施設な どへ 通 って いる	保 育 所・幼 稚園に 通 て い る	支 援 学 校に 通 て い る	買 い 物 や 散 歩 な ど で 出 か け て い る	高 等 学 校 や 専 門 学 校 な ど に 通 て い る	趣 味 や ス ポ ー ツ 活 動 な ど を し て い る	診 察 ・ 治 療 や リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン を 受 け て い る	入 所 施 設 や 病 院 な ど で 過 ご し て い る	そ の 他	無 回 答
全体		556	39.6	28.8	23.4	21.4	14.6	8.3	6.1	4.7	1.8	0.7	1.3	1.3
障 が い 別	身体障がい	45	▼17.8	24.4	26.7	15.6	△35.6	6.7	2.2	2.2	8.9	4.4	-	2.2
	知的障がい	243	30.9	30.0	25.5	▼9.1	△32.1	9.5	7.8	4.9	3.3	0.4	0.8	2.1
	精神障がい	64	46.9	35.9	▼9.4	▼3.1	7.8	6.3	△18.8	6.3	3.1	1.6	1.6	-
	発達障がい	296	44.6	28.4	24.7	22.6	10.5	9.1	6.1	5.7	1.7	0.3	1.7	1.4

(2)外出の頻度

問14 あなたは、どのくらい外出(通学・通園・通所を含む)していますか？(1つだけ○)

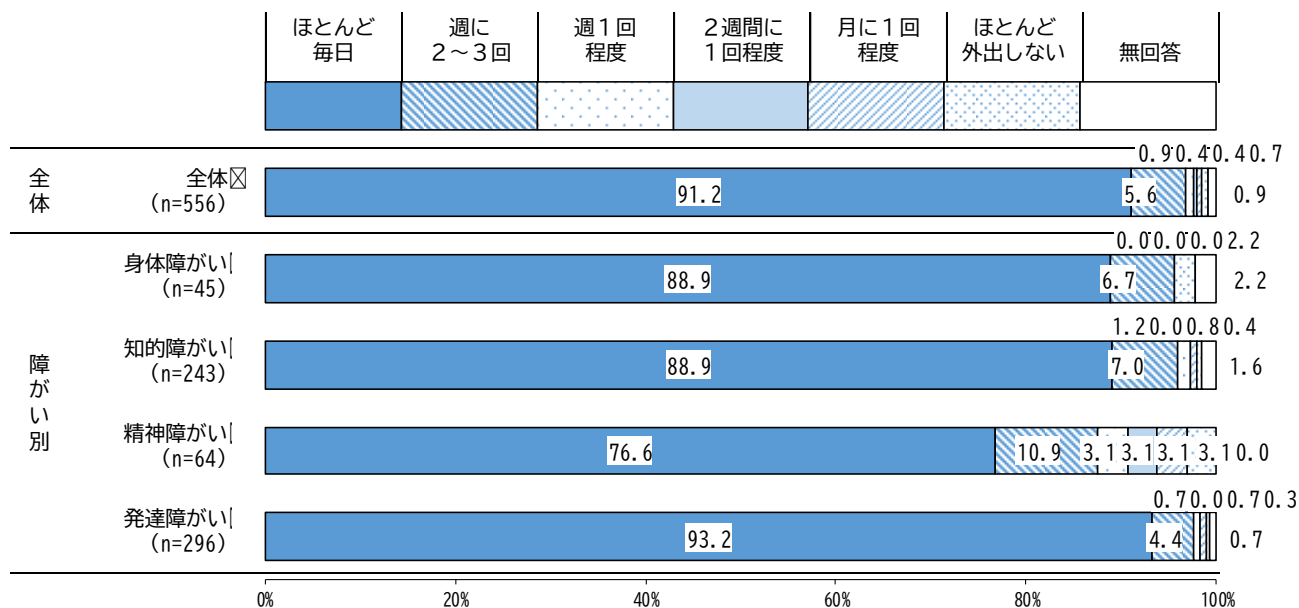
【全体】

- 外出の頻度について、「ほとんど毎日」が 91.2%で最も多く、次いで「週に2～3回」が 5.6%、「週1回程度」が 0.9%となっています。

【障がい別】

- 精神障がいは「ほとんど毎日」が全体より 14.6 ポイント少なくなっています。

<障がい別 外出の頻度>



(3)外出時の付き添いの必要性

問15 あなたは、外出されるとき、付き添いの人が必要ですか？(1つだけ○)

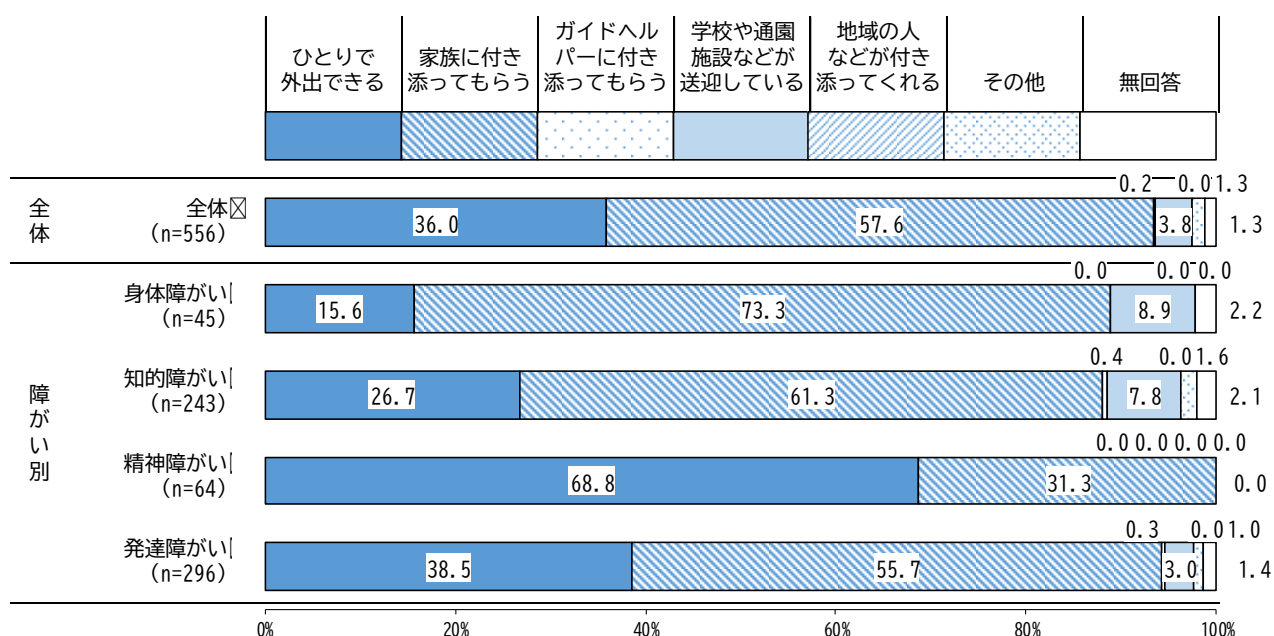
【全体】

- 外出時の付き添いの必要性について、「家族に付き添ってもらう」が 57.6%で最も多く、次いで「ひとりで外出できる」が 36.0%、「学校や通園施設などが送迎している」が 3.8%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「家族に付き添ってもらう」が全体より 15.7 ポイント多くなっています。精神障がいは「ひとりで外出できる」が全体より 32.8 ポイント多くなっています。

<障がい別 外出時の付き添いの必要性>



(4)放課後や休みの日の過ごし方

問13で3～6(学校や通園施設など)を選んだ方にお聞きします。

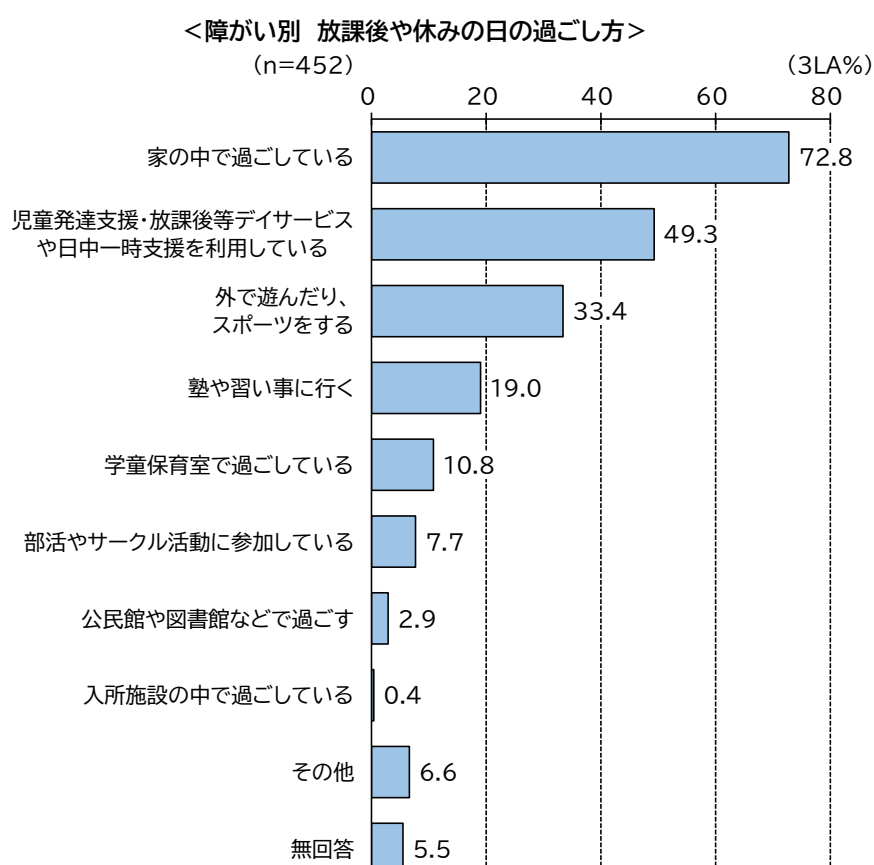
問16 学校や通園施設などの放課後や休みの日には、どのようにして過ごしていますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 放課後や休みの日の過ごし方について、「家の中で過ごしている」が 72.8%で最も多く、次いで「児童発達支援・放課後等デイサービスや日中一時支援を利用している」が 49.3%、「外で遊んだり、スポーツをする」が 33.4%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「外で遊んだり、スポーツをする」が全体より 20.9 ポイント少なく、知的障がいは「外で遊んだり、スポーツをする」「塾や習い事に行く」が全体より 10.7～13.7 ポイント少なくなっています。精神障がいは「部活やサークル活動に参加している」が全体より 16.8 ポイント多くなっています。



単位：%

		母数 (n)	放課後や休みの日の過ごし方									
			家 の中 で 過 ご し て い る	を 利 用 し て い る	児 童 発 達 支 援 ・ 放 課 後 等 デ	外 で 遊 ん だ り 、 ス ポ ー ツ を す る	塾 や 習 い 事 に 行 く	学 童 保 育 室 で 過 ご し て い る	部 活 や サ ー ク ル 活 動 に 参 加 し て い る	公 民 館 や 図 書 館 な ど で 過 ご す	入 所 施 設 の 中 で 過 ご し て い る	そ の 他
全体		452	72.8	49.3	33.4	19.0	10.8	7.7	2.9	0.4	6.6	5.5
障 が い 別	身体障がい	32	71.9	46.9	▼ 12.5	15.6	9.4	6.3	-	-	6.3	9.4
	知的障がい	193	77.2	58.0	▼ 19.7	▼ 8.3	8.3	4.7	2.1	0.5	10.4	4.7
	精神障がい	49	▼ 61.2	▼ 34.7	34.7	22.4	6.1	△ 24.5	2.0	2.0	4.1	6.1
	発達障がい	246	72.0	54.1	38.2	22.0	13.4	6.5	3.3	-	9.3	4.9

(5)学校や通園施設などで困っていること

問13で3～6(学校や通園施設など)を選んだ方にお聞きします。

問17 学校や通園施設などで困っていることは何ですか？(主なもの3つまでに○)

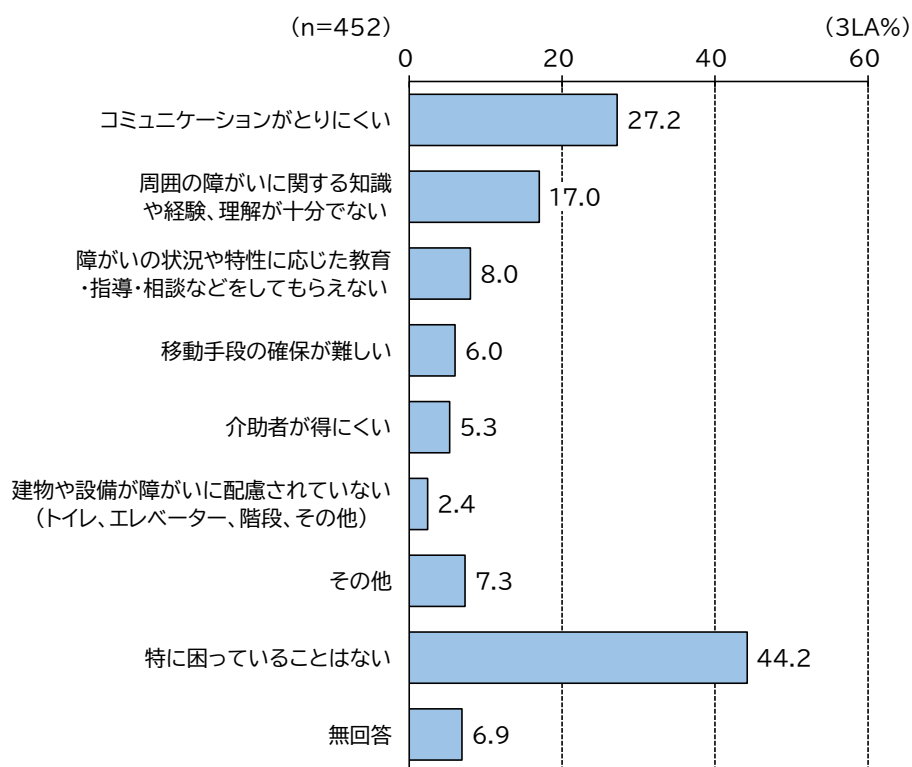
【全体】

- 学校や通園施設などで困っていることについて、「特に困っていることはない」が 44.2%で最も多く、次いで「コミュニケーションがとりにくい」が 27.2%、「周囲の障がいに関する知識や経験、理解が十分でない」が 17.0%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「コミュニケーションがとりにくい」が 14.7 ポイント少なくなっています。

<障がい別 学校や通園施設などで困っていること>



単位：%

単位：%

		母数 母数 (n)	学校や通園施設などで困っていること								
			コミュニケーションがとりにくい	周囲の障がいに関する知識や経験、理解が十分でない	育・指導・相談などをしてもらえない	障がいの状況や特性に応じた教育	移動手段の確保が難しい	介助者が得にくい	トイレ、階段、その他	建物や設備が障がいに配慮されていない（トイレ、エレベーター、階段、その他）	その他
全体		452	27.2	17.0	8.0	6.0	5.3	2.4	7.3	44.2	6.9
障がい別	身体障がい	32	▼ 12.5	18.8	9.4	15.6	9.4	△ 18.8	6.3	37.5	6.3
	知的障がい	193	31.6	16.1	6.2	8.8	8.3	2.6	7.8	38.9	7.8
	精神障がい	49	32.7	22.4	16.3	4.1	2.0	6.1	4.1	36.7	6.1
	発達障がい	246	32.5	17.9	10.2	6.5	5.7	0.8	9.3	41.1	6.1

(6)卒業後(18歳以降)の進路

問13で3～6(学校や通園施設など)を選んだ方にお聞きします。

問18 卒業後(18歳以降)はどのような進路を考えていますか？(主なもの3つまでに○)

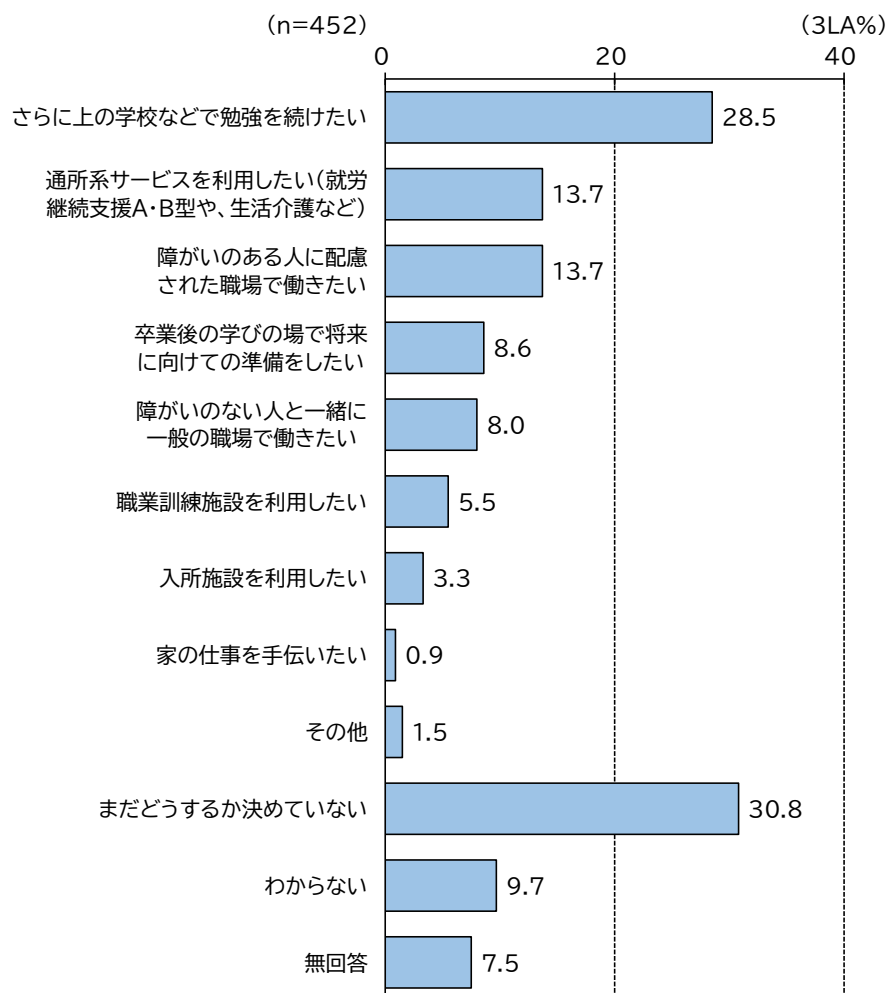
【全体】

- 卒業後(18歳以降)の進路について、「まだどうするか決めていない」が30.8%で最も多く、次いで「さらに上の学校などで勉強を続けたい」が28.5%、「通所系サービスを利用したい(就労継続支援 A・B 型や、生活介護など)」「障がいのある人に配慮された職場で働きたい」が13.7%となっています。

【障がい別】

- 知的障がいは「通所系サービスを利用したい(就労継続支援 A・B 型や、生活介護など)」「障がいのある人に配慮された職場で働きたい」が全体より12.2～16.4 ポイント多くなっています。精神障がいは「さらに上の学校などで勉強を続けたい」が全体より24.6 ポイント多くなっています。

<障がい別 卒業後(18歳以降)の進路>



単位：％

		母数 (n)	卒業後（18歳以降）の進路														
			を 続 け たい	や、 生 活 介 護 な ど	通 所 系 サ ー ビ ス を 利 用 し た い （ 就 労 継 続 支 援 A ・ B 型	た 職 場 で 働 き たい	障 が い の あ る 人 に 配 慮 され たい	向 け て の 準 備 を し たい	卒 業 後 の 学 び の 場 で 将 来 に	一 般 の 職 場 で 働 き たい	障 が い の ない 人 と 一 緒 に	職 業 訓 練 施 設 を 利 用 し たい	入 所 施 設 を 利 用 し たい	家 の 仕 事 を 手 伝 い たい	そ の 他	い ま だ ど う す る か 決 め て い ない	わ か ら ない
全体		452	28.5	13.7	13.7	8.6	8.0	5.5	3.3	0.9	1.5	30.8	9.7	7.5			
障 が い 別	身体障がい	32	25.0	△ 25.0	12.5	12.5	9.4	3.1	12.5	-	3.1	▼ 15.6	9.4	6.3			
	知的障がい	193	▼ 11.4	△ 30.1	△ 25.9	11.4	5.2	10.4	7.8	1.0	2.1	26.4	6.2	8.3			
	精神障がい	49	△ 53.1	6.1	16.3	12.2	16.3	8.2	-	-	2.0	▼ 14.3	12.2	6.1			
	発達障がい	246	35.4	9.8	14.2	8.1	8.5	4.1	2.8	1.6	1.6	29.7	10.2	6.1			

(7)地域社会への参加をしにくくしている要因

全員にお聞きします。

問19 あなたにとって、障がいのある人や難病にかかっている人の地域社会への参加をしにくくさせているのは何だと思いますか？(主なもの3つまでに○)

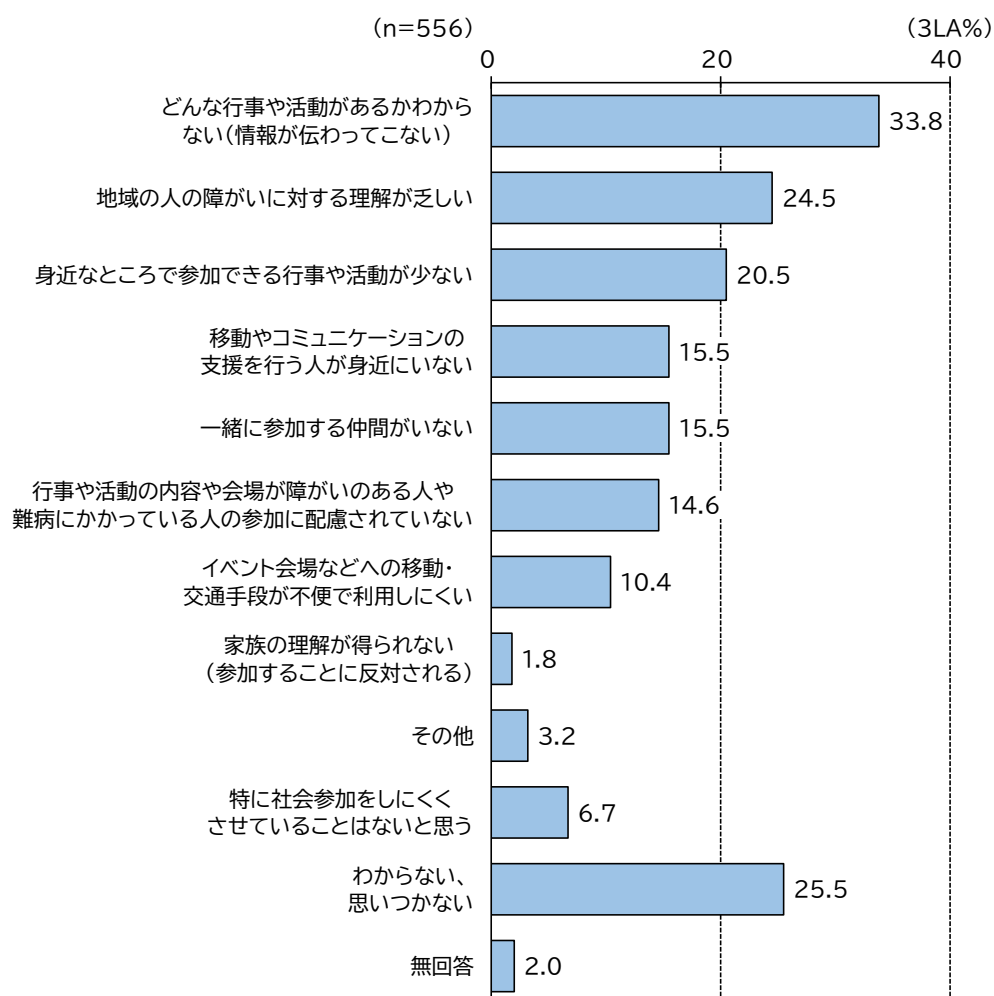
【全体】

- 地域社会への参加をしにくくしている要因について、「どんな行事や活動があるかわからない(情報が伝わってこない)」が33.8%で最も多く、次いで「わからない、思いつかない」が25.5%、「地域の人の障がいに対する理解が乏しい」が24.5%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「イベント会場などへの移動・交通手段が不便で利用しにくい」が全体より 16.3 ポイント多くなっています。

<障がい別 地域社会への参加をしにくくしている要因>



単位：％

地域社会への参加をしにくくしている要因																						
		母数 (n)	い	ら	ど	が	地	や	身	援	移	一	る	行	通	イ	す	家	そ	特	わ	無
			ない	ん	ん	地	活	近	を	動	緒	人	の	事	手	バ	る	族	他	に	わ	回
			(情	な	な	域	動	な	行	や	に	の	の	の	段	ン	に	の	に	に	に	に
			報	な	な	の	が	と	う	コ	参	加	の	の	や	不	会	理	に	に	に	に
			が	な	な	障	い	こ	人	ミ	加	の	仲	活	動	便	場	解	に	に	に	に
			伝	な	な	が	で	が	が	ニ	の	間	が	の	の	で	な	が	得	に	に	に
		わ	な	な	対	行	参	に	ケ	支	が	い	い	障	利	へ	ら	不	に	に	に	
		か	わ	わ	理	事	加	い	ー		い	な	な	が	し	の	れ	可	に	に	に	
		わ	か	か	解				シ					が	く	移	な	参	に	に	に	
		な	な	な					ョ					が	く	動	い	加	に	に	に	
		い	い	い					ン					が	く	・	参	加	に	に	に	
		な	な	な					の					交	交	交	加	加	に	に	に	
		わ	わ	わ					の										に	に	に	
		か	か	か					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		な	な	な					の										に	に	に	
		い	い	い					の										に	に	に	
		な	な																			

(8)外出時に困っていること

問20 あなたにとって、外出時に困っていることは何ですか？(主なもの3つまでに○)

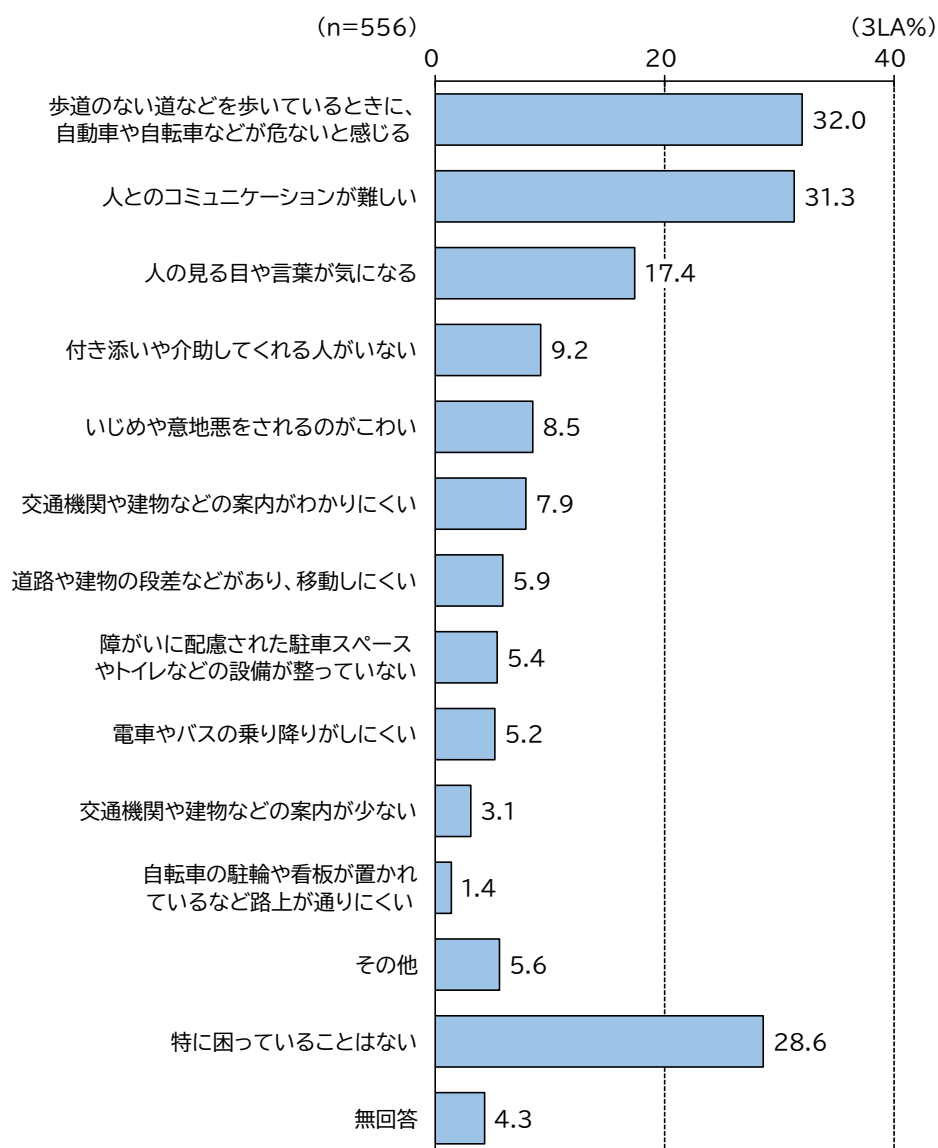
【全体】

- 外出時に困っていることについて、「歩道のない道などを歩いているときに、自動車や自転車などが危ないと感じる」が 32.0%で最も多く、次いで「人とのコミュニケーションが難しい」が 31.3%、「特に困っていることはない」が 28.6%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「道路や建物の段差などがあり、移動しにくい」「電車やバスの乗り降りがしにくい」が全体より 25.2～23.7 ポイント多くなっています。知的障がいは「人とのコミュニケーションが難しい」が全体より 12.7 ポイント多くなっています。

<障がい別 外出時に困っていること>



単位：％

		母数 (n)	外出時に困っていること						
			歩道のない道を歩いているときに、自動車や自転車などが危ないと感じる	人とのコミュニケーションが難しい	人の見る目や言葉が気になる	付き添いや介助してくれる人がいない	いじめや意地悪をされるのがこわい	交通機関や建物などの案内がわかりにくい	道路や建物の段差などがあり、移動しにくい
全体		556	32.0	31.3	17.4	9.2	8.5	7.9	5.9
障がい別	身体障がい	45	24.4	▼ 17.8	20.0	13.3	2.2	4.4	△ 31.1
	知的障がい	243	30.9	△ 44.0	24.7	16.0	11.5	10.3	8.6
	精神障がい	64	▼ 20.3	31.3	21.9	6.3	7.8	14.1	-
	発達障がい	296	34.5	31.1	17.9	9.1	8.1	9.1	3.4

単位：％

		母数 □ (n)	外出時に困っていること						
			い ス 障 が い に ト イ レ な ど の 設 備 が 車 整 つ て い る	い 電 車 や バ ス の 乗 り 降 り が し に く	な 交 通 機 関 や 建 物 な ど の 案 内 が 少	い る 自 転 車 な ど の 路 上 が 通 り に く 置 か れ て	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	無 回 答
全体		556	5.4	5.2	3.1	1.4	5.6	28.6	4.3
障 が い 別	身体障がい	45	△ 26.7	△ 28.9	-	4.4	11.1	▼ 15.6	4.4
	知的障がい	243	9.5	9.5	3.7	0.8	4.9	▼ 17.3	3.3
	精神障がい	64	3.1	3.1	4.7	-	6.3	31.3	4.7
	発達障がい	296	2.4	4.7	3.7	0.7	5.7	29.1	4.4

3. 療育について

(1)障がいや病気のことで最初に相談した時期

問21 保護者の方(18歳未満の子どもを養育している方)にお聞きます。障がいのあるご本人の障がいや病気のことで、市役所や保健所・保健センター、医療機関などに最初に相談したのは、いつごろですか？(1つだけ○)

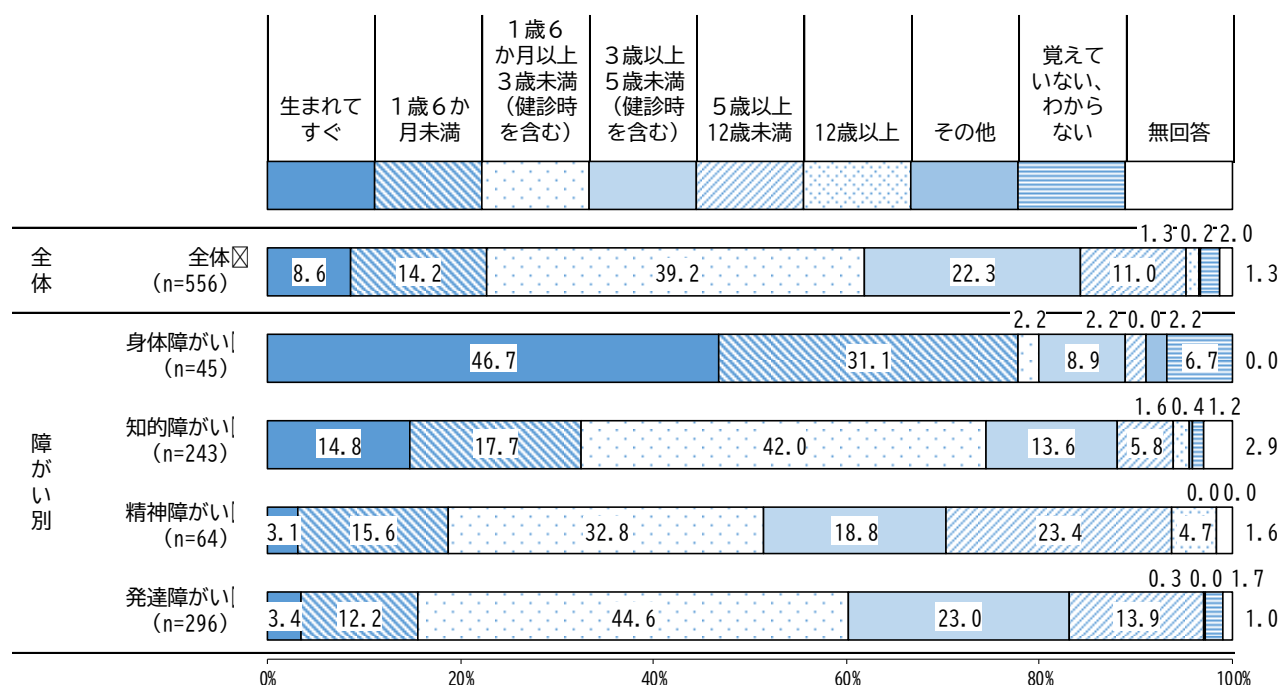
【全体】

○ 障がいや病気のことで最初に相談した時期について、「1歳6か月以上3歳未満(健診時を含む)」が39.2%で最も多く、次いで「3歳以上5歳未満(健診時を含む)」が22.3%、「1歳6か月未満」が14.2%となっています。

【障がい別】

○ 身体障がいは1歳6か月未満までが77.8%に上ります。知的障がいは3歳未満までが合わせて74.5%となっています。精神障がいは「5歳以上12歳未満」が全体より12.4ポイント多くなっています。

<障がい別 障がいや病気のことで最初に相談した時期>



(2)障がい児施策やサービスで充実が必要に思うこと

問22 保護者の方にお聞きします。障がい児の施策やサービスなどで、特に充実が必要と思うものは何ですか？(主なもの3つまでに○)

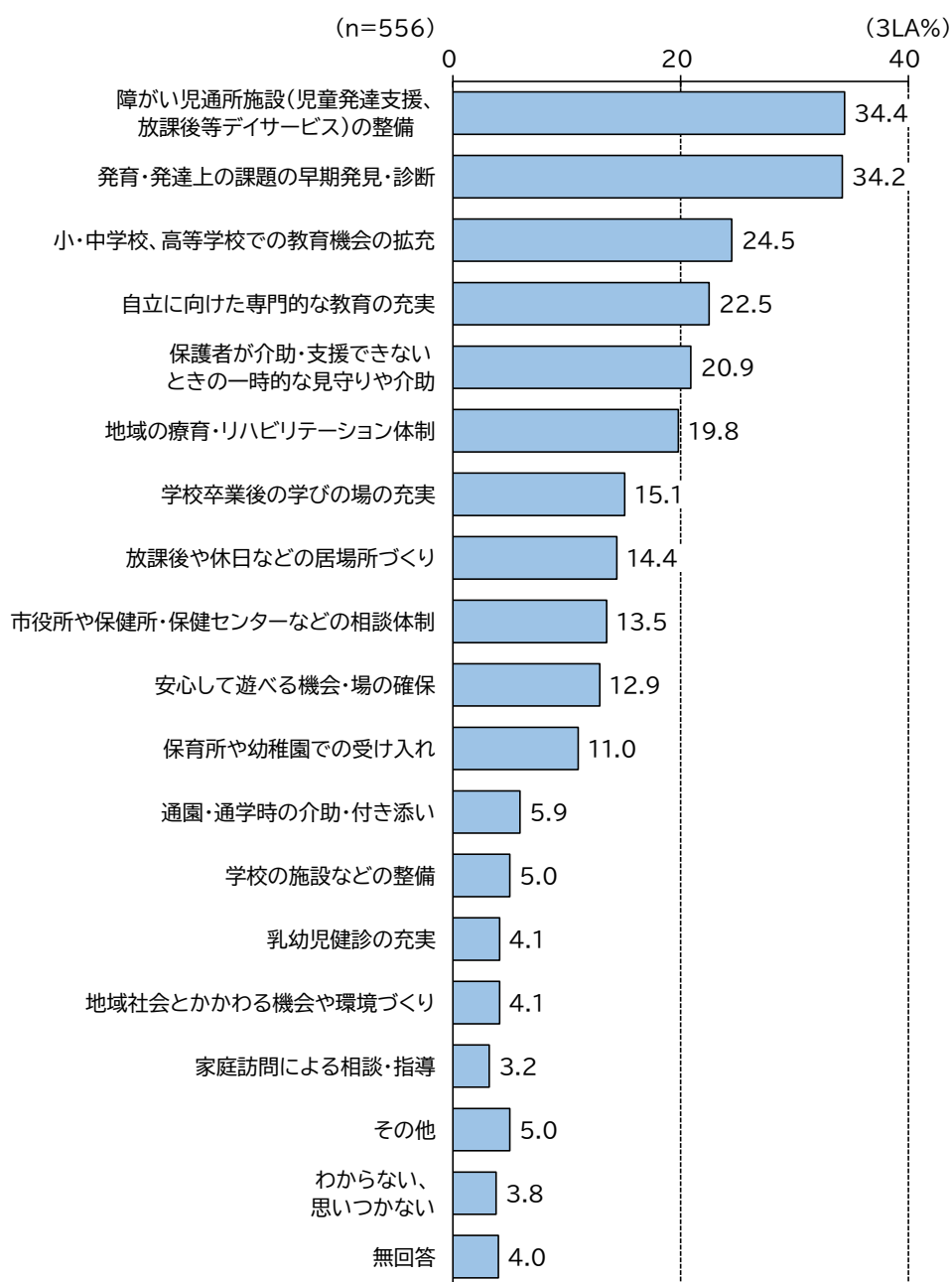
【全体】

- 障がい児施策やサービスで充実が必要に思うことについて、「障がい児通所施設(児童発達支援、放課後等デイサービス)の整備」が 34.4%で最も多く、次いで「発育・発達上の課題の早期発見・診断」が 34.2%、「小・中学校、高等学校での教育機会の拡充」が 24.5%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「市役所や保健所・保健センターなどの相談体制」が全体より 10.9 ポイント多く、精神障がいは「自立に向けた専門的な教育の充実」が全体より 18.1 ポイント多くなっています。

<障がい別 障がい児施策やサービスで充実が必要に思うこと>



単位：％

		母数 (n)	障がい児施策やサービスで充実が必要に思うこと									
			整備 援、放 障がい 後等通 所施設 （児童 サービス） の支	見・診 断 育・発 達上 の課題 の早期 発	小・中 学校、 高等学 校での 教育	実 自立に 向けた 専門的 な教育 の充	保 護者が 介助・ 支援で きない と	地 域の療 育・リ ハビリ テーシ ョ	学 校卒業 後の学 びの場 の充実	放 課後や 休日な どの居 場所づ く	市役所 や保健 所・保 健セン ター などの 相談体 制	安 心して 遊べる 機会・ 場の確 保
全体		556	34.4	34.2	24.5	22.5	20.9	19.8	15.1	14.4	13.5	12.9
障 が い 別	身体障がい	45	▼ 20.0	▼ 17.8	▼ 11.1	▼ 11.1	24.4	28.9	15.6	17.8	△ 24.4	11.1
	知的障がい	243	35.4	24.7	20.2	22.2	29.2	20.6	21.8	15.2	11.5	13.2
	精神障がい	64	31.3	37.5	29.7	△ 40.6	18.8	▼ 1.6	18.8	14.1	12.5	15.6
	発達障がい	296	34.1	38.9	27.4	23.0	20.6	17.6	13.2	17.2	11.1	15.2

単位：％

		母数 (n)	障がい児施策やサービスで充実が必要に思うこと								単位：%
			保育所や幼稚園での受け入れ	通園・通学時の介助・付き添い	学校の施設などの整備	乳幼児健診の充実	地域社会とかわる機会や環境づくり	家庭訪問による相談・指導	その他	わからない、思いつかない	無回答
全体		556	11.0	5.9	5.0	4.1	4.1	3.2	5.0	3.8	4.0
障がい別	身体障がい	45	11.1	13.3	△ 17.8	-	4.4	6.7	8.9	4.4	6.7
	知的障がい	243	7.8	7.8	5.8	0.8	4.9	3.3	4.5	4.5	5.3
	精神障がい	64	7.8	4.7	9.4	-	6.3	1.6	4.7	3.1	6.3
	発達障がい	296	9.5	5.7	4.4	5.7	4.4	2.7	6.8	1.7	4.7

(3)母子保健や療育に関して望むこと

問23 保護者の方にお聞きします。乳幼児期における母子保健や療育に関してどのようなことを望まれますか？(主なもの3つまでに○)

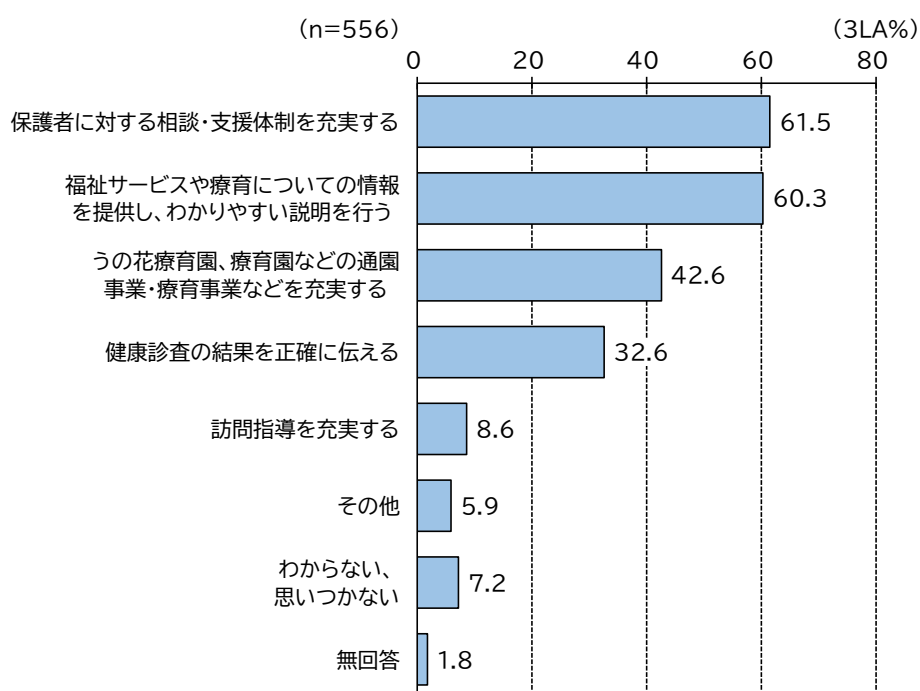
【全体】

- 母子保健や療育に関して望むことについて、「保護者に対する相談・支援体制を充実する」が 61.5%で最も多く、次いで「福祉サービスや療育についての情報を提供し、わかりやすい説明を行う」が 60.3%、「うの花療育園、療育園などの通園事業・療育事業などを充実する」が 42.6%となっています。

【障がい別】

- 上位の2項目は、いずれの障がいでも上位にあげられており、身体障がいと知的障がいは「うの花療育園、療育園などの通園事業・療育事業などを充実する」が他の障がいよりやや多くなっています。

<障がい別 母子保健や療育に関して望むこと>



単位：%

		母子保健や療育に関して望むこと									
		母数 (n)	保護者に対する 相談・支援 体制を充実する	福祉サービスや 療育について の情報を提供し、 わかりやすい 説明を行う	通園事業・療育 事業などを 充実する	うの花療育園、 療育園などの 療育事業など	健康診査の結果 を正確に伝 える	訪問指導を充 実する	その他	わからない、 思いつかない	無 回 答
全体		556	61.5	60.3	42.6	32.6	8.6	5.9	7.2	1.8	
障 が い 別	身体障がい	45	55.6	60.0	51.1	▼ 17.8	4.4	4.4	15.6	-	
	知的障がい	243	61.3	60.1	49.8	26.7	7.8	6.2	7.8	2.9	
	精神障がい	64	68.8	60.9	▼ 31.3	35.9	10.9	9.4	3.1	1.6	
	発達障がい	296	67.6	62.5	43.2	33.4	10.8	8.8	4.7	1.7	

(4)障がい児通所施設やサービスで望むこと

問24 保護者の方にお聞きします。就学前の保育所や幼稚園、福祉施設など、障がい児の通所施設やサービスについてどのようなことを望まれますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 障がい児通所施設やサービスで望むことについて、「療育や発達のための支援」が 59.7%で最も多く、次いで「保護者に対する専門的な相談・指導」が42.1%、「集団生活へ向けたさまざまな支援」が41.9%となっています。

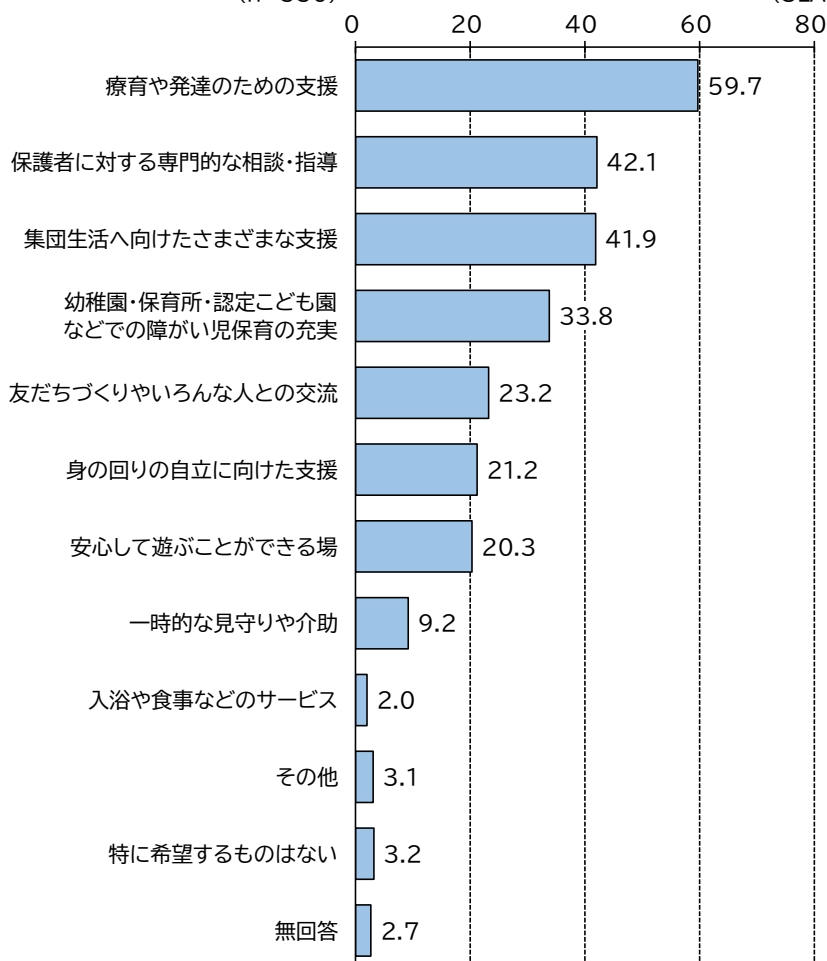
【障がい別】

- 身体障がいは「幼稚園・保育所・認定こども園などでの障がい児保育の充実」「一時的な見守りや介助」「入浴や食事などのサービス」が全体より 10.6～11.3 ポイント多くなっています。

<障がい別 障がい児通所施設やサービスで望むこと>

(n=556)

(3LA%)



単位：%

		障がい児通所施設やサービスで望むこと											
	母数 (n)	療育 や 発達 の た め の 支 援	保 護 者 に 対 す る 専 門 的 な 相 談 ・ 指 導	集 団 生 活 へ 向 け た さ ま ま な 支 援	幼 稚 園 ・ 保 育 所 ・ 認 定 こ ど も 園 な ど で の 障 が い 児 保 育 の 充 実	友 だ ち づ く り や い ろ い ろ な 人 と の 交 流	身 の 回 り の 自 立 に 向 け た 支 援	安 心 し て 遊 ぶ こ と が で き る 場	一 時 的 な 見 守 り や 介 助	入 浴 や 食 事 な ど の サ ー ビ ス	そ の 他	特 に 希 望 す る も の は な い	無 回 答
全体	556	59.7	42.1	41.9	33.8	23.2	21.2	20.3	9.2	2.0	3.1	3.2	2.7
障がい別													
身体障がい	45	55.6	33.3	▼ 26.7	△ 44.4	20.0	15.6	17.8	△ 20.0	△ 13.3	2.2	2.2	2.2
知的障がい	243	58.0	34.6	▼ 29.2	37.4	22.2	26.7	22.6	15.2	3.7	2.9	4.1	4.1
精神障がい	64	59.4	46.9	34.4	31.3	31.3	28.1	17.2	9.4	-	3.1	1.6	3.1
発達障がい	296	60.8	44.9	45.9	32.1	23.0	23.0	19.6	8.1	2.0	3.7	2.0	2.7

4. 保健・医療について

(1) 病院や診療所への通院の頻度

問25 あなたは、どのくらい定期的に病院や診療所に通院されていますか？(1つだけ○)

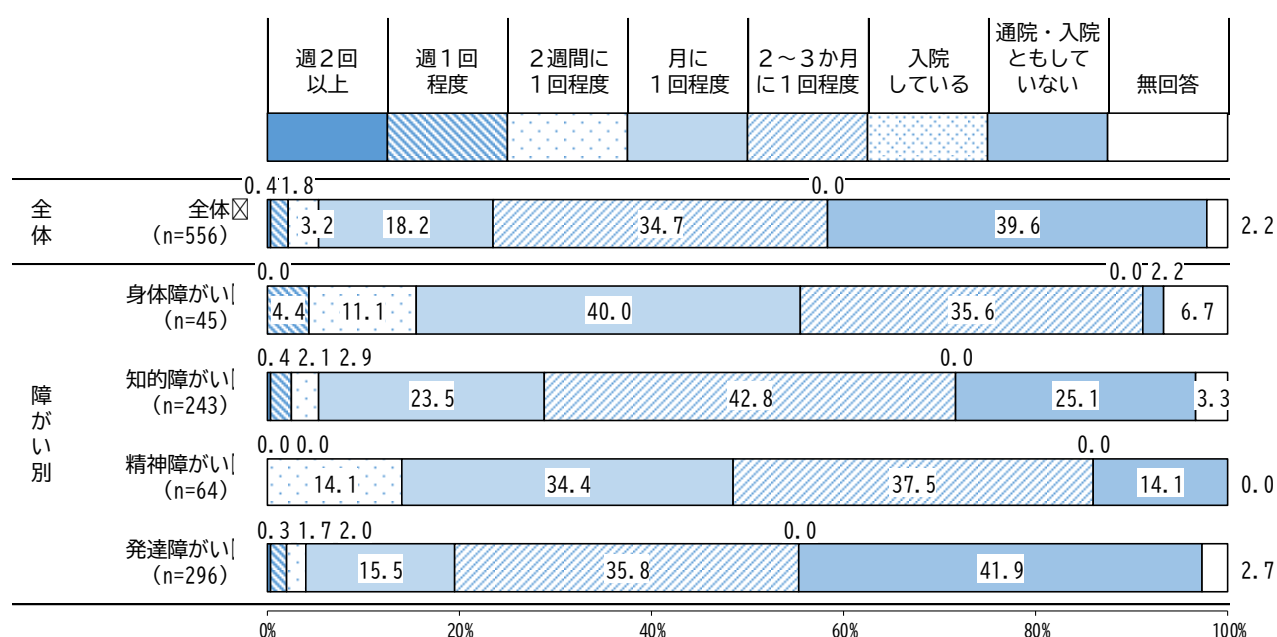
【全体】

- 病院や診療所への通院の頻度について、「通院・入院ともしない」が 39.6%で最も多く、次いで「2～3か月に1回程度」が 34.7%、「月に1回程度」が 18.2%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「週 1 回程度」から「2～3か月に1回程度」の頻度で通院している割合が 91.1%、精神障がいは「2週間に1回程度」から「2～3か月に1回程度」の頻度で通院している割合が 86.0%に上ります。発達障がいは「通院・入院ともしない」が 41.9%で他の障がいに比べて多くなっています。

<障がい別 病院や診療所への通院の頻度>



(2)保健・医療面の不安、困っていること

問26 あなたは、保健・医療面で不安に思っていること、困っていることは何ですか？(主なもの3つまでに○)

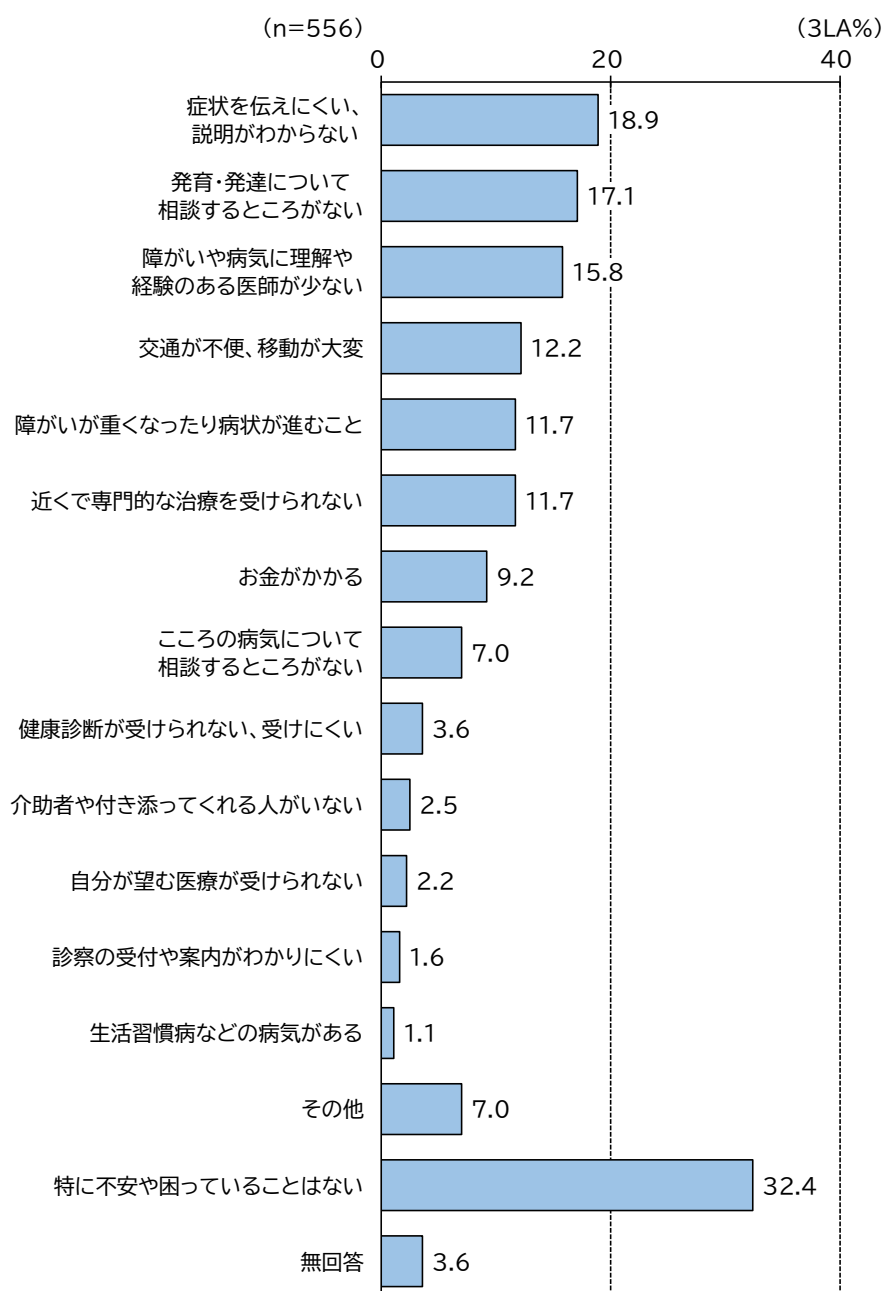
【全体】

- 保健・医療面の不安、困っていることについて、「特に不安や困っていることはない」が 32.4%で最も多く、次いで「症状を伝えるに、説明がわからない」が 18.9%、「発育・発達について相談するところがない」が 17.1%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「障がいが重くなったり病状が進むこと」「近くで専門的な治療を受けられない」が全体より 12.7～30.5 ポイント多くなっています。

<障がい別 保健・医療面の不安、困っていること>



単位：％

		母数 (n)	保健・医療面の不安、困っていること							
			症状を伝えにくい、説明がわからない	発育・発達について相談するところがない	障がいや病気に理解や経験のある医師が少ない	交通が不便、移動が大変	障がいが進むことが重くなったり病状が進むこと	近くで専門的な治療を受けられない	お金がかかる	こころの病気にについて相談するところがない
全体		556	18.9	17.1	15.8	12.2	11.7	11.7	9.2	7.0
障がい別	身体障がい	45	▼ 8.9	11.1	22.2	△ 24.4	△ 42.2	△ 24.4	17.8	2.2
	知的障がい	243	23.5	14.4	24.3	15.2	15.6	14.0	10.7	7.4
	精神障がい	64	26.6	18.8	15.6	12.5	6.3	12.5	12.5	△ 17.2
	発達障がい	296	19.3	22.3	15.9	11.1	10.5	9.5	7.1	8.1

単位：％

		保健・医療面の不安、困っていること								
		母数 (n)	健康診断が 受けにくい	介助者や付き添 ってくれる人 がいない	自分が望む医療 が受けられない	診察の受付や案内 がわかりにくい	生活習慣病などの 病気がある	その他	特に不安や困 っていること はない	無回答
全体		556	3.6	2.5	2.2	1.6	1.1	7.0	32.4	3.6
障 が い 別	身体障がい	45	-	2.2	4.4	-	-	4.4	▼ 8.9	4.4
	知的障がい	243	7.0	4.9	2.9	1.2	1.2	7.4	22.6	3.3
	精神障がい	64	1.6	1.6	3.1	4.7	1.6	4.7	23.4	1.6
	発達障がい	296	2.7	2.7	2.0	1.4	1.0	8.1	32.4	3.0

5. 情報や相談について

(1) パソコンやスマートフォンの活用

問27 あなたは、パソコンやスマートフォンなどで情報を集められますか？(1つだけ○)

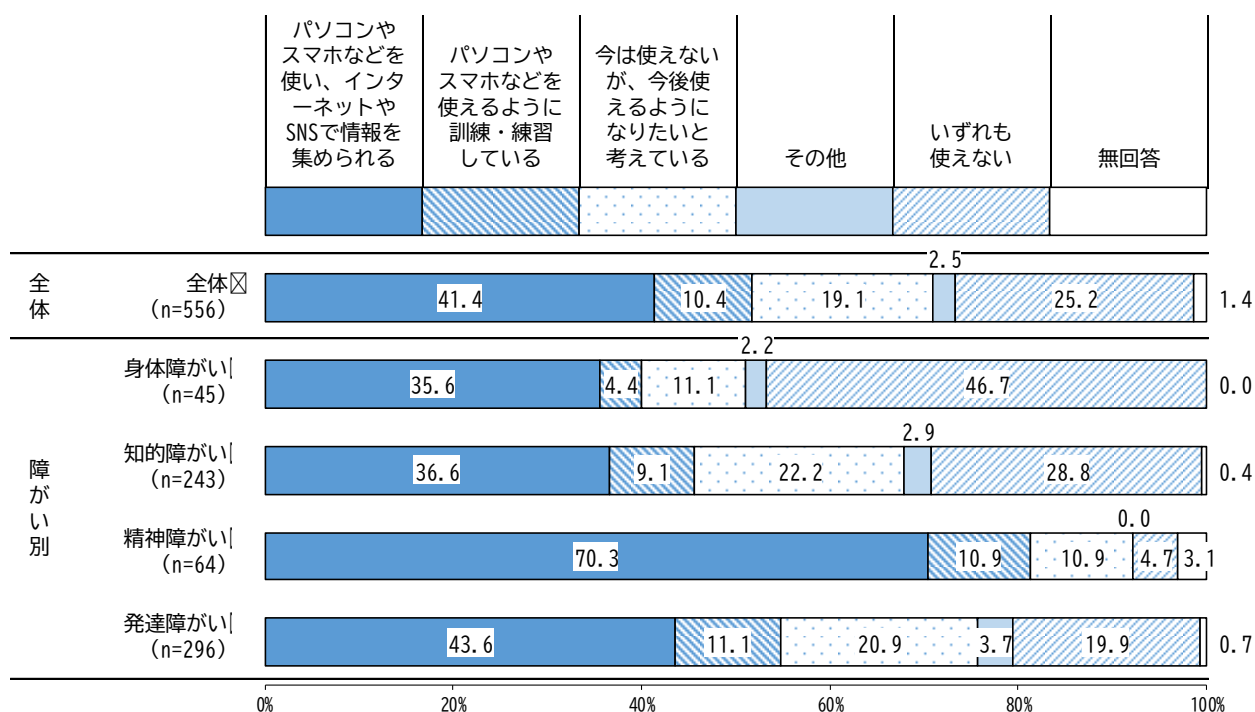
【全体】

- パソコンやスマホの活用について、「パソコンやスマホなどを使い、インターネットや SNS で情報を集められる」が 41.4%で最も多く、次いで「いずれも使えない」が 25.2%、「今は使えないが、今後使えるようになりたいと考えている」が 19.1%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「いずれも使えない」が全体より 21.5 ポイント多くなっています。精神障がいは「パソコンやスマホなどを使い、インターネットや SNS で情報を集められる」が全体より 28.9 ポイント多くなっています。

<障がい別 パソコンやスマホの活用>



(2)保健・福祉サービスの情報の入手先

問28 あなたや、あなたのご家庭では、保健・福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか？(主なもの3つまでに○)

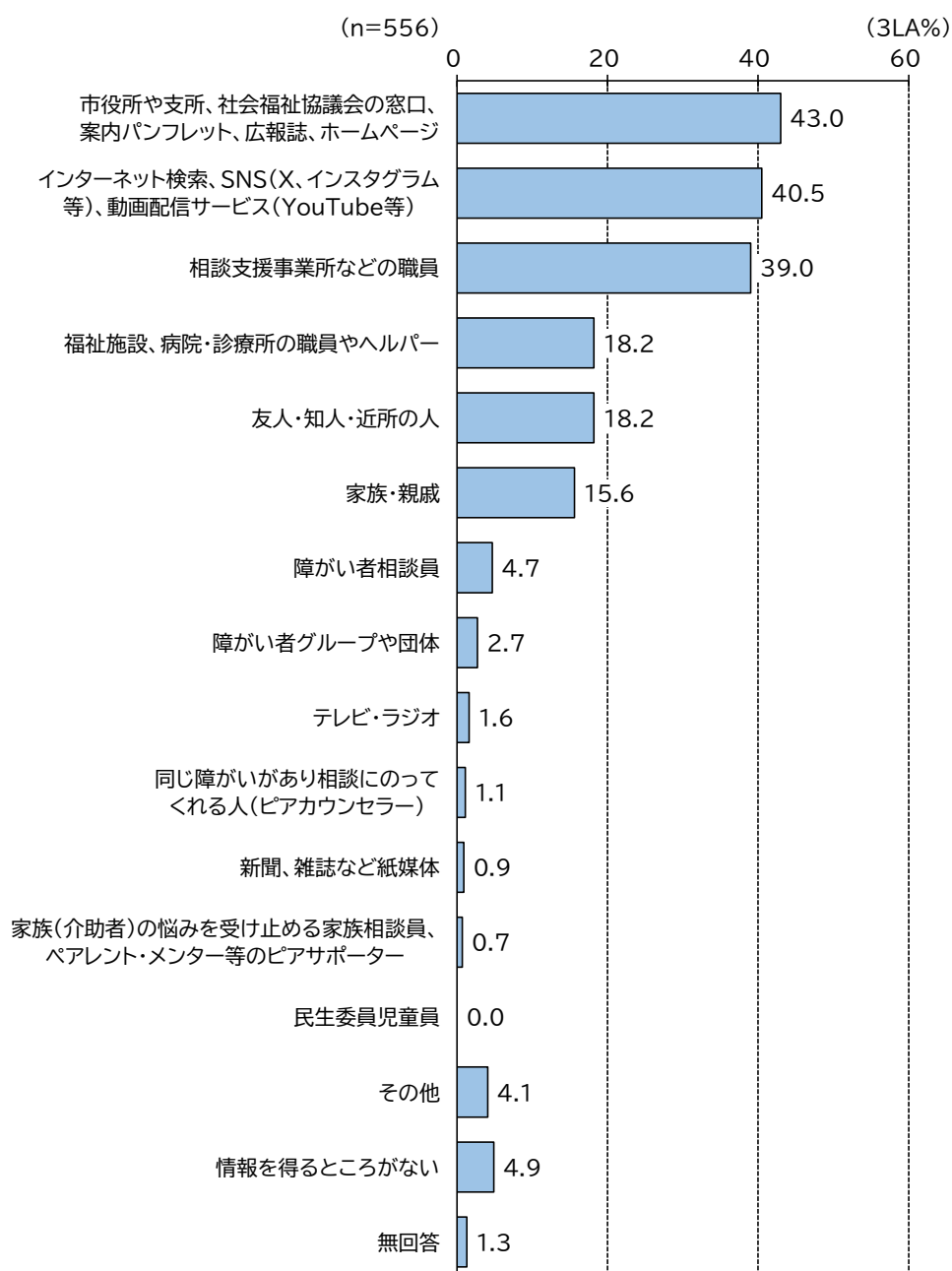
【全体】

○ 保健・福祉サービスの情報の入手先について、「市役所や支所、社会福祉協議会の窓口、案内パンフレット、広報誌、ホームページ」が 43.0%で最も多く、次いで「インターネット検索、SNS(X、Instagram 等)、動画配信サービス(YouTube 等)」が 40.5%、「相談支援事業所などの職員」が 39.0%となっています。

【障がい別】

○ 身体障がいは「友人・知人・近所の人」が全体より 12.9 ポイント多くなっています。

<障がい別 保健・福祉サービスの情報の入手先>



単位：％

		母数 (n)	保健・福祉サービスの情報の入手先							
			民生委員児童員	ホームページ	市役所や支所、社会福祉協議会の窓口、案内パンフレット、広報誌、	インターネット検索、SNS（X、Instagram等）、動画配信サービス（YouTube等）	相談支援事業所などの職員	福祉施設、病院・診療所の職員やヘルパー	友人・知人・近所の人	家族・親戚
全体		556	-	43.0	40.5	39.0	18.2	18.2	15.6	4.7
障がい別	身体障がい	45	-	37.8	▼ 28.9	44.4	△ 28.9	△ 31.1	▼ 4.4	4.4
	知的障がい	243	-	35.8	35.0	44.4	20.2	22.6	9.9	7.8
	精神障がい	64	-	40.6	43.8	34.4	△ 29.7	15.6	25.0	7.8
	発達障がい	296	-	42.6	45.3	38.5	18.2	18.6	16.9	4.4

単位：％

		母数 (n)	保健・福祉サービスの情報の入手先							
			障がい者グループや団体	テレビ・ラジオ	同じ障がいがあり相談にのってくれる人（ピアカウンセラー）	新聞、雑誌など紙媒体	家族（介助者）の悩みを受け止める家族相談員、ペアレント・メンター等のピアサポーター	その他	情報を得るところがない	無回答
全体		556	2.7	1.6	1.1	0.9	0.7	4.1	4.9	1.3
障がい別	身体障がい	45	4.4	-	4.4	-	-	-	2.2	-
	知的障がい	243	5.8	0.4	1.6	0.4	0.8	4.5	6.6	1.6
	精神障がい	64	-	3.1	1.6	-	1.6	-	3.1	-
	発達障がい	296	2.0	1.4	0.7	1.0	0.7	5.7	3.7	1.4

(3) 困ったことや相談したい時の相談先

問29 あなたや、あなたのご家庭では、困ったことや相談したいことがあるときに、誰(どこ)に相談しますか？(主なもの3つまでに○)

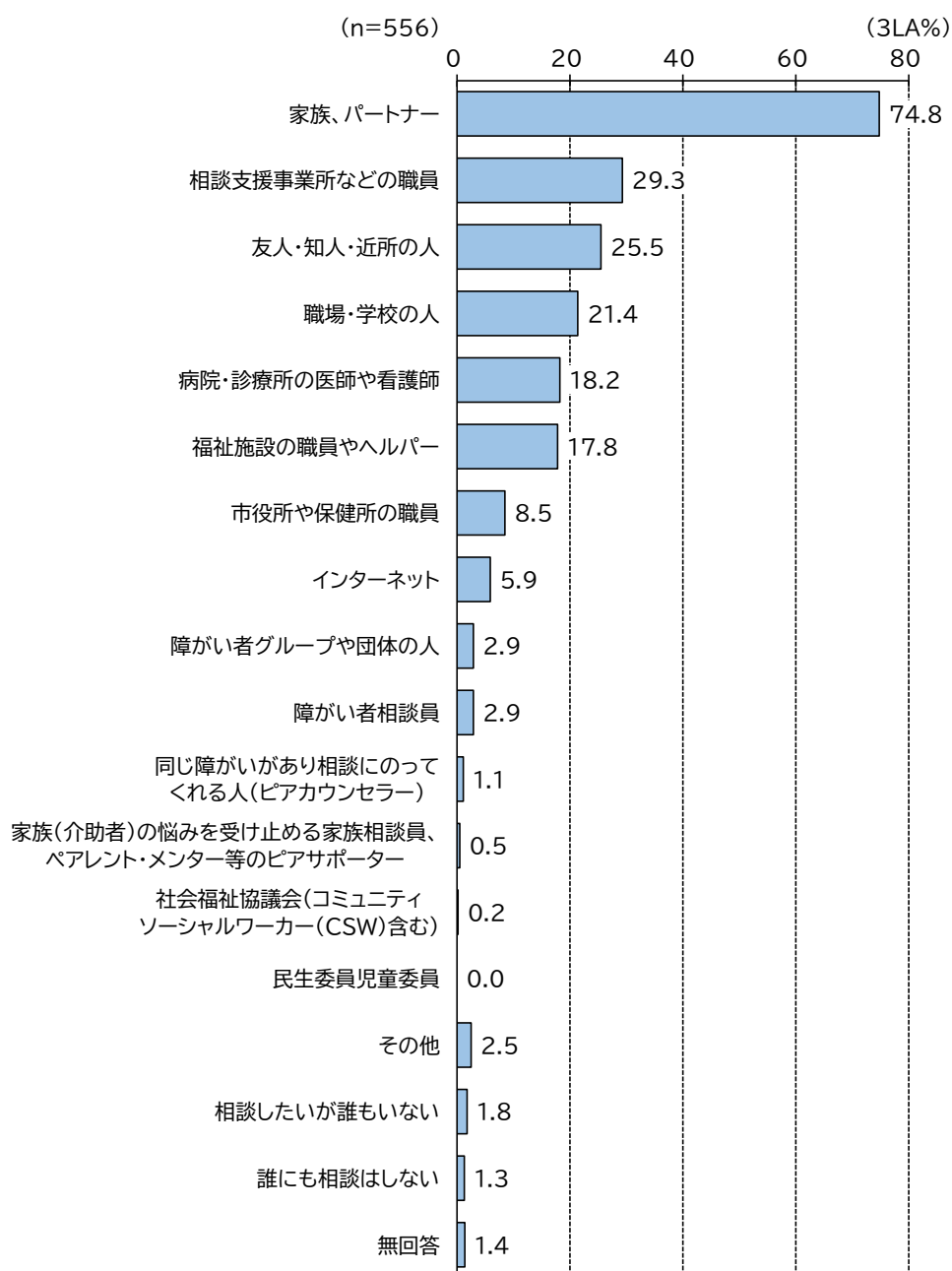
【全体】

○ 困ったことや相談したい時の相談先について、「家族、パートナー」が74.8%で最も多く、次いで「相談支援事業所などの職員」が29.3%、「友人・知人・近所の人」が25.5%となっています。

【障がい別】

○ 身体障がいは「福祉施設の職員やヘルパー」「病院・診療所の医師や看護師」が全体より13.3～15.1ポイント多くなっています。精神障がいは「病院・診療所の医師や看護師」が全体より13.1ポイント多くなっています。

<障がい別 困ったことや相談したい時の相談先>



単位：％

単位：%

		母数☒ (n)	困ったことや相談したい時の相談先								
			家族、 パートナー	相談支援事業所などの職員	友人・知人・近所の人	職場・学校の人	病院・診療所の医師や看護師	福祉施設の職員やヘルパー	市役所や保健所の職員	インターネット	障がい者グループや団体の人
全体		556	74.8	29.3	25.5	21.4	18.2	17.8	8.5	5.9	2.9
障がい別	身体障がい	45	77.8	▼ 15.6	△ 42.2	▼ 8.9	△ 33.3	△ 31.1	6.7	2.2	2.2
	知的障がい	243	71.2	32.1	25.9	20.6	16.0	19.3	7.8	5.8	4.9
	精神障がい	64	68.8	21.9	23.4	17.2	△ 31.3	17.2	9.4	3.1	4.7
	発達障がい	296	70.6	32.8	26.4	23.6	18.6	17.2	9.8	4.7	2.4

単位：％

単位：％

		母数 (n)	困ったことや相談したい時の相談先								
			障がい者相談員	同じ障がいがあり相談にのってくれる人（ピアカウンセラー）	家族相談員、ペアレント・メンター等のピアサポーター	家族（介助者）の悩みを受け止める家族相談員、ペアレント・メンター	社会福祉協議会（コミュニケーション含む）	民生委員児童委員	その他	相談したいが誰もいない	誰にも相談はしない
全体		556	2.9	1.1	0.5	0.2	-	2.5	1.8	1.3	1.4
障がい別	身体障がい	45	2.2	2.2	-	-	-	2.2	2.2	-	-
	知的障がい	243	4.9	1.6	0.8	-	-	2.5	0.8	1.6	0.4
	精神障がい	64	1.6	1.6	-	1.6	-	-	4.7	1.6	-
	発達障がい	296	3.7	1.7	0.7	-	-	2.0	1.4	1.0	1.7

(4)相談支援体制に希望すること

問30 あなたや、あなたのご家庭では、相談支援体制について、希望することは何ですか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 相談支援体制に希望することについて、「将来の自立生活に向けた指導や相談」が 41.0%で最も多く、次いで「障がいにかかわる診断や療育、治療・ケアに関する専門的な相談」が 38.7%、「医療・福祉・保健・教育・住宅など、各分野が連携した総合的で一貫した相談支援体制」が 29.7%となっています。

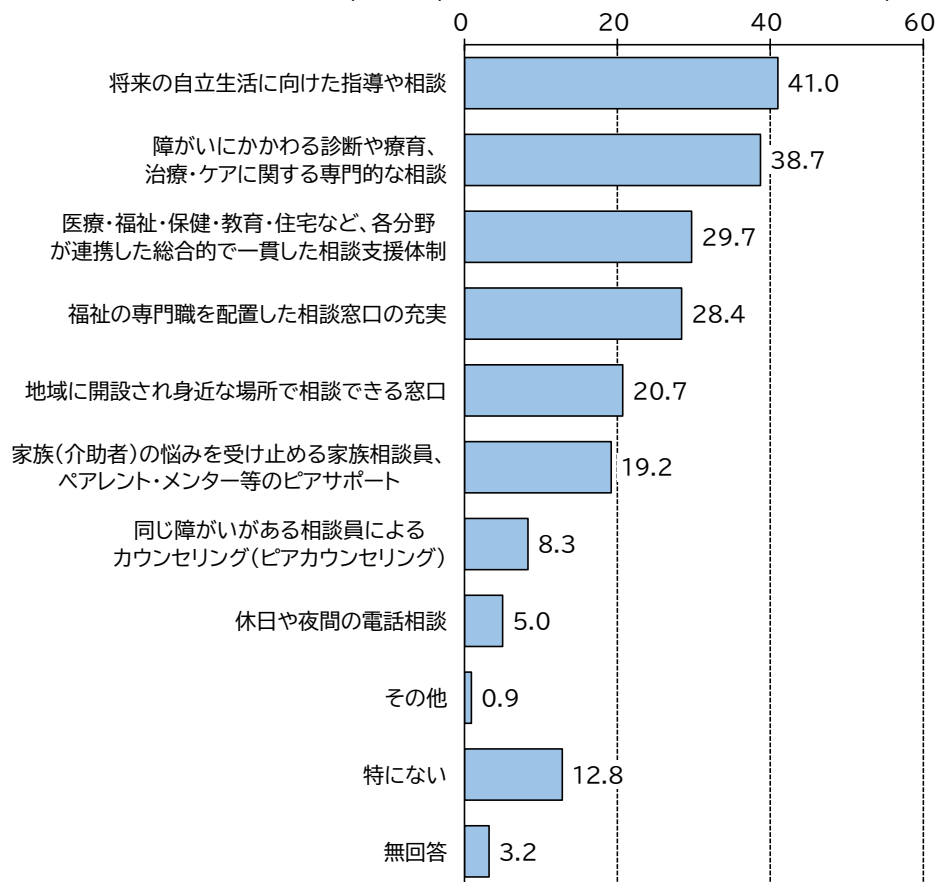
【障がい別】

- 精神障がいは「将来の自立生活に向けた指導や相談」が全体より 13.1 ポイント多くなっています。

<障がい別 相談支援体制に希望すること>

(n=556)

(3LA%)



単位：%

		相談支援体制に希望すること										
障がい別	母数(n)	将来の自立生活に向けた指導や相談	障がいにかかわる診断や療育、治療・ケアに関する専門的な相談	医療・福祉・保健・教育・住宅など、各分野が連携した総合的で一貫した相談支援体制	福祉の専門職を配置した相談窓口の充実	地域に開設され身近な場所で相談できる窓口	家族(介助者)の悩みを受け止める家族相談員、ペアレント・メンター等のピアサポート	同じ障がいがある相談員によるカウンセリング(ピアカウンセリング)	休日や夜間の電話相談	その他	特にない	無回答
		41.0	38.7	29.7	28.4	20.7	19.2	8.3	5.0	0.9	12.8	3.2
全体	556	41.0	38.7	29.7	28.4	20.7	19.2	8.3	5.0	0.9	12.8	3.2
身体障がい	45	33.3	33.3	△ 42.2	33.3	13.3	13.3	11.1	2.2	-	8.9	8.9
知的障がい	243	49.0	40.3	37.9	30.9	20.6	17.3	7.8	4.9	0.4	10.7	2.5
精神障がい	64	△ 53.1	35.9	34.4	▼ 17.2	18.8	26.6	10.9	9.4	-	9.4	1.6
発達障がい	296	42.9	43.2	29.7	27.7	20.9	25.0	10.5	5.1	1.7	9.8	2.0

(5)高槻市自立支援協議会の認知度

問31 あなたや、あなたのご家庭では、「高槻市自立支援協議会」を知っていますか？(1つだけ○)

※高槻市自立支援協議会は、障がい者やその家族、事業者、医療機関、市役所などの関係機関が、協力して地域の課題に取り組むために、相互の連絡を図る会議です。

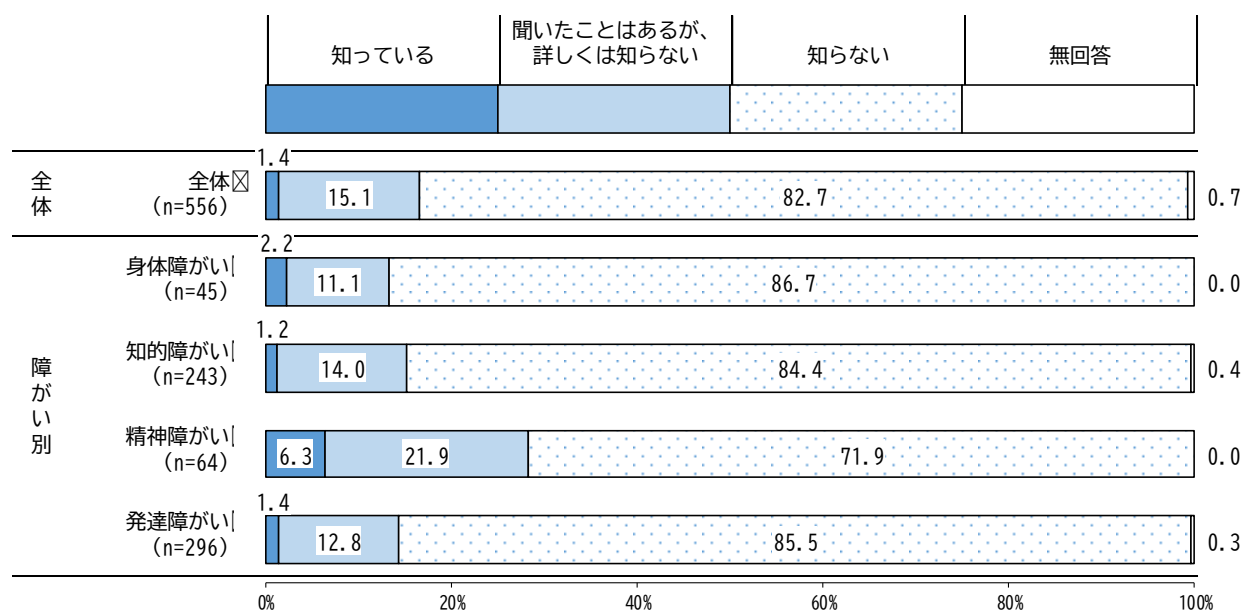
【全体】

○ 高槻市自立支援協議会の認知度について、「知らない」が 82.7%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が15.1%、「知っている」が1.4%となっています。「知っている」「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」を合わせた“認知度”は16.5%となっています。

【障がい別】

○ 精神障がいは“認知度”が他の障がいに比べて多くなっています。

<障がい別 高槻市自立支援協議会の認知度>



(6)成年後見制度の認知度

問32 あなたや、あなたのご家庭では、「成年後見制度」を知っていますか？(1つだけ○)

※成年後見制度は、判断能力が十分でない人の財産や権利を、不当な契約等から守るために、周りの人が後見人となって判断を補うための制度です。

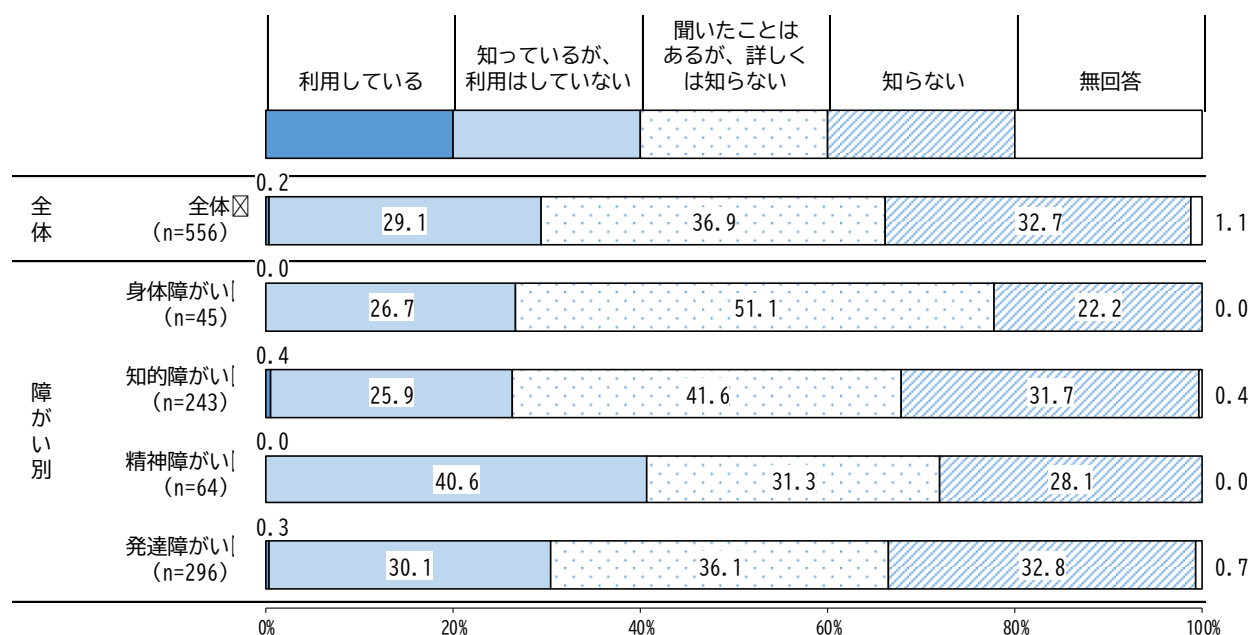
【全体】

- 成年後見制度の認知度について、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 36.9%で最も多く、次いで「知らない」が 32.7%、「知っているが、利用はしていない」が 29.1%となっています。

【障がい別】

- 精神障がい者は「知っているが、利用していない」が全体より 11.5 ポイント多くなっています。

<障がい別 成年後見制度の認知度>



6. 災害など緊急時の対応について

(1)地震時の最寄りの避難所の認知度

問33 あなたは、災害時の最寄りの避難所を知っていますか？(1つだけ○)

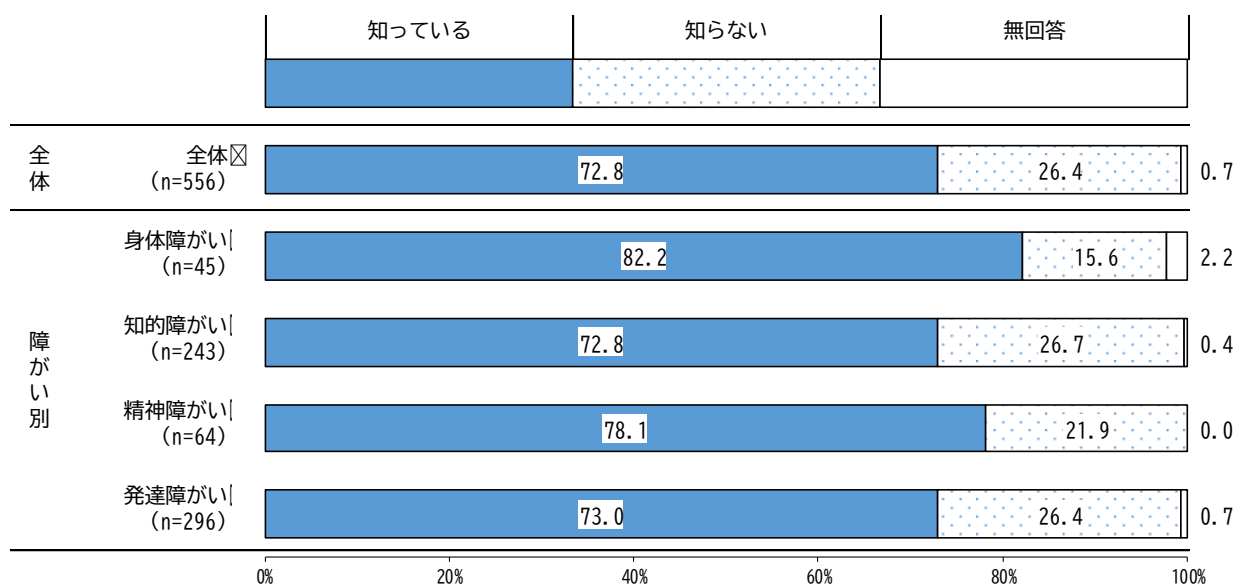
【全体】

- 地震時の最寄りの避難所の認知度について、「知っている」が72.8%、「知らない」が26.4%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「知っている」が82.2%で他の障がいに比べて多くなっています。

<障がい別 地震時の最寄りの避難所の認知度>



(2)災害時などに頼りにできる人

問34 地震などの災害が発生して、あなた自身で避難できないときなどに、手助けをしてくれる人や頼りにできる人がいますか？(主なもの3つまでに○)

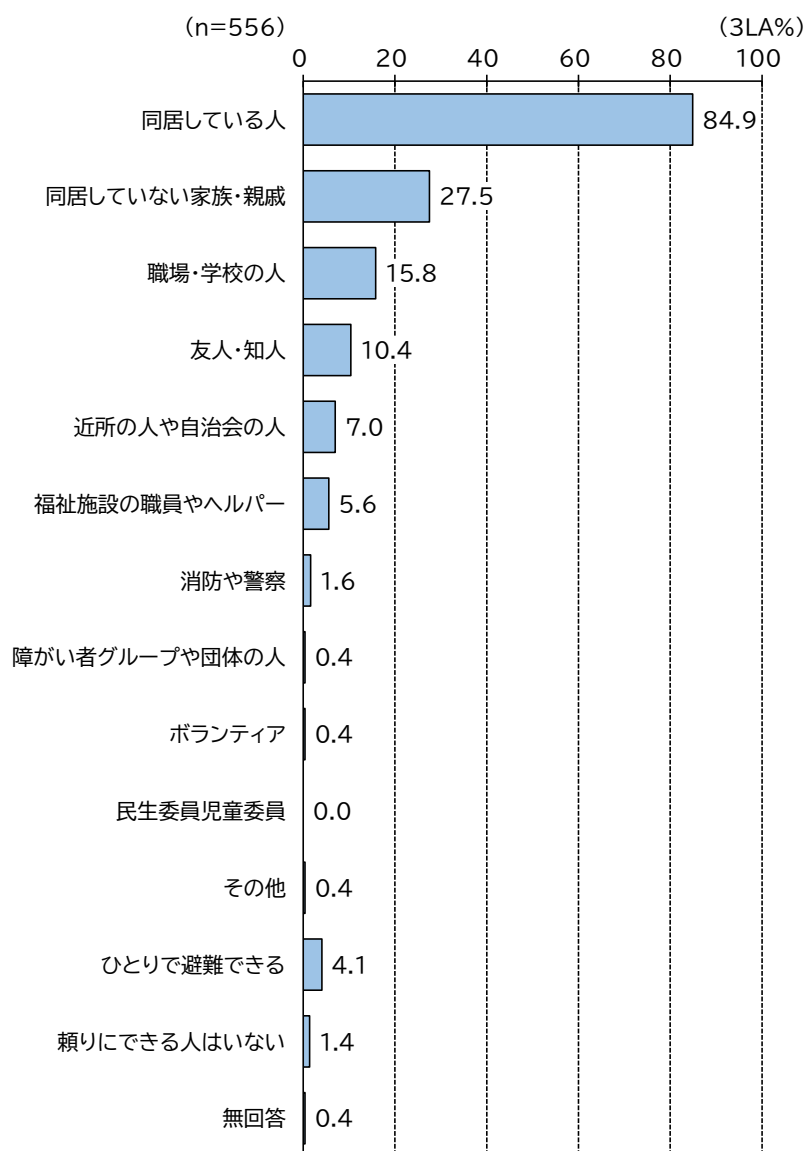
【全体】

- 災害時などに頼りにできる人について、「同居している人」が84.9%で最も多く、次いで「同居していない家族・親戚」が27.5%、「職場・学校の人」が15.8%となっています。

【障がい別】

- 発達障がい者は「職場・学校の人」が他の障がいに比べてやや多くなっています。

<障がい別 災害時などに頼りにできる人>



単位：％

単位：％

		母数 (n)	災害時などに頼りにできる人						
			同居 している人	族・同 居して いない 家	職 場・学 校の人	友 人・知 人	近 所の人 や自治 会	福 祉施設 の職員 や ヘルパー	消 防や警 察
障 がい 別	全体	556	84.9	27.5	15.8	10.4	7.0	5.6	1.6
	身体障がい	45	86.7	31.1	▼ 4.4	8.9	4.4	11.1	-
	知的障がい	243	84.8	26.3	15.2	9.5	6.2	7.8	0.4
	精神障がい	64	82.8	20.3	14.1	10.9	9.4	10.9	3.1
	発達障がい	296	84.8	27.0	20.3	11.5	8.8	4.4	2.4

単位：％

単位：％

		母数 (n)	災害時などに頼りにできる人						
			障がい者 団体の人	ボラン ティア	民生 委員 児童 委員	そ の 他	ひと りで 避 難 で き	頼 り に で き る 人 は い ない	無 回 答
全体		556	0.4	0.4	-	0.4	4.1	1.4	0.4
障 が い 別	身体障がい	45	-	-	-	-	-	2.2	-
	知的障がい	243	0.4	-	-	0.8	3.3	2.1	-
	精神障がい	64	1.6	-	-	-	7.8	-	-
	発達障がい	296	-	0.7	-	0.7	4.1	1.7	0.3

(3)避難所への避難をためらうことについて

問35 障がい理由として避難所への避難にためらいを感じますか？(1つだけ○)

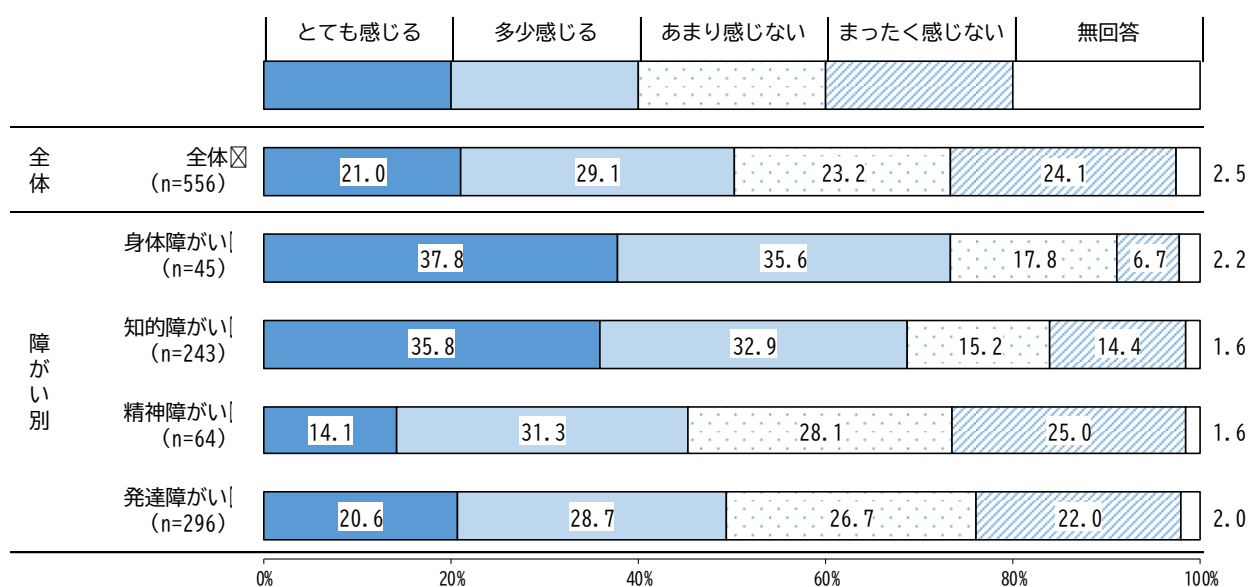
【全体】

- 避難所への避難をためらうことについて、「多少感じる」が29.1%で最も多く、次いで「まったく感じない」が24.1%、「あまり感じない」が23.2%となっています。「とても感じる」「多少感じる」を合わせた“感じる”は50.1%となっています。「あまり感じない」「まったく感じない」を合わせた“感じない”は47.3%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいと知的障がいは「とても感じる」が全体より16.8～14.8ポイント多く、“感じる”が約7割と他の障がいに比べて多くなっています。

<障がい別 避難所への避難をためらうことについて>



(4)避難所への避難にためらいを感じる理由

問35で1または2を選んだ方にお聞きします。

問36 ためらいを感じる理由は何ですか？(主なもの3つまでに○)

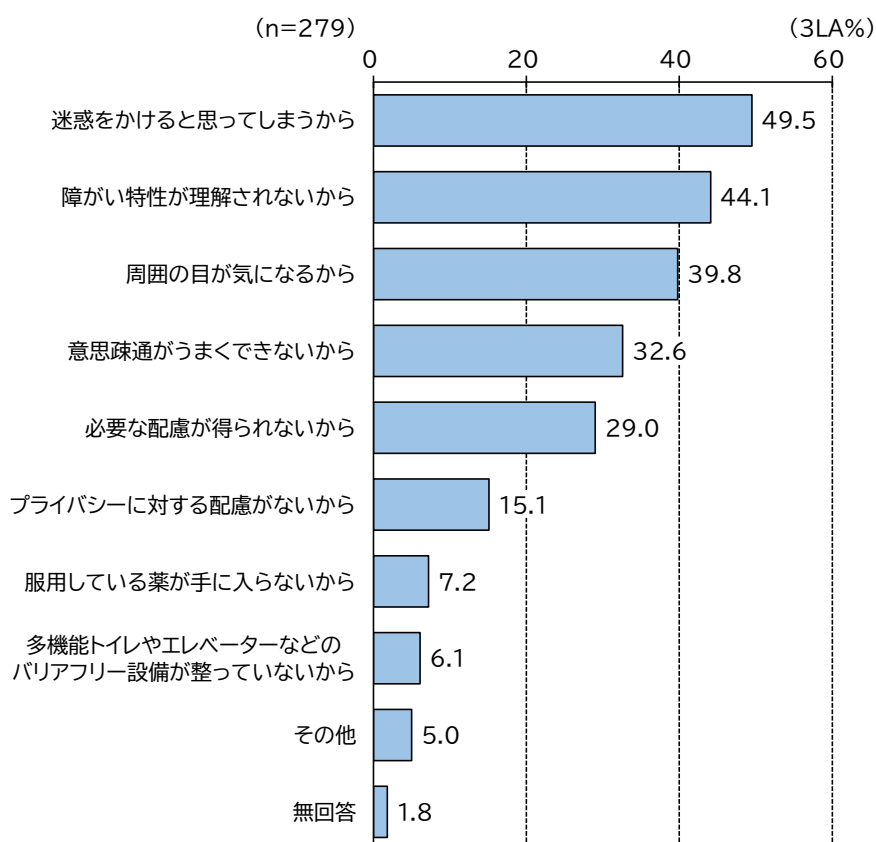
【全体】

- 避難所への避難にためらいを感じる理由について、「迷惑をかけると思ってしまうから」が 49.5%で最も多く、次いで「障がい特性が理解されないから」が 44.1%、「周囲の目が気になるから」が 39.8%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「必要な配慮が得られないから」「多機能トイレやエレベーターなどのバリアフリー設備が整っていないから」が全体より 28.6～27.2 ポイント多くなっています。精神障がいは「プライバシーに対する配慮がないから」が全体より 15.9 ポイント多くなっています。

<障がい別 避難所への避難にためらいを感じる理由>



単位：%

		避難所への避難にためらいを感じる理由										単位：%
		母数 (n)	迷惑を かける と思っ てし まう から	障がい 特性が 理解さ れな いから	周囲の 目が気 になる から	意思疎 通がう まくで きな いから	必要に 応じた 配慮が 得られ ない から	プライバシー に対する 配慮が ない から	服用し てい る薬が 手に入 らない から	多機能 トイレ やエレ ベーター などの 設備が 整って いない から	その他	無回答
全体			279	49.5	44.1	39.8	32.6	29.0	15.1	7.2	6.1	5.0
障がい別	身体障がい	33	▼ 27.3	▼ 27.3	▼ 21.2	30.3	△ 57.6	12.1	9.1	△ 33.3	3.0	-
	知的障がい	167	53.9	47.3	44.3	35.9	26.3	12.6	9.6	6.6	4.8	1.8
	精神障がい	29	▼ 31.0	51.7	44.8	24.1	24.1	△ 31.0	13.8	3.4	-	3.4
	発達障がい	146	54.1	45.2	41.8	30.1	29.5	14.4	4.8	3.4	4.8	3.4

(5)災害時に困ること

全員にお聞きします。

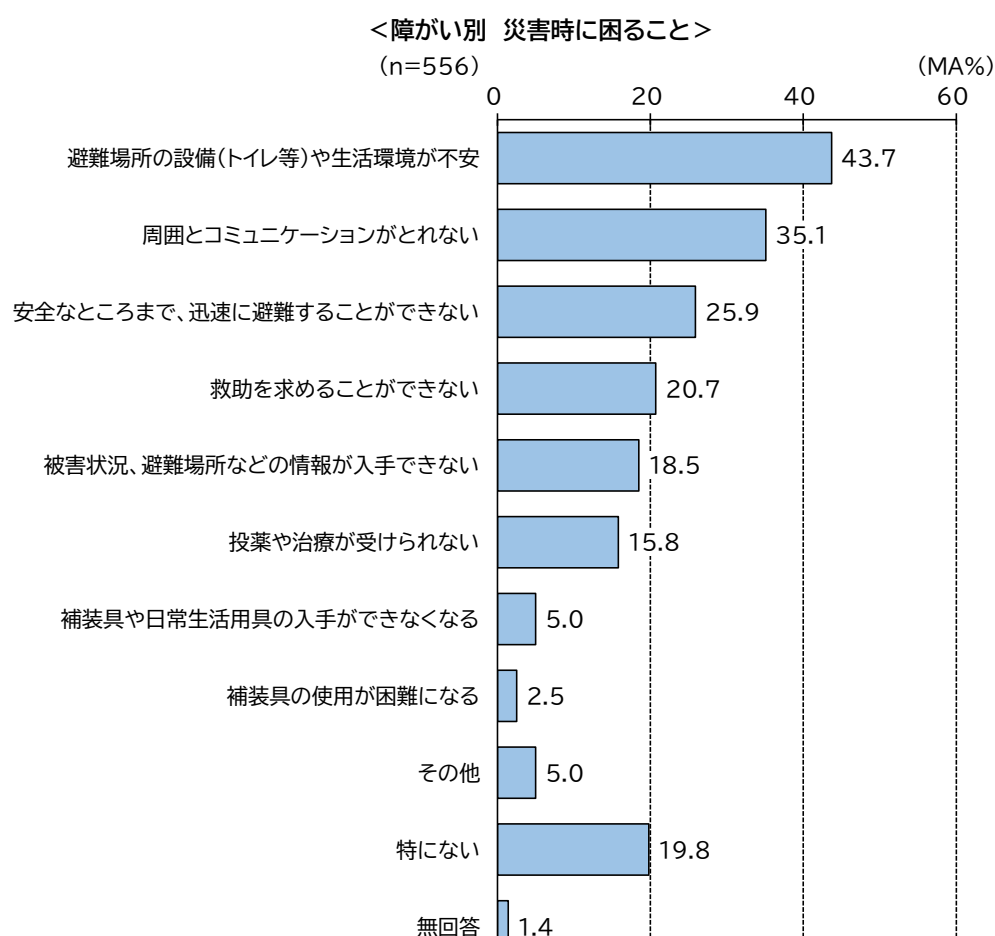
問37 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか？(いくつでも○)

【全体】

- 災害時に困ることについて、「避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安」が43.7%で最も多く、次いで「周囲とコミュニケーションがとれない」が35.1%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が25.9%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「投薬や治療が受けられない」「安全なところまで、迅速に避難することができない」が全体より24.2～25.2ポイント多くなっています。知的障がいは「救助を求めることができない」「周囲とコミュニケーションがとれない」が全体より11.8～13.0ポイント多くなっています。精神障がいは「投薬や治療が受けられない」が全体より13.9ポイント多くなっています。



		災害時に困ること										
	母数 (n)	等避難場所の設備が不安(トイレ)	周囲とコミュニケーションがとれない	安全なところまで、迅速に避難することができない	救助を求めることができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない	投薬や治療が受けられない	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	補装具の使用が困難になる	その他	特になし	無回答
全体	556	43.7	35.1	25.9	20.7	18.5	15.8	5.0	2.5	5.0	19.8	1.4
障がい別												
身体障がい	45	△ 55.6	▼ 24.4	△ 51.1	△ 31.1	20.0	△ 40.0	△ 26.7	△ 20.0	4.4	▼ 2.2	2.2
知的障がい	243	48.1	△ 48.1	34.2	△ 32.5	20.6	21.8	4.9	2.5	5.8	12.3	0.4
精神障がい	64	37.5	32.8	23.4	10.9	14.1	△ 29.7	3.1	-	4.7	20.3	-
発達障がい	296	45.3	36.5	25.7	19.3	19.9	14.2	4.1	1.0	4.7	18.2	1.4

7. 将来の暮らしについて

(1) 希望する10年後の生活

問38 あなたは今から10年後は、どのような生活を望まれますか？(1つだけ○)

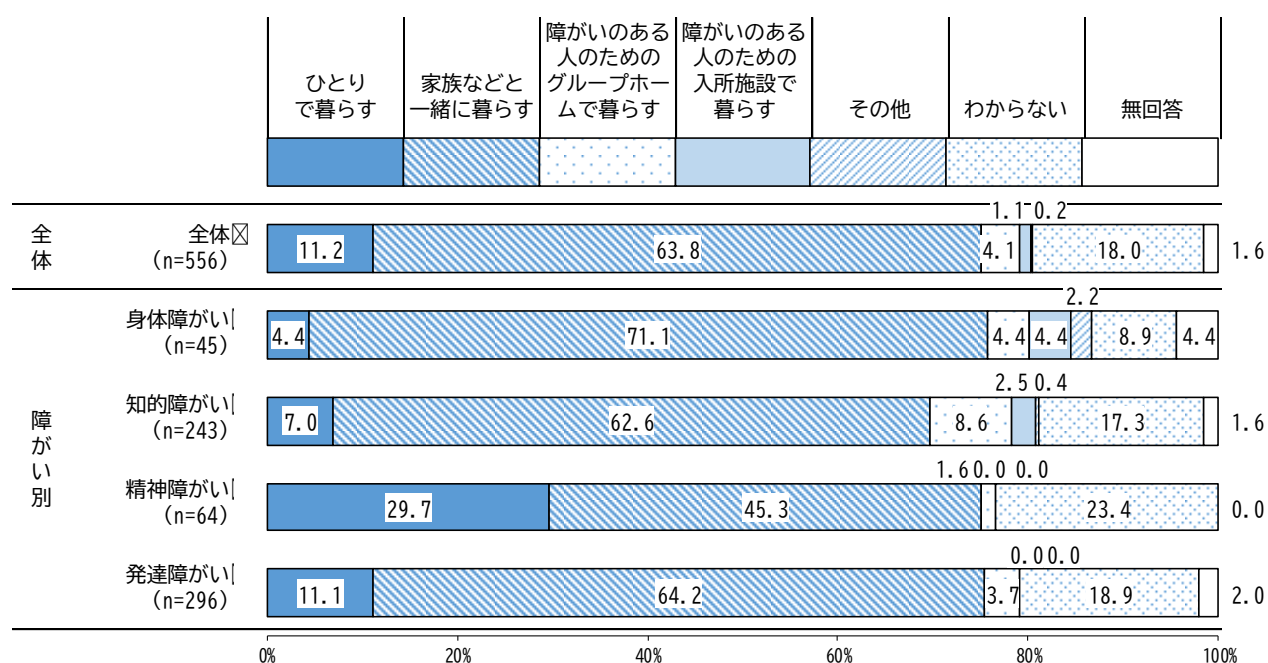
【全体】

- 希望する10年後の生活について、「家族などと一緒に暮らす」が63.8%で最も多く、次いで「わからない」が18.0%、「ひとりで暮らす」が11.2%となっています。

【障がい別】

- 精神障がい者は「ひとりで暮らす」が全体より18.5ポイント多くなっています。

<障がい別 希望する10年後の生活>



(2)将来の不安

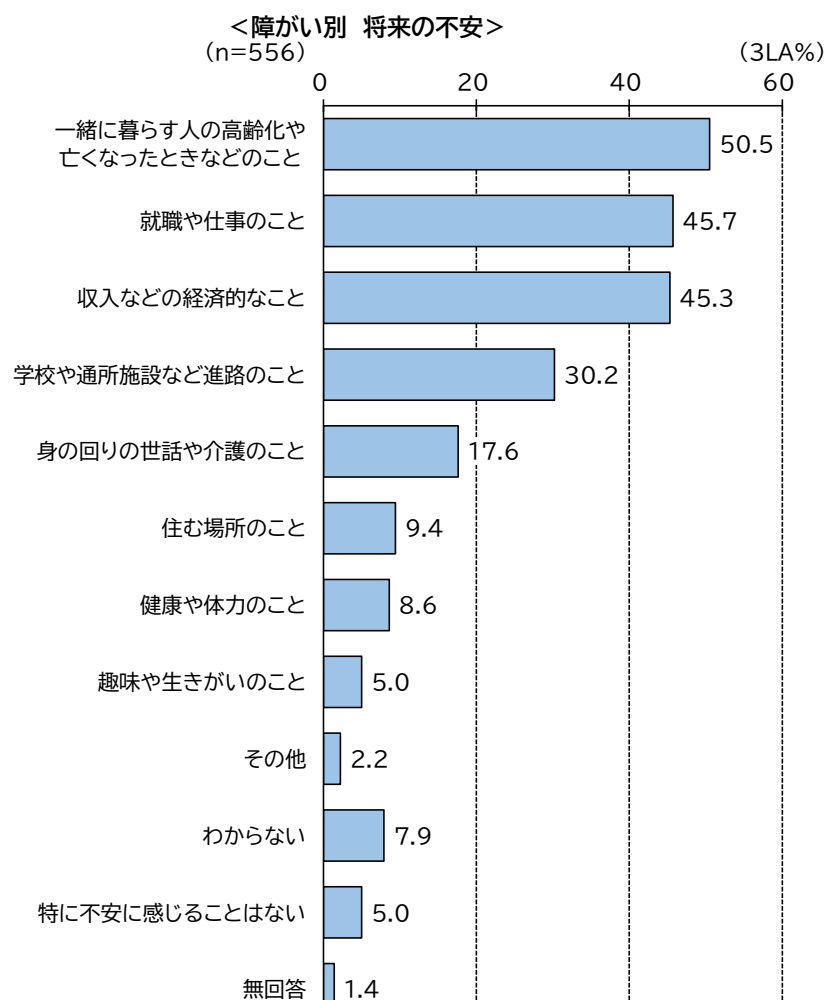
問39 あなたや、あなたのご家庭では将来のことでどのような不安を感じますか？(主なもの3つまでに○)

【全体】

- 将来の不安について、「一緒に暮らす人の高齢化や亡くなったときなどのこと」が 50.5%で最も多く、次いで「就職や仕事のこと」が 45.7%、「収入などの経済的なこと」が 45.3%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「一緒に暮らす人の高齢化や亡くなったときなどのこと」「身の回りの世話や介護のこと」が全体より 16.2～40.2 ポイント多くなっています。知的障がいは「一緒に暮らす人の高齢化や亡くなったときなどのこと」「身の回りの世話や介護のこと」が全体より 11.6～15.8 ポイント多く、精神障がいは「収入などの経済的なこと」「就職や仕事のこと」が全体より 21.5～21.9 ポイント多くなっています。



単位：%

		母数 (n)	将来の不安												単位：%
			ど の こ と	一 緒 に 暮 ら す 人 の 高 齢 化 や 亡 く な っ た と き な ど の こ と	就 職 や 仕 事 の こ と	と 入 ら な ど の 経 済 的 な こ と	学 校 や 通 所 施 設 な ど 進 路 の こ と	身 の 回 り の 世 話 や 介 護 の こ と	住 む 場 所 の こ と	健 康 や 体 力 の こ と	趣 味 や 生 き が い の こ と	そ の 他	わ か ら な い	特 に 不 安 に 感 じ る こ と は な い	無 回 答
全体		556	50.5	45.7	45.3	30.2	17.6	9.4	8.6	5.0	2.2	7.9	5.0	1.4	
障 が い 別	身体障がい	45	△66.7	▼31.1	▼31.1	22.2	△57.8	△20.0	13.3	4.4	2.2	-	-	2.2	
	知的障がい	243	△66.3	38.7	54.3	▼17.7	△29.2	17.7	9.1	2.1	2.1	6.2	1.6	1.2	
	精神障がい	64	51.6	△67.2	△67.2	21.9	▼4.7	7.8	6.3	4.7	1.6	10.9	-	1.6	
	発達障がい	296	52.0	49.7	47.3	34.8	14.5	7.4	5.1	6.4	2.4	6.8	3.7	1.4	

8. 福祉サービスなどについて

(1)福祉サービスなどについて

問40 障がい福祉サービス等の利用についておたずねします。(それぞれ、あてはまるものすべてに○)

■ ①現在利用しているサービス

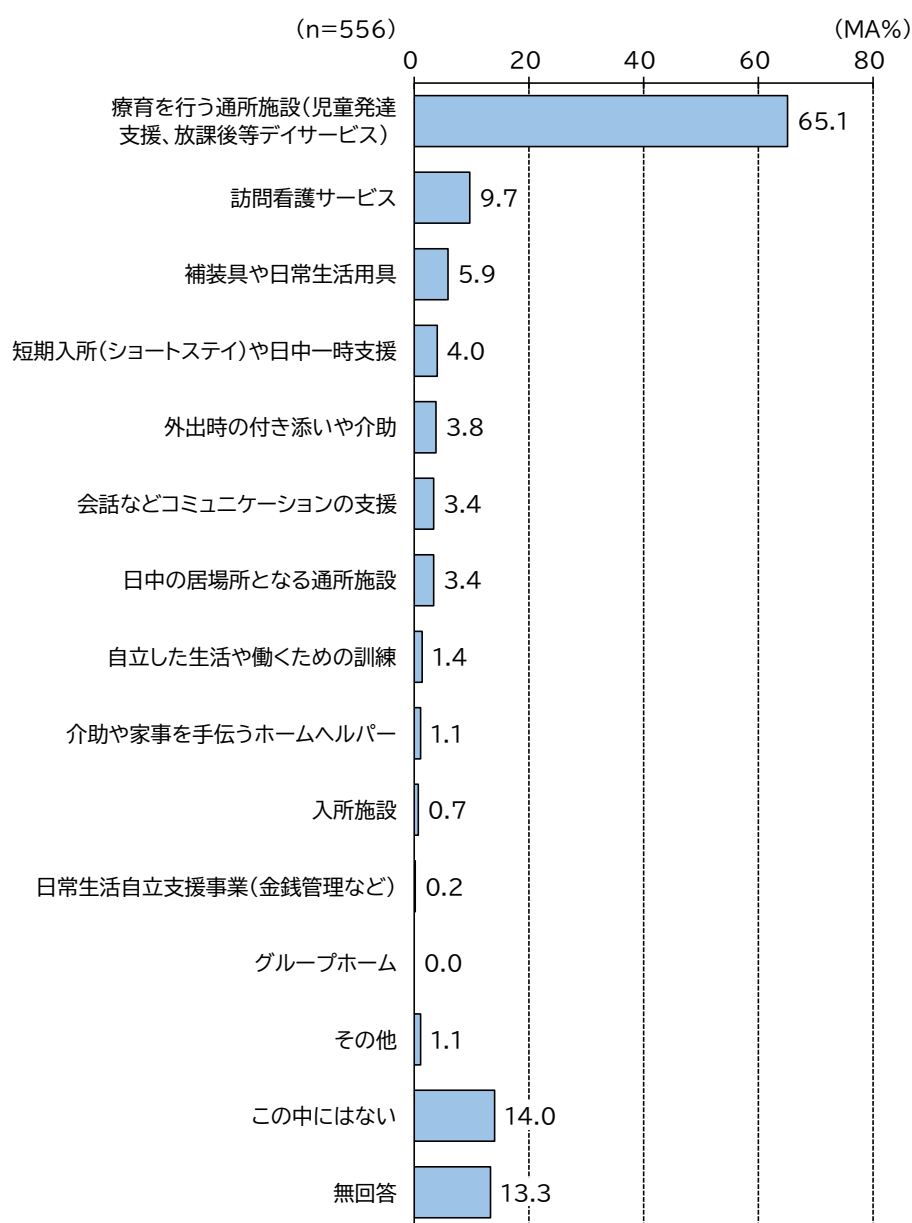
【全体】

- 現在利用しているサービスについて、「療育を行う通所施設(児童発達支援、放課後等デイサービス)」が65.1%で最も多く、次いで「この中にはない」が14.0%、「訪問看護サービス」が9.7%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「訪問看護サービス」が全体より19.2ポイント多くなっています。精神障がいは「訪問看護サービス」「この中にはない」が全体より12.2～14.1ポイント多くなっています。

<障がい別 現在利用しているサービス>



単位：％

		母数 (n)	現在利用しているサービス															単位：%
			グループホーム	療育を行う通所施設（児童発達支援、放課後等デイサービス）	訪問看護サービス	補装具や日常生活用具	短期入所（ショートステイ）や日中一時支援	外出時の付き添いや介助	会話などコミュニケーションの支援	日中の居場所となる通所施設	自立した生活や働くための訓練	介助や家事を手伝うホームヘルパー	入所施設	日常生活自立支援事業（金銭管理など）	その他	この中にはない	無回答	
全体		556	-	65.1	9.7	5.9	4.0	3.8	3.4	3.4	1.4	1.1	0.7	0.2	1.1	14.0	13.3	
障がい別	身体障がい	45	-	62.2	△28.9	△64.4	△20.0	△15.6	2.2	11.1	2.2	8.9	4.4	-	-	6.7	6.7	
	知的障がい	243	-	64.6	15.2	9.1	7.8	6.6	2.5	5.8	1.6	2.1	1.2	-	2.1	11.9	14.8	
	精神障がい	64	-	▼40.6	△21.9	1.6	-	4.7	4.7	1.6	-	-	1.6	-	1.6	△28.1	12.5	
	発達障がい	296	-	67.6	10.1	2.0	4.7	4.1	4.7	4.4	1.4	0.7	-	0.3	1.4	9.1	17.6	

■ ②今後利用したいサービス

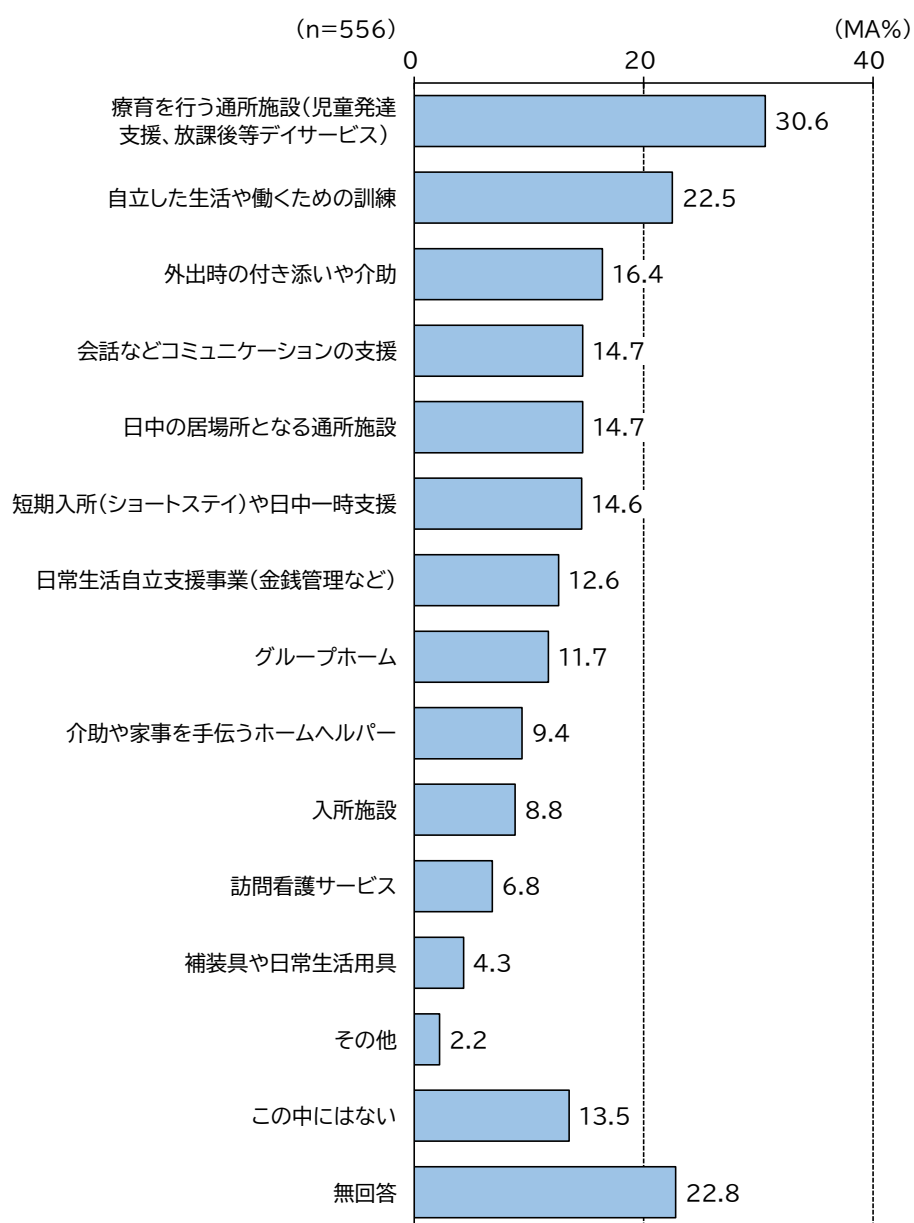
【全体】

- 今後利用したいサービスについて、「療育を行う通所施設（児童発達支援、放課後等デイサービス）」が30.6%で最も多く、次いで「自立した生活や働くための訓練」が22.5%、「外出時の付き添いや介助」が16.4%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「外出時の付き添いや介助」「日中の居場所となる通所施設」「グループホーム」が全体より12.7～16.4ポイント多くなっています。知的障がいは「外出時の付き添いや介助」「短期入所（ショートステイ）や日中一時支援」「自立した生活や働くための訓練」「グループホーム」が全体より12.6～14.1ポイント多くなっています。

<障がい別 今後利用したいサービス>



単位：％

		今後利用したいサービス															単位：%
		母数 (n)	療育を 行う通所 施設（児 童発達 支援、放 課後等 デイサ ービス）	自立した 生活や働 くための 訓練	外出時の 付き添い や介助	会話など コミュニ ケーション の 支援	日中の居 場所とな る通所施 設	短期入所 （シヨー トステイ） や 日中一時 支援	日常生活 自立支援 事業（金 銭管理 など）	グルー プホーム	介助や家 事を手伝 うホーム ヘルパー	入所施設	訪問看護 サービス	補装具や 日常生活 用具	その他	この中 にはない	無回答
	全体	556	30.6	22.5	16.4	14.7	14.7	14.6	12.6	11.7	9.4	8.8	6.8	4.3	2.2	13.5	22.8
障がい別	身体障がい	45	24.4	17.8	31.1	15.6	31.1	17.8	6.7	24.4	22.2	24.4	13.3	20.0	2.2	6.7	22.2
	知的障がい	243	23.0	36.6	29.6	20.2	23.0	27.6	21.4	24.3	15.6	17.3	11.5	6.6	3.7	9.1	16.0
	精神障がい	64	20.3	25.0	12.5	10.9	10.9	4.7	10.9	3.1	3.1	3.1	4.7	1.6	-	20.3	26.6
	発達障がい	296	30.7	23.0	17.6	18.6	17.6	15.2	13.9	12.8	10.8	10.1	8.1	4.4	2.4	8.1	28.4

■ ③不満に思ったことがあるサービス

【全体】

- 不満に思ったことがあるサービスについて、「この中にはない」が 38.5%で最も多く、次いで「療育を行う通所施設(児童発達支援、放課後等デイサービス)」が 21.4%、「短期入所(ショートステイ)や日中一時支援」が 3.6%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「補装具や日常生活用具」が全体より 11.9 ポイント多くなっています。

<障がい別 不満に思ったことがあるサービス>



単位：％

		母数 (n)	不満に思ったことがあるサービス													単位：%	
			療育を行う通所施設（児童発達支援、放課後等デイサービス）	短期入所（ショートステイ）や日中一時支援	外出時の付き添いや介助	訪問看護サービス	会話などコミュニケーションの支援	補装具や日常生活用具	自立した生活や働くための訓練	入所施設	介護や家事を手伝うホームヘルパー	日中の居場所となる通所施設	グループホーム	日常生活自立支援事業（金銭管理など）	その他	この中にはない	無回答
全体		556	21.4	3.6	2.7	2.0	1.4	1.4	1.4	1.4	1.1	1.1	1.1	0.7	2.2	38.5	33.1
障がい別	身体障がい	45	20.0	13.3	6.7	2.2	2.2	△13.3	6.7	2.2	4.4	2.2	-	-	-	▼24.4	35.6
	知的障がい	243	22.6	8.2	6.2	3.3	2.1	1.6	2.5	2.9	2.5	2.1	2.5	1.2	3.3	32.1	35.0
	精神障がい	64	20.3	1.6	1.6	3.1	-	-	3.1	1.6	-	-	-	3.1	3.1	42.2	26.6
	発達障がい	296	25.0	3.7	1.7	2.4	2.0	0.3	1.4	1.4	1.0	1.0	1.4	0.7	2.7	29.7	38.5

(2)不満に思った内容

問41 利用して不満に思ったことがあるサービスについておたずねします。不満に思った内容を下の選択肢から選んで数字を記入してください。(それぞれに、主なもの3つまで数字を記入)該当するサービスの欄それぞれに、不満に思った内容を下の表から選んで、番号をお書きください。

【それぞれのサービスで最も不満に思う内容】

- ①介助や家事を手伝うホームヘルパー:利用したい日・時間に利用できない
- ②外出時の付き添いや介助:身近なところでサービスを利用できない
- ③会話などコミュニケーションの支援:身近なところでサービスを利用できない
- ④補装具や日常生活用具:利用料が高い
- ⑤訪問看護サービス:利用回数・時間などに制限がある
- ⑥短期入所(ショートステイ)や日中一時支援:利用したい日・時間に利用できない
- ⑦自立した生活や働くための訓練:利用回数・時間などに制限がある
- ⑧日中の居場所となる通所施設:利用回数・時間などに制限がある、サービス内容に関する情報が少ない
- ⑨グループホーム:利用したい日・時間に利用できない、サービス内容に関する情報が少ない
- ⑩入所施設:利用料が高い
- ⑪日常生活自立支援事業(金銭管理など):身近なところでサービスを利用できない

<障がい別 不満に思った内容>

単位:人、%

	母数 (n)	不満に思った内容										
		にサービス内容が障がい特性	利用できないところでサービスを	身近ない日・時間に利用	できない日・時間に利用	利用回数・時間などに制限	利用料が高い	い急な変更に応じてもらえない	事業所が契約してくれない	が事業所などの担当者の対応	事業所などの担当者がよく	事業所の担当者の知識や経験が不足している
①介助や家事を手伝うホームヘルパー	6 100	- -	1 16.7	2 33.3	- -	1 16.7	- -	- -	- -	- -	- -	1 16.7
②外出時の付き添いや介助	15 100	- -	6 40.0	4 26.7	5 33.3	1 6.7	- -	- -	3 20.0	1 6.7	- -	2 13.3
③会話などコミュニケーションの支援	8 100	- -	2 25.0	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 12.5	1 12.5
④補装具や日常生活用具	8 100	1 12.5	- -	- -	- -	3 37.5	5 62.5	- -	- -	1 12.5	- -	- -
⑤訪問看護サービス	11 100	- -	- -	2 18.2	6 54.5	- -	- -	1 9.1	- -	2 18.2	- -	- -
⑥短期入所(ショートステイ)や日中一時支援	20 100	1 5.0	4 20.0	9 45.0	8 40.0	- -	2 10.0	- -	- -	1 5.0	- -	2 10.0
⑦自立した生活や働くための訓練	8 100	- -	1 12.5	1 12.5	2 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
⑧日中の居場所となる通所施設	6 100	- -	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	- -	- -	- -	- -	1 16.7	- -
⑨療育を行う通所施設(児童発達支援、放課後等デイサービス)	119 100	13 10.9	34 28.6	56 47.1	31 26.1	7 5.9	6 5.0	9 7.6	16 13.4	6 5.0	6 5.0	18 15.1
⑩グループホーム	6 100	- -	1 16.7	2 33.3	- -	1 16.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -
⑪入所施設	8 100	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	2 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
⑫日常生活自立支援事業(金銭管理など)	4 100	- -	1 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
⑬その他	12 100	1 8.3	2 16.7	3 25.0	2 16.7	1 8.3	1 8.3	- -	- -	- -	- -	1 8.3

単位：人、％

	母数 (n)	不満に思った内容								
		本人や家族の意向を尊重してもらえない	プライバシーなどの配慮に欠けている	建物や設備が障がいに対応できていない	他の利用者との相性を配慮してもらえない	が少ないサービス内容に関する情報	相談や手続きに時間がかかる	障がい支援区分の認定に疑問がある	その他	無回答
①介助や家事を手伝うホームヘルパー	6 100	- -	1 16.7	- -	- -	1 16.7	- -	- -	- -	2 33.3
②外出時の付き添いや介助	15 100	1 6.7	- -	- -	1 6.7	2 13.3	1 6.7	- -	1 6.7	2 13.3
③会話などコミュニケーションの支援	8 100	- -	- -	- -	- -	1 12.5	- -	- -	- -	2 25.0
④補装具や日常生活用具	8 100	1 12.5	- -	- -	- -	- -	1 12.5	- -	2 25.0	1 12.5
⑤訪問看護サービス	11 100	- -	1 9.1	- -	- -	- -	1 9.1	- -	- -	1 9.1
⑥短期入所（ショートステイ）や日中一時支援	20 100	- -	- -	- -	- -	1 5.0	2 10.0	- -	1 5.0	1 5.0
⑦自立した生活や働くための訓練	8 100	1 12.5	- -	- -	- -	1 12.5	- -	- -	2 25.0	3 37.5
⑧日中の居場所となる通所施設	6 100	- -	- -	- -	- -	2 33.3	- -	- -	- -	2 33.3
⑨療育を行う通所施設 （児童発達支援、放課後等デイサービス）	119 100	4 3.4	2 1.7	1 0.8	6 5.0	15 12.6	7 5.9	- -	15 12.6	3 2.5
⑩グループホーム	6 100	- -	- -	- -	- -	2 33.3	- -	- -	- -	2 33.3
⑪入所施設	8 100	- -	- -	1 12.5	- -	1 12.5	- -	- -	- -	2 25.0
⑫日常生活自立支援事業 （金銭管理など）	4 100	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 75.0
⑬その他	12 100	- -	- -	- -	- -	1 8.3	2 16.7	1 8.3	3 25.0	1 8.3

9. 障がい者虐待の防止・障がい者差別の解消について

(1)「障害者虐待防止法」の認知度

問42 あなたやあなたのご家族は、「障害者虐待防止法」を知っていますか？(1つだけ○)

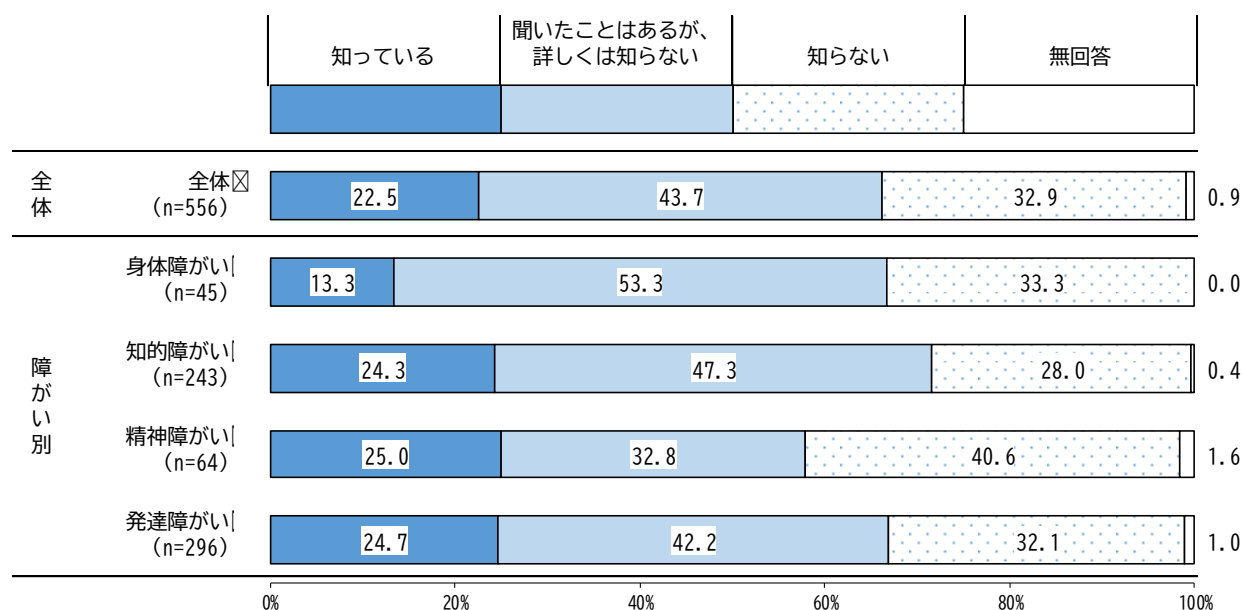
【全体】

- 「障害者虐待防止法」の認知度について、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が 43.7%で最も多く、次いで「知らない」が32.9%、「知っている」が22.5%となっています。「知っている」「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」を合わせた“認知度”は 66.2%となっています。

【障がい別】

- 知的障がいは“認知度”が他の障がいに比べてやや多くなっています。

<障がい別「障害者虐待防止法」の認知度>



(2)障がい者虐待防止センターの認知度

問43 あなたやあなたのご家族は、障がい者虐待の相談や通報先として、障がい者虐待防止センターが市役所にあるのを知っていますか？(1つだけ○)

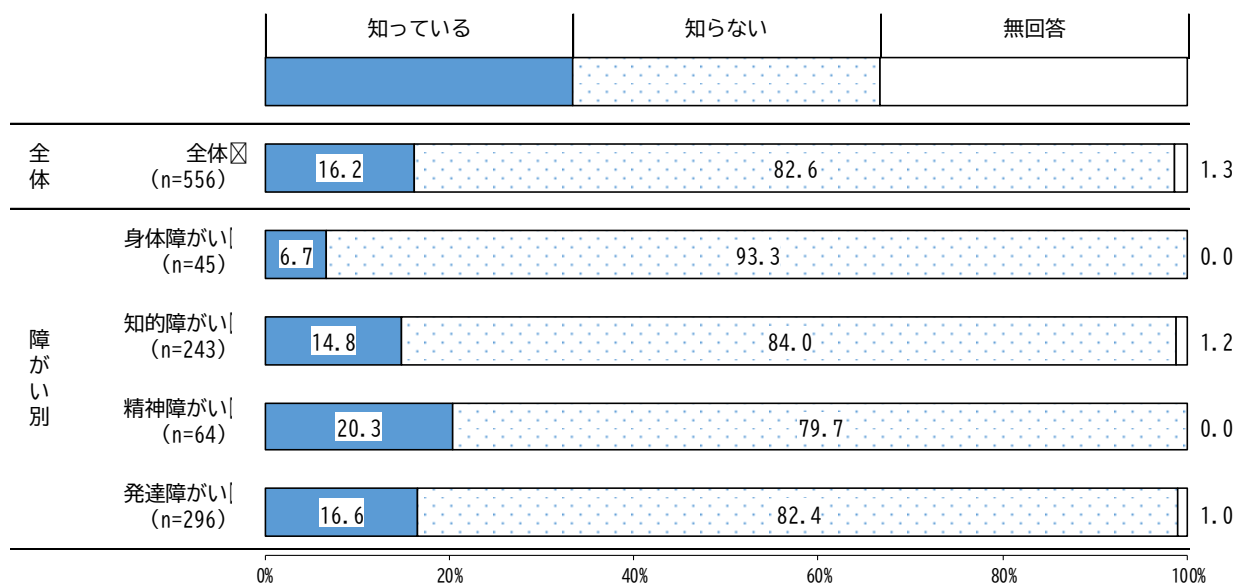
【全体】

○ 障がい者虐待防止センターの認知度について、「知っている」が 16.2%、「知らない」が 82.6%となっています。

【障がい別】

○ 精神障がいは「知っている」が 20.3%で他の障がいに比べてやや多くなっています。一方で身体障がいは「知っている」が 6.7%と少なくなっています。

<障がい別 障がい者虐待防止センターの認知度>



(3)障がい者基幹相談支援センターの認知度

問44 あなたやあなたのご家族は、障がい者の地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障がい者基幹相談支援センターが市役所にあるのを知っていますか？(1つだけ○)

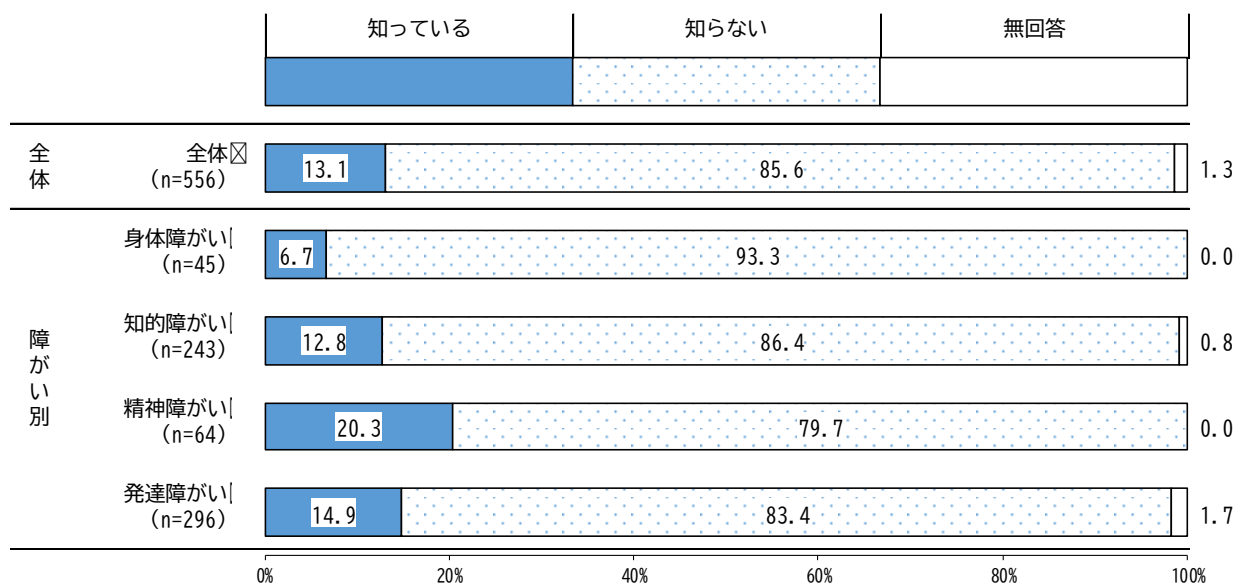
【全体】

○ 障がい者基幹相談支援センターの認知度について、「知っている」が 13.1%、「知らない」が 85.6%となっています。

【障がい別】

○ 精神障がいは「知っている」が 20.3%で他の障がいに比べてやや多くなっています。一方で身体障がいは「知っている」が 6.7%と少なくなっています。

<障がい別 障がい者基幹相談支援センターの認知度>



(4)「障害者差別解消法」の認知度

問45 あなたやあなたのご家族は、「障害者差別解消法」を知っていますか？(1つだけ○)

※障害者差別解消法は、「不当な差別的取り扱い(障がいがあることで障がいのない人たちとは違う扱いをすること)」と「合理的配慮(それぞれの障がいにあった必要な工夫)をしないこと」を差別として定めた法律です。

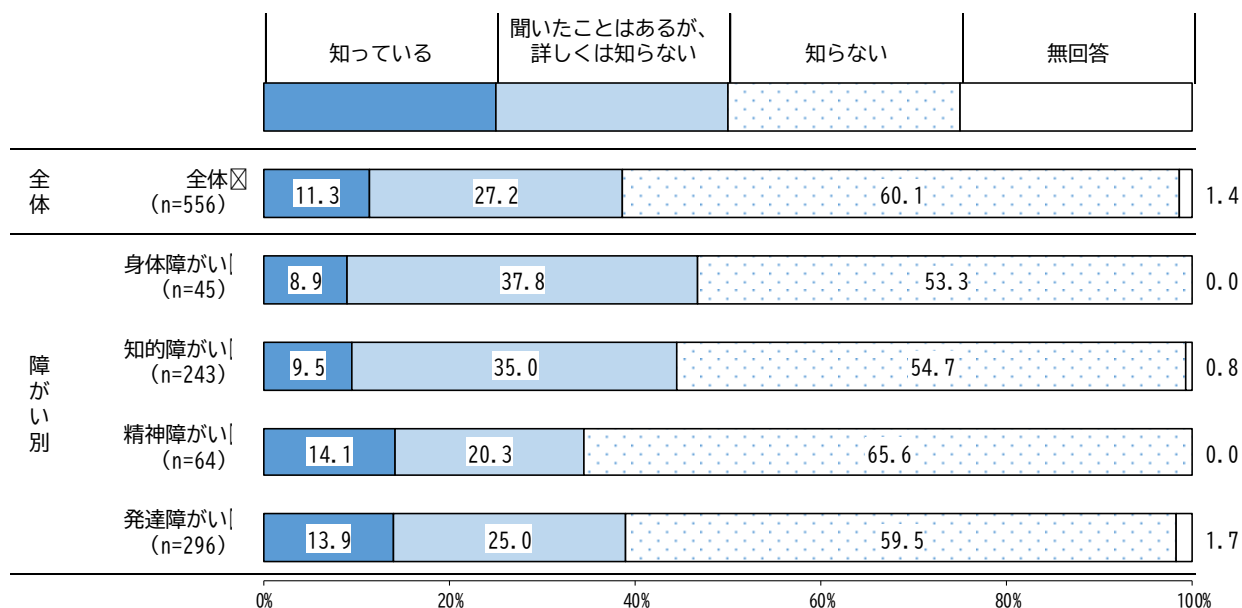
【全体】

- 「障害者差別解消法」の認知度について、「知らない」が 60.1%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」が27.2%、「知っている」が11.3%となっています。「知っている」「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」を合わせた“認知度”は38.5%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいと知的障がいは“認知度”が他の障がいに比べて高くなっています。

<障がい別「障害者差別解消法」の認知度>



(5)差別などを受けた経験

問46 あなたやあなたのご家族は、ここ3年以内に、障がいや病気があることで差別を受けたことや、偏見や疎外感などを感じたことがありますか？(1つだけ○)

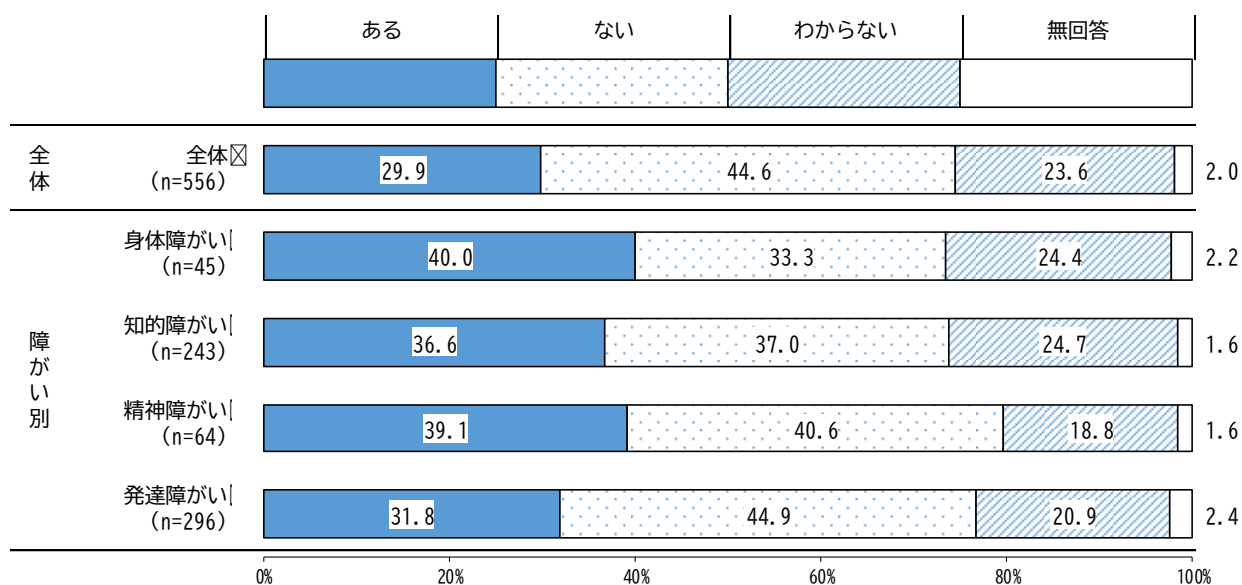
【全体】

- 差別などを受けた経験について、「ない」が 44.6%で最も多く、次いで「ある」が 29.9%、「わからない」が 23.6%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいと精神障がいは「ある」が約 40%で他の障がいに比べてやや多くなっています。

<障がい別 差別などを受けた経験>



(6)差別を受けたり、偏見や疎外感などを感じた時

問46で1を選んだ方にお聞きします。

問47 どのようなときに差別や偏見、疎外感などを感じたことがありますか？(主なもの3つまでに○)

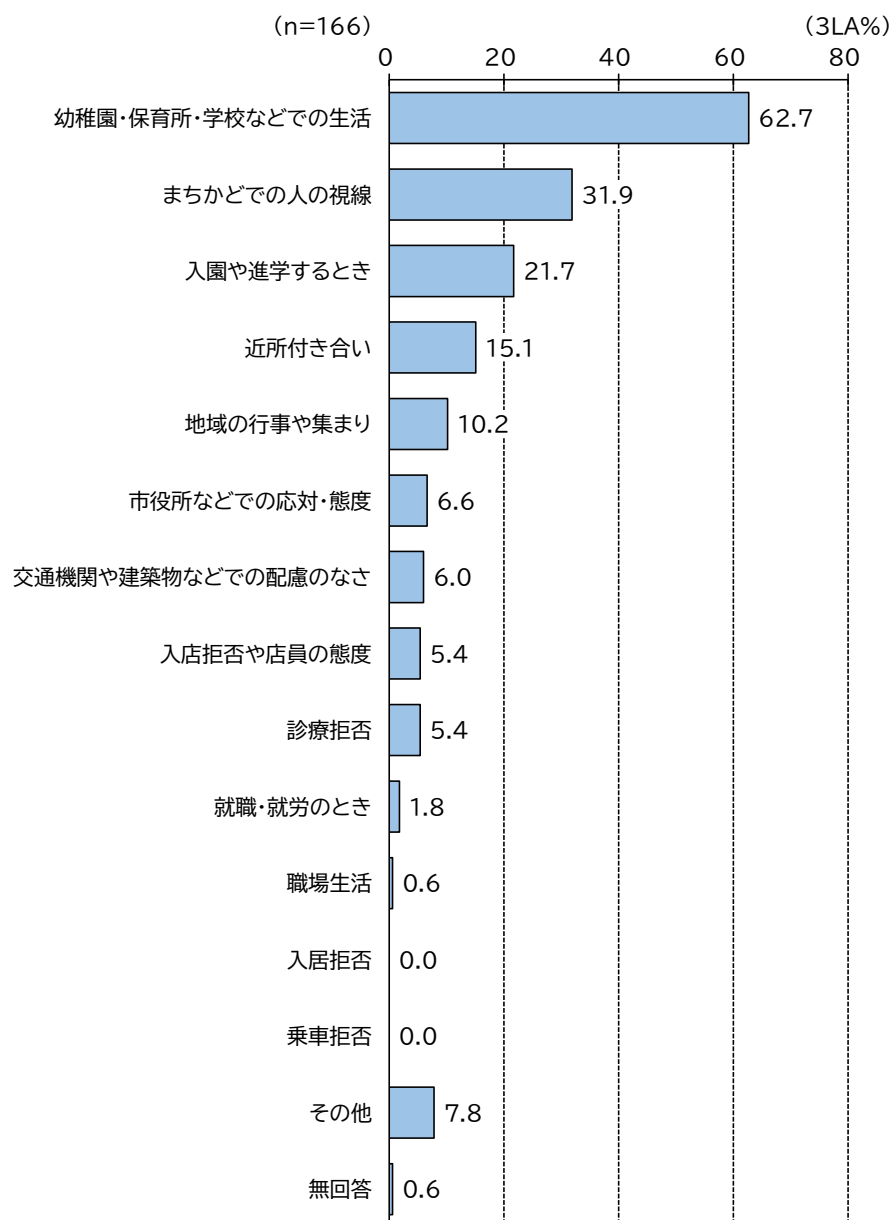
【全体】

- 差別を受けたり、偏見や疎外感などを感じた時について、「幼稚園・保育所・学校などでの生活」が62.7%で最も多く、次いで「まちかどでの人の視線」が31.9%、「入園や進学するとき」が21.7%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは「入園や進学するとき」が全体より17.2ポイント多くなっています。知的障がいは「まちかどでの人の視線」が全体より15.3ポイント多く、精神障がいは「幼稚園・保育所・学校などでの生活」が17.3ポイント多くなっています。

<障がい別 差別を受けたり、偏見や疎外感などを感じた時>



単位：％

単位：%

		母数 (n)	差別を受けたり、偏見や疎外感などを感じた時								
			幼稚園・保育所生活・	視線まちかどでの人の	入園や進学すると	近所付き合い	地域の行事や集まり	市役所などでの応対・態度	交通機関や建物の配慮	入店拒否や店員の態度	
全体		166	62.7	31.9	21.7	15.1	10.2	6.6	6.0	5.4	
障がい別	身体障がい	18	▼ 33.3	38.9	△ 38.9	11.1	11.1	△ 22.2	△ 16.7	5.6	
	知的障がい	89	▼ 44.9	△ 47.2	20.2	23.6	13.5	6.7	7.9	10.1	
	精神障がい	25	△ 80.0	24.0	20.0	12.0	4.0	12.0	-	4.0	
	発達障がい	94	70.2	33.0	16.0	12.8	9.6	5.3	6.4	5.3	

単位：％

		母数 (n)	差別を受けたり、偏見や疎外感などを感じた時						
			診 療 拒 否	就 職 ・ 就 労 の と き	職 場 生 活	入 居 拒 否	乗 車 拒 否	そ の 他	無 回 答
全体		166	5.4	1.8	0.6	-	-	7.8	0.6
障 が い 別	身体障がい	18	5.6	-	-	-	-	16.7	-
	知的障がい	89	9.0	2.2	1.1	-	-	11.2	-
	精神障がい	25	-	4.0	-	-	-	-	-
	発達障がい	94	6.4	-	1.1	-	-	9.6	1.1

(7)市民の障がい者理解の深まり状況

全員にお聞きします。

問49 あなたやあなたのご家族は、市民の障がい者理解は、ここ5年で深まったと思いますか？(1つだけ○)

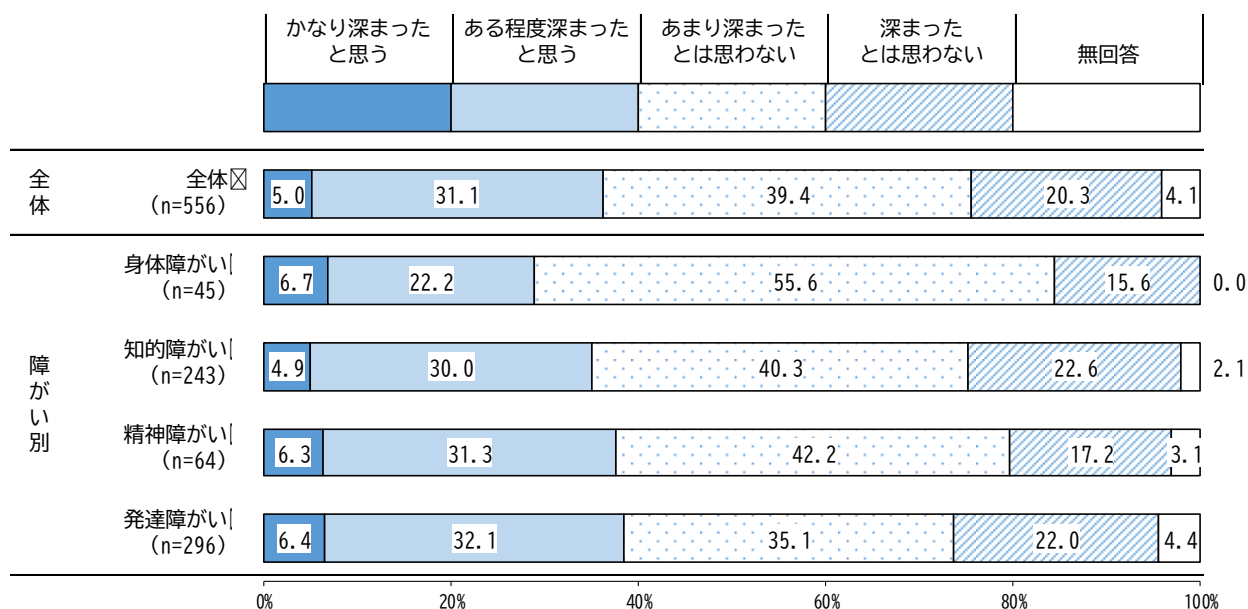
【全体】

- 市民の障がい者理解の深まり状況について、「あまり深まったとは思わない」が 39.4%で最も多く、次いで「ある程度深まったと思う」が 31.1%、「深まったとは思わない」が 20.3%となっています。「かなり深まったと思う」「ある程度深まったと思う」を合わせた“深まったと思う”は 36.1%となっています。「あまり深まったとは思わない」「深まったとは思わない」を合わせた“深まったとは思わない”は 59.7%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいは“深まったとは思わない”が他の障がいに比べてやや多くなっています。

<障がい別 市民の障がい者理解の深まり状況>



10. 障がいのある人もない人もともに安心して暮らせる“高槻”に向けて

(1) 行政などが充実させるべき施策

問50 障がいのある人が安心して自立した生活を送れるようにするために、高槻市などの行政が充実させるべき施策は何だと思いますか？（最も必要だと思われるものから順に5つまで選んで下の回答欄に番号を記入）

【全体】

- 行政などが充実させるべき施策の最も必要から5番目までの合計について、「療育や発達支援の体制を整える」が47.5%で最も多く、次いで「子ども一人ひとりにあった教育・指導を進める」が44.6%、「身近に相談できる場所や人を増やす」が34.0%となっています。

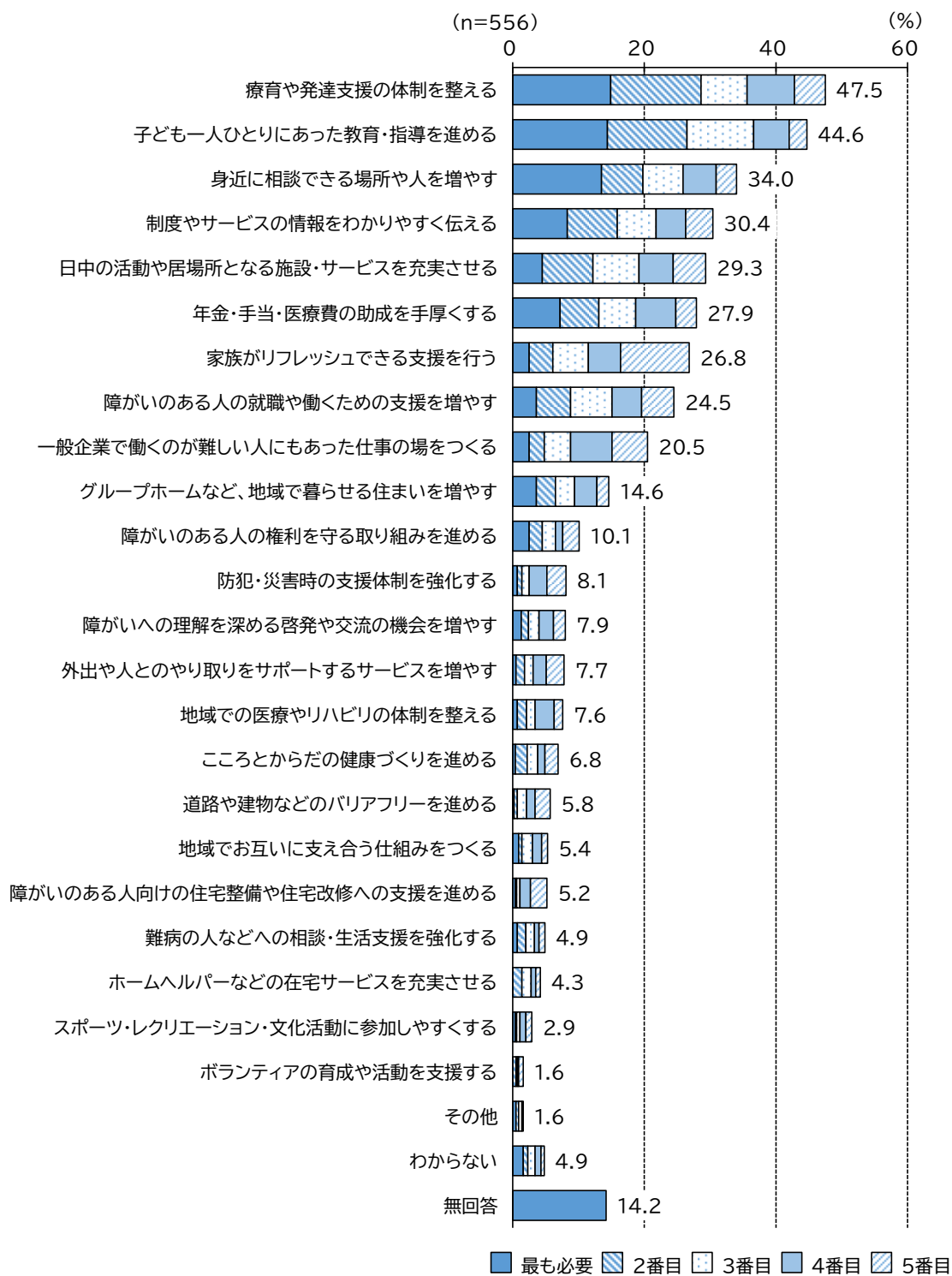
【障がい別】

- 身体障がい、知的障がいは「グループホームなど、地域で暮らせる住まいを増やす」が全体より10.1～18.7ポイント多く、「療育や発達支援の体制を整える」「子ども一人ひとりにあった教育・指導を進める」が10.1～18.6ポイント少なくなっています。

<行政などが充実させるべき施策>

(件)

	回答数	最も必要	2番目	3番目	4番目	5番目
療育や発達支援の体制を整える	264	83	76	39	40	26
子ども一人ひとりにあった教育・指導を進める	248	80	67	56	30	15
身近に相談できる場所や人を増やす	189	75	35	34	28	17
制度やサービスの情報をわかりやすく伝える	169	46	42	33	25	23
日中の活動や居場所となる施設・サービスを充実させる	163	25	43	39	29	27
年金・手当・医療費の助成を厚くする	155	40	33	31	34	17
家族がリフレッシュできる支援を行う	149	14	20	30	27	58
障がいのある人の就職や働くための支援を増やす	136	20	29	35	25	27
一般企業で働くのが難しい人にもあった仕事の場をつくる	114	14	13	22	35	30
グループホームなど、地域で暮らせる住まいを増やす	81	20	16	16	19	10
障がいのある人の権利を守る取り組みを進める	56	14	11	11	6	14
防犯・災害時の支援体制を強化する	45	4	4	6	15	16
障がいへの理解を深める啓発や交流の機会を増やす	44	7	6	9	12	10
外出や人とのやり取りをサポートするサービスを増やす	43	3	7	7	11	15
地域での医療やリハビリの体制を整える	42	4	8	7	16	7
こころとからだの健康づくりを進める	38	2	10	9	6	11
道路や建物などのバリアフリーを進める	32	1	3	8	7	13
地域でお互いに支え合う仕組みをつくる	30	5	3	9	8	5
障がいのある人向けの住宅整備や住宅改修への支援を進める	29	2	1	3	9	14
難病の人などへの相談・生活支援を強化する	27	4	7	7	4	5
ホームヘルパーなどの在宅サービスを充実させる	24	-	8	8	4	4
スポーツ・レクリエーション・文化活動に参加しやすくする	16	2	1	3	5	5
ボランティアの育成や活動を支援する	9	-	3	1	1	4
その他	9	3	2	3	-	1
わからない	27	9	4	6	5	3
無回答						79
全体						556



単位：％

		母数 (n)	行政などが充実させるべき施策												
			療育や発達支援の体制を整える	子ども一人ひとりにあつた教育・指導を進める	身近に相談できる場所や人を増やす	制度やサービスの情報をわかりやすく伝える	日中の活動や居場所となる施設・サービスを充実させる	年金・手当・医療費の助成を手厚くする	家族がリフレッシュできる支援を行う	障がいのある人の就職や働くための支援を増やす	あつた仕事の場をつくる	一般企業で働くのが難しい人にも	障がいのある人の権利を守る取り組みを進める	防犯・災害時の支援体制を強化する	障がいへの理解を深める啓発や交流の機会を増やす
全体		556	47.5	44.6	34.0	30.4	29.3	27.9	26.8	24.5	20.5	14.6	10.1	8.1	7.9
障がい別	身体障がい	45	▼28.9	▼26.7	▼17.8	24.4	37.8	37.8	35.6	20.0	11.1	△33.3	11.1	8.9	6.7
	知的障がい	243	▼37.4	▼30.5	27.6	22.2	35.0	35.8	28.8	31.7	22.2	△24.7	10.7	9.1	7.4
	精神障がい	64	▼37.5	46.9	31.3	29.7	▼17.2	20.3	23.4	28.1	28.1	▼3.1	10.9	6.3	3.1
	発達障がい	296	51.0	51.7	35.1	29.7	25.3	21.3	25.0	24.7	20.6	10.5	7.1	8.8	8.4

単位：％

		母数 (n)	行政などが充実させるべき施策												
			外出や人とのやり取りをサポートするサービスの増やす	地域での医療やリハビリの体制を整える	ところとからだの健康づくりを進める	道路や建物などのバリアフリーを進める	地域でお互いに支え合う仕組みをつくる	障がいのある人向けの住宅整備や住宅改修への支援を進める	難病の人などへの相談・生活支援を強化する	ホームヘルパーなどの在宅サービスを充実させる	活動に参加しやすくする	ボランティアの育成や活動を支援する	その他	わからない	無回答
全体		556	7.7	7.6	6.8	5.8	5.4	5.2	4.9	4.3	2.9	1.6	1.6	4.9	14.2
障がい別	身体障がい	45	8.9	13.3	-	△17.8	2.2	8.9	8.9	8.9	-	-	-	6.7	15.6
	知的障がい	243	9.1	5.3	4.9	3.7	6.2	7.8	4.5	3.7	4.9	1.2	2.1	4.9	15.6
	精神障がい	64	4.7	6.3	6.3	1.6	6.3	3.1	3.1	1.6	-	1.6	1.6	3.1	26.6
	発達障がい	296	7.1	5.7	5.1	7.1	5.4	3.7	2.4	4.7	2.7	1.7	1.7	3.0	18.9

(2)「インクルーシブ教育」の認知度

問51「インクルーシブ教育」について知っていますか？(1つだけ○)

※障害者の権利に関する条約第24条によれば、「インクルーシブ教育システム」とは、人間の多様性の尊重等の強化、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組みであるとされています。(文部科学省ホームページから一部抜粋)

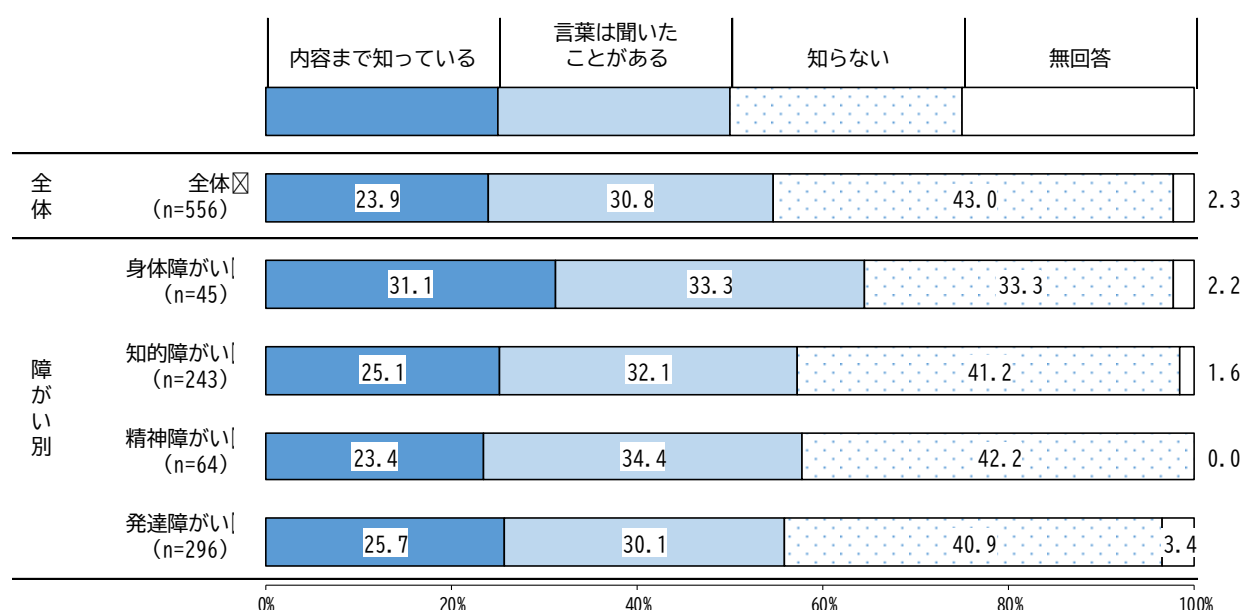
【全体】

○ 「インクルーシブ教育」の認知度について、「知らない」が 43.0%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがある」が 30.8%、「内容まで知っている」が 23.9%となっています。「内容まで知っている」「言葉は聞いたことがある」を合わせた“認知度”は 54.7%となっています。

【障がい別】

○ 身体障がいは“認知度”が他の障がいに比べてやや高くなっています。

<障がい別「インクルーシブ教育」の認知度>



(3)「インクルーシブ教育」への考え方

問52 インクルーシブ教育を進めることは、すべての子どもにとってよいことだと思いますか？

(1つだけ○)

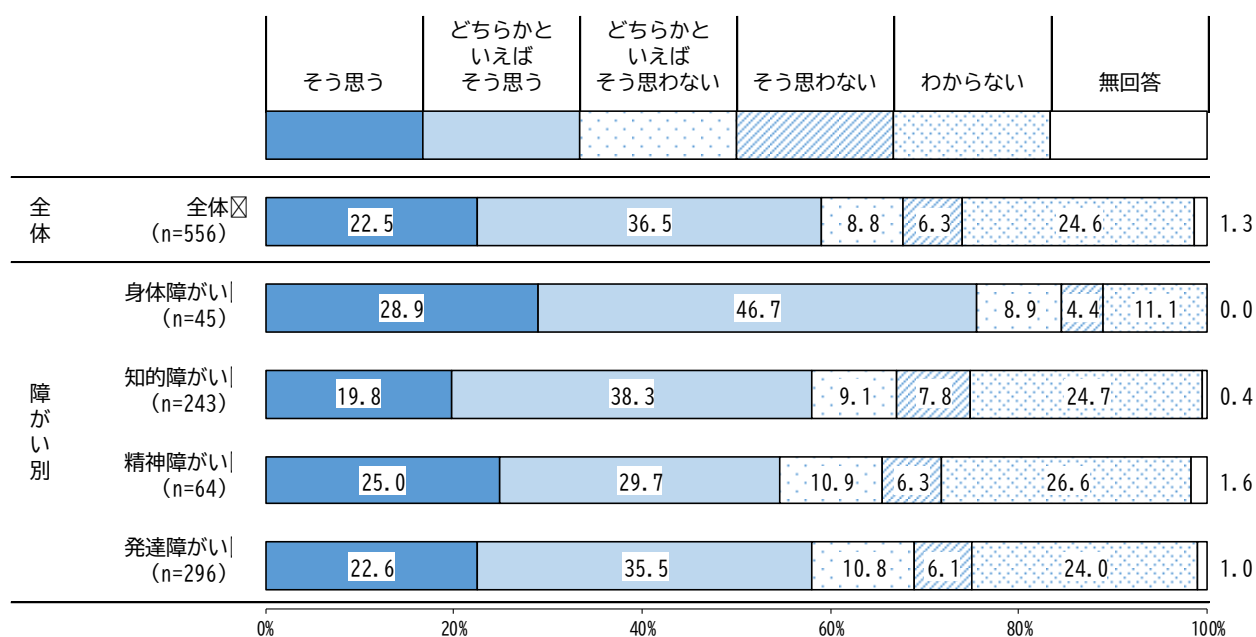
【全体】

- 「インクルーシブ教育」への考え方について、「どちらかといえばそう思う」が 36.5%で最も多く、次いで「わからない」が 24.6%、「そう思う」が 22.5%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は 59.0%となっています。「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”は 15.1%となっています。

【障がい別】

- 身体障がい者は“そう思う”が全体より 16.6 ポイント多くなっています。

<障がい別「インクルーシブ教育」への考え方>



(4)「インクルーシブ教育」への取り組み状況

問53 高槻市では、特別な支援が必要な子どもを含め、子どもたちがともに学ぶ機会の確保に向けた取り組みを進めていると思いますか？(1つだけ○)

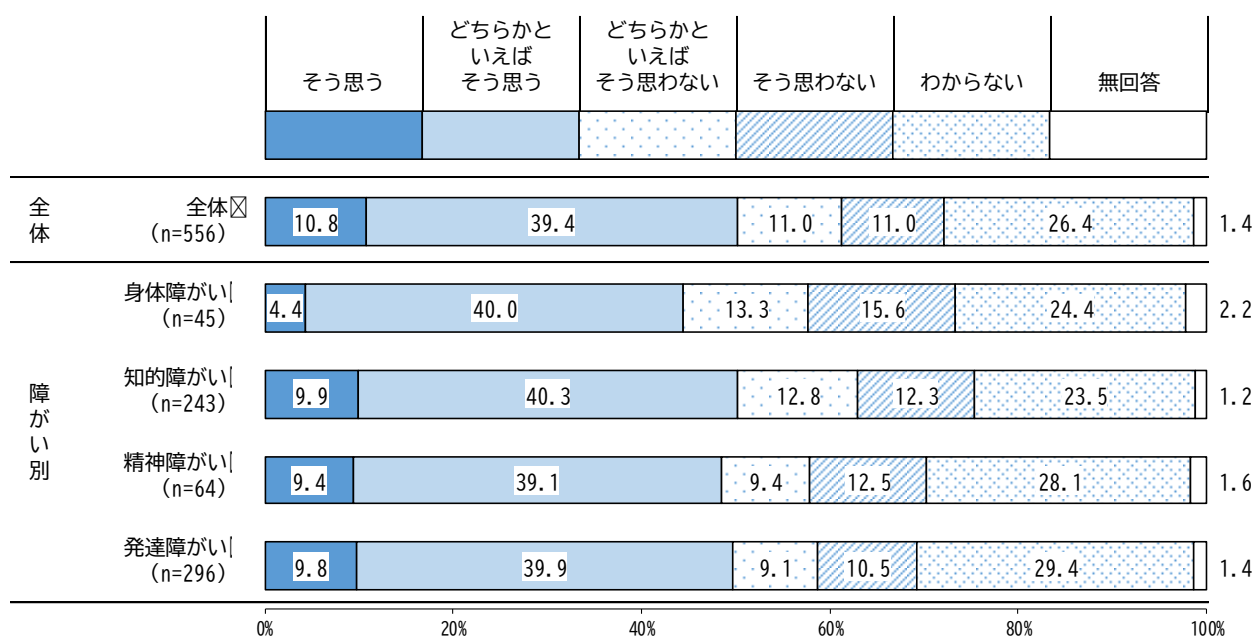
【全体】

- 「インクルーシブ教育」への取り組み状況について、「どちらかといえばそう思う」が39.4%で最も多く、次いで「わからない」が26.4%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が11.0%となっています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”は50.2%となっています。「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”は22.0%となっています。

【障がい別】

- 身体障がいでは“そう思う”が他の障がいに比べてやや少なくなっています。

<障がい別「インクルーシブ教育」への取り組み状況>



(5)自由意見

問54 さいごに、今後の障がい福祉施策の推進に向けて、高槻市や大阪府、国などへのご意見・ご要望、日ごろお困りになっていることなどを自由にお書きください。

自由記述の回答者数は、239人です。記入内容を分類した結果は以下の通りです。

分類		件数
1. 教育・学校生活 (91 件)	支援教育の充実	44 件
	インクルーシブ教育のあり方	21 件
	進路・就学先	12 件
	通学・放課後の支援	3 件
	障がい理解教育	3 件
	子ども同士の関わり方、いじめ	2 件
	学校設備	1 件
	その他	5 件
2. 早期発見・療育支援 (44 件)	療育の質と量の確保	24 件
	検査・診断の迅速化	7 件
	情報共有と連携	4 件
	放課後等デイサービス、居場所	4 件
	相談支援	3 件
	発達障がいへの理解	1 件
	その他	1 件
3. 経済的支援・所得制限 (35 件)	所得制限の撤廃・緩和、医療費軽減	21 件
	障害年金の増額、成人後の経済的不安	4 件
	消耗品・補装具の補助	3 件
	子育て費用の補助	2 件
	その他	5 件
4. 保護者の就労支援・レスパイト (23 件)	就労と看護・介護の両立	14 件
	保護者のリフレッシュや急用時の預け先の確保	4 件
	きょうだい児のケア、家族全体の精神的サポート	3 件
	その他	2 件
5. 移動・交通インフラ (10 件)	公共交通の利便性、通学支援	7 件
	移動の安全とバリアフリー	2 件
	その他	1 件
6. 施設・福祉サービス (80 件)	事業所の選定・情報提供、サービスの不足	39 件
	成人後のサービスや施設の不足	15 件
	職員の増員、専門性向上	9 件
	相談支援	3 件
	福祉サービスの質向上	2 件
	その他	12 件
7. 行政対応・情報周知 (45 件)	各種手続き、職員対応	16 件
	相談窓口の専門性、たらい回しの防止	11 件
	必要な時期に必要なサービスを案内する仕組み	8 件
	情報発信・共有	6 件
	その他	4 件
8. 社会的理解・偏見の解消 (17 件)	社会的理解・偏見の解消	12 件
	パニック等に対する周囲の理解	2 件
	多様性の尊重	2 件
	その他	1 件
9. 医療・リハビリ・災害対策 (8 件)	医療・リハビリ	4 件
	専門医療の確保	2 件
	災害時の安全確保	2 件
10. その他 (12 件)	アンケートについて	1 件
	特にない	6 件
	その他	5 件

【自由記述からみる現状と課題】

1. 教育・学校生活

【主な意見】

- 支援学級・支援学校の教員専門性への要望が多く、一人ひとりの特性に応じた支援教育が求められています。また、高校での支援級設置や、就学先決定における親の意向反映、インクルーシブ教育の現場での混乱(相性やトラブル)への対策が求められています。

【課題】

- 子どもの特性に応じた「教育の質の確保」と、義務教育終了後の「進路選択肢の拡大」が保護者にとって大きな関心事であり、重要な課題であるといえます。

2. 早期発見・療育支援

【主な意見】

- 発達検査や診断までの待機期間が長く、早期療育の機会を逃しているという焦りが多く見られます。また、療育事業所の質(専門知識)の向上を求める声も目立ちます。

【課題】

- 検査のスピードアップと、質の高い療育プログラムを身近で受けられる体制の拡充が、保護者の安心につながり、子どもにとってもより良い成長へつながると考えられます。

3. 経済的支援・所得制限

【主な意見】

- 本アンケートで最も不満が集中した項目の一つとして、「所得制限で手当や減免が受けられず、結果的に家計が赤字になる」という「働く親のジレンマ」が訴えられています。

【課題】

- 所得制限の見直し、あるいは制限を超えた世帯への実質的なコスト(補装具・オムツ・消耗品)への補助が期待されています。

4. 保護者の就労支援・レスパイト

【主な意見】

- 放課後等デイサービスの時間が短いため、フルタイム勤務ができず退職や転職を余儀なくされる実態がうかがえます。また、きょうだい児のケアや、親自身の休息のための預かり先確保への要望も多くなっています。

【課題】

- 障がい児支援は「親の就労支援」と表裏一体であり、開所時間の延長や長期休暇中の受け入れ強化が求められています。

5. 移動・交通インフラ

【主な意見】

- 特大バギーでの公共交通機関の利用のしにくさや、周囲の視線に対する苦悩が挙げられています。また、飛び出し防止などの通学路の安全確保への細かな配慮も求められています。

【課題】

- 物理的なバリアフリーだけでなく、子ども特有の行動(大声やパニック)に対する社会全体の寛容さを醸成するために様々な障がい理解の情報発信や交流機会の拡大などの取組が必要です。

6. 施設・サービス拡充

【主な意見】

- 「どこに空きがあるか分からない」という情報不足と、事業所による質の格差への不安。医療的ケア児を受け入れられる施設の少なさも課題です。

【課題】

- 空き情報のデジタル化による可視化と、医ケア児対応スタッフへの加算・支援を通じた受け皿の拡大も検討の余地があります。

7. 行政対応・情報発信

【主な意見】

- 「自分から探さないと情報は入ってこない」という不満の声があり、就学や更新などのライフイベントに合わせた「プッシュ型」の案内が求められています。

【課題】

- 相談支援員の質の平準化と、ライフステージごとの必要な情報をまとめた「高槻市子育て情報誌 WAIWAI カフェ」や「子育て応援アプリ」の周知と情報の充実が必要です。

8. 社会的理解・偏見

【主な意見】

- 子どものパニックや多動に対し、周囲の「しつけがなっていない」という視線が親を追い詰めている現状への指摘もあります。

【課題】

- 障がい児を「個性」として認める教育の徹底と、ヘルプマーク等の正しい理解を広める草の根の啓発活動が重要です。

9. 医療・リハビリ・災害

【主な意見】

- 障がい児を診られる歯科や精神科が不足していること、また災害時にパニックを起こす子が避難所に行けないことへの不安が挙げられています。

【課題】

- 専門医療機関とのネットワーク構築と、福祉避難所の周知・個別避難計画の具体化が急務です。

10. その他

【主な意見】

- 自立した生活への道のりが知りたい、本人も家族もそれぞれ困難を抱えているなどの声が挙げられています。

【課題】

- 家族を含む当事者の立場に立った情報提供やきめ細やかな対応が必要です。

IV 調査票

1. 障がい者調査

たかつきふくし かん 高槻市福祉に関するアンケート きょうりよく ご協力のお願い

みなさまには、日ごろから高槻市行政へのご理解、ご協力をありがとうございます。
このアンケート調査は、無作為で選ばせていただいた障がい者手帳や通所受給者証・特定医療受給者証をお持ちの方、自立支援医療費助成を申請されている方にお送りしています。

みなさまの回答は、高槻市の障がい児者に関する福祉政策を考えるための参考になります。
この調査は名前を書かずにお答えください。回答者が特定されることはありません。回答された内容は、計画策定や施策を考えるために使用し、その他の目的で使われることはありません。ぜひご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

令和7年12月

高槻市長 濱田 剛史

- この調査票の「あなた」とは、障がいや疾患のあるご本人のことです。ご本人が記入できないときは、ご本人の立場になって、保護者の方や代わりの方が記入してください。

わからないときは



たずけてもらって 聞いてください。



- 答えたくない質問は、無理に答えなくてかまいません。
- アンケートは、インターネットでも回答できます。調査票の1ページをごらんください。

アンケートは1月31日（土）までに回答してください。

【問い合わせ先】
高槻市健康福祉部 福祉事務所 障がい福祉課
電話 072-674-7164 FAX 072-674-7188



たかつきしふくし かん
高槻市福祉に関するアンケート調査

《インターネットでの回答方法》

- ① パソコンやスマートフォンから、下記URLまたは2次元コードにアクセスし、IDでログインし、回答してください。(IDは無作為に付与しており、回答者が特定されることはありません。)
- ② 回答は途中で保存できますが、送信後の修正はできません。
- ③ 回答の入力は、1月31日(土)24時までにお願ひします。

【URL】 <https://smilesurvey.co/s/252a36f8/o>

調査用ID:

2次元コード



あなたやご家族について
「(あなた)とは、障がいや疾患のあるご本人のことです」

問1 このアンケートを記入されたのはどなたですか (1つだけ○)

1. ご本人が記入
2. ご本人が答えて、家族の人が記入
3. ご本人にかわって家族の人が記入
4. その他 (具体的に:)

問2 あなたの年齢と性別をお聞ひします。令和7年1月1日現在の満年齢をご記入ください。(それぞれ1つだけ○)

年齢	満 (歳)
性別	1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない



問3 あなたは、現在どのようなところで暮らしていますか? (1つだけ○)

1. ひとりで暮らしている
2. 家族などと一緒に暮らしている
3. 障がいのある人のためのグループホームで暮らしている
4. 障がいのある人のための入所施設で暮らしている
5. 特別養護老人ホームなど高齢者のための入所施設で暮らしている
6. 一定の支援や介護を受けながら、自宅の環境に近いサービス付き高齢者向け住宅で暮らしている
7. 病院に入院している
8. その他 (具体的に:)

問4 あなたは生活するための収入をどのように得ていますか? (いくつでも○)

1. 自分で働いた給料
2. 通所施設などの工賃
3. 自分の障がい年金や老齢年金など
4. 障がい者手当
5. 自分の預金などの利子
6. 家賃・地代などの財産収入
7. 家族が働いたお金
8. 家族の年金
9. 生活保護費
10. その他 (具体的に:)

問5 あなたがご持ちの手帳の種類・等級 (程度) は何ですか? また、自立支援医療の受給や発達障がいの診断などを受けていますか? (いくつでも○)

1. 身体障がい者手帳 →問5-1へ
⇒総合等級は 1. 1級 2. 2級 3. 3級
4. 4級 5. 5級 6. 6級
2. 療育手帳
⇒判定は 1. A 2. B1 3. B2
3. 精神障がい者保健福祉手帳
⇒等級は 1. 1級 2. 2級 3. 3級
4. 医師から発達障がいと診断されたり、その疑いがあると言われたことがある →問6へ
5. 医師から高次脳機能障がいと診断されたり、その疑いがあると言われたことがある
6. 自立支援医療 (精神通院) の医療費助成を受けている
7. 特定疾患 (指定難病) の医療費助成を受けている



問5で1を選んだ方にお聞きます。

問5-1 身体障がい者手帳をお持ちの方にお聞きます。障がいの種類は何ですか？
(いくつでも○)

1. 視覚障がい
2. 聴覚・平衡機能障がい
3. 音声・言語・そしゃく機能障がい
4. 肢体不自由
5. 内部障がい(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、がん臓)

問5で4を選んだ方にお聞きます。

問6 「発達障がい」を初めて認識したきっかけは、次のうちどれにあてはまりますか？
(1つだけ○)

1. 定期健診(幼児健康診査)で指摘された
2. 病院で医師から指摘された ⇒ ()歳ごろ
3. 就学時健康診断のときに指摘された
4. 保育所・幼稚園、学校などの先生や職員に指摘された ⇒ ()歳ごろ
5. 家族が気づいた ⇒ ()歳ごろ
6. 知人から指摘された ⇒ ()歳ごろ
7. その他(具体的に:)
8. おぼえていない、忘れた

全員にお聞きます。

問7 あなたは、医療的ケアを受けていますか？(1つだけ○)
※医療的ケアとは、「たん吸引」「中心静脈栄養法(IVH)」「人工呼吸器(レスピレーター)」「気管切開の処置」「経管栄養(胃ろうなど)」などを指します。

1. 受けている(医療的ケアの内容:)
2. 受けていない



問8 あなたは、障がい支援区分の認定を受けていますか？(1つだけ○)

※障がい支援区分とは、障がいの多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すものです。

1. 受けている
⇒ 区分は
1. 区分1
2. 区分2
3. 区分3
4. 区分4
5. 区分5
6. 区分6
2. 受けていない

問9 次のような動作のうち、人の介助や支援(指示、声かけ、促しなども含む)を必要とされるものはありますか？(いくつでも○)

※補装具や自助具などを使用されている方は、それらを使用した状態の動作であてはまるものを選んでください。

1. 食事をする
2. トイレを使う
3. 洗顔・歯磨き・化粧・髪をとく
4. 服を着たり、脱いだりする
5. 風呂に入る
6. 寝返り、起きあがりをする
7. 家の中を移動する
8. 外出や日常の買い物
9. バスや電車を利用する
10. 自分の考えを相手に伝える
11. 相手が話すことを理解する
12. 薬を飲む
13. 炊事・掃除・洗濯などの家事
14. お金の計算や管理をする
15. 文字を読んだり書いたりする
16. その他(具体的に:)
17. 介助や支援は必要ない ⇒ 問14へ



介護や支援が必要な方にお聞きします。

問10 あなたを主に介護・支援している方はどなたですか？（1つだけ○）

1. 親	2. 夫・妻・パートナーなど
3. 子	4. 祖父母
5. 他の家族・親戚の人	6. 友人・知人
7. ホームヘルパーや、施設・グループホームの職員	⇒問14へ
8. その他（具体的に：_____）	⇒問14へ

問10で1～6を選んだ方にお聞きします。

問11 あなたを主に介護・支援している方の年齢は？（1つだけ○）

1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上

問12 あなたを主に介護・支援している方が行うあなたの介護時間は1日あたりどの程度ですか？（1つだけ○）

1. 1時間未満	2. 1～3時間未満	3. 3～6時間未満
4. 6～12時間未満	5. 12時間以上	

問13 あなたを主に介護・支援している方が、病氣や旅行などで一時的に介護・支援できないとき、どうされていますか？（主なもの3つまでに○）

1. 他の家族が介護・支援している

2. 近所の人や友人などをお願いしている

3. ボランティアなどに来てもらっている

4. 短期入所（ショートステイ）や日中一時支援（日帰りショート）を利用している

5. 訪問系サービスの事業所に頼む

6. その他（具体的に：_____）

7. 誰にも頼まず自分でできる範囲でがんばっている



日中の活動や社会参加について

問14 あなたは、平日の昼間の時間は、どのようにして過ごしていますか？（主なもの3つまでに○）

1. 自宅で過ごしている	2. 入所施設や病院などで過ごしている
3. 学校に通っている	4. 仕事（一般就労）をしている
5. 通所施設に通っている	6. 職業訓練を受けている
7. 診察・治療や機能訓練を受けている	8. 買い物や散歩などで出かけている
9. 趣味やスポーツ活動などをしている	
10. その他（具体的に：_____）	

問15 あなたは、どのくらい外出（通勤・通所・通院を含む）していますか？（1つだけ○）

1. ほとんど毎日	2. 週に2～3回	3. 週1回程度
4. 2週間に1回程度	5. 月に1回程度	6. ほとんど外出しない

問16 あなたは、外出されるとき、付き添いの人が必要ですか？（1つだけ○）

1. ひとりで外出できる	2. 家族に付き添ってもらう
3. ガイドヘルパーに付き添ってもらう	4. その他（具体的に：_____）



問14 3～5を選んだ方にお聞きします。

問17 仕事や通所施設、学校などの休みの日には、どのように過ごしていますか？
(主なもの3つまでに○)

1. サークル活動などに参加している
2. 外で遊んだり、スポーツをしている
3. 公民館や図書館などで過ごしている
4. 買い物に出かけている
5. 気分転換などで散歩や外出している
6. 決まった用事はないが外で過ごしている
7. 家（グループホームを含む）の中で過ごしている
8. 入所施設の中で過ごしている
9. その他（具体的に：_____）

全員にお聞きします。

問18 あなたにとって、障がいのある人や難病にかかっている人の地域社会への参加を
しにくくさせているのは何だと思えますか？（主なもの3つまでに○）

1. 身近なところで参加できる行事や活動が少ない
2. どんな行事や活動があるかわからない（情報が伝わってこない）
3. イベント会場などへの移動・交通手段が不便で利用しにくい
4. 移動やコミュニケーションの支援を行う人が身近にいない
5. 行事や活動の内容や会場が障がいのある人や難病にかかっている人の参加に配慮されていない
6. 家族の理解が得られない（参加することに反対される）
7. 一緒に参加する仲間がいらない
8. 地域の人の障がいに対する理解が乏しい
9. その他（具体的に：_____）
10. 特に社会参加をしにくくさせていることはないと思う
11. わからない、思いつかない

問19 あなたにとって、外出時に困っていることは何ですか？（主なもの3つまでに○）

1. 歩道のない道などを歩いているときに、自動車や自転車などが危ないと感じる
2. 道路や建物の段差などがあり、移動しにくい
3. 電車やバスの乗り降りがしにくい
4. 自転車の駐輪や看板が置かれているなど路上が通りにくい
5. 障がいに配慮された駐車スペースやトイレなどの設備が整っていない
6. 交通機関や建物などの案内が少ない
7. 交通機関や建物などの案内がわかりにくい
8. 付き添いや介助してくれる人がいない
9. 人の見る目や言葉が気になる
10. 人とのコミュニケーションが難しい
11. いじめや意地悪をされるのがこわい
12. その他（具体的に：_____）
13. 特に困っていることはない

仕事について

問20 あなたは現在、働いていますか？（1つだけ○）

1. 正社員
2. 正社員以外（アルバイト、パート、契約社員、派遣社員、日雇いなど）⇒問21へ
3. 自営業
4. 就労継続支援A型事業所を利用
5. 就労継続支援B型事業所を利用
6. 就労移行支援事業所を利用
7. 就労選択支援事業所を利用
8. 生活介護や地域活動支援センターで生産活動をしている
9. 働いていない（生産活動はしていない）⇒問22へ

問20で1～3を選んだ方にお聞きします。

問21現在の仕事はどのようにして見つけられましたか？（1つだけ○）

1. 公共職業安定所（ハローワーク）で

2. 障がい者就業・生活支援センターで

3. 市役所など行政機関などで

4. 就労移行支援事業所などで

5. 学校・職業訓練施設などで

6. 知人の紹介や縁故関係で

7. 自分や家族で探した

8. 障がいや病気になる前から働いていた

9. その他（具体的に：_____）

全員にお聞きします。

問22あなたが、問20で答えた現在の働き方を変えたいと思いますか。（1つだけ○）

1. 変えたいと思う

2. 変えたいと思わない⇒問23へ

問22で1を選んだ方にお聞きします。

問22-1変えたいと思う人はどのように変えたいですか。（1つだけ○）

1. 正社員

2. 正社員以外（アルバイト、パート、契約社員、派遣社員、日雇いなど）

3. 自営業

4. 就労継続支援A型事業所を利用

5. 就労継続支援B型事業所を利用

6. 就労移行支援事業所を利用

7. 生活介護や地域活動支援センターで生産活動をする

8. 働かない（生産活動はしない）

9

全員にお聞きします。

問23働く際の条件として、大切なと思うことは何ですか？（主なもの3つまでに○）

1. 賃金が納得できること

2. 通院可能など健康上の保障があること

3. 自分の障がいや病気にあった仕事であること

4. 障がいや病気に応じた設備や環境が整っていること

5. 自宅ですることであること

6. 職場が近く通いやすいこと

7. 通勤の手段や方法が確保できること

8. 勤務中もヘルパーなどの身体的支援を受けられること

9. ジョブコーチなどの支援者や困ったときに相談できる人がいること

10. 仕事の面で認めてもらえること

11. 人間関係がうまくいくこと

12. その他（具体的に：_____）

保健・医療について

問24あなたは、どのくらい定期的に病院や診療所に通院されていますか？

(1つだけ○)

1. 週2回以上

2. 週1回程度

3. 2週間に1回程度

4. 月に1回程度

5. 2～3か月に1回程度

6. 入院している

7. 通院・入院ともしない

問25あなたは、障がい者医療に関する制度を利用していますか？（いくつでも○）

1. 自立支援医療の精神通院医療

2. 自立支援医療の更生医療

3. 重度障がい者医療費助成

4. 特定医療（指定難病）

5. その他（具体的に：_____）

6. 利用していない

10

172

問26 1か月あたりの医療費の自己負担分は、平均するとどれくらいになりますか。

(1つだけ○)

※公的医療費助成や、高額療養費を受けた後に必要となる自己負担分について回答してください。

※かせ等の突発的な事由により一時的に必要となる医療費は除きます。

※あなたの生活のしづらさの直接の原因となっている障がい、病气、けが等のための医療、あなたの生活のしづらさとは直接関連のない医療を両方含めた金額を回答してください。

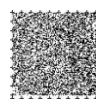
※定期的に入院している場合は、それも含みます。

- 0円（生活保護の医療扶助等で自己負担が全額免除されている場合等）
- 1円以上3千円未満
- 3千円以上1万円未満
- 1万円以上3万円未満
- 3万円以上6万円未満
- 6万円以上

問27 あなたは、保健・医療面で不安に思っていること、困っていることは何ですか？

(主なもの3つまでに○)

- 障がい重くなったり病状が進むこと
- 生活習慣病などの病气がある
- 健康診断が受けられない、受けにくい
- 近くで専門的な治療を受けられない
- 自分が望む医療が受けられない
- 障がいや病気に理解や経験のある医師が少ない
- 症状を伝えにくい、説明がわからない
- 診療の受付や案内がわかりにくい
- 介助者や付き添ってくれる人がいない
- お金がかかる
- 交通が不便、移動が大変
- 養育・発達について相談するところがない
- こころの病気にについて相談するところがない
- その他（具体的に：_____）
- 特に不安や困っていることはない



情報や相談について

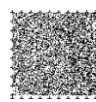
問28 あなたは、パソコンやスマートフォンなどで情報を集められますか？

(1つだけ○)

- パソコンやスマホなどを使い、インターネットやSNSで情報を集められる
- パソコンやスマホなどを使えるように訓練・練習している
- 今は使えないが、今後使えるようになりたいと考えている
- その他（具体的に：_____）
- いずれも使えない

問29 あなたや、あなたのご家庭では、保健・福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか？（主なもの3つまでに○）

- 市役所や支所、社会福祉協議会の窓口、案内パンフレット、広報誌、ホームページ
- 相談支援事業所などの職員
- 福祉施設、病院・診療所の職員やヘルパー
- 障がい者グループや団体
- 同じ障がいがあり相談のつてくれる人（ピアカウンセラー）
- 障がい者相談員
- 家族（介助者）の悩みを受け止める家族相談員、ペアレント・メンター等のピアサポーター
- 家族・親戚
- 友人・知人・近所の人
- 民生委員児童員
- テレビ・ラジオ
- 新聞、雑誌など紙媒体
- インターネット検索、SNS（X、Instagram等）、動画配信サービス（YouTube等）
- その他（具体的に：_____）
- 情報を得るところがない



問30 あなたや、あなたのご家庭では、困ったことや相談したいことがあるときに、誰（ど）に相談しますか？（主なもの3つまでに○）

1. 家族、パートナー	2. 友人・知人・近所の人
3. 市役所や保健所の職員	4. 相談支援事業所などの職員
5. 福祉施設の職員やヘルパー	6. 病院・診療所の医師や看護師
7. 障がい者グループや団体の人	8. 職場・学校の人
9. 同じ障がいがあり相談にのってくれる人（ピアカウンセラー）	
10. 障がい者相談員	
11. 家族（介助者）の悩みを受け止める家族相談員、ペアレント・メンター等のピアサポーター	
12. 社会福祉協議会（コミュニティソーシャルワーカー（C・S・W）含む）	
13. 民生委員児童委員	
14. インターネット	
15. その他（具体的に：_____）	
16. 相談したいが誰もいない	
17. 誰にも相談はしない	

問31 あなたや、あなたのご家庭では、相談支援体制について、希望することは何ですか？（主なもの3つまでに○）

1. 福祉の専門職を配置した相談窓口の充実
2. 同じ障がいがある相談員によるカウンセリング（ピアカウンセリング）
3. 地域に開設され身近な場所で相談できる窓口
4. 家族（介助者）の悩みを受け止める家族相談員、ペアレント・メンター等のピアサポート
5. 休日や夜間の電話相談
6. 障がいにかかわる診断や療育、治療・ケアに関する専門的な相談
7. 医療・福祉・保健・教育・住宅など、各分野が連携した総合的で一貫した相談支援体制
8. 将来の自立生活に向けた指導や相談
9. その他（具体的に：_____）
10. 特になし

問32 あなたや、あなたのご家庭では、「高槻市自立支援協議会」を知っていますか？（1つだけ○）

※高槻市自立支援協議会は、障がい者やその家族、事業者、医療機関、市役所などの関係機関が、協力して地域の課題に取り組むために、相互の連絡を図る会議です。

1. 知っている	2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	3. 知らない
----------	-----------------------	---------

問33 あなたや、あなたのご家庭では、「成年後見制度」を知っていますか？（1つだけ○）

※成年後見制度は、判断能力が十分でない人の財産や権利を、不当な契約等から守るために、周りの人が後見人となって判断を補うための制度です。

1. 利用している	2. 知っているが、利用はしていない
3. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	4. 知らない

災害など緊急時の対応について

問34 あなたは、災害時の最寄りの避難所を知っていますか？（1つだけ○）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問35 地震などの災害が発生して、あなた自身で避難できないときなどに、手助けをしてくれる人や頼りにできる人がいますか？（主なもの3つまでに○）

1. 同居している人	2. 同居していない家族・親戚
3. 友人・知人	4. 職場・学校の人
5. 福祉施設の職員やヘルパー	6. 障がい者グループや団体の人
7. 民生委員児童委員	8. 近所の人や自治会の人
9. ボランティア	10. 消防や警察
11. その他（具体的に：_____）	
12. ひとりで避難できる	
13. 頼りにできる人はいない	

問36 障がい（しょうがい）を理由（りゆう）として避難所（ひなんしょ）への避難（ひなん）にためらいを感じますか？（1つだけ○）

1. とても感じる 2. 多少（たう）感じる
3. あまり感じない ⇒ 問38 へ ⇒ 問38 へ
4. まったく感じない

問36 で1または2を選んだ方（かた）にお聞きします。

問37 ためらいを感じる理由（りゆう）は何（なん）ですか？（主なもの3つまでに○）

1. 必要（ひつよう）な配慮（はいり）が得（え）られないから
2. 意思（いし）疎（そ）通（つう）がうまくできないから
3. 周囲（しゅうい）の目（め）が気になるから
4. プライバシー（ぷらいばしー）に対する配慮（はいり）がないから
5. 服用（ふくよう）している薬（くすり）が手（て）に入（い）らないから
6. 多機能（たきんねう）トイレやエレベーター（えりべーター）などのバリアフリー設備（せつび）が整（ととの）っていないから
7. 迷惑（めいわく）をかけると思（おも）ってしまうから
8. 障（しょう）がい特性（とくせい）が理解（りかい）されないから
9. その他（その他）（具体的に：_____）

全員（ぜんいん）にお聞きします。

問38 火事（かじ）や地震（じしん）等の災害（さいがい）時に困（こま）ることは何（なん）ですか？（いくつでも○）

1. 投薬（とうやく）や治療（ちりよう）が受けられない 2. 補装具（ほそうぐ）の使用（しよう）が困難（こんなん）になる
3. 補装具（ほそうぐ）や日常生活用具（にちじようせいかうようぐ）の入手（にゆうしゆ）ができなくなる
4. 救助（きうすう）を求めることができない
5. 安全（あんぜん）なところまで、迅速（すみずん）に避難（ひなん）することができない
6. 被害（ひがい）状況（じようきよう）況（きよう）、避難場所（ひなんばしょ）などの情報（じようほう）が入（い）手（て）できない
7. 周囲（しゅうい）とコミュニケーション（コミュニケーション）がとれない
8. 避難場所（ひなんばしょ）の設備（せつび）（トイレ等（とう））や生活環境（せいかくかんきよう）が不安（ふあん）
9. その他（その他）（具体的に：_____）
10. 特にない



将来（しょうらい）の暮らしについて

問39 あなたは、今（いま）から10年後（ごじゅうねんご）は、どのような生活（せいかつ）を望（のぞ）みますか？（1つだけ○）

1. ひとりで暮（く）らす
2. 家族（かぞく）などと一緒（いっしょ）に暮（く）らす
3. 障（しょう）がいのある人（ひと）のためのグループホーム（ぐるーぷほーむ）で暮（く）らす
4. 障（しょう）がいのある人（ひと）のための入所施設（にゅうしよしせつ）で暮（く）らす
5. 特別養護老人ホーム（とくべつようごろうじんほーむ）など高齢者（こうれいしゃ）のための入所施設（にゅうしよしせつ）で暮（く）らす
6. 一定（いってい）の支援（しえん）や介護（かいご）を受けながら、自宅（じたく）の環境（かんきよう）に近いサービス付き高齢者向け住宅（サービスつきこうれいしゃむけりやうたく）で暮（く）らす
7. その他（その他）（具体的に：_____）
8. わからない

問40 あなたは将来（しょうらい）のことのでどのような不安（ふあん）を感じますか？（主なもの3つまでに○）

1. 一緒に暮（く）らす人の高齢化（こうれいか）や亡（な）くなったときなどのこと
2. 身の回り（みまわり）の世話（せわ）や介護（かいご）のこと
3. 住む場所（すむばしょ）のこと
4. 収入（しゅうにゅう）などの経済（けいぎ）的なこと
5. 学校（がっこう）や通所施設（つうしよしせつ）など進路（しんろ）のこと
6. 就職（しゅうしょく）や仕事（しごと）のこと
7. 趣味（しゅみ）や生きがい（いきがい）のこと
8. 健康（けんこう）や体力（たいりく）のこと
9. その他（その他）（具体的に：_____）
10. わからない
11. 特に不安（ふあん）に感じることはない



福祉サービスなどについて

問41 障がい福祉サービス等についておたずねします。(それぞれ、あてはまるものすべてに○)

①現在利用しているサービス

③不満に思ったことがあるサービス

	①現在利用しているサービス	②今使いたいサービス	③不満に思ったことがあるサービス
1.	介護や家事を手伝うホームヘルパー	1	1
2.	外出時の付き添いや介助	2	2
3.	会話などコミュニケーションの支援	3	3
4.	補装具や日常生活用具	4	4
5.	訪問看護サービス	5	5
6.	短期入所（ショートステイ）や日中一時支援	6	6
7.	自立した生活や働くための訓練（生活訓練、就労選択支援、就労継続支援A型・B型、就労移行支援、就労定着支援）	7	7
8.	日中の居場所となる通所施設（生活介護、地域活動支援センターⅠ型～Ⅲ型、医療デイケア）	8	8
9.	グループホーム	9	9
10.	入所施設	10	10
11.	日常生活自立支援事業（金銭管理など）	11	11
12.	その他（具体的に：_____）	12	12
13.	この中にはない	13	13



問42 利用して不満に思ったことがあるサービスについておたずねします。不満に思った内容を下の選択肢から選んで数字を記入してください。

	(それぞれに、主なもの3つまで数字を記入) 【記入例】10. 入所施設	1	2
1.	介護や家事を手伝うホームヘルパー		
2.	外出時の付き添いや介助		
3.	会話などコミュニケーションの支援		
4.	補装具や日常生活用具		
5.	訪問看護サービス		
6.	短期入所（ショートステイ）や日中一時支援		
7.	自立した生活や働くための訓練（生活訓練、就労選択支援、就労継続支援A型・B型、就労移行支援、就労定着支援）		
8.	日中の居場所となる通所施設（生活介護、地域活動支援センターⅠ型～Ⅲ型、医療デイケア）		
9.	グループホーム		
10.	入所施設		
11.	日常生活自立支援事業（金銭管理など）		
12.	その他（具体的に：_____）		

不満に思った内容	
1. サービス内容が障がい特性にあてはまらない	2. 身近なところでサービスを利用できない
3. 利用したい日・時間に利用できない	4. 利用回数・時間などに制限がある
5. 利用料が高い	6. 急な変更に応じてもらえない
7. 事業所が契約してくれない	8. 事業所などの担当者の対応がよくない
9. 事業所などの担当者がよくかわる	10. 事業所の担当者の知識や経験が不足している
11. 本人や家族の意向を尊重してもらえない	12. プライバシーなどの配慮に欠けている
13. 建物や設備が障がい者に配慮されていない	14. 他の利用者との相性を配慮してもらえない
15. サービス内容に関する情報が少ない	16. 相談や手続きに時間がかかる
17. 障がい支援区分の認定に疑問がある	18. その他



問43 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか？（1つだけ○）

1. 認定を受けている

⇒認定結果は 1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. 非該当(自立)

2. 認定は受けていない ⇒問45へ

問43で1を選んだ方にお聞きます。

問44 介護保険のサービスを利用していますか？（1つだけ○）

1. 利用している

2. 利用していない

障がい者虐待の防止・障がい者差別の解消について

問45 あなたやあなたのご家族は、「障害者虐待防止法」を知っていますか？

（1つだけ○）

1. 知っている

3. 知らない

2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない

問46 あなたやあなたのご家族は、障がい者虐待の相談や通報先として、障がい者虐待防止センターが市役所にあるのを知っていますか？（1つだけ○）

1. 知っている

2. 知らない

問47 あなたやあなたのご家族は、障がい者の地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障がい者基幹相談支援センターが市役所にあるのを知っていますか？（1つだけ○）

1. 知っている

2. 知らない

問48 あなたやあなたのご家族は、「障害者差別解消法」を知っていますか？

（1つだけ○）

※障害者差別解消法は、「不当な差別的取り扱い（障がいがあることで障がいのない人たちは違う扱いをすること）」と「合理的配慮（それぞれの障がいにあった必要な工夫）をしないこと」を差別として定めた法律です。

1. 知っている

2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない

3. 知らない

問49 あなたは、ここ3年以内に、障がいや病気があったことで差別を受けたことや、偏見や疎外感などを感じたことがありますか？（1つだけ○）

1. ある

2. ない

3. わからない

問49で1を選んだ方にお聞きます。

問50 どのようなときに差別や偏見、疎外感などを感じたことがありますか？

（主なものを3つまでに○）

1. 進学するとき

2. 学校生活

3. 就職・就労のとき

4. 職場生活

5. 近所付き合い

6. 地域の行事や集まり

7. 入店拒否や店員の態度

8. 入居拒否

9. 診療拒否

10. 乗車拒否

11. 交通機関や建築物などでの配慮のなさ

12. まちかどでの人の視線

13. 市役所などでの応対・態度

14. その他（具体的に：_____）

問51 差し支えなければ、あなたが経験されたことを具体的に書きください。



全員にお聞きします。

問52 あなたやあなたのご家族は、市民の障がい者理解は、ここ5年で深まったと思いますか？（1つだけ○）

1. かなり深まったと思う
2. ある程度深まったと思う
3. あまり深まったとは思わない
4. 深まったとは思わない

障がいのある人もない人もともに安心して暮らせる“高槻”に向けて

問53 障がいのある人が安心して自立した生活を送れるようにするために、高槻市などの行政が充実させべき施策は何だと思いますか？
（最も必要だと思うものから順に5つまで選んで下の回答欄に番号を記入）

【ア】相談・支援体制の充実	1. 身近に相談できる場所や人を増やす 2. 制度やサービスの情報をわかりやすく伝える 3. 障がいのある人の権利を守る取り組みを進める 4. 難病の人などへの相談・生活支援を強化する
【イ】健康・医療・在宅生活の支援	5. ところからただの健康づくりを進める 6. 地域での医療やリハビリの体制を整える 7. ホームヘルパーなどの在宅サービスを充実させる
【ウ】住まい・暮らしの場づくり	8. グループホームなど、地域で暮らせる住まいを増やす 9. 日中の活動や居場所となる施設・サービスを充実させる 10. 年金・手当・医療費の助成を厚くする
【エ】子どもと教育への支援	11. 療育や発達支援の体制を整える 12. 子ども一人ひとりにあった教育・指導を進める
【オ】仕事・働く場の支援	13. 障がいのある人の就職や働くための支援を増やす 14. 一般企業で働くのが難しい人にもあった仕事場をつくる
【カ】外出・社会参加の支援	15. 外出や人とのやり取りをサポートするサービスを増やす 16. スポーツ・レクリエーション・文化活動に参加しやすくする 17. 障がいへの理解を深める啓発や交流の機会を増やす 18. 地域でお互いに支え合う仕組みをつくる
【キ】生活環境の改善	19. ボランティアの育成や活動を支援する 20. 道路や建物などのバリアフリーを進める
【ク】家族への支援	21. 障がいのある人向けの住宅整備や住宅改修への支援を進める 22. 防犯・災害時の支援体制を強化する
【ケ】その他	23. 家族がリフレッシュできる支援を行う 24. （具体的に：_____） 25. わからない

回答欄	最も必要	2番目	3番目	4番目	5番目



問54 さいごに、今後の障がい福祉施策の推進に向けて、高槻市や大阪府、国などへの
ご意見・ご要望、白ごろうお困りになっていることなどを自由に書きください。

ご協力ありがとうございました。

調査票は同封した返信用封筒に入れ

1月31日(土)までに切手を貼らずに投函してください。



2. 障がい児調査

たかつきふくし かん 高槻市福祉に関するアンケート きょうりよく ねが ご協力のお願い

みなさまには、日ごろから高槻市行政へのご理解、ご協力をありがとうございます。

このアンケート調査は、無作為で選ばせていただいた障がい者手帳や通所受給者証・特定医療受給者証をお持ちの方、自立支援医療費助成を申請されている方にお送りしています。

みなさまの回答は、高槻市の障がい児者に関する福祉政策を考えるための参考にします。

この調査は名前を書かずにお答えください。回答者が特定されることはありません。回答された内容は、計画策定や施策を考えるためにだけ使用し、その他の目的で使われることはありません。ぜひご協力いただきますよう、よろしく願います。

れいわ ねん がつ
令和7年12月

たかつきしちょう はまだ たけし
高槻市長 濱田 剛史

- この調査票の「あなた」とは、障がいや疾患のあるご本人のことです。ご本人が記入できないときは、ご本人の立場になって、保護者の方や代わりの方が記入してください。

わからなときは



たすけてもらって かいてください。



- 答えたくない質問は、無理に答えなくてかまいません。
- アンケートは、インターネットでも回答できます。調査票の1ページをごらんください。

アンケートは1月31日（土）までに回答してください。

【問い合わせ先】
あ 高槻市健康福祉部 福祉事務所 障がい福祉課
と 電話 072-674-7164 FAX 072-674-7188
てんわ ぶあつくす



たかつきしふくし かん
高槻市福祉に関するアンケート調査

《インターネットでの回答方法》

- ① パソコンやスマートフォンから、下記URLまたは2次元コードにアクセスし、I Dでログインし、回答してください。(I Dは無作為に付与しており、回答者が特定されることはありません。)
- ② 回答は途中で保存できますが、送信後の修正はできません。
- ③ 回答の入力は、1月31日(土)24時までにお願ひします。

【URL】 <https://smilesurvey.co/s/5f2e6acd/o>

調査用I D:



2次元コード

あなたやご家族について
(「あなた」とは、障がいや疾患のあるご本人のことです)

問1 このアンケートを記入されたのはどなたですか (1つだけ○)

1. ご本人が記入
2. ご本人が答えて、家族の人が記入
3. ご本人にかわって家族の人が記入
4. その他 (具体的に:)

問2 あなたの年齢と性別をお聞ひします。令和7年1月1日現在の満年齢をご記入ください。(それぞれ1つだけ○)

年齢	満 (歳)
性別	1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない



問3 あなたは、現在どのようなところで暮らしていますか? (1つだけ○)

1. ひとりで暮らしている
2. 家族などと一緒に暮らしている
3. 障がいのある人のためのグループホームで暮らしている
4. 障がいのある人のための入所施設で暮らしている
5. 病院に入院している
6. その他 (具体的に:)

問4 あなたがお持ちの手帳の種類・等級 (程度) は何ですか? また、自立支援医療の受給や発達障がいの診断などを受けていますか? (いくつでも○)

1. 身体障がい者手帳
⇒ 総合等級は 1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級 6. 6級
2. 療育手帳
⇒ 判定は 1. A 2. B1 3. B2
3. 精神障がい者保健福祉手帳
⇒ 等級は 1. 1級 2. 2級 3. 3級
4. 医師から発達障がいと診断されたり、その疑いがあると言われたことがある ⇒ 問5へ
5. 医師から高次脳機能障がいと診断されたり、その疑いがあると言われたことがある
6. 自立支援医療 (精神通院) の医療費助成を受けている
7. 特定疾患 (指定難病) の医療費助成を受けている

問4-1 問4で1と選んだ身体障がい者手帳をお持ちの方にお聞ひします。障がいの種類は何ですか? (いくつでも○)

1. 視覚障がい 2. 聴覚・平衡機能障がい
3. 音声・言語・そしゃく機能障がい 4. 肢体不自由
5. 内部障がい (心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、免疫、肝臓)



問4 4で4を選んだ方にお聞きます。

問5 「発達障がい」を初めて認識したきっかけは、次のうちどれにあてはまりますか？

(1つだけ○)

1. 定期健診(乳幼児健康診査)で指摘された	
2. 病院で医師から指摘された	⇒ ()歳ごろ
3. 就学時健康診断のときに指摘された	
4. 保育所・幼稚園、学校などの先生や職員に指摘された	⇒ ()歳ごろ
5. 家族が気づいた	⇒ ()歳ごろ
6. 知人から指摘された	⇒ ()歳ごろ
7. その他(具体的に:)	
8. おぼえていない、忘れ	

全員にお聞きます。

問6 あなたは、医療的ケアを受けていますか？(1つだけ○)

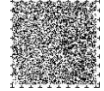
※医療的ケアとは、「たん吸引」「中心静脈栄養法(IVH)」「人工呼吸器(レスピレーター)」「気管切開の処置」「経管栄養(胃ろうなど)」などを指します。

1. 受けている(医療的ケアの内容:)
2. 受けていない

問7 あなたは、障がい支援区分の認定を受けていますか？(1つだけ○)

※障がい支援区分とは、障がいの多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すものです。

1. 受けている	
⇒区分は	1. 区分1 2. 区分2 3. 区分3
	4. 区分4 5. 区分5 6. 区分6
2. 受けていない	



問8 次のような動作のうち、人の介助や支援(指示、声かけ、促しなども含む)を必要

とされるものはありますか？(いくつでも○)

※補装具や自助具などを使用されている方は、それらを使用した状態の動作であてはまる

ものを選んでください。

1. 食事をする	2. トイレを使う
3. 洗顔・歯磨き・化粧・髪をとく	4. 服を着たり、脱いだりする
5. 風呂に入る	6. 寝返り、起きあがりをする
7. 家の中を移動する	8. 外出や日常の買い物
9. バスや電車を利用する	10. 自分の考えを相手に伝える
11. 相手が話すことを理解する	12. 薬を飲む
13. 炊事・掃除・洗濯などの家事	14. お金の計算や管理をする
15. 文字を読んだり書いたりする	
16. その他(具体的に:)	
17. 介助や支援は必要ない	⇒問13へ

問9 あなたを主に介助・支援している方はどなたですか？(1つだけ○)

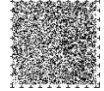
あなたを主に介助・支援している方はどなたですか？(1つだけ○)

1. 親	2. 祖父母
3. 他の家族・親戚の人	4. 友人・知人
5. ホームヘルパーや、施設の職員	⇒問13へ
6. その他(具体的に:)	⇒問13へ

問9で1～4を選んだ方にお聞きます。

問10 あなたを主に介助・支援している方の年齢は？(1つだけ○)

1. 19歳以下	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上



問11 あなたを主に介助・支援している方が行 うあなたへの介助時間は1日あたりどの程度ですか？（1つだけ○）

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 1時間未満 | 2. 1～3時間未満 | 3. 3～6時間未満 |
| 4. 6～12時間未満 | 5. 12時間以上 | |

問12 あなたを主に介助・支援している方が、病氣や旅行などで一時的に介助・支援できないとき、どうされていますか？（主なもの3つまでに○）

- | |
|---|
| 1. 他の家族が介助・支援している |
| 2. 近所の人や友人などをお願いしている |
| 3. ボランティアなどに来てもらっている |
| 4. 短期入所（ショートステイ）や日中一時支援（日帰リショート）を利用している |
| 5. 訪問系サービスの事業所に頼む |
| 6. その他（具体的に：_____） |
| 7. 誰にも頼まず自分でできる範囲でがんばっている |

日中の活動や社会参加について

問13 あなたは、平日の昼間の時間（学校や通園施設などの放課後は含みません）は、どのようにして過ごしていますか？（主なもの3つまでに○）

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 自宅で過ごしている | 2. 入所施設や病院などで過ごしている |
| 3. 保育所・幼稚園に通っている | 4. 支援学校に通っている |
| 5. 地域の小学校・中学校に通っている | 6. 高等学校や専門学校に通っている |
| 7. 児童発達支援施設などへ通っている | 8. 診療・治療やリハビリテーションを受けている |
| 9. 買い物や散歩などで出かけている | 10. 趣味やスポーツ活動などをしている |
| 11. その他（具体的に：_____） | |

問14 あなたは、どのくらい外出（通学・通園・通所を含む）していますか？（1つだけ○）

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に2～3回 | 3. 週1回程度 |
| 4. 2週間に1回程度 | 5. 月に1回程度 | 6. ほとんど外出しない |

問15 あなたは、外出されるとき、付き添いの人が必要ですか？（1つだけ○）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. ひとりで外出できる | 2. 家族に付き添ってもらう |
| 3. ガイドヘルパーに付き添ってもらう | 4. 学校や通園施設などが送迎している |
| 5. 地域の人が付き添ってくれる | 6. その他（具体的に：_____） |

問13で3～6（学校や通園施設など）を選んだ方にお聞きします。

問16 学校や通園施設などの放課後や休みの日には、どのようにして過ごしていますか？（主なもの3つまでに○）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 学童保育室で過ごしている |
| 2. 部活やサークル活動に参加している |
| 3. 外で遊んだり、スポーツをする |
| 4. 公民館や図書館などで過ごす |
| 5. 塾や習い事に行く |
| 6. 児童発達支援・放課後等デイサービスや日中一時支援を利用している |
| 7. 家の中で過ごしている |
| 8. 入所施設の中で過ごしている |
| 9. その他（具体的に：_____） |

問13で3～6（学校や通園施設など）を選んだ方にお聞きします。

問17 学校や通園施設などで困っていることは何ですか？（主なもの3つまでに○）

1. 移動手段の確保が難しい

2. 介助者が得にくい

3. コミュニケーションがとりにくい

4. 建物や設備が障がい者に配慮されていない（トイレ、エレベーター、階段、その他）

5. 障がいの状況や特性に応じた教育・指導・相談などをしてもらえない

6. 周囲の障がいに関する知識や経験、理解が十分でない

7. その他（具体的に：_____）

8. 特に困っていることはない

問13で3～6（学校や通園施設など）を選んだ方にお聞きします。

問18 卒業後（18歳以降）はどのような進路を考えていますか？（主なもの3つまでに○）

1. さらに上の学校などで勉強を続けたい

2. 職業訓練施設を利用したい

3. 通所系サービスを利用したい（就労継続支援A・B型や、生活介護など）

4. 卒業後の学びの場や将来に向けての準備をしたい

5. 障がいのない人と一緒に一般の職場で働きたい

6. 障がいのある人に配慮された職場で働きたい

7. 家の仕事を手伝いたい

8. 入所施設を利用したい

9. その他（具体的に：_____）

10. まだどうするか決めていない

11. わからない

全員にお聞きします。

問19 あなたにとって、障がいのある人や難病にかかっている人の地域社会への参加を
しにくくさせているのは何だと思いますか？（主なもの3つまでに○）

1. 身近なところで参加できる行事や活動が少ない

2. どんな行事や活動があるかわからない（情報伝わってこない）

3. イベント会場などへの移動・交通手段が不便で利用しにくい

4. 移動やコミュニケーションの支援を行う人が身近にいない

5. 行事や活動の内容や会場が障がいのある人や難病にかかっている人の参加に配慮されていない

6. 家族の理解が得られない（参加することに反対される）

7. 一緒に参加する仲間がいない

8. 地域の人の障がいに対する理解が乏しい

9. その他（具体的に：_____）

10. 特に社会参加をしにくくさせていることはないと思う

11. わからない、思いつかない

問20 あなたにとって、外出時に困っていることは何ですか？（主なもの3つまでに○）

1. 歩道のない道などを歩いているときに、自動車や自転車などが危ないと感じる

2. 道路や建物の段差などがあり、移動しにくい

3. 電車やバスの乗り降りがしにくい

4. 自駅の駐輪や看板が置かれているなど路上が通りにくい

5. 障がいに配慮された駐車スペースやトイレなどの設備が整っていない

6. 交通機関や建物などの案内が少ない

7. 交通機関や建物などの案内がわかりにくい

8. 付き添いや介助してくれる人がいない

9. 人の見る目や言葉が気になる

10. 人とのコミュニケーションが難しい

11. いじめや意地悪をされるのが怖い

12. その他（具体的に：_____）

13. 特に困っていることはない

184

7

8

療育について

問21 保護者の方（18歳未満の子どもを養育している方）にお聞きします。障がいのあるご本人の障がいや病気のことで、市役所や保健所・保健センター、医療機関などに最初に相談したのは、いつごろですか？（1つだけ○）

1. 生まれてすぐ
2. 1歳6か月未満
3. 1歳6か月以上3歳未満（健診時を含む）
4. 3歳以上5歳未満（健診時を含む）
5. 5歳以上12歳未満
6. 12歳以上
7. その他（具体的に：_____）
8. 覚えていない、わからない

問22 保護者の方にお聞きします。障がい児の施策やサービスなどで、特に充実が必要と思うものは何ですか？（主なもの3つまでに○）

1. 乳幼児健診の充実
2. 発育・発達上の課題の早期発見・診断
3. 家庭訪問による相談・指導
4. 地域の療育・リハビリテーション体制
5. 市役所や保健所・保健センターなどの相談体制
6. 障がい児通所施設（児童発達支援、放課後等デイサービス）の整備
7. 保育所や幼稚園での受け入れ
8. 小・中学校、高等学校での教育機会の拡充
9. 学校卒業後の学びの場の充実
10. 学校の施設などの整備
11. 自立に向けた専門的な教育の充実
12. 通園・通学時の介助・付き添い
13. 放課後や休日などの居場所づくり
14. 安心して遊べる機会・場の確保
15. 地域社会とかわかる機会や環境づくり
16. 保護者が介助・支援できないときの一時的な見守りや介助
17. その他（具体的に：_____）
18. わからない、思いつかない

問23 保護者の方にお聞きします。乳幼児期における母子保健や療育に関してどのようなことを望まれますか？（主なもの3つまでに○）

1. 健康診査の結果を正確に伝える
2. 訪問指導を充実する
3. 保護者に対する相談・支援体制を充実する
4. 福祉サービスや療育についての情報を提供し、わかりやすい説明を行う
5. うの花療育園、療育園などの通園事業・療育事業などを充実する
6. その他（具体的に：_____）
7. わからない、思いつかない

問24 保護者の方にお聞きします。就学前の保育所や幼稚園、福祉施設など、障がい児の通所施設やサービスについてどのようなことを望まれますか？（主なもの3つまでに○）

1. 保護者に対する専門的な相談・指導
2. 幼稚園・保育所・認定こども園などでの障がい児保育の充実
3. 療育や発達のための支援
4. 集団生活へ向けたさまざまな支援
5. 身の回りの自立に向けた支援
6. 友だちづくりやいろいろな人との交流
7. 安心して遊ぶことができる場
8. 入浴や食事などのサービス
9. 一時的な見守りや介助
10. その他（具体的に：_____）
11. 特に希望するものはない

保健・医療について

問25 あなたは、どのくらい定期的に病院や診療所に通院されていますか？

(1つだけ○)

1. 週2回以上
2. 週1回程度
3. 2週間に1回程度
4. 月に1回程度
5. 2～3か月に1回程度
6. 入院している
7. 通院・入院ともしていない

問26 あなたは、保健・医療面で不安に思っていること、困っていることは何ですか？
(主なもの3つまでに○)

1. 障がい重くなったり病状が進むこと
2. 生活習慣病などの病気になる
3. 健康診断が受けられない、受けにくい
4. 近くで専門的な治療を受けられない
5. 自分が望む医療を受けられない
6. 障がいや病気に理解や経験のある医師が少ない
7. 症状を伝えにくい、説明がわからない
8. 診療の受付や案内がわかりにくい
9. 介助者や付き添ってくれる人がいない
10. お金がかかる
11. 交通が不便、移動が大変
12. 養育・発達について相談するところがない
13. こころの病気にについて相談するところがない
14. その他(具体的に：_____)
15. 特に不安や困っていることはない



情報や相談について

問27 あなたは、パソコンやスマートフォンなどで情報を集められますか？

(1つだけ○)

1. パソコンやスマホなどを使い、インターネットやSNSで情報を集められる
2. パソコンやスマホなどを使えるように訓練・練習している
3. 今は使えないが、今後使えるようになりたいと考えている
4. その他(具体的に：_____)
5. いずれも使えない

問28 あなたや、あなたのご家庭では、保健・福祉サービスに関する情報をどのように入手していますか？(主なもの3つまでに○)

1. 市役所や支所、社会福祉協議会の窓口、案内パンフレット、広報誌、ホームページ
2. 相談支援事業所などの職員
3. 福祉施設、病院・診療所の職員やヘルパー
4. 障がい者グループや団体
5. 同じ障がいがあり相談のつてくれる人(ピアカウンセラー)
6. 障がい者相談員
7. 家族(介助者)の悩みを受け止める家族相談員、ペアレント・メンター等のピアサポーター
8. 家族・親戚
9. 友人・知人・近所の人
10. 民生委員児童員
11. テレビ・ラジオ
12. 新聞、雑誌など紙媒体
13. インターネット検索、SNS(X、Instagram等)、動画配信サービス(YouTube等)
14. その他(具体的に：_____)
15. 情報を得るところがない



問29 あなたや、あなたのご家庭では、困ったことや相談したいことがあるときに、誰（ど）に相談しますか？（主なもの3つまでに○）

1. 家族、パートナー	2. 友人・知人・近所の人
3. 市役所や保健所の職員	4. 相談支援事業所などの職員
5. 福祉施設の職員やヘルパー	6. 病院・診療所の医師や看護師
7. 障がい者グループや団体の人	8. 職場・学校の人
9. 同じ障がいがあり相談にのってくれる人（ピアカウンセラー）	
10. 障がい者相談員	
11. 家族（介助者）の悩みを受け止める家族相談員、ペアレント・メンター等のピアサポーター	
12. 社会福祉協議会（コミュニティソーシャルワーカー（C・S・W）含む）	
13. 民生委員児童委員	14. インターネット
15. その他（具体的に：_____）	
16. 相談したいが誰もいない	
17. 誰にも相談はしない	

問30 あなたや、あなたのご家庭では、相談支援体制について、希望することは何ですか？（主なもの3つまでに○）

1. 福祉の専門職を配置した相談窓口の充実
2. 同じ障がいがある相談員によるカウンセリング（ピアカウンセリング）
3. 地域に開設され身近な場所で相談できる窓口
4. 家族（介助者）の悩みを受け止める家族相談員、ペアレント・メンター等のピアサポート
5. 休日や夜間の電話相談
6. 障がいにかかわる診断や療育、治療・ケアに関する専門的な相談
7. 医療・福祉・保健・教育・住宅など、各分野が連携した総合的で一貫した相談支援体制
8. 将来の自立生活に向けた指導や相談
9. その他（具体的に：_____）
10. 特になし



問31 あなたや、あなたのご家庭では、「高槻市自立支援協議会」を知っていますか？（1つだけ○）

※高槻市自立支援協議会は、障がい者やその家族、事業者、医療機関、市役所などの関係機関が、協力して地域の課題に取り組むために、相互の連絡を図る会議です。

1. 知っている	2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	3. 知らない
問32 あなたや、あなたのご家庭では、「成年後見制度」を知っていますか？（1つだけ○）		
※成年後見制度は、判断能力が十分でない人の財産や権利を、不当な契約等から守るために、周りの人が後見人となって判断を補うための制度です。		
1. 利用している	2. 知っているが、利用はしていない	
3. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない	4. 知らない	

災害など緊急時の対応について

問33 あなたは、災害時の最奇りの避難所を知っていますか？（1つだけ○）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問34 地震などの災害が発生して、あなた自身で避難できないときなどに、手助けをしてくれる人や頼りにできる人がいますか？（主なもの3つまでに○）

1. 同居している人	2. 同居していない家族・親戚
3. 友人・知人	4. 職場・学校の人
5. 福祉施設の職員やヘルパー	6. 障がい者グループや団体の人
7. 民生委員児童委員	8. 近所の人や自治会の人
9. ボランティア	10. 消防や警察
11. その他（具体的に：_____）	
12. ひとりで避難できる	
13. 頼りにできる人はいない	



問35 障がい者を理由として避難所への避難にためらいを感じますか？（1つだけ○）

- | | |
|-------------|----------|
| 1. とても感じる | 2. 多少感じる |
| 3. あまり感じない | ⇒問37へ |
| 4. まったく感じない | ⇒問37へ |

問35で1または2を選んだ方にお聞きします。

問36 ためらいを感じる理由は何ですか？（主なもの3つまでに○）

1. 必要な配慮が得られないから
2. 意思疎通がうまくできないから
3. 周囲の目が気になるから
4. プライバシーに対する配慮がないから
5. 服用している薬が手に入らないから
6. 多機能トイレやエレベーターなどのバリアフリー設備が整っていないから
7. 迷惑をかけると思うから
8. 障がい特性が理解されないから
9. その他（具体的に：_____）

全員にお聞きします。

問37 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか？（いくつでも○）

1. 投薬や治療が受けられない
2. 補装具の使用が困難になる
3. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
4. 救助を求めることができない
5. 安全なところまで、迅速に避難することができない
6. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
7. 周囲とコミュニケーションがとれない
8. 避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安
9. その他（具体的に：_____）
10. 特にない



将来の暮らしについて

問38 あなたは今から10年後は、どのような生活を望めますか？（1つだけ○）

1. ひとりで暮らす
2. 家族などと一緒に暮らす
3. 障がいのある人のためのグループホームで暮らす
4. 障がいのある人のための入所施設で暮らす
5. その他（具体的に：_____）
6. わからない

問39 あなたや、あなたのご家庭では将来のこととどのような不安を感じますか？（主なもの3つまでに○）

1. 一緒に暮らす人の高齢化や亡くなったときなどのこと
2. 身の回りの世話や介護のこと
3. 住む場所のこと
4. 収入などの経済的なこと
5. 学校や通所施設など進路のこと
6. 就職や仕事のこと
7. 趣味や生きがいのこと
8. 健康や体力のこと
9. その他（具体的に：_____）
10. わからない
11. 特に不安に感じることはない



福祉サービスなどについて

問40 障がい福祉サービス等の利用についておたずねします。

(それぞれ、あてはまるものすべてに○)

①現在利用しているサービス

②今後利用したいサービス

	① 現在 している 利用	② 今 後 したい 利用	③ 不 満に 思っ た こと があ る
1. 介助や家事を手伝うホームヘルパー	1	1	1
2. 外出時の付き添いや介助	2	2	2
3. 会話などコミュニケーションの支援	3	3	3
4. 補装具や日常生活用具	4	4	4
5. 訪問看護サービス	5	5	5
6. 短期入所（ショートステイ）や日中一時支援	6	6	6
7. 自立した生活や働くための訓練	7	7	7
8. 日中の居場所となる通所施設	8	8	8
9. 療育を行う通所施設 (児童発達支援、放課後等デイサービス)	9	9	9
10. グループホーム	10	10	10
11. 入所施設	11	11	11
12. 日常生活自立支援事業（金銭管理など）	12	12	12
13. その他（具体的に：_____）	13	13	13
14. この中にはない	14	14	14



問41 利用して不満に思ったことがあるサービスについておたずねします。不満に思った内容を下の選択肢から選んで数字を記入してください。

【記入例】 11. 入所施設	1	2
1. 介助や家事を手伝うホームヘルパー		
2. 外出時の付き添いや介助		
3. 会話などコミュニケーションの支援		
4. 補装具や日常生活用具		
5. 訪問看護サービス		
6. 短期入所（ショートステイ）や日中一時支援		
7. 自立した生活や働くための訓練		
8. 日中の居場所となる通所施設		
9. 療育を行う通所施設 (児童発達支援、放課後等デイサービス)		
10. グループホーム		
11. 入所施設		
12. 日常生活自立支援事業（金銭管理など）		
13. その他（具体的に：_____）		

不満に思った内容	
1. サービス内容が障がい特性にあっていない	2. 身近なところでサービスを利用できない
3. 利用したい日・時間に利用できない	4. 利用回数・時間などに制限がある
5. 利用料が高い	6. 急な変更に応じてもらえない
7. 事業所が契約してくれない	8. 事業所などの担当者の対応がよくない
9. 事業所などの担当者がよくかわる	10. 事業所の担当者の知識や経験が不足している
11. 本人や家族の意向を尊重してもらえない	12. プライバシーなどの配慮に欠けている
13. 建物や設備が障がい配慮されていない	14. 他の利用者との相性を配慮してもらえない
15. サービス内容に関する情報が少ない	16. 相談や手続きに時間がかかる
17. 障がい支援区分の認定に疑問がある	18. その他



しょう しゃぎやくたい ぼうし しょう しゃざべつ かいしよう
障がい者虐待の防止・障がい者差別の解消について

問42 あなたやあなたのご家族は、「障害者虐待防止法」を知っていますか？

(1つだけ○)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 知らない

問43 あなたやあなたのご家族は、障がい者虐待の相談や通報先として、障がい者虐待防止センターが市役所にあるのを知っていますか？ (1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問44 あなたやあなたのご家族は、障がい者の地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障がい者基幹相談支援センターが市役所にあるのを知っていますか？ (1つだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問45 あなたやあなたのご家族は、「障害者差別解消法」を知っていますか？ (1つだけ○)
※障害者差別解消法は、「不当な差別的取り扱い（障がいがあることで障がいのない人たちとは違う扱いをすること）」と「合理的配慮（それぞれの障がいにあった必要な工夫）をしないこと」を差別として定めた法律です。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 知らない



問46 あなたやあなたのご家族は、ここ3年以内に、障がいや病気があることで差別を受けたことや、偏見や疎外感などを感じたことがありますか？ (1つだけ○)

1. ある
2. ない
3. わからない

問46 で1を選んだ方にお聞きます。

問47 どのようなときに差別や偏見、疎外感などを感じたことがありますか？
(主なもの3つまでに○)

1. 入園や進学するとき
2. 幼稚園・保育所・学校などでの生活
3. 就職・就労のとき
4. 職場生活
5. 近所付き合い
6. 地域の行事や集まり
7. 入店拒否や店員の態度
8. 入居拒否
9. 診療拒否
10. 乗車拒否
11. 交通機関や建築物などでの配慮のなさ
12. まちかどでの人の視線
13. 市役所などでの応対・態度
14. その他（具体的に：_____）

問48 差し支えなければ、あなたやあなたのご家族が経験されたことを具体的に書きください。

.....

.....

.....

全員にお聞きます。

問49 あなたやあなたのご家族は、市民の障がい者理解は、ここ5年で深まったと思いますか？ (1つだけ○)

1. かなり深まったと思う
2. ある程度深まったと思う
3. あまり深まったとは思わない
4. 深まったとは思わない



しょう

障がいのある人もない人も安心して暮らせる“高槻”に向けて

む

問50

障がいのある人が安心して自立した生活を送れるようにするために、高槻市などの行政が充実させざるべき施策は何だと思えますか？
(最も必要だと思われるものから順に5つまで選んで下の回答欄に番号を記入)

【ア】相談・支援体制の充実	1. 身近に相談できる場所や人を増やす 2. 制度やサービスの情報をわかりやすく伝える 3. 障がいのある人の権利を守る取り組みを進める 4. 難病の人などへの相談・生活支援を強化する
【イ】健康・医療・在宅生活の支援	5. ところからただの健康づくりを進める 6. 地域での医療やリハビリの体制を整える 7. ホームヘルパーなどの在宅サービスを充実させる
【ウ】住まい・暮らしの場づくり	8. グループホームなど、地域で暮らせる住まいを増やす 9. 日中の活動や居場所となる施設・サービスを充実させる 10. 年金・手当・医療費の助成を厚くする
【エ】子どもと教育への支援	11. 療育や発達支援の体制を整える 12. 子ども一人ひとりにあった教育・指導を進める
【オ】仕事・働く場の支援	13. 障がいのある人の就職や働くための支援を増やす 14. 一般企業で働くのが難しい人にもあった仕事場をつくる
【カ】外出・社会参加の支援	15. 外出や人とのやり取りをサポートするサービスを増やす 16. スポーツ・レクリエーション・文化活動に参加しやすくする 17. 障がいへの理解を深める啓発や交流の機会を増やす 18. 地域でお互いに支え合う仕組みをつくる
【キ】生活環境の改善	19. ボランティアの育成や活動を支援する 20. 道路や建物などのバリアフリーを進める 21. 障がいのある人向けの住宅整備や住宅改修への支援を進める 22. 防犯・災害時の支援体制を強化する
【ク】家族への支援	23. 家族がリフレッシュできる支援を行う
【ケ】その他	24. (具体的に：_____) 25. わからない

どうい

問51 「インクルーシブ教育」について知っていますか？ (1つだけ○)

1. 内容まで知っている

2. 言葉は聞いたことがある

3. 知らない

※

障害者の権利に関する条約第24条によれば、「インクルーシブ教育システム」とは、人間の多様性の尊重等の強化、障がい者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組みであるとされています。(文部科学省ホームページから一部抜粋)

問52

インクルーシブ教育を進めることは、すべての子どもにとってよいことだと思いますか？ (1つだけ○)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらかといえばそう思わない

4. そう思わない

5. わからない

問53

高槻市では、特別な支援が必要な子どもを含め、子どもたちがともに学ぶ機会の確保に向けた取り組みを進めていると思いますか？ (1つだけ○)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらかといえばそう思わない

4. そう思わない

5. わからない

問54

さいごに、今後の障がい福祉施策の推進に向けて、高槻市や大阪府、国などへの意見・ご要望、日ごろお困りになっていることなどをお書きください。

協力ありがとうございました。

調査票は同封した返信用封筒に入れ

1月31日(土)までに切手を貼らずに投函してください。

191

22

高槻市「障がい者計画」「障がい福祉計画」「障がい児福祉計画」関連
福祉に関するアンケート調査報告書

令和8年3月

発行：高槻市健康福祉部福祉事務所 障がい福祉課
〒569-0067 大阪府高槻市桃園町2番1号
電話：072-674-7164 FAX：072-674-7188
Email:hukusi-82@city.takatsuki.osaka.jp